

2005 (平成 17) 年度

講義内容

文学部

人駒澤大學

講 義 內 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	23
(1)	人 文 分 野	23
(2)	社 会 分 野	49
(3)	自 然 分 野	63
(4)	綜 合 分 野	90
3	外 国 語 科 目	115
4	保 健 体 育 科 目	269
II	專 門 教 育 科 目	
1	国 文 学 科	313
2	英 米 文 学 科	367
3	地 理 学 科	421
4	歷 史 学 科	481
5	社会学科(社会学専攻)	561
6	社会学科(社会福祉学専攻)	605
7	心 理 学 科	661
III	他 学 部 履 修 科 目	707
IV	「日本語」・「日本事情」科目	777
V	随 意 科 目	797

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
科 目	総合分野
	外国語
	保健体育
	国
専 門 教 育 科 目	文
	英米文地
	理
	歴
科 目	史
	(社
	会
	学)
科 目	社
	会
	心
	理
履 修 科 目	他 学 部
	「日本語」
「 日 本 事 情 」	「日本語」
	「日本事情」
随 意 科 目	随意科目

(注意)

講義内容に掲載している配当学科(学年)の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、地理学科・歴史学科・社会学科については下表の略称で表記しています。誤りのないように履修してください。

学科	専攻	全学共通科目	専門教育科目
地理学科	地域文化研究専攻	地理	地文
	地域環境研究専攻	地理	環境
歴史学科	日本史学専攻(16年度以降入学生)	歴史	日本史
	外国史学専攻(16年度以降入学生)	歴史	外国史
	考古学専攻(16年度以降入学生)	歴史	考古学
	15年度以前入学生	歴史	歴史
社会学科	社会学専攻	社会	社会
	社会福祉学専攻	福祉	福祉

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (国)	〈小川順敬〉	9
仏教と人間 (英)	〈洗建〉	9
仏教と人間 (地 理)	〈池上良正〉	10
仏教と人間 (歴 史)	〈岡部雅明〉	10
仏教と人間 (歴 史)	〈佐々木章格〉	11
仏教と人間 (心)	〈佐藤憲昭〉	11
仏教と人間 (社・福)	〈竹内弘道〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈晴山俊英〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈福田孝雄〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈村松哲文〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈吉津宜英〉	14
文 化 と 宗 教	〈長谷部八朗〉	14
社 会 と 宗 教	〈池上良正〉	15
自 然 と 宗 教	〈小川順敬〉	15
坐 禅	〈佐藤秀孝・熊本英人〉	16

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	国文1必	4

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているのでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

この講義では、私たちをとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	洗 建 <small>あらい けん</small>	英米文1必	4

講義のねらい

多くの日本人は、自分は無宗教であり、宗教とは無関係であると思っている。しかし、それは事実であろうか。あなたは合格祈願のお守りを貰わなかったらどうか。初詣やお墓参りの経験はないだろうか。それは宗教ではないのだろうか。日本は仏教国であるといわれ、かつての日本人は自分を仏教徒であると自覚していた。現在、日本人と仏教とのかわりの実態はどのようなものであるのか、なぜ無宗教と思うようになったのか、日本人の仏教とのかかわり方がどのような意味を持つのか、まずそのあたりを理解することから始めよう。

その上で、世界の諸宗教と仏教の特質、開祖釈尊が示した人間の生き方、日本における仏教の展開、現代の我々にとっての仏教などの問題を正しく理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は諸宗教と仏教を関連づけながら、広く宗教が人間生活にとって持つ意味と役割を探り、後半は特に仏教の正しい理解を目指す。

履修上の留意点

事実を覚えることよりも、問題や考え方を理解することを心がけて受講して欲しい。

成績評価の方法

原則的には試験で評価するが、ときどき出席をとり、また場合によってはレポートを提出し、貰い、評価の参考にする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	地理1必	4

講義のねらい

「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、仏教に関する基礎的知識の解説に主眼をおきつつも、とくに地理学科の学生諸君が興味をもてそうなトピックを中心に講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、とくに風土論的な視点に注目しながら、世界宗教としての仏教の成立過程を考察する。後期は、「死者供養」「山岳信仰と日本仏教」などのテーマを中心に、日本における仏教の土着化の問題を考える。

成績評価の方法

前期末と学年末の試験を総合的に評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

池上良正『死者の救済史』（角川書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	おか べ まさ あき 岡 部 雅 明	歴史1必	4

講義のねらい

仏教は、教義としての仏教や、人びとが実際に信仰として行っている仏教などさまざまなレベルの仏教があります。また、信仰に基づいた仏教として行われている活動にも、地域によるバリエーションが存在します。このような多様性に富む仏教について、他宗教との関連や比較などを通して、主体的に考え、仏教の教義や生活に根ざした仏教の理解を深めることを目的としたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、仏教・宗教現象の具体的事例を通して、仏教や諸宗教が現実を果たしている役割などを考察したいと思います。後半は、仏教や諸宗教の思想を紹介しながらその理解を深めたいと考えています。

成績評価の方法

出席状況と学年末の筆記試験により評価しますが、場合によってはレポートを提出してもらい、総合的に評価します。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

必要に応じて適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	ま さ き し ょ う かく 佐 々 木 章 格	歴 史 1 必	4

講義のねらい

「父母未生以前、本来の面目」という公案がある。かの夏目漱石も若いころに宿題とされ、それは晩年にいたる小説の中まで鮮やかに反映されていた。本来の人間とは何か、本当の自分自身とは――。釈尊（ブツダ）はその最後に、弟子たちに向かって「法灯明、自灯明」すなわち真理を抛り処とし、自分自身を抛り処とせよ、と説示した。それは理想としての宗教ではなく、現実に今ある自分の姿としての、苦悩と戦いながらの実践修道（生きざま）なのではないだろうか。

本講義においては、宗教教育科目として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合わせ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。また数種の禅の公案についても参究し、ともに理解を深めていきたい。さらに学生手帳に載せる『般若心経』や『修証義』にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のテーマを用意し、世界宗教・仏教・禅について順次理解を深めたいと考えている。
- 1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界宗教・民族宗教についての概要。
 - 2) インドの古代思想、釈尊の成道、仏教の基本的教理、大乘仏教（菩薩道）の成立。
 - 3) 中国における仏教の受容とその梗概、禅宗の成立と展開。
 - 4) 日本における仏教の受容とその梗概、および道元禅師と瑩山禅師の思想。

履修上の留意点

教科書は必ず持参すること。そしてこの科目専用のノートを用意し、講義内容を自分の手で、ノートすることを要望する。またレポートの提出をお願いするが、その内容については一般常識などの借り物ではなく、課題に対しての本人の主体的意見が存在したものを希望する。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、加えて別に指示する課題についてのレポート、受講の度合（出欠）を考慮した総合評価とする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

必要に応じて適宜紹介、またプリント等も配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	心 理 1 必	4

講義のねらい

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸には墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは教義で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを認識した上で、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期は、1. 宗教学の視点と方法、2. 人類と文化、3. 風土と宗教、4. 民俗宗教の特質、5. 教義仏教と民俗仏教などについて考察し、後期は、6. 原始仏教、7. 大乘仏教と上座部仏教、8. 禅仏教の特質、9. 曹洞宗の特質などの問題について考えてみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	たけ うち ひろ みち 竹 内 弘 道	社会・福祉1必	4

講義のねらい

世界のさまざまな問題に関心を寄せ、現代社会が抱える先端的なテーマに対しても自分なりの考えを持てるようになることが学生としてのあるべき姿であると考え。しかし、いざ自分の考えを表明しようにも、判断の指標となる自己の依って立つ「思想」がなければ、何の見解も導き出すことができない。しかも、現代の先進的問題は、背景に深く自らの宗教観が問われる場合が多く、自己の宗教的視点が確立していないと、問題の本質も見えず、意見を述べることもむずかしくなる。宗教を病的なまでに排除した戦後の教育によって形成された私たちの知性にとって、大きく欠けている部分は宗教に関する諸知識と宗教観である。授業では、仏教と禅に関する基本的知識を学ぶなかで、現代社会のさまざまな問題についても考えていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の基本的思想や禅の目指す人間観について講義するが、次のようなテーマについて、具体的問題を取りあげ、随時講義する予定である。時間が許せば予定外のテーマも取りあげたい。

1. 破壊的カルト教団の諸相とマインドコントロールの恐怖
2. 生命倫理と脳死・臓器移植－日本人の生命観
3. 環境問題と現代社会－仏教の可能性
4. 仏教と人権－フェミニズムからの挑戦
5. 日本仏教の社会的機能と使命－葬祭と仏教

成績評価の方法

試験は、講義内容から指定したテーマについて、レポートを提出させ理解度を評価する。

教 科 書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

参考書はその都度授業で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	文学部全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	ふく だ たか お 雄 福田孝雄	文学部全学科2・3・4年	4

講義のねらい

無教に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参考書等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	むら まつ てつ ふみ 村松哲文	文学部全学科2・3・4年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではなかろうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	よしづ よしひて 吉 津 宜 英	文学部全学科2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教 科 書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参 考 書 等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

そ の 他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 と 宗 教	はせべ ほちろう 長谷部 八 朗	文学部全学科選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 と 宗 教	池 上 良 正 <small>いけ がみ よし まさ</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 と 宗 教	小 川 順 敬 <small>お がわ とし ゆき</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的な事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 (前期)(後期) 禅	さとう しゅうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人	文学部全学科選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教 科 書

適宜、プリントにて配布します。

参 考 書 等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	[日本のことば]	〈保明陽子〉	23
文学	[日本文学「古典」]	〈平野由紀子〉	23
歴史学	[日本中世史]	〈栗原修〉	24
歴史学	[西洋中世史]	〈田中美穂〉	24
芸術学(1)	[日本美術]	〈北野良枝〉	25
芸術学(2)	[西洋美術]	〈矢野陽子〉	25
芸術学(3)	[音楽]	〈赤羽由規子〉	26
哲学	[近代の人間観と世界観]	〈久保陽一〉	26
哲学	[現代文明と人間]	〈久保陽一〉	27
哲学	[現代文明と人間]	〈滝沢正之〉	27
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈山口祐弘〉	28
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈滝口清栄〉	28
論理学	[知の技法]	〈箭野浩司〉	29
論理学	[知の技法]	〈伊古田理〉	29
科学史	[科学と技術]	〈長岡亮介〉	30
倫理学(1)	[人間観]	〈古田知章〉	30
倫理学(2)	[応用倫理学]	〈黒崎剛〉	31
倫理学(3)	[価値観]	〈滝沢正之〉	31
倫理学(4)(7)	[応用倫理学]	〈箭野浩司〉	32
倫理学(5)	[制度とモラル]	〈滝口清栄〉	32
倫理学(6)	[東洋倫理]	〈水口拓寿〉	33
宗教学(1)	[比較宗教文化]	〈池上良正〉	33
宗教学(2)	[聖と俗]	〈田中かの子〉	34
宗教学(3)	[世界観と儀礼]	〈小川順敬〉	35
宗教学(4)	[日本人の宗教]	〈洗建〉	35
宗教学(5)	[生活と宗教]	〈菅原壽清〉	36
宗教学(6)	[民俗宗教の諸相]	〈佐藤憲昭〉	36
人文地理学(1)	[風土と文化]	〈竹林和彦〉	37
人文地理学(2)	[風土と文化]	〈高橋健太郎〉	37
人文地理学(3)	[空間と行動]	〈山口太郎〉	38
人文地理学(4)	[空間と行動]	〈伊藤修一〉	39
教育の思想	〈豊田千代子〉	40	
教育の思想	〈北村三子〉	40	
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	41	
教育の思想	〈萩原建次郎〉	42	
教育と社会	〈豊田千代子〉	43	
教育と社会	〈北村三子〉	43	
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	44	
教育と社会	〈萩原建次郎〉	45	
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	45	
発達と学習の心理学	〈夏堀睦〉	46	
発達と学習の心理学	〈角野善司〉	46	
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	47	
カリキュラムと学習	〈夏堀睦〉	47	

(2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕	〈小畑和〉 49
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉炳三〉 50
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〉 51
文化人類学〔文化と人間〕	〈森雅文〉 52
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈小川順敬〉 52
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈鷄徳啓登〉 53
法学・憲法〔法と国家〕	〈佐藤多美夫〉 54
法学・憲法〔法と国家〕	〈織田晃子〉 55
法学・憲法〔法と権利〕	〈沼田雅之〉 56
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈池田実〉 57
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈水戸克典〉 58
政治学〔国際社会と日本〕	〈三船恵美〉 59
経済学〔現代社会と市場経済〕	〈島中貴〉 59
経済学〔現代経済と人間〕	〈森田成也〉 60
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石雄爾〉 61
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳堀素雅子〉 62
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野中弘敏〉 62

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	63
生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	64
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	〈加藤潔〉	65
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	〈小池敏夫〉	65
地球科学〔地球システムと人間圏〕	〈澤口隆〉	66
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〉	67
自然環境論〔生命と環境〕	〈中村敏枝〉	68
自然環境論〔生物の集団と環境〕	〈坂巻義章〉	69
自然環境論〔変動する地球と環境〕	—夏季集中— 〈山本由弦〉	69
自然誌〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里〉	70
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	71
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	71
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	72
情報数学〔情報と論理〕	〈坂野井和代〉	72
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	73
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	74
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	74
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)(10)	〔コンピュータの実際〕 〈小沢誠〉	75
コンピュータ基礎(2)(7)	〔コンピュータの実際〕 〈山本博信〉	76
コンピュータ基礎(3)(8)	〔コンピュータの実際〕 〈小川健次郎〉	77
コンピュータ基礎(5)	〔コンピュータの実際〕 〈澤口隆〉	78
コンピュータ基礎(11)	〔コンピュータの実際〕 —夏季集中— 〈元木光雄〉	79
コンピュータ基礎(12)	〔コンピュータの実際〕 —夏季集中— 〈坂野井和代〉	80
コンピュータ基礎(13)(17)	〔コンピュータの実際〕 —夏季集中— 〈山本博信〉	81
コンピュータ基礎(14)	〔コンピュータの実際〕 —夏季集中— 〈長坂浩史〉	82
コンピュータ基礎(15)(16)(18)	〔コンピュータの実際〕 —夏季集中— 〈小川健次郎〉	83
コンピュータ基礎(19)(20)	〔コンピュータの実際〕 〈坂野井和代〉	84
コンピュータ応用(1)(2)	〔コンピュータの原理〕 〈坂野井和代〉	84
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈篠田謙一〉	85
心理学〔人間関係を考える〕	〈北川公路〉	85
心理学〔心を科学する〕	〈名取志保〉	86
心理学〔心を科学する〕	〈中丸茂〉	87
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈高橋良博〉	88
心理学〔心を科学する〕	—夏季集中— 〈堀内正彦〉	89

(4) 総合分野

総合 I (1) [仏教と自然]	〈四津谷 孝 道〉	90
総合 I (2) [仏教と社会]	〈熊 本 英 人〉	90
総合 II (2) [自然観察入門富浦をめぐる人と自然]	〈清水 善和 他〉	91
総合 III (1) [人権と社会問題]	〈ピアス, D. M.〉	92
総合 III (2) [欧米の教育と日本の教育]	〈岡 崎 寿一郎〉	93
総合 III (3) [女性学・男性学]	〈杉 山 秀 子〉	94
総合 IV (1) [現代アメリカ事情]	〈林 明 人〉	95
総合 IV (2) [シアトル市の NPO とまちづくり]	〈西 村 祐 子〉	95
総合 IV (3) [ポスト・モダンの世界]	〈丸 小 哲 雄〉	96
総合 V (1) [イギリス文化探訪]	〈川 股 陽太郎〉	97
総合 VI (1) [民族とは何か]	〈大 野 祐 二〉	98
総合 VI (2) [イスラム]	〈吉 田 京 子〉	98
総合 VI (3) [フェミニズム・ジェンダー]	〈早 川 紀 代〉	99
総合 VII (1) [トラブルと法的解決]	〈藤本 茂 他〉	100
総合 VII (2) [都市論]	〈内海 麻利 他〉	101
総合 VIII	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本のことば〕	保明陽子 <small>ほあき ようこ</small>	国文・英米文選	4

講義のねらい

明治時代の作品を読むことで、その時代の雰囲気を実際に感じること。高校の教科書にある森鷗外『舞姫』がかつて読みにくかったように、今となっては一人でスラスラとは読めなくなってしまっている明治20年代から30年代の作品を、そこに書かれている一字一句の「ことば」の背景に立ち戻り、そこから推測できる「ことば」の意味を吟味しながら読むことで、実はその作品に含まれていた明治の社会や文化をもじっくり体験する。

講義の内容・授業スケジュール

「写実」というテーマにかかわる作品を読む。小説にかぎらず評論なども含む。文学作品は、「ことば」によって何かを写し表現しているものであるが、「写実」の定義は個々の作家によって異なる。したがって、この講義では、明治の「ことば」にふれながら、明治の人々の「ことば」に対する概念を探る。具体的な作品については、最初の講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を体験し、その成果を表現することが要求される。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形でとわれ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

『日本近代文学評論選【明治・大正篇】』岩波文庫（緑171-1） 千葉俊二／坪内祐三編
岩波文庫刊

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「古典」〕	平野由紀子 <small>ひらの ゆきこ</small>	観・融・社・観・心理	4

講義のねらい

現在、日本は国際社会において重要な役割を担っているが、真の国際人であるためには自国の文化や歴史を知ることが重要である。そこで、日本文学の原点とも言える万葉集の歌をよむことによって、その歴史的背景を知ると共に、古代人の生き方や考え方を理解する。

万葉前期は大化の改新から壬申の乱を経て、律令国家体制の確立された時代であり、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。額田王や柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の和歌が生まれ出た。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。

万葉後期は歌の舞台が都を遠く離れた北九州や北陸、関東などに及び、大伴旅人や山上憶良、万葉集の最終編者と考えられる大伴家持など官人たちのほか、防人や名もない庶民の歌が多く収録されている。それらの歌を通して、当時の社会や人々の考え方を学んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）前期万葉の歌をよむ。（1・2）歌謡から和歌へ（3・4）前期万葉の時代（5～7）齊明・天智朝—額田王を中心に（8・9）天武朝と天津皇子・大伯皇女（10～12）持統朝—柿本人麻呂を中心に（13）持統朝—高市黒人・万葉前期のまとめ
（後期）後期万葉の歌をよむ。（14）万葉第三期について（15・16）大伴旅人（17・18）山上憶良（19）山部赤人（20）高橋虫麻呂（21）万葉第四期について（22～24）大伴家持（25）防人歌・東歌（26）万葉後期のまとめ

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。出席・授業態度等も考慮する。なお、出席は授業内容に関するコメントの提出によりとる。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本中世史〕	栗原 修 <small>くりはら おさむ</small>	地理・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

中世社会の歴史について講義します。とくに、戦国期を中心とし、室町→戦国、戦国→近世へという社会の変化をとらえることをねらいとします。そのなかで、戦国期とはどのような社会であったのか、その特質をみていきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 荘園公領制と幕府
～鎌倉幕府の成立から応仁の乱まで～
(後期) 戦国社会の特質と近世国家の誕生

履修上の留意点

年表や日本史辞典を用意してほしい。

成績評価の方法

学年末試験の結果及び平常点により総合的に評価します。

教科書

プリントを随時配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔西洋中世史〕	田中美穂 <small>たなか みほ</small>	国文・英米文選	4

講義のねらい

ブリテン諸島の歴史について中世を中心に講義します。現在のブリテン（イギリス）という国家は、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドからなる連合王国です。また、ブリテンとアイルランド（ブリテン諸島）は、先史時代より互いに影響し合ってきました。ヨーロッパ大陸とブリテン諸島との交流や、現在のブリテン諸島のさまざまな側面にも言及しつつ、授業を行います。ブリテン諸島の多様性と各地のネイション意識の重要性を示すことが、本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ブリテン諸島について (2・3) イングランド中心史観と「ケルト・ブーム」
(4) 鉄器時代 (5) ローマン・ブリテン (6・7) 初期キリスト教時代
(8～11) 中世初期のイングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド各地の王国 (12・13) ヴァイキングの活動
(後期) (14・15) ノルマン人とブリテン諸島 (16・17) アンジュー王国 (18) 百年戦争
(19～21) 中世後期のウェールズ、スコットランド、アイルランド各地の王国
(22) 「アーサー王」伝説 (23・24) 近現代のブリテン諸島
(25) ブリテン諸島各地のナショナリズム (26) 地域性と階級社会

履修上の留意点

講義中の私語、遅刻を禁止します。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。

教科書

講義内容をまとめたプリントを配布します。

参考書等

講義中に随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	文学部全学科選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ~ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) 狩野正信・元信 (12) ~ (13) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (14) 江戸時代の狩野派 (15) ~ (18) 琳派
 (19) ~ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子	文学部全学科選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム
 (後期) 17・18世紀の美術
 バロック美術（イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス）／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 〔音楽〕 (3)	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	文学部全学科選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	く ぼ よう いち 久 保 陽 一	英米文・歴史選	4

講義のねらい

今日我々は近代の科学技術のめざましい進歩によって多大な恩恵を蒙っている反面、環境問題、テロや道徳の荒廃などの問題に悩まされている。また人間の意識を原理とした近代哲学は現代の言語哲学によって置き換えられようとしている。このような近代以後の状況のなかで真の自己と世界の認識を持ち、望ましい生き方をするためには、まず近代の人間観と世界観から何を引き継ぎ、何を批判すべきかを、見極める必要がある。そこで講義では、西欧の近代の主要な哲学を取り上げ、その人間観と世界観の理解と検討をめざすことになる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 合理論（デカルト、スピノザなど）
- (2) 経験論（ベーコン、ホブス、ロックなど）
- (3) モラリストの哲学（パスカル、ルソー）
- (4) ドイツ観念論（カント、フィヒテ、シュリング、ヘーゲルなど）

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る事が大切である。その際、取り上げられた哲学者がどのような主張をし、どのような用語を用い、それは何を意味するかを理解し、分析する必要がある。さらにそのような思想を自分自身は受け入れられるか否かを、考えることが望ましい。

成績評価の方法

中間と期末のテスト、レポート等によって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

開講時に挙げる

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	久保陽一	国文選	4

講義のねらい

現代は科学技術によって生活のすみずみまでもが規定された時代であると同時に、一見何でも可能な「自由」が認められている時代でもある。しかし、それによって、何を選擇し、いかに科学技術を用いるべきかについて、明確な答を得にくい時代でもある。科学技術と自由主義の時代において、知情意を含めた、人間らしい本来の生き方とはいかなるものであるかが、根本的に問われているように思う。
そのような問題意識のもとで、本講義では現代哲学の状況を捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日グローバルなものとなった西洋哲学の近代の歩みを、その大筋において捉えた後で、現代哲学の諸思想（マルクス主義、分析哲学、生の哲学、現象学、解釈学）を学ぶことにする。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。私語はつつしむこと。遅刻しないこと。遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席数、試験（前期と後期）、レポートによって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 3,200円

参考書等

渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会） 1,800円
久保陽一『ドイツ観念論への招待』（日本放送出版協会） 2,800円

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	滝沢正之	地理・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

現代哲学の主要なトピックのいくつかを紹介し検討する。しかし、現代の哲学といっても、哲学史の流れを無視しては理解し難い。そこで、基本的な問題について、現代だけに視野を限らず、過去のいろいろな考え方と比較しつつ考えていくことにしたい。
具体的には、貨幣、他者、身体、歴史、言語といったものが問題となる。どれも大きいテーマなので、解決を提示するというよりは、問題を確認することを目的にする。よくわかっていると思ったことが、実はよくわからないものだったとわかる、という経験も楽しいものである。

講義の内容・授業スケジュール

上述の諸テーマそれぞれについて、哲学史的な位置づけを確認する。そのうえで、現代哲学における、その扱いを検討していく。教科書などで、原典のテキストを参照することも行う。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	やまぐち まさひろ 山口 祐弘	国文・英米文選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対応
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	たきぐち きよあき 滝口 清栄	煙・戯・絵・社・心選	4

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によっておこなわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。私たちはそれらの情報に時にあまいさを感じたり不快な気持ちをもったりする。あるいは納得したりする。このようなことに目を向けるならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感にならざるをえないのではなからうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が重要なものと思えてくるであろう。本講義では、このような基礎をしっかりとしたものとするよう思考の諸法則を検討していきたい。講義はできるだけ理解しやすいように努める。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていくが、記号論理学にも立ち入る。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題を解く機会をできるだけ設けて、思考の諸法則の理解に努める。積極的な取り組みを期待したい。

成績評価の方法

小テストならびに学年末テストにより成績を評価する。

教科書

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 [知の技法]	箭野 浩 司	文学部全学科選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しようとしませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジュアル戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人やリピーターの参加は歓迎します。

昨年は学生からの提案で〈論理王決定戦〉と題するトーナメントを行いました。盛り上ったので、今年もやりたいと思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 [知の技法]	伊古田 理	文学部全学科選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでもものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔科学と技術〕	なが おか りょう すけ 長 岡 亮 介	文学部全学科	4

講義のねらい

我々の今日の文化と文明が、高度に発達した科学とその科学に裏付けられた技術に決定的に依存していることはいうまでもない。しかし、その科学を支えている「方法」や「思想」には必ずしも多くの人の眼差しは届いていない。「科学」と「技術」の区別さえ曖昧なわが国の傾向は、その一つの現れである。本講義は、古代より今日に至る科学と思想の歴史的な展開を、いくつかの重要な局面に注目して見るといふスタイルで、現代に至る科学と科学思想の展開を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、古代ギリシャの自然哲学や幾何学の話題から出発し、中世、近世、現代へと時間的に降りるが、単なる概観ではなく、上に述べたようにスポットライト的に重要な話題を拾うように講義する。学生諸君の希望によっては、後期は、19世紀以降の論理学や数理と哲学の話題にも触れる。

履修上の留意点

いわゆる自然科学についての具体的な知識は前提としないが、数学や理科についての最小限の教養（中学レベルまで）は假定する。また、講義の中でやや複雑な諸概念が登場したとき、必要に応じて調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。

成績評価の方法

出席状況、随時のレポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふる た とも あき 古 田 知 章	文学部全学科選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自ら人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 ―人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろ さき つよし 黒 崎 剛	文学部全学科選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的に行っている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	たき ざわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	文学部全学科選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはいかに自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4)(7) 〔応用倫理学〕	矢野 浩司	文学部全学科選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、バックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。しかし、多くの人々は自分が選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、理論の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、チェチェン問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、ヒートアイランド、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。(一年間ですべての問題を扱うことはできないので、この中からセレクトすることになります。)

履修上の留意点

今年から一日二回講演になりましたので、座ることができると思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーで評価します。

教科書

プリントを使用しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清栄	文学部全学科選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、その思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書等

高木・末延・宮沢編『人権宣言集』(岩波文庫)
シンガー『私たちはどう生きるべきか』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	みなくちたくじゆ 水口拓寿	文学部全学科選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐって、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐって、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらうレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけがみよしまさ 池上良正	文学部全学科選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。(1)「宗教」概念の成立とその意義。(2)人類史と宗教。(3)現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 〔聖と俗〕 (2)	たなか のこ 田 中 かの子	文学部全学科選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るか、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ．宗教学の基本的立場、Ⅱ．原始時代の宗教、Ⅲ．一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ．諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ．聖なる母性の比較美術、Ⅵ．仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ．ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔世界観と儀礼〕	小 川 順 敬 <small>おがわ としゆき</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔日本人の宗教〕	洗 建 <small>あらい けん</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

日本人の多くは、自分は無宗教であると思っている。しかし、その同じ人が、正月には神社仏閣に初詣に行き、お彼岸にはお墓参りに行っている。これはどういう事なのであろうか。まず、日本人の宗教意識と宗教生活の実態を事実即して明らかにし、それを形成してきた宗教伝統の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半には、諸種の統計資料によって、日本人の宗教生活の実態を明らかにし、なぜそのようになってきたのかを考察する。後半は、日本人の宗教を形成してきた伝統、就中、その基層を流れている神道的なるものをたどって、日本文化の世界観的特徴を考察する。

履修上の留意点

個々の事実を覚えることよりも、問題を理解し、共に考えることを目指したいので、出席して共に考えて欲しい。原則として出席をとりたいたが、受講者多数の場合は出席に代わるレポートを夏休み前に提出して貰う。

成績評価の方法

原則として期末試験により成績評価する。その結果が合格点にやや届かない場合には、出席またはレポートの結果を配慮する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (5) 〔生活と宗教〕	菅原 としきよ 原 壽 清	文学部全学科選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (6) 〔民俗宗教の諸相〕	佐藤 のりあき 藤 憲 昭	文学部全学科選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。通常、宗教といえば、仏教やキリスト教などのように、特定の教義、儀礼、教団などが整備されている成立宗教を連想することが多い。だが、これと並んで他方には、仏教やキリスト教などの外来宗教と、日本の土着宗教とが混じり合い、生活に合った形で展開している宗教の存在を忘れてはならない。このような生活場面で展開している宗教を「民俗宗教」と呼ぶ。この講座では、民俗宗教の諸局面を通して日本人の心とその文化に迫ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の学問的特徴と、宗教文化に関する基本的な用語などについて具体的に解説する。次に、民俗宗教の概念を明らかにした上で、「憑霊（ひょうれい）信仰の諸相」「仏教と民俗宗教」などのテーマのもとに考察する。なお、「憑霊」とは、神霊または呪力が人間その他に乗り移り、あるいは影響を与えて、人間や事物に聖なる変化を生じさせると信じられている現象のことである。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出のこと。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（卒業年次生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。

卒業年次生のみ提出のレポートは、次の通り。[課題] 宗教文化に関する書物を読み、その感想文を作成する。[字数] 本文は2000字。[提出先と時期] 授業時に随時受けつける。ただし、授業時以外は受理しない。[その他] 表紙をつけること。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけばやし かず ひこ 竹 林 和 彦	文学部全学科選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	文学部全学科選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。
 具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学の位置づけ、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化、(5) ブナ帯文化、(6) 文化生態、(7) 地域文化と観光、(8) 地図、(9) 地名、(10) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30%）と定期試験の結果（70%）で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり（授業スケジュール順に掲載）。その他については、授業中に適宜紹介する。

- 高橋伸夫ほか1995.『文化地理学入門』（東洋書林）
 鈴木秀夫1988.『風土の構造』, 講談社（講談社学術文庫）
 佐々木高明1993.『日本文化の基層を探る』（日本放送出版会）
 田畑久夫2003.『照葉樹林文化の成立と現在』（古今書院）
 市川健夫ほか1984.『日本のブナ帯文化』（朝倉書店）
 中島峰広1999.『日本の棚田』（古今書院）
 溝尾良隆2003.『観光学』（古今書院）
 若林幹夫1995.『地図の想像力』, 講談社（講談社選書メチエ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口 太郎	文学部全学科選	4

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー

(後期)

- 4 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図
- 5 商品としての都市
場所のイメージ、デイズニーランド化、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
選好地図、まなごしの権力性、故郷、集団の風景、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

[前期] イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3～7)、
地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)

[後期] 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3～8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教科書

講義ではプリントを随時配布する。

参考書等

北川建次編 (2004) 『現代都市地理学』 (古今書院)
坂本英夫・浜谷正人編 (1985) 『最近の地理学』 (大明堂)
富田和暁・藤井 正編 (2001) 『図説 大都市圏』 (古今書院)
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

プロジェクターを用いて講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	とよ た ちよ こ 豊田千代子	国文2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きた むら みつ こ 北村三子	国・英・理・歴2選	2

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

教科書

ジョン・デューイ『経験と教育』 講談社学術文庫 798円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前期)	伊 藤 茂 樹 <small>いとう しげき</small>	観・歴・社・観・理	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・近代社会と教育
- ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	はぎ わら けん しろう 萩原 建次郎	英米文・福祉・心理2選	2

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
 - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
 - (2) 発達の思想を学ぶ
 - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	とよ た ちよ こ 豊田千代子	国文2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中の教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きた むら かつ こ 北村三子	国文・英文・地理・歴史2選	2

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と 社 会 (後期)	伊 藤 茂 樹 <small>いとう しげき</small>	経・社・社・心・理・環	2

講義のねらい	学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。
講義の内容・ 授業スケジュール	とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。 ・現代の教育問題 ・教育改革の現在
履修上の留意点	ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教 科 書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
そ の 他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	ほま 原 建次郎 萩原 建次郎	英米文・福祉・心理2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に活用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり場」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おお ほま きくこ 大 浜 幾久子	国文・英米文2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験(学期末)の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	夏堀 睦	理・政・社・観・心環	2

講義のねらい	幼児、児童・生徒の発達と学習のメカニズム、および援助、指導の方法について、教育心理学の見地から概説する。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ①発達とは何か ②知能・創造性・思考の発達 ③対人関係（と人格）の発達 ④特別な教育的ニーズを持つ子どもへの援助（障害児・才能を持つ子ども） ⑤新しい「学習」の捉え方 ⑥多重知能理論に基づく教育実践
履修上の留意点	学期末試験の成績を中心に評価します。
教科書	開講時に指示します。
参考書等	開講時に指示します。
その他	講義形式で行います。授業中に小レポートを課す場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	角野 善司	文学部全学科2選	2

講義のねらい	教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・15) 補遺
履修上の留意点	この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。
成績評価の方法	免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数半分以上ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。
教科書	使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。
参考書等	講義の進行に合わせ、適時紹介します。
その他	この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾久子	国文・英米文2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在のカリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

リポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参 考 書 等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	なつ ぼり ちか 夏 堀 睦	地・歴・社・融・心理	2

講義のねらい

- 1) カリキュラム—教授—評価のサイクルを中心に、教育活動を構成する諸要素について学習する。
- 2) 現行学習指導要領の特徴をふまえて、実践案作成課題に取り組む。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① カリキュラムの意義
- ② 現行学習指導要領の基本方針
- ③ 総合的学習の意義
- ④ 総合的学習の設計に関わる教授理論と評価法
- ⑤ C-I-A サイクルの構成
- ⑥ ポートフォリオ評価法を使ったC-I-A サイクルの設計

成績評価の方法

授業中の小レポートと学期末試験の成績によって評価します。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

授業中に適時紹介します。

そ の 他

一回目の講義のなかで実践案作成課題について説明を行います。必ず出席するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	すみののぜん 角野善司	文学部全学科2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) カリキュラム(教育課程)とは (2) カリキュラムに関する法制 (3) カリキュラム編成の原則 (4) 学習指導要領改訂の歴史 (5-7) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (8-10) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (11-12) 平成10年改訂学習指導要領(平成15年一部改正)の下での教育評価 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	小畑 和 <small>お ばた かず</small>	国文・英米文選	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的（Macroscopic）なもの見方」を身に付けて貰いたい。

社会分野

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。）
 - (2) 誕生に関する要因（出生・墮胎・殺児…）
 - (3) 幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…）
 - (4) 家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…）。
 - (5) 消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…）
 - (6) 会社生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…）
 - (7) 老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題…）などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	観・観・社・社・心臓	4

社会分野

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持つていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。また、毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	文学部全学科選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数と標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定
(19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用
(26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

社会
分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	もり 森 まさ 雅 ふみ 文	歴史・社会・心理	4

社会分野

講義のねらい

文化人類学は、諸文化の比較を通して人類の共通性と人間のあり方の多様性を解説する学問です。その醍醐味は、秘境を冒険したり奇習を知ることでなく、さまざまな人間性の表現を知り、そのまなざしを自分の身のまわりの事象にも向ける知的冒険です。講義は『他者』と『自己』のリアリティをめぐる文化理解の基礎的な枠組みと洞察力の養成を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

異文化理解を通じて形成された枠組みを、様々な民族史事例とともに解説します。前期は人々の社会関係や連帯・統合に関する議論を、後期は宗教と医療に焦点を絞り込んで人の存在様式やコスモロジーをめぐる議論を講述します。予定の詳細は初回に提示します。
 〈前期〉学史の概観（文化概念・通時／共時的視座）、人の一生と社会化（人生の諸理論・通過儀礼・ジェンダー）、家族・親族の絆（親子・婚姻・出自・祖先祭祀）、互酬性（交換／贈与）、エスニシティ（人種・民族・国家・日本論）
 〈後期〉民俗知識と経験、呪術と社会（妖術・邪術・シャーマニズム）、儀礼と象徴（文化の境界・穢れ・宇宙論・神話・秩序・物語論・場所）、人の存在様式（多重人格・憑依・王権）、医療文化（伝統医療・国民文化・健康・病い・死）

履修上の留意点

受講生の意見も講義に還元したいので積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

前期後期の学年末筆記試験が基本ですが、授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容を平常点として加味します。

教科書

特定の教科書は指定しません。

参考書等

内容が多岐に渡るので適宜授業時に紹介します。

その他

授業は講義形式。ビデオ等の視聴覚教材も使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	おがわ 小川 とし 順 ゆき 敬	国文・英米文選	4

講義のねらい

文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	けい たく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	国文・英米文選	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

社会分野

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
 (6) 各種基本的人権の内容
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	佐藤多美夫	国文・英米文選	4

社会分野

講義のねらい

私たちは、社会の中で生活しているが、それは現代法の中で活動していることでもある。社会の仕組みや働きは、憲法を中心として刑法・民法・商法・労働法・経済法・行政法などの法によって規律されている。この講義は、政治・裁判・市民生活・経済・文化などの分野における現代法の原理や仕組みを把握しようと思う。私たちは法によって規律されてはいるが、また、法を利用し法を制定・改廃するのも私たちである。この講義が、このような現代法の実態と諸問題を理解するために役立てればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 現代法の特徴
 1. 法とは何か
 2. 近代法の原理と展開
 3. 明治憲法から日本国憲法へ
 4. 日本国憲法の特徴
- II 政治機構と法
 5. 国民主権と政治権力
 6. 民主的統治の機構
 7. 権力分立の原理
 8. 地方自治の保障
 9. 政治からの自由
 10. 政治への参加
 11. 国際政治と国際法
 12. 国際政治と人権
- III 裁判と法
 13. 裁判の機能
 14. 司法権の独立
 15. 刑事裁判の原則
 16. 民事裁判の原則
 17. 行政訴訟と不服審査
 18. 憲法訴訟の問題
 19. 法と判例
- IV 刑事裁判と法
 20. 捜査過程における人権の尊重
 21. 自白の証拠能力
 22. 刑事手続と行政手続
 23. 公安条例と集団行動の自由
 24. 検閲と表現の自由
- V 市民と法
 25. 市民生活と法
 26. 財産法の原則
 27. 個人と法人
 28. 家族法
 29. 夫婦・親子・扶養
 30. 相続と法
 31. 市民法から社会法へ
- VI 文化と法
 32. 学問の自由
 33. 教育の自由
 34. 国家と宗教

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と国家〕	お 織 だ てる こ 織 田 晃 子	地理・歴史選	4

社会分野

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下の平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

『コンパクト六法』（岩波）
最近の判例を重視するため、プリントの配布が多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	ぬま た まさ ゆき 沼 田 雅 之	社会・福祉・心理選	4

社会分野

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいっても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
- 2～3. 自由・独立・平等
- 4～5. 憲法の役割
- 6～7. 現代社会の人権
- 8～9. 契約社会と法
10. 不法行為責任
11. 消費者の保護
- 12～. 予備日

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 人の生・死と法
17. 司法制度改革と裁判員制度
18. 企業と法
19. 労働と法
20. 社会保障と法
21. 私的紛争とその解決
22. 国際社会と法
- 23～. 予備日

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的には後期試験（筆記）のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書として次のものを指定します。プリント等は配布しません。各自テキストを用意してください。森泉章『法学（第3版）』（有斐閣）2,500円。

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

必ずしも教科書の構成どおりに講義を進行させませんので、注意してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	池田実 <small>いけだみのる</small>	文学部全学科選	4

社会分野

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』(法律文化社)
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』(暁嶺野書院)平成17年4月刊行予定

上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程

前半					後半						
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金					8月29日	月	○	○	○	○
8月1日	月					8月30日	火	○	○	○	○
8月2日	火	△	△	△	△	8月31日	水	○	○	○	○
8月3日	水					9月1日	木	○	○	○	○
8月4日	木					9月2日	金	○	○	○	○
8月5日	金					9月5日	月	○	○	○	○

(△は予備日)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔政治システムと政治参加〕	み と かつ のり 水 戸 克 典	国文・英米文・地理選	4

社会分野

講義のねらい

日々ニュースで報道される政治現象の背後には、政治の表舞台・裏舞台において自らの理念や利益を実現しようと活動する多数のアクター（政治家、政党、官僚、利益集団、有権者など）が存在します。それらアクターはいったいどのような行動原理に基づいて活動しているのでしょうか？

本講義では、政治的アクターの組織と活動、及びそれらを取り巻く政治諸制度の基礎について、具体的かつ身近な事例を取り上げながら、検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

概ね以下の点を中心に講義を進めます。

- 1 ガイダンス
- 2 権力、権威
- 3 選挙制度と投票行動
- 4 国会の制度と立法過程
- 5 政党と政党制
- 6 内閣と首相
- 7 官僚制
- 8 利益集団の圧力活動
- 9 地方政治と政策決定
- 10 マス・メディアと世論
- 11 民主主義のモデル
- 12 日本政治の課題と展望

履修上の留意点

履修にあたり、特に予備知識は必要としません。
但し、現代の政治現象に関心のある学生の履修が望ましいと思われまます。

成績評価の方法

定期試験、平常点（小テスト等）、（場合によってはレポート）の結果を総合的に勘案し、評価します。

教 科 書

授業中に適宜指示します。

参 考 書 等

授業中に適宜指示します。

そ の 他

授業方法一原則として講義形式とする予定です。詳細は初回の授業時に説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	三船恵美	歴史・社会・福祉・心理	4

社会分野

講義のねらい

本講義では、現代日本が国際社会で直面しているさまざまな問題の基本的な概念や知識について学びます。本講義は、副題が示すように、「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材に「政治を視る眼」を養うことを目的とします。現代日本が直面している問題について、「何が問題になっているのか」、「原因は何か」、「その問題の解決のためにどのような取り組みがなされているのか」について、「国内政治・国内要因と国際政治との関連」、「地域秩序との関連」、「日本の国際貢献」、という視角から考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なテーマとしては、米軍再編とアメリカの対東アジア戦略、日米同盟の再構築、日本の自衛隊と国際貢献、米中関係の変化が日中関係・日米関係に与える影響、中国のエネルギー戦略をめぐる諸問題、中国の戦略的海洋進出、尖閣諸島領有問題、日本の対中国 ODA 問題、米中台関係と日本の安全保障、韓国の文化産業戦略と日韓関係、朝鮮半島の核危機と日本、日中・日韓歴史問題、戦後補償問題、日本の戦後教育とアジア、東アジア共同体の可能性と限界、イラン・アザデガン油田開発問題と日本、などを予定しています。これ以外にも、講義の時期に実際に起こる政治事件や政治状況を取り上げていきます。

政治学を専攻していない学生を対象とする本講義が、受講生に政治について考えるきっかけを提供するものになるように、講義したテーマについて、時々、教場レポートを書いてもらいます。

成績評価の方法

学期末試験（前期50%+後期50%）。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

用いません。

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代社会と市場経済〕	島中貴	歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に授業時に配布するプリントに沿って行う。スケジュールは以下の通り。
 (前期) (1) ガイダンス (2) 経済主体と市場 (3・4) 需要曲線、供給曲線 (5・6) 価格および取引数量の変化 (7・8) 家計の経済活動 (9・10) 企業の経済活動 (11・12) 厚生経済学の基本定理と市場の失敗 (13) 前期末試験
 (後期) (14) 独占 (15) 情報の不完全性 (16) GDPの3面等価 (17) 産出量の変動、物価水準の変動 (18・19) 完全雇用の状態におけるマクロモデル (20・21) 不完全雇用の状態におけるマクロモデル (22・23) 財政政策、金融政策 (24・25) 国際貿易 (26) 経済成長

履修上の留意点

講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するためにはそれなりの労力と時間を必要とする。配布されたプリントを、期末の試験までに何度も読み返し、分からない部分については積極的に質問をすること。世界一頭のいい人であっても、プリントを一度読んだだけで、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追・再試験は実施する。

教科書

教科書は使用しない予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	もり 森 たい 田 せい 成 や 成 也	国文・英米文選	4

社会分野

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

（1）はじめに （2）社会と経済 （3, 4）商品・貨幣 （5, 6, 7, 8）資本と剰余価値 （9）賃金 （10, 11）資本の蓄積 （12）利潤と利潤率 （13）利子生み資本と株式資本

（14, 15）独占資本、国家、外国貿易 （16）世界市場と帝国主義

（後期）日本経済の基本構造を学ぶ

（17, 18）戦前の日本と戦後日本経済の出発 （19, 20）現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 （21, 22）企業社会の形成と日本的働き方の確立 （23）低成長期以降の企業社会の肥大化 （24）企業社会と女性 （25, 26）経済大国日本とバブル経済

（27, 28）長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいしゆうじ 大石雄爾	文学部全学科選	4

社会分野

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きの姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

社会分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳 堀 素雅子 <small>やなぎ ほり すがこ</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい	人間の生と死の問題を多角的な方向から考察していく。その際に重要となることは、どのような視点から人間の生と死を考察していくかということである。医学的、生物学的に見た人間の生と死、文化や民族や国や宗教によって異なる死生観、環境問題と人間の関係などの問題を考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	戦争と人間の死の問題。 環境問題と人間の関係。 先端医療と人間の生と死の問題
履修上の留意点	単に知識を詰め込むだけでなく、情報を分析し、自分の見解を明確に論じることができるようになる必要がある。出席状況が悪いと講義の内容についていけないので、講義には必ず出席するように。
成績評価の方法	レポートの提出状況、出席状況などを総合的に評価する。
教科書	なし
参考書等	授業中にその都度紹介する。
その他	ビデオ、DVDも豊富に使用する。 参加人数が少なければ、討論も取り入れる予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕	野 中 弘 敏 <small>の なか ひろ とし</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい	「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。 「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。 講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。
講義の内容・授業スケジュール	おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。 ・「心理的異常」の考え方をめぐって ・人間の心理-社会的発達 ・人格の構造と機能 ・心理臨床的アセスメント（心理検査など） ・心理療法の基本的考え方 ・さまざまな心理臨床現場での実際
成績評価の方法	夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。
参考書等	一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	国文・英米文選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 生物の生活
 - (1-5) 地球の歴史と生命の期限
 - (6-13) 生態系のしくみ
- (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
 - (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 - (22-23) 水銀汚染と水俣病
 - (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水 善和	理・融・社・融・心理	4

自然分野

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンプリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他

講義に必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の素顔と地球環境問題〕	かとう きよし 加藤 潔	国文選	4

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

自然分野

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に2回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の変遷・生命の進化〕	こいけ としき 小池 敏夫	英米文・歴史選	4

講義のねらい

地球は誕生以来、地球内部のエネルギー循環により、大規模な変動を繰り返してきたこと、それに伴う自然環境の変化と関わりながら生命は進化してきたことを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

地球は、その深部に貯えた熱エネルギーを大規模に放出するイベントを繰り返してきた。そのため、大陸の合体・分裂や大規模な火山活動が生じ、太陽エネルギーの受容量や大気中の二酸化炭素の濃度は大きく変化、地球は全面凍結や灼熱の地獄を経験した。地球上に誕生した生命は、自然環境の大変動による大量絶滅、あるいは新しい環境への適応放散を経ながら、多様性を増してきたのである。前期は地球の変動の主役、大陸の合体・分裂とそれに関わる地質事象（日本列島の成立、火山活動、地震）を中心に、後期は生命進化と自然環境の変動との関わりについて解説、学生諸君に考察してもらう。

1. 海と陸の地質的特徴
2. 大陸移動の証明
3. 大陸の合体・分離の原動力
4. 日本列島の生い立ち
5. 地震の予知と対策
6. 地球環境の変動と生物進化
7. 分子生物学から知る生命の繋がり
8. ヒトの起源・現代人のルーツ

成績評価の方法

毎週、授業の内容に関する様々な問題について考察し、筆記してもらう。それに基づいて成績評価を行なう。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業の中で、そのつど紹介する。

その他

配布資料に基づいて授業を進める。必要に応じOHPなどを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球システムと人間圏〕	さわぐち たかし 澤口隆	地理・社会・福祉・心理系	4

講義のねらい

宇宙形成から150億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのでしょうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

自然分野

講義の内容・授業スケジュール

まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. イントロダクション | 13. 地球温暖化 |
| 2. 空間と時間のスケール | 14. オゾン層の破壊 |
| 3. NHK スペシャル地球大進化 | 15. エルニーニョ |
| 4. 太陽系形成の標準モデル1 | 16. 火山 |
| 5. 太陽系形成の標準モデル2 | 17. 地震 |
| 6. 火星と地球 | 18. 地震予知 |
| 7. 宇宙開発の歴史 | 19. 南極大陸 |
| 8. 地球と月の始まり | 20. 地球資源問題と環境破壊 |
| 9. 地球の歴史と全球凍結 | 21. 原子力発電 |
| 10. 地球上の生命の誕生 | 22. 放射性廃棄物の地層処分 |
| 11. 元素の誕生 | 23. 地熱発電 |
| 12. 地球システム | 24. 複雑系 |
| | 25. 総まとめ |

履修上の留意点

毎回独立したトピックについての講義を行う。
それに関連した内容の課題レポートが半期に3-5回程度課される。

成績評価の方法

提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。

教科書

使用しない。適宜プリントを配布。

参考書等

『岩波講座・地球惑星科学』（全14巻）

その他

毎回出席を取ります。遅刻・途中退席は認めません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔生命と環境〕	もち まる まり 持 丸 真 里	国文選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2) 生物とは何か (3) 生命の誕生と地球環境
(4) 地球温暖化 (5) 生態系内の物質循環 (6) 生産者の働きと生態系
(7) 森林破壊
- (後期) (8) 生態系の浄化作用 (9) 化学物質による生態系汚染
(10) ダイオキシン問題 (11) 環境ホルモン (12) オゾン層破壊
(13) 近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教 科 書

なし

参 考 書 等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）
1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔生命と環境〕	な ぐ む ら と し え 中 村 敏 枝	国文・地理・社会・福祉・心理選	4

自然分野

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
 (1-6) 自然のしくみ
 (7-12) 自然の改変
 (後期) 食をめぐる問題
 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

使用しません。

参 考 書 等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
 その他については授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生物の集団と環境〕	さか まま よし あき 坂 巻 義 章	英文文・歴史選	4

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。この知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 (1) 生物とは何か (2、3) 環境とは何か (4、5) 生物の歴史と環境 (6、7) 食物連鎖 (8、9) 生態系 (10) 生産者と消費者 (11,12) エネルギー流 (13) 前期のまとめ
後期 (14) 生態ピラミッド (15) 個体群 (16) 出生と死亡 (17) 競争と住み分け (18) 共生と寄生 (19) 捕食 (20) 土壌 (21) 分解者 (22) 物質循環 (23) 里山の生態系 (24) 人口問題 (25) 環境問題 (26) まとめ

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔変動する地球と環境〕(夏季集中)	やま もと ゆづる 山 本 由 弦	文学部全学科選	4

講義のねらい

自然環境の変化を考えるためには、人類による物理的・化学的環境汚染など社会的要因によるものと、地震や火山活動に代表される自然的要因をあわせて考えることが必要とされる。本講義では、後者の自然的要因に焦点をしぼり、これらの諸現象とその地球科学的背景についての理解を深めることをねらいとしている。特に日本列島がプレートテクトニクスなど地球科学体系の中でどういった位置にあるのかを理解することを最初期の目的とし、最新の研究成果を紹介しながら災害や自然環境変化の要因を考える。また、日本列島とは異なった地球科学的背景が見られる世界各地の例も一部紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球の構造と日本列島の地球科学的位置
2. 日本を構成するもの－付加体・衝突帯・火山列
3. 地震と断層
4. 斜面崩壊と液状化
5. 日本の地球科学的環境－関東周辺・南九州
6. 世界の地球科学的環境－大陸：米国・アジア 造山帯：米国・英国

成績評価の方法

出席およびレポート

参考書等

講義の中で紹介

その他

液晶プロジェクターもしくはOHPを使用

授業日程

前半					後半						
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月	△	△	△	△
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月	△	△	△	△

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里	文学部全学科選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてはしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追再試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価をうけること。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	文学部全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門の事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。

自然分野

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微積分分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (2) 〔線形代数学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	文学部全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門の事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微積分分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田賢一	文学部全学科選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。

本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。また、時間が許せば、経済工学・金融工学の基礎もともに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用、
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用、交通・運輸の数理、経営の数理

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。また、社会・経済現象に対する認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	坂野井和代	文学部全学科選	4

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理、確率と統計について学ぶ。後期は、主に形式言語理論の基礎について学ぶ。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円
J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I [第2版]』（サイエンス社）2,800円
ISBN4-7819-1027-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	文学部全学科選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	持丸真里	文学部全学科選	4

- 講義のねらい** 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染
- 履修上の留意点** 授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。
- 成績評価の方法** 出席点と筆記試験による。
- 参考書等** 講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	篠原正雄	文学部全学科選	4

- 講義のねらい** 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり振り返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン
- 履修上の留意点** この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。
- 成績評価の方法** 学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。
- 教科書** 高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円
- その他** 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。
なお、履修者数によっては、シラバス通りの講義の実施が物理的に不可能になることもあり得ます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ざ わ 小 沢 誠	文学部全学科選	2

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教 科 書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> の HTML と CSS を教科書として使用します。

参 考 書 等

『改訂第4版オールカラー HTML ポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円

そ の 他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	文学部全学科選	2

自然分野

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本
 (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
 (6～7) ワープロソフトと日本語変換 (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
 (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
 (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、(1) 出席状況、(2) 授業期間中に適宜行う演習やレポート(成果物)、(3) 授業の最終回で行う実技試験および筆記試験を総合的に評価します。

教 科 書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介します。

そ の 他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	文学部全学科選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわぐち たかし 澤口 隆	文学部全学科選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	文学部全学科選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(11)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	○	○	○				8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	△	△	△				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	○	○	○				9月5日 月						

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さかのい かず 坂野井 和 代	文学部全学科選	2

自然分野

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやるのもよいか、何をやるてはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日	金			○	○	○	8月29日	月					
8月1日	月			○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火			○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水			○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木			○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金			△	△	△	9月5日	月					

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信	文学部全学科選	2

自然分野

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程

コンピュータ基礎(13)

前半						後半						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
7月29日	金	△					8月29日	月				
8月1日	月	○	○	○			8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○			8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○			9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○			9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○			9月5日	月				

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7月29日	金						8月29日	月	○	○	○		
8月1日	月						8月30日	火	○	○	○		
8月2日	火						8月31日	水	○	○	○		
8月3日	水						9月1日	木	○	○	○		
8月4日	木						9月2日	金	○	○	○		
8月5日	金						9月5日	月	△				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが まか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	文学部全学科選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を一通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○			8月29日	月					
8月1日	月	○	○	○			8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○			8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○			9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○			9月2日	金					
8月5日	金	△	△	△			9月5日	月					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (15)(16)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小 川 健次郎 <small>お がわ けんじろう</small>	文学部全学科選	2

自然分野

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (15)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	○	○	○				8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	○	○	○				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	△	△	△				9月5日 月						

△は予備日

コンピュータ基礎 (16)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金				○	○	○	8月29日 月						
8月1日 月				○	○	○	8月30日 火						
8月2日 火				○	○	○	8月31日 水						
8月3日 水				○	○	○	9月1日 木						
8月4日 木				○	○	○	9月2日 金						
8月5日 金				△	△	△	9月5日 月						

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金							8月29日 月	○	○	○			
8月1日 月							8月30日 火	○	○	○			
8月2日 火							8月31日 水	○	○	○			
8月3日 水							9月1日 木	○	○	○			
8月4日 木							9月2日 金	○	○	○			
8月5日 金							9月5日 月	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(20) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	さかのい かず よ 坂野井 和 代	文学部全学科選	2

講義のねらい	コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	さかのい かず よ 坂野井 和 代	文学部全学科選	4

講義のねらい	コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、Visual Basicという言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。最後に、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。
履修上の留意点	プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作(ウィンドウ操作、電子メール、wwwの利用など)はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識(関数logなど)が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』(翔泳社) 1,900円 ISBN4-88135-718-2
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1)(2) 〔人類の進化〕	篠田 謙一 <small>しの だ けん いち</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

人類学はひとことでは「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。
 「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

自然分野

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

R. ルーウィン著、保志 宏訳『ここまでわかった人類の起源と進化』（てらべいあ）
3,200円 ISBN：4-88699-013-4

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話を聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	北川 公路 <small>きた がわ こう じ</small>	国文・英米文選	4

講義のねらい

心理学をこれから学ぼうと考えている人のなかには先入観をもっている人が多いと思われる。それはマスコミなどで取りあげられることの多い深層心理やカウンセリングの問題である。そのため心理学ではそれだけを扱うものであるという誤解が生まれやすい。臨床心理の問題も、心理学の中で重要な問題領域であるが、心理学が扱う問題は、それだけではないということ学ぶ。
 心理学全般をおさえ、日常生活において心理学を生かしていく「きっかけ」を身につけることが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

心理学は独立した学問として認められてから、多くの研究領域に分化し、それぞれ多くの基礎的事実を蓄積してきた。そのようなすでに確立した基礎的な事実と考え方を、いずれの学歴にも偏らない立場ですすめるとともに、できるかぎり最新の成果をとりいれてすすめていく。基礎的分野だけではなく、社会生活の広い分野で心理学が応用されている現状を反映させて、心理学の応用分野についてもふれていく。前期は主に基礎的分野について、後期は主に応用分野について進めていく予定である。

履修上の留意点

具体的な内容、成績評価については初回の授業時に説明する。

成績評価の方法

定期試験、レポート提出、出席など総合評価とする。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜案内をする。

その他

授業方法は履修者数により決めるが、基本的なスタイルとして講義形式を考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕	な とり し ほ 名 取 志 保	国文・英米文選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることも含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、人格などの他、生理学や社会学など関連分野についても講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法

試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）と出席点による。

教 科 書

第1回目の講義で紹介する。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	なかまる 丸 茂 なかまる 丸 茂	地理・歴史選	4

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学Ⅰ ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学Ⅱ バナナとリンゴ
6. 行動分析学Ⅲ 月に向かって吠える
7. 認知心理学Ⅰ マジカルナンバー
8. 認知心理学Ⅱ カクテルパーティ
9. 認知心理学Ⅲ 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物がお好き？
11. 社会心理学Ⅰ 他人を好きになる時
12. 社会心理学Ⅱ 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤！！
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学Ⅰ 知識は人類を駄目にする！！
18. 所信の心理学Ⅱ マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリング モラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいのか

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書 理解度 UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000（北大路書房）
講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚）年間 40～50枚

参考書等

講義用の配布資料で紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	たかほしひろ 高橋良博	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 [心を科学する](夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀内正彦	文学部全学科選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- (1) 私語は厳禁である。
- (2) 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- (3) 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△			
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	文学部全学科選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。それを前提にして、「肉食」というテーマを、仏教思想を包括する意味でのインド思想全体の関連の中で検討する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	文学部全学科選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ (2) 〔自然観察入門富浦を めぐる人と自然〕	清水 善和・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫	文学部全学科選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習を行う。また、夏休み中に千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、泊まり込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方を学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習を行う。内容に応じて、合計8名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。

前期半期：本校での講義（一部実習を含む）

(1) ガイダンス (2) 自然観察の方法 (3) 植物の観察1 (4) 植物の観察2 (5) バードウォッチングの方法 (6) バードウォッチングの実習 (7) 化学的な見方1 (8) 化学的な見方2 (8) 地球科学的な見方1 (10) 地球科学的な見方2 (11) 天体観測の方法1 (12) 天体観測の方法2 (13) 富浦実習に向けて

富浦での講義と実習：7月17日（日）午後－7月21日（木）午前（4泊5日）

午前の講義、午後の野外実習、夜の天体観測など。

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加するのみ履修すること。採点の都合上、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費1万6千円を4月中旬に徴収する）。実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計7名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点とを総合して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試は行わない。

教科書

特になし。

参考書等

各担当教員が必要に応じて紹介する。

その他

抽選の可能性があるので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	文学部全学科選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・
授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか きさき としちろう 岡 崎 寿一郎	文学部全学科選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔女性学・男性学〕	すぎやまひでこ 杉山秀子	文学部全学科選	4

総合分野

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるもの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教科書

プリントその他を必要におうじて配布する。
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参考書等

参考書はその都度列挙する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明人	文学部全学科選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむら けうこ 西村 祐子	文学部全学科選	4

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市のNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。
前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
コミュニティ・ビルディングとNPO
シアトルのまちづくり
シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
アメリカにおける移民とNPO
自治体とNPOの協働について

後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較
日本のまちづくり政策とNPO
世田谷区のまちづくりとNPO
まちづくり協議会とNPO
兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO
日本における移民政策とNPO

履修上の留意点

マルチメディア教場で講義をおこない、インターネットやビデオなどを毎回使う。受講人数は50名に限定。授業でコンピュータにアクセスするためにコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸小哲雄	文学部全学科選	4

講義のねらい

近代思想批判としてのポストモダンの世界を分析して、合理化と絶対世界に対する相対化と主体化の問題を取り上げて、それを乗り越えるための方法を見出すように講義します。

講義の内容・
授業スケジュール

モダニズムからポストモダニズムへの移行過程における問題を扱う。たとえば、近代の啓蒙思想の問題、合理性の問題、理性の暴力（排除されたもの）、相対化の問題、狂気の問題、建築・モード（ファッション）・エロス、携帯電話といったヴィジュアル系文化の問題、そして主体化過程を講義していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

配布されたリーディング・リストに基づいて前期と後期にそれぞれテキストを読み、レポートを作成し提出する。最後にタームペーパーにまとめて、「ポストモダンにおける〈主体性〉のあり方」という表題でレポートを提出すること。なお出席を重視します。

教科書

読書リスト配布
プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 股 陽太郎 <small>また ようたろう</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとはイギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、「地理的な面」と「人種的な面」から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するのか、どの人種に属するのかを決めるのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。しかし、「血」もさることながら、それを決定するのはその人の「所属意識」である。

ピクトおよびケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人およびヴァイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように常に自己を訓練しておくことである。そのためには自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。

偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白い。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポートはレポート用紙10枚程度のもを、12月末迄に提出。「引用文」には注（書名と頁数）を付し、参考文献名を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義のレジメ、参考文献、資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。その一助として、視聴覚機材（VHS、DVD、PC、書画カメラ）等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ、年間講義予定表に基づき講義を進めていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おののゆうじ 大野祐二	文学部全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしだきょうこ 吉田京子	文学部全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話、儀礼、救済、聖性の四側面から、宗教としてのイスラームにアプローチする予定。各5回から6回の授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	文学部全学科選	4

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきでゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いたもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅶ (1) 〔トラブルと法的解決〕	藤本 茂・荒木 正孝 竹中 智香・原田啓一郎 日笠 完治・山口 邦夫	文学部全学科選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII 〔都市論〕 (2)	内海 麻利・浦田 早苗 坂井 文・品田 知美 早川 純貴・保坂 尚郎	文学部全学科選	4

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

6名の講師により、各々4回講義を担当する。その順序、時期と講義内容は以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス (1回：4月)

品田知美「都市の変容と生活様式」(4回：4月・5月)

多くの人々が集う都市には、独特の生活様式が見いだせる。本講義では、大都市圏を中心とした日本の都市的生活様式を、主に2つの視角から振り返る。(1) 環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するか。(2) 家族：都市は、新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるか。過去を知り、現在を理解しながら、ともに近未来を考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(4回：5月・6月)

都市における労働では、快適な通勤の実現や子育てとの両立などが課題となる。この講義では、通勤と関わる需要サイドを重視した交通政策「TDM」の展望や裁量労働制、SOHOワークなど新たな働き方と保育制度改革のあるべき方向などを検討し、「痛勤」からの解放と労働と子育ての両立を考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回：6月・7月)

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

内海麻利 「都市計画制度とその動向」(4回：9月・10月)

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られる都市づくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」(4回：10月・11月)

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

坂井 文 「都市を公共空間から読む」(4回：11月・12月)

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にもなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

綜合分野

3. 外 国 語 科 目

科外
国
目語

3 . 外 国 語 科 目

〔 英 語 〕

英語 I A (国・地)	〈井出功一〉	115
英語 I A (国・地)	〈安斎薫〉	115
英語 I A (国)	〈大淵利春〉	116
英語 I A (国)	〈渡部孝治〉	116
英語 I A (英)	〈濱口真木〉	116
英語 I A (英)	〈児林英子〉	117
英語 I A (英)	〈山口晃〉	117
英語 I A (英)	〈植村恵子〉	117
英語 I A (地)	〈古富猛〉	118
英語 I A (地)	〈児林英子〉	118
英語 I A (歴)	〈水崎野里子〉	119
英語 I A (歴)	〈岩屋玉江〉	119
英語 I A (歴)	〈川崎笑佳〉	119
英語 I A (歴)	〈真砂久晃〉	120
英語 I A (歴)	〈池上賀英子〉	120
英語 I A (歴)	〈三芳康義〉	120
英語 I A (社)	〈木村正俊〉	121
英語 I A (社)	〈平林卓郎〉	121
英語 I A (福)	〈濱口真木〉	121
英語 I A (福)	〈植村恵子〉	122
英語 I A (福)	〈山口晃〉	122
英語 I A (心)	〈岩永祥恵〉	123
英語 I A (心)	〈ササキ, M.〉	123
英語 I A (心)	〈風間則比古〉	123
英語 I A (国・英・地・歴)	〈大庭直樹〉	124
英語 I A (社・福・心)	〈丸小哲雄〉	124
英語 I B (国)	〈濱口真木〉	125
英語 I B (国・英)	〈高橋佳江〉	125
英語 I B (国・地)	〈高橋明子〉	126
英語 I B (国)	〈増田恵子〉	126
英語 I B (英)	〈岡崎寿一郎〉	126
英語 I B (英)	〈杉村初枝〉	127
英語 I B (英・歴・社)	〈国見晃子〉	127
英語 I B (地)	〈尾形重政〉	128
英語 I B (地)	〈増田恵子〉	128
英語 I B (地)	〈本間章郎〉	128
英語 I B (歴・社)	〈高橋佳江〉	129
英語 I B (歴・福)	〈高橋明子〉	129
英語 I B (歴)	〈依田里花〉	129
英語 I B (歴)	〈本間章郎〉	130
英語 I B (歴)	〈三幣友行〉	130
英語 I B (福)	〈依田里花〉	130
英語 I B (福)	〈山縣裕裕〉	131
英語 I B (心)	〈尾形重政〉	131
英語 I B (心)	〈狩野晃一〉	131

科外
国語
目録

英語 I B (心)	〈小泉和弘〉	132
英語 I B (文学部全学科)	〈三幣友行〉	132
英語 II A (国)	〈北村弘文〉	133
英語 II A (国)	〈木村正俊〉	133
英語 II A (国)	〈岩永祥恵〉	134
英語 II A (英・社)	〈古富猛〉	134
英語 II A (英)	〈石原孝哉〉	134
英語 II A (英)	〈加藤佐和子〉	135
英語 II A (英)	〈山縣裕〉	135
英語 II A (地)	〈甲斐捷子〉	136
英語 II A (地)	〈小布施圭佐三〉	136
英語 II A (地)	〈太田美智子〉	137
英語 II A (地)	〈岩井洋美〉	137
英語 II A (歴)	〈木村克彦〉	137
英語 II A (歴)	〈江田幸子〉	138
英語 II A (歴)	〈佐藤江里子〉	138
英語 II A (歴)	〈松堂啓子〉	138
英語 II A (歴)	〈川手浩一〉	139
英語 II A (社)	〈堀千和子〉	139
英語 II A (心)	〈尾上典子〉	140
英語 II A (心)	〈太田由紀子〉	140
英語 II A (心)	〈外池一子〉	140
英語 II B (国)	〈牧野輝良〉	141
英語 II B (国)	〈佐藤勝〉	141
英語 II B (国)	〈長谷川公一〉	142
英語 II B (英)	〈山口晃〉	142
英語 II B (英)	〈菅原典子〉	142
英語 II B (英)	〈伊藤美代子〉	143
英語 II B (英)	〈三芳康義〉	143
英語 II B (歴)	〈杉本誠〉	143
英語 II B (歴)	〈高見陽子〉	144
英語 II B (歴)	〈町田成男〉	144
英語 II B (歴)	〈依田里花〉	145
英語 II B (歴)	〈近藤真彫〉	145

[ドイツ語]

ドイツ語 I A (国・地・社・福・心)	〈野島利彰〉	146
ドイツ語 I A (国・地・社・福・心)	〈杉本正俊〉	146
ドイツ語 I A (国・地・社・福・心)	〈五十嵐信子〉	147
ドイツ語 I A (英・歴)	〈岡本時子〉	147
ドイツ語 I A (英・歴)	〈野島利彰〉	148
ドイツ語 I B (国・地・社・福・心)	〈杉本正俊〉	148
ドイツ語 I B (国・地・社・福・心)	〈岡本時子〉	149
ドイツ語 I B (国・地・社・福・心)	〈南はるつ〉	149
ドイツ語 I B (英・歴)	〈杉本正俊〉	149
ドイツ語 I B (英・歴)	〈岡本時子〉	150
ドイツ語 II A (国・英・地・歴)	〈柴野博子〉	150
ドイツ語 II A (国・地・歴)	〈飯塚公夫〉	151
ドイツ語 II A (英)	〈本橋右京〉	151

ドイツ語ⅡB (国・歴)	〈森 公 成〉	152
ドイツ語ⅡB (国・歴)	〈堀 内 美 江〉	152

〔 フ ラ ン ス 語 〕

フランス語ⅠA (国・地・社・福・心)	〈出 口 雅 敏〉	153
フランス語ⅠA (国・地・社・福・心)	〈小 玉 齊 夫〉	153
フランス語ⅠA (国・地・社・福・心)	〈遠 山 博 雄〉	154
フランス語ⅠA (英・歴)	〈佐 藤 久美子〉	154
フランス語ⅠA (英・歴)	〈今 関 ア ン〉	155
フランス語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈桑 田 禮 彰〉	155
フランス語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈浜 崎 設 夫〉	156
フランス語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈長谷川 光 明〉	156
フランス語ⅠB (英・歴)	〈前 田 祝 一〉	156
フランス語ⅠB (英・歴)	〈浜 崎 設 夫〉	157
フランス語ⅡA (国・地・歴)	〈前 田 祝 一〉	157
フランス語ⅡA (国・地・歴)	〈遠 山 博 雄〉	157
フランス語ⅡA (英)	〈小 玉 齊 夫〉	158
フランス語ⅡA (英)	〈沼 倉 広 子〉	158
フランス語ⅡB (国・歴)	〈畑 中 千 晶〉	159
フランス語ⅡB (国・歴)	〈小 玉 齊 夫〉	159

〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB (文学部全学科)	〈布施直子・徳間佳信〉	161
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈福地桂子・大久保明男〉	162
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈工藤早恵・布施直子〉	162
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈釜屋修・下出宣子〉	162
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈塩 旗 伸一郎〉	163
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈佐 藤 普美子〉	163
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈本間由香利・曹泰和〉	164
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈福地桂子・曹泰和〉	164
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈工藤早恵・塩旗伸一郎〉	165
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈上原かおり・下出宣子〉	165
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈本間由香利・佐藤普美子〉	166
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈釜 屋 修〉	166
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈小 川 隆〉	166
中国語ⅡA (国・地・歴)	〈松 本 丁 俊〉	167
中国語ⅡA (国・地・歴)	〈福 地 桂 子〉	167
中国語ⅡA (国・地・歴)	〈李 雲〉	167
中国語ⅡA (国・地・歴)	〈弘 兼 加奈子〉	168
中国語ⅡA (英)	〈釜 屋 修〉	168
中国語ⅡA (英)	〈佐 藤 普美子〉	168
中国語ⅡA (英)	〈李 雲〉	169
中国語ⅡA (英)	〈松 本 丁 俊〉	169
中国語ⅡB (国・歴)	〈根 岸 政 子〉	169
中国語ⅡB (国・歴)	〈張 宏 波〉	170
中国語ⅡB (国・歴)	〈松 本 丁 俊〉	170

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA (国・地・社・福・心)	〈上野勝広〉	171
スペイン語ⅠA (文学部全学科)	〈ルイズティノコ, C.〉	171
スペイン語ⅠA (文学部全学科)	〈亀山晃一〉	171
スペイン語ⅠA (国・地・社・福・心)	〈ナバロ, ホワン J.〉	172
スペイン語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈佐藤麻里乃〉	172
スペイン語ⅠB (文学部全学科)	〈米田博美〉	173
スペイン語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈栗林ゆき絵〉	173
スペイン語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈荻野雅司〉	174
スペイン語ⅠB (英・歴)	〈佐藤麻里乃〉	174
スペイン語ⅡA (国・地・歴)	〈真下祐一〉	174
スペイン語ⅡA (国・地・歴)	〈上野勝広〉	175
スペイン語ⅡA (英)	〈大岩功〉	175
スペイン語ⅡA (英)	〈福本久美子〉	176
スペイン語ⅡB (国・歴)	〈福本久美子〉	176

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA (文学部全学科)	〈杉山秀子・佐野朝子〉	178
ロシア語ⅠB (文学部全学科)	〈廣田英靖〉	178
ロシア語ⅡA (国・地・歴)	〈木村英明〉	179
ロシア語ⅡA (英)	〈杉山秀子〉	179
ロシア語ⅡB (国・歴)	〈佐野朝子〉	180

《再履修クラス》

〔 英 語 〕

英語 I A [再クラス]	〈松 堂 啓 子〉	181
英語 I A [再クラス]	〈岩 井 洋 美〉	181
英語 I A [再クラス]	〈朝 川 真 紀〉	181
英語 I A [再クラス]	〈埴 美智子〉	182
英語 I A [再クラス]	〈吉 江 正 雄〉	182
英語 I A [再クラス]	〈西 村 祐 子〉	183
英語 I A [再クラス]	〈外 池 一 子〉	183
英語 I A [再クラス]	〈高 柳 文 江〉	184
英語 I A [再クラス]	〈桧 山 晋〉	184
英語 I A [再クラス]	〈岩 原 康 夫〉	184
英語 I A [再クラス]	〈丸 小 哲 雄〉	185
英語 I B [再クラス]	〈熊 沢 和 明〉	185
英語 I B [再クラス]	〈木 村 克 彦〉	185
英語 I B [再クラス]	〈江 田 幸 子〉	186
英語 I B [再クラス]	〈牧 野 正 秀〉	186
英語 I B [再クラス]	〈石 原 孝 哉〉	186
英語 I B [再クラス]	〈真 砂 久 晃〉	187
英語 I B [再クラス]	〈高 柳 文 江〉	187
英語 I B [再クラス]	〈熊 沢 和 明〉	187
英語 I B [再クラス]	〈近 藤 真 彫〉	188
英語 I B [再クラス]	〈飯 沼 好 永〉	188
英語 II A [再クラス]	〈菅 原 典 子〉	188
英語 II A [再クラス]	〈太 田 美智子〉	189
英語 II A [再クラス]	〈岡 崎 寿一郎〉	189
英語 II A [再クラス]	〈佐 藤 江里子〉	189
英語 II A [再クラス]	〈岡 崎 寿一郎〉	190
英語 II A [再クラス]	〈塚 本 利 男〉	190
英語 II A [再クラス]	〈太 田 由紀子〉	190
英語 II A [再クラス]	〈矢 鳥 直 子〉	191
英語 II A [再クラス]	〈相 馬 美 明〉	191
英語 II A [再クラス]	〈川 島 弘 之〉	191
英語 II A [再クラス]	〈町 田 尚 子〉	192
英語 II A [再クラス]	〈三 浦 眞 理〉	192
英語 II A [再クラス]	〈山 岸 二 郎〉	193
英語 II B [再クラス]	〈佐 藤 江里子〉	193
英語 II B [再クラス]	〈長谷川 公 一〉	193
英語 II B [再クラス]	〈川 手 浩 一〉	194
英語 II B [再クラス]	〈太 田 美智子〉	194
英語 II B [再クラス]	〈長谷川 公 一〉	194
英語 II B [再クラス]	〈田 中 保〉	195
英語 II B [再クラス]	〈落 合 和 昭〉	195
英語 II B [再クラス]	〈川 股 陽太郎〉	195
英語 II B [再クラス]	〈町 田 尚 子〉	196
英語 II B [再クラス]	〈本 間 俊 一〉	196
英語 II B [再クラス]	〈山 縣 裕〉	197
英語 II B [再クラス]	〈手 島 敬 子〉	197

[ドイツ語]

ドイツ語 I A	[再クラス]	〈志 真 斗美恵〉	198
ドイツ語 I A	[再クラス]	〈井 村 行 子〉	198
ドイツ語 I A	[再クラス]	〈藪 下 紘 一〉	198
ドイツ語 I A	[再クラス]	〈本 橋 右 京〉	199
ドイツ語 I B	[再クラス]	〈飯 塚 公 夫〉	199
ドイツ語 I B	[再クラス]	〈堀 内 美 江〉	200
ドイツ語 I B	[再クラス]	〈本 橋 右 京〉	200
ドイツ語 I B	[再クラス]	〈井 村 行 子〉	201
ドイツ語 II A・II B	[再クラス]	〈森 公 成〉	201
ドイツ語 II A・II B	[再クラス]	〈本 橋 右 京〉	201
ドイツ語 II A・II B	[再クラス]	〈岡 本 時 子〉	202

[フランス語]

フランス語 I A	[再クラス]	〈前 田 祝 一〉	203
フランス語 I A	[再クラス]	〈芦 原 眷 眷〉	203
フランス語 I A	[再クラス]	〈小 玉 齊 夫〉	203
フランス語 I A	[再クラス]	〈菅 原 猛 猛〉	204
フランス語 I A	[再クラス]	〈谷 川 かおる〉	204
フランス語 I B	[再クラス]	〈菅 谷 暁 暁〉	204
フランス語 I B	[再クラス]	〈今 関 ア ン ン〉	205
フランス語 I B	[再クラス]	〈伊 藤 な お 小 小〉	205
フランス語 I B	[再クラス]	〈長谷川 光 明 明 明〉	206
フランス語 II A・II B	[再クラス]	〈畑 中 千 晶 晶 晶〉	206
フランス語 II A・II B	[再クラス]	〈沼 倉 広 子 子 子 子〉	206
フランス語 II A・II B	[再クラス]	〈前 田 祝 一 一 一 一〉	207

[中国語]

中国語 I A・I B	[再クラス]	〈江 林 英 基 基 基〉	208
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈秋 元 翼 翼 翼 翼〉	208
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈塩 旗 伸 一 郎 郎 郎 郎〉	209
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈佐 藤 普 美 子 子 子 子〉	209
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈根 岸 政 子 子 子 子〉	209
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈張 宏 波 波 波 波〉	210
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈曹 泰 和 和 和 和〉	210
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈戸 張 嘉 勝 勝 勝 勝〉	211
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈三 田 村 圭 子 子 子 子〉	211
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈小 川 隆 隆 隆 隆〉	211
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈徳 間 佳 信 信 信 信〉	212
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈弘 兼 加 奈 子 子 子 子〉	212
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈蘭 明 明 明 明〉	212
中国語 II A	[再クラス]	〈平 石 淑 子 子 子 子〉	213
中国語 II A	[再クラス]	〈岩 崎 皇 皇 皇 皇〉	213
中国語 II A	[再クラス]	〈大 久 保 明 男 男 男 男〉	213
中国語 II B	[再クラス]	〈李 雲 雲 雲 雲〉	214
中国語 II B	[再クラス]	〈李 雲 雲 雲 雲〉	214
中国語 II B	[再クラス]	〈蘭 明 明 明 明〉	214

[スペイン語]

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	215
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	215
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈ナバロ, ホワン J.〉	216
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	216
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	216
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈萩 野 恵〉	217
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 麻里乃〉	217
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福 本 久美子〉	217
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	218
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	218

[ロシア語]

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣 田 英 靖〉	219
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子・木 村 英 明〉	219
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	220
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.・大須賀 史 和〉	220
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	220

《選 択 科 目》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	221
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	221
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	221
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	222
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	222
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	223
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	223
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	224
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈落 合 和 昭〉	224
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈大 庭 直 樹〉	225
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈西 村 祐 子〉	225
英 会 話 I	〈ウエルズ, J. K.〉	226
英 会 話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	227
英 会 話 I	〈ピアス, D. M.〉	228
英 会 話 I	〈ラッセル, S. J.〉	229
英 会 話 I	〈ラージ, R.〉	230
英 会 話 I	〈レーン, C. M.〉	231
英 会 話 II	〈ラッセル, S. J.〉	232
英 会 話 II	〈レーン, C. M.〉	233
英 会 話 II - 夏 季 集 中	〈ピアス, D. M.〉	234
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	235
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	236
英 会 話 III - 夏 季 集 中	〈レーン, C. M.〉	237
英 語 L L I	〈太 田 雅 子〉	238
英 語 L L I	〈甲 斐 捷 子〉	238
英 語 L L I	〈加 藤 佐 和 子〉	239
英 語 L L I	〈久 保 ひ さ 子〉	239
英 語 L L I	〈西 村 祐 子〉	240
英 語 L L I	〈埴 美 智 子〉	240
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	241
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	241
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	242
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	243
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	244
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	244
ド イ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	244
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	245
上 級 ド イ ツ 語	〈柴 野 博 子〉	245
ド イ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	246
ド イ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	246
ド イ ツ 語 I A (選)	〈五 十 嵐 信 子〉	247
ド イ ツ 語 I B (選)	〈藪 下 絃 一〉	247
ド イ ツ 語 II (選)	〈藪 下 絃 一〉	247
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈遠 山 博 雄〉	248
時 事 フ ラ ン ス 語	〈桑 田 禮 彰〉	248
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	249
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラ リ ア ・ 三 倉, M.〉	249

フランス語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	249
フランス語 I A (選)	〈出口 雅 敏〉	250
フランス語 I A (選)	〈遠 山 博 雄〉	250
フランス語 I B (選)	〈菅 原 猛〉	250
フランス語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	251
中国語外国書講読	〈佐 藤 普美子〉	251
時事中国語	〈塩 旗 伸一郎〉	252
上級中国語	〈釜 屋 修〉	252
中国語 L L I	〈岩 崎 皇〉	253
中国語 L L II	〈小 川 隆〉	253
中国語 I A (選)	〈釜 屋 修〉	253
中国語 I A (選)	〈宮 本 厚 子〉	254
中国語 I B (選)	〈蘭 明〉	254
中国語 II (選)	〈松 本 丁 俊〉	254
スペイン語外国書講読	〈真 下 祐 一〉	255
時事スペイン語	〈真 下 祐 一〉	255
上級スペイン語	〈上 野 勝 広〉	255
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	256
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	256
スペイン語 I A (選)	〈亀 山 晃 一〉	256
スペイン語 I B (選)	〈ナバロ, ホワン J.〉	257
スペイン語 II (選)	〈萩 野 雅 司〉	257
ロシア語外国書講読	〈廣 田 英 靖〉	257
時事ロシア語	〈木 村 英 明〉	258
上級ロシア語	〈ク ロ チ コ フ, Y.〉	258
ロシア語 L L I	〈安 徳 ニーナ〉	258
ロシア語 L L II	〈安 徳 ニーナ〉	259
ロシア語 I A (選)	〈ク ロ チ コ フ, Y.〉	259
ロシア語 I B (選)	〈木 村 英 明〉	260
ロシア語 II (選)	〈佐 野 朝 子〉	260
朝鮮語 I A・I B (選)	〈白 賢 美〉	260
朝鮮語 II (選)	〈白 賢 美〉	261

科外
国
目語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	井 出 功 一	国文・地理1必	2

講義のねらい

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。
英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

『*The Building of the Nation* アメリカの形成』(成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	安 齋 薫	国文・地理1必	2

講義のねらい

日常基本表現・会話に多く触れることで英語運用能力である『書く力』と『話す力』の習得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていきます。

履修上の留意点

予習をしてきて下さい。

成績評価の方法

出席状況、前期後期試験、レポートから総合的に評価します。

教科書

『*THE ROAD FROM WRITING TO SPEAKING* (コミュニケーションのための口語英作文)』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-5026-7

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	おお ぶち とし はる 大 瀨 利 春	国文1必	2

講義のねらい 基礎的な英文法を学び、作文の練習をすることによって、英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めるのと同時に、リスニングの小テストも行う。

履修上の留意点 予習はしっかりとしてくる。また、辞書を持参すること。

成績評価の方法 前、後期2回の試験の結果をもとにしながら、出席状況、日常の授業態度も考慮に入れて、総合的に評価します。

教科書 『Polish Up Your English』（成美堂）1,800円

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	わた べ こう じ 渡 部 孝 治	国文1必	2

講義のねらい 英語の運用能力の向上をめざす。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点 会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法 成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行ないます。

教科書 テキストについては、開講時に指示する。

参考書等 参考書等についても開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	はま ぐち まさ き 濱 口 真 木	英米文1必	2

講義のねらい 入学時の英語力を基盤として、英語の運用能力の向上を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点 予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法 平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教科書 『The Greatest Movie Songs 映画音楽で楽しむ総合英語』（金星堂）1,600円
ISBN4-7647-3735-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	こばやし ひでこ 児林英子	英米文1必	2

講義のねらい

英語英文学を専攻する学生に不可欠と思われる知識が得られる内容を目ざします。

講義の内容・授業スケジュール

英文を日本語に直すだけを目標とせず、正しく発音することからはじめて、英文を日常の用に足せるようつとめて行きたい。

履修上の留意点

新学期は、発音記号をも含めて初歩的な学習をします。従って、辞書を丹念に引いて、独習出来るようにしていただきたい。

成績評価の方法

授業時の発表、出席状況、前後期の全ての成績を総合的に評価します。

教科書

聖書か、ギリシャ神話を考えていますが、新学期の授業で発表します。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	やまぐち あきら 山口晃	英米文1必	2

講義のねらい

英文をしっかり読み、解釈していくことに、重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

環境、生活の問題を、一緒に考えられるような教材を使って、英語の理解を深める。

履修上の留意点

辞書は毎回、必ず持参。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価。

教科書

授業中にプリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	うえむらけいこ 植村恵子	英米文1必	2

講義のねらい

基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び英作文に習熟することを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを一冊用い、テキストの内容に沿って、声に出して発音したり、各自英語で表現したり、文章を書いてみたり、を一年を通じて取り組んでみたい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト）及び前期・後期試験による。

教科書

〈未定〉

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	こ 古 富 猛 <small>とみ たけし</small>	地理1必	2

講義のねらい

最近の報道で、東南アジアにおける TOEIC の成績評価のランクづけが発表された。それによると中国、韓国、インドが平均点の上位をしめ、日本は40ヶ国近い中で、最下位に属している悲惨な結果となっている。常々、授業において日本人がヨーロッパ系言語を修得する能力に究めて、劣っている事を言語構造的違いから、国内事情もからめて、そこに起因することを述べてきた。相変わずその予想が如実に示されたことを知って、啞然とするばかりである。ただ年間数時間を費やして学ぶわけなので、何とか徒労に終わらない様方法論を明示したい。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に我々がいかに英語を学ぶのかを、具体的に示し、とかく批判されている文法重視の形式も、日本人には必要であることを説明し、苦手としている会話に自信を持ってもらうべく、スケジュールを明示したい。

履修上の留意点

いままで学んできた知識を無駄にすることなく、真剣に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

前後期のペーパーテストと予習発表、出席状況などを加味して、評価する。

教科書

教場にて指示。

参考書等

最近電卓辞書を使用する傾向があるが、いずれの出版社でもかまわないから、中辞典を使って欲しい。

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	こ 児 林 英 子 <small>こ ばやし ひでこ</small>	地理1必	2

講義のねらい

英語を通して、英語圏の歴史・文化にふれることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

学生諸君が、一人で勉強出来るように、発音記号からはじめます。辞書を常に携帯し、これを活用し、独習出来るようになっていただきたい。

履修上の留意点

常に予習して授業に臨みたい。

成績評価の方法

前・後期二度のテスト、年計四回のテストの成績・出席状況及び、授業中の発表等全てを考慮して行ないます。特に出席は重視し、授業日数の三分の二以上出席した者を受験資格者とします。遅刻は授業開始後十分まで、遅刻三回で欠席一回の扱いとします。

教科書

新学期最初の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	水崎野里子	歴史1必	2

講義のねらい

リスニングの練習をしながら、同時に旅行英語を学ぶ。英語に慣れること、英語を楽しく学ぶことも目的である。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを使用し、一授業に一課を予定している。なお、授業の進行具合によって、副読本を使用する。

履修上の留意点

遅刻、欠席には出来るだけ留意して欲しい。リスニングの授業であるので、遅れずに来て欲しい。

成績評価の方法

平常点と試験の点を総合し、評価する。

教科書

Masanori Nakamura『旅行英語で学ぶ初級 TOEIC リスニング』（マクミラン・ランゲージハウス）

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	岩屋玉江	歴史1必	2

講義のねらい

これまでに培ってきた英語の基礎知識の拡充とより英語らしい表現力の養成を目標とします。テキストは英米人の思想や文化的背景を端的に表しているイディオムに焦点を絞ったものを使用します。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習復習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

出席及び演習への参加状況・小テスト・期末試験の結果を総合しておこないます。

教科書

『Writing with Idioms』（南雲堂）1,600円 ISBN4-523-17139-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎笑佳	歴史1必	2

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。

履修上の留意点

毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	真砂久晃	歴史1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
 前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

『Enjoy Expressing yourself』(金星堂) 1,995円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	池上賀英子	歴史1必	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの、より高度な運用能力練習をする。ビデオ (VHS、DVD) 等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表を中心とする平常点と定期試験の成績を総合し評価する。

教科書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三芳康義	歴史1必	2

講義のねらい

TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト (4回~6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

島本たい子・宮野智晴・Jodi Flowers 著『TOEIC®テスト基礎文法トレーニング』(マクミラン・ランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	木 村 正 俊 <small>きむら まさとし</small>	社会1必	2

講義のねらい

基礎的な英語能力を確実なものに仕上げることを第1の目標にするが、さらにそれを応用して、より高度な読解力、聴解力、作文力などを身につけられるよう指導する。会話力の向上にも力を入れる。

講義の内容・授業スケジュール

広範なテーマのもとに編集されたテキストを用いるが、各課の構成は読解用の英文に加え、多様な型式の練習問題が配備されており、多角的な方面から英語の運用能力がつくように工夫されている。1課を2週(2コマ)でこなすことを目標に、各課が終りしだい小テストを行い、知識の定着をはかる。音声教材を併用し、聴き取り能力を高めるとともに、発音の矯正にも十分に力を入れる。重要な文章を暗誦することを毎回の授業で課する。

履修上の留意点

授業は訓練によって実力をつける方式なので、極力出席するようつとめてほしい。復習に重点を置き、毎日音声的なトレーニングを行うことが望ましい。

成績評価の方法

平常点による総合評価とする。すなわち、毎回の授業への出席状況、授業への参加状況、テスト・課題(レポート等)の成績などを全体的に考慮して評価する。

教 科 書

『*Thematic Reading*』(北星堂) 1,600円 ISBN4-590-01178-6

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	平 林 卓 郎 <small>ひら はやし たく ろう</small>	社会1必	2

講義のねらい

英作文能力の向上を目的とするが単に英作文にとどまらず、相手の意見を聴き取り口頭でも自己表現できることを目的とする。

履修上の留意点

英語の授業を通して主体性の養成を目指すので積極的に予習をしてくること。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心として、レポート提出、出席点などにより成績評価をする。

教 科 書

Aoki Nobukazu 『*Let's talk and communicate*』(金星堂) 1,900円+税

参 考 書 等

その都度指示する。

そ の 他

あくまでも学生が積極的に問題を解き、まちがいがあれば教師が訂正する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	濱 口 真 木 <small>はま ぐち まさ き</small>	福祉1必	2

講義のねらい

入学時の英語力を基盤として、英語の運用能力の向上を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教 科 書

『*BIOBUSINESS AND THE ENVIRONMENT* [バイオビジネスと環境]』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17468-7

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	うえむら けいこ 植村恵子	福祉1必	2

講義のねらい

基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び英作文に習熟することを目的とした。

講義の内容・
授業スケジュール

適当なテキストを一冊用い、テキストの内容に沿って、声に出して発音したり、各自英語で表現したり、文章を書いてみたり、を一年を通じて取り組んでみたい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト）及び前期・後期試験による。

教 科 書

〈未定〉

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	やまぐち あきら 山口晃	福祉1必	2

講義のねらい

英文を書くための力を養う。その際発音に注意する。

講義の内容・
授業スケジュール

環境、生活に関する問題を教材にする。

履修上の留意点

辞書は、毎回必ず持参。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価する。

教 科 書

授業中に、プリントを配布。

参 考 書 等

特になし。

そ の 他

英会話のクラスではないが、自分で英文を作ってコミュニケーションしようという積極的な姿勢が要求される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	岩 ^{いわ} 永 ^{なが} 祥 ^{よし} 恵 ^え	心理1必	2

講義のねらい

近年では自分の意見、感想などを積極的に表現できる英語力が特に必要とされている。この講義では基本的な作文練習を通して表現力の向上を図る。また、並行して平易な日常会話表現の習熟も図る。

講義の内容・授業スケジュール

作文はテキストにしたがって基礎的な表現から徐々に高い段階の内容に習熟する。ユニットごとに短い作文課題を課す。また、会話はプリントにしたがってアメリカの日常生活を描いたビデオを見、状況を把握する。その後リスニング練習を行い、大筋の理解から細部の理解を目指す。次にターゲットとなる表現に慣れる。この後スピーキング練習を行い、リスニングで学んだ表現を実際の状況下で使い、習得を目指す。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加を望む。授業時に辞書を持参のこと。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。具体的な説明を開講時に行う。

教科書

石黒昭博他著 *English Composition at Work* 金星堂

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	ササキ, M.	心理1必	2

講義のねらい

英語による意志伝達。入学時の英語を基礎として英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

Students will write about daily events in Japan and around the world. An emphasis will be placed on spelling and content. Students will also present and discuss various issues in class.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）をすると成績評価は「不可」になる。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

採用なし。プリント等使用。和英・英和辞典をいつも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	風 ^{かざ} 間 ^ま 則 ^{のり} 比 ^ひ 古 ^こ	心理1必	2

講義のねらい

英語の勉強をより実のあるものにするためには最低限の文法の習得が必要である。その観点から、この授業では基本的な文法事項と、その応用として簡単な英作文を学ぶことにする。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教科書

『*Unique English Composition I* (ユニーク英作文正体)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	おほ ぼ なお き 大 庭 直 樹	国文・英作文・地理・歴史1必	2

講義のねらい

基本的な文法書をテキストにして、ことばのしくみを学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間であつ、英語は、語彙さえ調べれば読みこなせる、というレベルまで到達できるようにしたい。クラスでは、日本語と英語を比較・検討しながら違いと類似点を話題にしていきたい。

履修上の留意点

毎回、細かい指示を出すので、その指示にしたがって学習すること。

成績評価の方法

二回の定期試験を行うが、成績は平常点を重視する。つまり、クラスに積極的に参加する姿勢と、個々の学生の達成度を重視する。そのためには、毎回、クラスに参加することは当然のことである。

教 科 書

テキストは教場で指示する。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	社会・福祉・心理1必	2

講義のねらい

基礎文法に焦点を合わせて、英語コミュニケーション能力の向上を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

リスニング・タイムを総合理解として、コミュニケーション能力のために実践的 TOEIC を利用していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

テキスト：英語表現法入門（英宝社）
リスニング・サブテキスト：Starting out on the TOEIC Test（成美堂）

参 考 書 等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュースのコピーも配布します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はまぐち まさき 濱 口 真 木	国文1必	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎に、英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこなう。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教 科 書

未定

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	たか はし よし え 高 橋 佳 江	国文・英米文1必	2

講義のねらい

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわてて調べることのないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にとすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイズなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	<small>たか</small> 高 <small>はし</small> 橋 <small>あき</small> 明 <small>こ</small> 子	国文・地理1必	2

講義のねらい

イギリスの文筆家 A. A. ミルンによる『クマのプーさん』の原作を読みながら文法の要点を確認します。またプリント教材でリスニングの練習もします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回の授業でテキストの1ユニットを読み進めます。

成績評価の方法

出席や授業での発表を重視し、前・後期試験の結果と合わせて総合的に評価します。

教 科 書

『Basic English with Winnie - the - Pooh』(南雲堂フェニックス) 1,785円
ISBN4-88896-341-X

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	<small>ます</small> 増 <small>だ</small> 田 <small>けい</small> 恵 <small>こ</small> 子	国文1必	2

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教 科 書

『ギリシア・ローマ神話と言葉』(開文社) 1,100円 ISBN4-87571-460-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	<small>おか</small> 岡 <small>さき</small> 崎 <small>としちろう</small> 寿一郎	英米文1必	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季リポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教 科 書

富永育次郎他『現代の英米小説』(南雲堂) 1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	<small>すぎむらほつえ</small> 杉 村 初 枝	英米文1必	2

講義のねらい

どんなに難解な英文でも正確に読みこなせる読解力をつけることを目標に、文法・構文に留意した精読と大意を的確に把握しながら読み進める速読の両面に重点を置いて授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読解を中心に授業を進めます。

履修上の留意点

毎回授業の最初に小テストを行ないます。テストの提出を以って出席と見なしますので、遅刻をしないよう注意してください。なお欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、成績評価の対象となりません。

授業は発表形式で進めますが、発表者は予めレポートをまとめて授業時に提出してください。発表時のレポートを含め年間10回レポートを提出してください。

成績評価の方法

小テスト、レポート、発表に基づいて総合的に評価します。

教 科 書

テキストは開講時に指示します。

参 考 書 等

英和辞典は中辞典以上のものを用意してください。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	<small>くにみあきこ</small> 国 見 晃 子	英米文・歴史・社会1必	2

講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。

後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表してもらいます。

履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

教 科 書

後日指定いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	お 尾 ^{がた} 形 ^{しげ} 重 ^{まさ} 政	地理1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。特に精読では段落・文章全体の把握に、聴解では文章・ダイアログの大意の把握に努めます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や英語検定問題も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

積極的な授業参加度を重視し、前期後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教 科 書

第1回の授業時に教室で指示します。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ま ず ^た 田 ^{けい} 恵 ^こ 子	地理1必	2

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。

履修上の留意点

積極的に授業へ参加することが望ましい。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教 科 書

『英検・TOEFL リスニング徹底対策』（開文社）800円 ISBN4-87571-540-4

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ほ ん ^ま 本 ^{あさ} 間 ^お 章 ^郎	地理1必	2

講義のねらい

時事的な関心の高い題材を扱った英文を読むことで、幅広い知識を身に付けるとともに、それぞれの題材に関連した専門的な語彙を増やし、高校までの英語の文法、構文の知識を再確認しながら、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および前期と後期の試験の結果などから総合的に評価します。

教 科 書

ジョン・ペロケティ他著『*Biobusiness and the Environment* (バイオビジネスと環境)』（南雲堂）1,900円 ISBN4-523-17468-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高橋 佳江	歴史・社会1必	2

講義のねらい

高校時までの読解力を保持しつつ、内容のある長文を読めるようになることを目標としていく。そのため、前期では基礎的な文法、発音の復習と並行しつつ文章を読んでいく。条件として毎回の予習、復習を欠かさないこと。予習が済んだ段階で授業に出席することが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は出席が2/3以上の者で、前、後期試験の点数が平均60点以上の者を合格とする。(遅刻3回で欠席1回の扱い)
授業中、多くの学生に発言してもらうため予習が必要とされるが、復習をきちんとして授業で学んだことを消化することが重要である。

参考書等

辞書は、大学、社会人向けの辞書を必ず持ってくること。(電子辞書可)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高橋 明子	歴史・福祉1必	2

科外国
目語

講義のねらい

洋楽のポップスを聴きながら英語独特の音声変化やリズムに慣れるリスニング能力を養成します。また歌詞の和訳や曲についてのエッセイを読むことを通して読解力の習得も目指します。

成績評価の方法

出席や授業での発表を重視し、前・後期試験の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『*Top of the Pops Listening*』(マクミラン・ランゲージハウス) 2,100円
ISBN4-7773-6002-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	依田 里花	歴史1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業は予習を前提に進められ、プリントをもとに、内容を理解するためのQ&A、和訳、リスニング、小テスト等で1レッスンを終えます。個人の活動に加えて、グループ・ワークも行われ、授業は皆さんが中心となって進められます。

履修上の留意点

辞書は必ず持参してください。予習は必須です。
出席重視(3分の1以上の欠席は不合格)

成績評価の方法

出席状況、授業への積極性、小テスト、定期試験(前期・後期)などの結果から総合的に評価します。

教科書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ほんまあきお 本 間 章 郎	歴史1必	2

講義のねらい

英語の文法、構文の知識を再確認しながら、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および前期と後期の試験の結果などから総合的に評価します。

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	みぬさともゆき 三 幣 友 行	歴史1必	2

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英語を正確に読む力の向上を目的とする

講義の内容・
授業スケジュール

予習を前提として授業をすすめる

履修上の留意点

欠席が授業全体の3分の1を超えたら単位は認めない

成績評価の方法

出席点、平常点、小テスト点、定期テストを総合的に評価する

そ の 他

その他細かい事は授業開始時に説明する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	よだりか 依 田 里 花	福祉1必	2

講義のねらい

アメリカの代表的なコラムニストが書いたエッセイを読みます。「自分の身体と鉛筆と列車の切符があればコラムは書ける」と信じる筆者のエッセイには、国境や人種を超えて共感できる人間性が感じられます。長文を読むときのテクニックは勿論のこと、構文や文法を理解して読解の力をつけるとともに、人間について、生きることについて考えていきたいと思えます。リスニングについては、特に、表記とは異なる英語の発音や読み方に注目し、声に出して読むことを心がけながら、リスニング力をつけていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は予習を前提に進められ、プリントをもとに、内容を理解するためのQ&A、和訳、リスニング、小テスト等で1レッスンを終えます。個人の活動に加えて、グループ・ワークも行われ、授業は皆さんが中心となって進められます。

履修上の留意点

辞書は必ず持参してください。予習は必須です。
出席重視（3分の1以上の欠席は不合格）

成績評価の方法

出席状況、授業への積極性、小テスト、定期試験（前期・後期）などの結果から総合的に評価します。

教 科 書

Bob Greene 『*Bob Greene's Best Sketches of Life*』（松柏社）1,400円
ISBN4-88198-407-1 C3082

参 考 書 等

授業中に適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	山 縣 裕 <small>やま がた ゆたか</small>	福祉1必	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日本人のおかしやすい英語のミスを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

未定

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	尾 形 重 政 <small>お がた しげ まさ</small>	心理1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解を目指します。特に精読では段落・文章全体の把握に、聴解では文章・ダイアログの大意の把握に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や英語検定問題も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

積極的な授業参加度を重視し、前期後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書

第1回日の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	狩 野 晃 一 <small>か のう こう いち</small>	心理1必	2

講義のねらい

音読・精読等を通して英語の基礎力の定着をはかります。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを正確に読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。

履修上の留意点

予習をすること。常に辞書を携帯すること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期・後期の試験の結果に加えて評価します。3分の2以上の出席が求められます。

教科書

Jim Knudsen, 藤木隆義, 藤木直子 *Everyday Psychology* (南雲堂) 1,680円
ISBN4-523-17469-5 B-469

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	こいずみかずひろ 小泉和弘	心理1必	2

講義のねらい

英文を精読して、段落・文章の大意を把握できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み、練習問題を解く。2回の授業で1章進む。

履修上の留意点

授業には予習をしてこること、辞書を持ってくること。

成績評価の方法

試験60%、授業への取り組み・出席率40%。

教 科 書

『知識の泉』（鳳書房）1,800円 ISBN4-900304-86-7

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	みぬさともゆき 三幣友行	文学部全学科1必	2

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英語を正確に読む力の向上を目的とする

講義の内容・
授業スケジュール

予習を前提として授業をすすめる

履修上の留意点

欠席が授業全体の3分の1を超えたら単位は認めない

成績評価の方法

出席点、平常点、小テスト点、定期テストを総合的に評価する

教 科 書

未定

そ の 他

その他細かい事は授業開始時に説明する

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きたむらひろふみ 北村弘文	国文2年	2

講義のねらい

普段日本にいて英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできて、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深く考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？ 勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書

『Try America』（三修社）1,700円

そ の 他

受講者は予習、復習を欠かさないようにし、講義の聞きっぱなしのないように留意すること。なお、参考書等は授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きむらまさとし 木村正俊	国文2年	2

講義のねらい

比較的平易な英文を教材に用い、読解力を高めるだけでなく、聴解能力、作文能力の向上を目指す。口頭による発表力も伸ばすように指導する。

講義の内容・授業スケジュール

言語、芸術、科学、環境、教育など広範囲にわたるトピックの英文をテキストに用いるが、各課には読解用の英文に加え練習問題が配備され、多角的な面から応用力がつくよう工夫されている。1回の授業で1章を終えることを目標に、音声テープを併用しながら、実際の訓練を十分に行うよう授業を展開させる。各課が終るごとに小テストを実施し、知識技能の定着をはかる。重要な文章を受講学生には暗誦してもらう。

履修上の留意点

授業は訓練によって実力をつける方式なので、極力出席するようつとめてほしい。復習に重点を置き、毎日音声的なトレーニングを行うことが望ましい。

成績評価の方法

平常点による総合評価とする。すなわち、毎回の授業への出席状況、授業への参加状況、テスト・課題（レポートなど）の成績などを全体的に考慮して評価する。

教 科 書

『Various Readings of Today』（鶴見書店）1,700円 ISBN4-7553-0330-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	いわ ^{なが} よし ^え 岩 永 祥 恵	国文2年	2

講義のねらい

本クラスでは英米文化を広く理解し、議論となりうるさまざまな問題点について話し合う。そのプロセスで読解力、論理的思考、表現能力等の向上を図る。また、効果的なテキスト理解のために適宜リスニング等の練習も取り入れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

まず英文パッセージを読んで内容を理解する。そのプロセスで文法の復習を行いつつ、多様かつ興味を引く会話表現を習得する。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、授業参加、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に指示する。

教 科 書

Oscar Wilde 著 *The Importance of Being Earnest* 北星堂書店 ISBN4-590-00488-7

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	こ ^{とみ} たけし ^い 古 富 猛	英米文・社会2必	2

講義のねらい

講座上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて共通点が多く、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると英語においても痛感させられている。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教 科 書

テキストは教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	いし ^{ほら} こう ^{さい} 石 原 孝 哉	英米文2必	2

講義のねらい

発音、リスニングを含めて英語の総合力アップを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で指示します。

履修上の留意点

随時プリントを配布したり、課題を出すので欠席をしないように。

成績評価の方法

中間試験、期末試験のほか、レポート、出席を重視します。

教 科 書

Looking Backward, *Major Events of the 20th Century*, (南雲堂) 1,800円 プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	加藤 佐和子	英米文2必	2

講義のねらい

異文化コミュニケーションに関する様々な問題を考え、英語の伝達能力をつける。同時に、実際に役立つ英語表現を覚え、実際に使える英語のスキルを伸ばしていく。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、テキストを Chapter を2つずつ進み、内容のまとめとディスカッションをする。後半は、office などで行われる模範文型を覚え、それを実際の場で使えるように訓練する。

履修上の留意点

予習・復習を必ずすること。

成績評価の方法

小テスト25%
授業参加度25%
まとめテスト50%

教科書

Intercultural Communication 南雲堂
A Shorter Course in Office English 南雲堂

外国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	山縣 裕	英米文2必	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日常会話・作文力も身につける。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

『英語へのパスポート』（朝日出版社）1,400円 ISBN4-255-15058-3
『データベース5500』（桐原書店）950円 ISBN4-342-01330-4

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	甲 斐 捷 子 <small>か づ こ</small>	地理 2 年	2

講義のねらい

テキストは ABC 放送のアメリカ国内向けニュース番組 "World News Tonight" です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることが授業の目的です。一单元わずか 2 分から 4 分で報道されるニュースを、臨場感を楽しみながら、正確に聞き取り、読み、かつ内容について、多少のことは話せるように学びます。内容によっては、BBC 放送との比較も行いたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業はまず、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握します。この後、語句の解説を英語で行いながら、報道内容を読みます。内容がしっかり把握できた段階で、語句から文章へと、徐々に内容を英語で話す練習をします。この後、テキストについている簡単な復習問題を行い、小テストを持って、一つの単元を終了します。前期、後期とも授業の進め方は同じですが、後期は力がついてきますので、クラスの弱点が補強できるよう、多少の変更を行うかもしれません。

科外国
目語

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席 10%、前期試験 30%、後期試験 30%、小テスト 30% による総合評価とします。

教科書

Shigeru Yamane/Kathleen Yamane 著 *ABC World News 7* (金星堂) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	小 布 施 圭 佐 三 <small>お ぶ せ け さ ぞ う</small>	地理 2 年	2

講義のねらい

「日本語の単文を英語に訳す」といった和文英訳の作業ではなく、既習の語彙、構文を活用しながら、なるべく英語的な発想によって自由にパラグラフ単位の英文を書けるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

《前期》
Chapter I (About Self) ~ Chapter III (Book Reviews and Descriptions)
《後期》
Chapter IV (Diaries) ~ Chapter V (Letters)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。

成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/レポート/定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教科書

斎藤宏/関裕三郎/William Bell, *A New Way to English Writing* (成美堂) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	おお なた みちこ 太田美智子	地理2年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

『Access To The Future』(南雲堂フェニックス)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	いわ い ひろ み 岩井洋美	地理2年	2

講義のねらい

身近なテーマを通してコミュニケーション能力のレベルアップをはかります。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの練習問題を行ないながら、ペアやグループワークなどにも取り組みたいと思います。期末試験の他に不定期の小テスト、もしくはスピーチなどの課題も行ないます。

履修上の留意点

各課題を行なわない者は単位を落とします。追、再試験、またそれに代わるものは実施しませんので遅刻、欠席をしないようにして下さい。

成績評価の方法

前・後期試験、小テスト、課題、出席を総合して評価します。

教科書

『Enjoy Writing for Everyday Use 楽しく学ぶ英作文の新技法』(北星堂) 1,600円
ISBN4-590-01179-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	きむら かつ ひこ 木村克彦	歴史2年	2

講義のねらい

文学作品ではあるが、まず、戯曲の台詞を精読することにより、英語特有の表現になれるようにしたい。また作者の会話(談話)で、記録されているものもあるので、適宜コピーを使用しそれらを訳読しながら、暗記までできれば最も良いであろう。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『オスカリアーナ』(北星堂) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	江田幸子	歴史2年	2

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教科書

Polish Up Your English (SEIBIDO) 1,800円

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	佐藤江里子	歴史2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験(50%)と平常点(50%)による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	松堂啓子	歴史2年	2

講義のねらい

日本文化に関するエッセイを読み、自身で表現できる力を身につける。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

出席状況、小テスト、定期試験の結果を総合的に評価する。

教科書

『*Let's Write about Japan*』(成美堂) ISBN4-7919-5033-X

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	川手浩一	歴史2年	2

講義のねらい

我々は健康を維持するのに食物とは切っても切れない関係にある。それどころか、大なり小なりストレスを抱えて生活することを強いられている現代人にとっては、まさに命綱ともいべきテーマともいえる。

講義の内容・授業スケジュール

各トピックの英文は2名のネイティブ・スピーカーに書いていただいた。これはどの言語でもそうだが、10人いれば10人の文体が存在し、その意味でも異なる文体の英文を読むことは、それだけ学習者の読解能力と許容度が広がることになる。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

日常の学習を重視し、試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

『「自然の恵み」 *Gifts of Nature 2* 』（南雲堂）1,748円 ISBN4-523-17244-7

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	堀千和子	社会2必	2

講義のねらい

Global Issues（地球規模の社会問題）を考えながら、読む・聞く・書く・話すの英語の四技能を鍛えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

人権、環境、平和、開発の4本の柱で、地球規模の社会問題を取りあげていきます。教科書の他に、映画、ニュース、新聞、インターネット記事などのいろいろな教材を使い、これらの問題を英語を通して考えていきたいと思えます。学生の皆さんの積極的な授業への参加を希望します。

履修上の留意点

毎時間、ビデオを見たり、ワークシートを作成したり、グループワークをしますので、欠席しないこと。また、授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な課題をして提出してもらいます。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の発言、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。

教科書

未定。追って指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	尾上典子 <small>おのえのりこ</small>	心理2必	2

- 講義のねらい** 現代のアメリカ文化形成に決定的な役割を演じてきた幾つかの大企業について論じたテキストを使用し、アメリカのビッグ・ビジネスの企業研究・アメリカ文化研究を行なうとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 下記のテキストを翻訳させながら、同時にアメリカのビッグ・ビジネスに関する様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。
- 履修上の留意点** 正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。
毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。
- 成績評価の方法** 評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験、小テストなどによって、総合的に判断する。
- 教科書** 廣原真由子・Blake Baxter 共著『Big Business in America ビジネスとアメリカ文化』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	太田由紀子 <small>おおたゆきこ</small>	心理2必	2

- 講義のねらい** アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。
- 履修上の留意点** 予習・復習をすること。
- 成績評価の方法** 授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
- 教科書** Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
UK £9.99 ISBN: 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	外池一子 <small>とのかずこ</small>	心理2必	2

- 講義のねらい** 私たちの身の回りや世界で起こっているさまざまな出来事や問題について自分の意見を持ち、それを英語で表現できるようになることを目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期はテキストを使って、ディスカッションやダイアートの基礎的な知識を身につけ、後期はそれを実践します。
- 履修上の留意点** 日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の回り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。
- 成績評価の方法** 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
- 教科書** 開講時に指示する。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	まきの てるよし 牧 野 輝 良	国文 2 年	2

講義のねらい 源氏物語の訳者サイデンステッカー氏の翻訳の苦労話から日本語と英語の本質的相違を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール テキストを出来るだけ早く、正確に読んで行く。

履修上の留意点 授業にはよく予習して出席すること。

成績評価の方法 授業中の発表、期末試験の成績などから総合的に評価する。

教 科 書 『日本語とわたし』（朝日出版社）950円＋税 ISBN4-255-15096-6

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	さとう まさる 佐 藤 勝	国文 2 年	2

講義のねらい 基本英文法を踏まえた正確な英文読解力、そして英文多読・速読力の充実を図ります。

講義の内容・授業スケジュール プリント演習の後、教科書での授業を行います。教科書の進度は原則 1 回で 1 課とします。

履修上の留意点 予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法 平常点（出席状況・授業態度等）＋レポート＋定期試験。

教 科 書 浅間・Sloss 編著『異文化への視線』（南雲堂）1,600円＋税 ISBN4-523-17398-2

参 考 書 等 推薦辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）、『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	はせがわ こういち 長谷川 公一	国文2年	2

講義のねらい

わずか400年足らずという短期間のうちに、アメリカは世界唯一の超大国にのし上り、わが国とも経済・文化・安全保障の面で親密な関係をつくり上げました。現代のローマ帝国とさえ呼ばれるアメリカを、この教科書では数々のエピソードを読みながら、建国期の政治、リンカーンやエジソン、フォードなど独立独歩の精神で社会の進歩に貢献した人達を通して、大ざっぱながら、アメリカという国の実態把握に接近してみようと思います。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書

『*Made in America*—ことばが語るアメリカ史—』（金星堂）1,900円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	やまぐち あきら 山口 晃	英米文2必	2

講義のねらい

英文をしっかり読み、解釈していくことに、重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

環境、生活の問題を、一緒に考えられるような教材を使って、英語の理解を深める。

履修上の留意点

辞書は毎回、必ず持参。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価。

教科書

授業中にプリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	すがわら のりこ 菅原 典子	英米文2必	2

講義のねらい

時事英語テキストを使用し、ニュース英語に親しみながら世界を見る目も養います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

柏原英則編著『*Newspaper English 2005/2006 Edition*』（成美堂）1,890円（税込）
ISBN4-7919-4827-0 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	伊藤 美代子	英米文 2 必	2

講義のねらい

I B を基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4 回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻 2 回で欠席 1 回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が 80%、残りの 20% は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

- Alan E. Jackson/Hiroko Uchida, *More News and Views from The Japan Times Weekly* (マクラミン ランゲージ 하우스) 1,600円
- 伊藤美代子 (編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	三 芳 康 義	英米文 2 必	2

講義のねらい

学外の英語検定試験である TOEFL で出題されるような英文の読解力と語彙力の向上をはかると同時に、短い会話文の Listening 力をつけることを目指します。もちろん、TOEFL 受験を必修とするものではないが、そうしたレベルの英文を読みこなすことを主眼とします。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト (4 回～6 回) などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が 3 分の 2 に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

Milada Broukal, In - A - FLASH 『Reading for the TOEFL Test』(Thomas Peterson's)
今村洋美・Gregory A. King・Brian Wistner 編著『会話リスニングを TOEIC® テストで』
(音羽書房鶴見書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	杉 本 誠	歴史 2 年	2

講義のねらい

日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。グローバル化および情報化の時代の中で、できるだけ多くの記事を読み、大意を把握し、英語の運用能力を高めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

旅行、アルバイト、Eメール、ファーストフードなど、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、内容把握、語法、リスニングなどの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけます。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『Eye - opening Facts』(朝日出版社) 1,500円 ISBN4 - 255 - 15402 - 3 C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	たかみ ようこ 高見陽子	歴史2年	2

講義のねらい

速読の基礎をふまえ、より多くの量の英文を読みこなす力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを「理解しながら読む」と同時に、必要に応じて構文や内容についての解説を加えます。

履修上の留意点

辞書を持参すること。授業は速読中心ですので、日本語訳については各自で復習する必要があります。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、授業中の取り組み姿勢などの平常点や小テスト・レポート等の結果を加えて、総合的に評価します。全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。

教 科 書

テキストは第一回目の授業で指示します。

科外
国
語
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	まちだ しげお 町田成男	歴史2年	2

講義のねらい

IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握をして、読む速度を上げる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読みすすめると同時に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

3分の2以上は出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教 科 書

現在、検討中のため未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	依田里花	歴史2年	2

講義のねらい

[Intensive Reading]1980年代のアメリカ映画について書かれた批評を精読していきます。長文を読むにあたり、テクニックを身に付けることは大切ですが、構文や文法もきちんと理解して、筆者が言わんとすることを適確に把握できるように心がけていきます。また、映画を介して、現代のアメリカ社会が抱える数々の問題に触れながら、国境を超えて共感できる人間の善良さ、やさしさ、温かさを感じられたら、. . . と思います。[Speed reading]プリントを中心に、比較的短い英文を数多く読みながら速読の力をつけていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習を前提に進められ、教科書とプリントをもとに、内容を理解するためのQ&A、和訳、音読、小テスト等で1レッスンを終えます。個人の活動に加えて、グループ・ワークも行われます。授業は皆さんが中心となります。

履修上の留意点

辞書は必ず持参してください。予習は必須です。
出席重視（3分の1以上の欠席は不合格）

成績評価の方法

出席状況、授業への積極性、小テスト、定期試験（前期・後期）などの結果から総合的に評価します。

教科書

Jim Knudsen『*Hollywood's America*』（南雲堂）1,800円＋税
ISBN4-523-17197-7 C0082

参考書等

授業中に適宜紹介します。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	近藤真彰	歴史2年	2

講義のねらい

考古学に関連のあるテーマを扱った英文を読み、読解力をつけ、語彙を増やしなが、それをもとに自分の興味の対象を英語で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

関連するテキストを読んでいく。読解が中心となるが、適宜、英作文作成や会話練習も行う。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教科書

ハンドアウトを授業で配布する。

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	野 ^の 島 ^{しま} 利 ^{とし} 彰 ^{あき}	歐・煙・怡・融・煙・梓	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を学びます。ヨーロッパの言語はたがいに親戚なので、よく似ています。従ってドイツ語を知るとは他のヨーロッパ言語を理解する助けにもなります。英語とは一味違った世界ですが、ドイツ語を学ぶことはさらにヨーロッパ大陸の文化への入り口になります。

講義の内容・ 授業スケジュール

練習問題を自分で解くことが理解を早めるので、授業では文法の説明よりも、皆さんに練習問題を答えてもらうことに時間を使います。

履修上の留意点

練習問題がたくさんありますが、半数はCDに答が吹き込まれています。必ず予習して授業に出席してください。

成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

教科書

酒井、佐藤、清水著『新ドイツ語の泉』（郁文堂）2,625円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	杉 ^{すぎ} 本 ^{もと} 正 ^{まさ} 俊 ^{とし}	歐・煙・怡・融・煙・梓	2

講義のねらい

ドイツ文法のひとつおりを教える。ドイツ語をもっとくわしく学んだり、ドイツ語を利用したりするには非常に大切な知識の最小限度であるので、しっかり身に付けて頂きたい。

履修上の留意点

授業中に学ぶ事は必ずその授業時間内に理解し、復習をして確り身に付ける事が重要。

成績評価の方法

前後2回のテストの他に、授業中の小テストがあり、必ず受ける事。授業中先生に当てられたら必ず答える事（その際、まちがった答えをしてもマイナスの評価にはなりません。授業に参加する事が大切なのです）。

教科書

森澤万里子・加藤健司『ドイツ文法の基本』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	い が ら し のぶ こ 五十嵐 信子	歐・煙・怡・融・輝・輝	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかり理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』（白水社）1,800円

科
外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	おか もと とき こ 岡本 時子	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

ドイツ語の初級文法を1年間の授業を通して概観・理解することが主なねらいです。並行して行われるI Bの教科書の文章を読む際に必要となる基礎的な文法力を養うのが目標ですが、単なる文法形態の暗記だけにとどまらず個々の文法項目の持つ意味、そしてそのことによってドイツ語という言語がどんな言語になったのかも併せて学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は1年間文法用の教科書を用い、その教科書の内容に沿って進んでいきます。初めての学習者がほとんどだと思いますので、1学期はなるべく時間をかけてゆっくり進みます。予定としては1学期には8～9課まで。場合によっては21・22課は簡単な説明のみにとどめます。

履修上の留意点

文法中心の授業ですので、前の授業でやったことの上に次の授業を組み立てていくことになります。その点でなるべく休まず授業に参加することが望ましいことです。また文法ということを考える際、単にドイツ語の枠だけでなく視点を日本語や英語等他の言語にも向けることも大事です。

成績評価の方法

評価は年間を通しての出席状況と前期・後期計2回の試験の結果を併せて出します。その他にも積極的な授業への参加、貢献も前向きに評価します。

教科書

岡本順治『ドイツ語文法へのプロローグ』（郁文堂）

参考書等

参考書・辞書については最初の授業で説明します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A	野 ^の 島 ^{じま} 利 ^{とし} 彰 ^{あき}	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を学びます。ヨーロッパの言語はたがいに親戚なので、よく似ています。従ってドイツ語を知ることは他のヨーロッパ言語を理解する助けにもなります。英語とは一味違った世界ですが、ドイツ語を学ぶことはさらにヨーロッパ大陸の文化への入り口になっています。

講義の内容・授業スケジュール

原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。

履修上の留意点

CD付き教科書を使います。必ずCDを聞いて授業に臨んでください。練習問題を自分で解くことが理解を早めるので、授業では文法の説明よりも、皆さんに練習問題を答えてもらうことに時間を使います。

成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

教科書

新野、佐藤ほか著『シュトラーク』朝日出版 2625円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年度でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B	杉 ^{すぎ} 本 ^{もと} 正 ^{まさ} 俊 ^{とし}	政・地理・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

発音から、短文読解まで、文法知識を身に付けながら、初めての外国語であるドイツ語に慣れて行きます。

履修上の留意点

授業中学ぶ事柄は必ずその授業時間内にしっかり理解。

成績評価の方法

前後2回のテスト、授業中の小テストの他、授業中当てられた質問には必ず答える事が重要です（その際、間違った答えをしてもマイナスには評価されません）。積極的に授業に参加する事が大切です。

教科書

小塩節・小鉤千代『OKドイツ語文法読本』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	岡本 ときこ	欧・煙・語・戦・煙	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

荻野蔵平『ユネスコ遺産で学ぶドイツ語』（朝日出版）

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	南 みるつ	欧・煙・語・戦・煙	2

講義のねらい

この授業ではドイツ文化に関する簡単な文章を読むことによって、読解力を身につけると同時にドイツの文化についての知識も習得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1課から6課までの文章を読みます。そのための文法事項は次のとおりです。
アルファベット・発音、動詞の変化、名詞の性および複数、冠詞の格変化、代名詞、前置詞、形容詞の格変化。
後期 7課から12課までの文章を読みます。ここで学習する文法事項は動詞の3基本形、過去形、現在完了形、分離・非分離動詞、関係代名詞、受動態、接続法などです。

成績評価の方法

出席状況・中間試験・定期試験を総合して評価します。

教科書

小堀節『ご存知ですかドイツ！ [情報からドイツへ]』（朝日出版社）本体2,200円＋税 ISBN4-255-25261-0 C1084

参考書等

随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	杉本 正俊	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

発音から、短文読解まで、文法知識を身に付けながら、初めての外国語であるドイツ語に慣れて行きます。

履修上の留意点

授業中学ぶ事柄は必ずその授業時間内にしっかり理解し、身に付ける事。

成績評価の方法

前後2回の大テスト、授業中の小テストの他、積極的な授業参加が評価の対象になります。質問されたら必ず答える事（まちがった答えはマイナスに評価されません）が大切です。

教科書

大岩信太郎『(文法読本)覚えるドイツ語』（同学社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B	<small>おが</small> 岡 <small>もと</small> 本 <small>とき</small> 時 <small>こ</small> 子	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では復文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教 科 書

荻野蔵平『ドイツこころのふるさと』（朝日出版）

参 考 書 等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	<small>しば</small> 柴 <small>の</small> 野 <small>ひろ</small> 博 <small>こ</small> 子	国・英・文・理・歴2年	2

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教 科 書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	飯塚公夫	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習
 (コピー練習問題中心)
 前期後半：練習問題と平行して、読解中心のテキストを読む
 後期：テキストの読解

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること(完全に予習している人は持ってこなくてもよい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)

教科書

Rolf Kralovitz 著「ブーヘンヴァルト10090」 同学社 1500円

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	本橋右京	英米文2年	2

講義のねらい

これまで学んだ初級文法項目を再確認しながら、まとまった文章を読み、より総合的なドイツ語力を涵養します。

講義の内容・授業スケジュール

リライトされたグリム童話を読みます。
 全体で22課。収録されているのは「Katze und Maus in Gesellschaft」、「Der gestiefelte Kater」、「Haensel und Gretel」および「Der Eisenofen」の4話。
 後期に時間的余裕があれば、観光政策としての Maerchenstrasse について学びます。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んで下さい。予習はもちろん、授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Wundt・本橋『グリム童話で学ぶドイツ語』(郁文堂)2,000円+税

参考書等

『グリム童話』には、さまざまな翻訳があります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	もり こう せい 森 公 成	国文・歴史2年	2

講義のねらい

ドイツ語ⅠAとⅠBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・
授業スケジュール

用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします)、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

テキストはこちらで用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	ほり うち み え 堀 内 美 江	国文・歴史2年	2

講義のねらい

このドイツ語の授業では、1年次に勉強した基礎的なドイツ語の知識を復習しながら、さらに会話、聞き取り、テキスト理解の能力をバランスよく訓練していきます。また教科書を通して、ドイツの大学生の視点からドイツの社会のさまざまな場面を眺め、日本とは違う文化と歴史を持つということはどういうことか、という異文化理解も促していきたいと思えます。

講義の内容・
授業スケジュール

皆さんの理解度を確認しながら、授業を進めていきます。会話の練習と文法の復習、新しい語彙の学習が各課の主な学習項目ですが、できるだけ皆さんの視覚資料(雑誌やビデオ、映画など)も使って行く予定です。

履修上の留意点

1年次の学習内容を思い出しながら、ゆっくりと授業を進めていきますので、まずは毎回出席を心がけてください。毎回会話や発話練習をしますので、あまり緊張せずにはっきりと声を出してみましょう。

また、授業には辞書を必ず携帯してください。質問はいつでも受け付けますので、授業内容以外でも、ドイツに関することならなんでもどうぞ。

成績評価の方法

出席点と平常点、前後期のテストと課ごとの小テストの点数を組み合わせた総合評価となります。

教科書

板山真由美他著『自己表現のためのドイツ語2』(三修社)

参考書等

随時授業中にご紹介します。

[フランス語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	出 口 雅 敏	歐・理・社・健・心・理・科	2

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、読む、書く、聞く、話すための基礎力が総合的に身につくように構成されています。授業は、まず基礎的な文法事項の説明の後、練習問題を通じて理解を確実にします。次に、フランス語文章の音読と読解、語彙と表現の学習を行います。加えて、仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教 科 書

小倉孝誠ほか『エメ・ヴ・ラ・フランス?』(第三書房) 2,200円

科外国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	小 玉 齊 夫	歐・理・社・健・心・理・科	2

講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多いほど、聞き取りの場面でも有利になるはずですが、つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。一回の授業で、一課あるいはそれ以上、進んで行く予定です。

履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席し、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。出席は、毎回、出ることが原則です。

教 科 書

照木 等 著 『はじめてのフランス語・はじめてのバリ』
(第三書房) 2,200円
ISBN4-8086-2153-3 C1085

参 考 書 等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	国文・地理・社会・福祉・心理・特	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。

教 科 書

佐藤久美子他著『プレ？バルテ！』（白水社）1,995円 ISBN4-560-06004-5

参 考 書 等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	さ と う く み こ 佐 藤 久 美 子	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。フランス語になるべく多く接してもらうために宿題を頻繁に課す。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習（最低限新しい単語を調べておくこと）が不可欠。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

教 科 書

佐藤著『アベセデフランセ』（白水社）2,500円 ISBN4-560-06054-1 C3085

参 考 書 等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。出来るだけ電子辞書ではなく、紙の辞書を薦める。

そ の 他

教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	いま げき 今 関 アン	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

フランス語初級文法の確実な習得を目的し、フランス語検定試験級程度の実力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

文法の問題点を学生自身が発見し、読み・書き・話し・聞く、という全ての能力を使ってフランス語文法を身につける。

履修上の留意点

毎回必ず仏和辞典を持ってきて、実際に作業しながら授業を進めてゆく。宿題は必ずすること。欠席すると小テストに不都合が生じるので皆勤を目指して欲しい。

成績評価の方法

各単元毎の小テストを含む出席点50%、定期試験50%

教科書

『ヴワラ!』伊勢晃、谷口千賀子著、早美出版社、2,100円

参考書等

仏和辞典、清岡智比古『フラ語動詞、こんなにわかっていいかしら?』(白水社) 1,500円。
『フラ語入門、分かりやすいにもホドがある!』(白水社) 1,500円。

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	歐・亜・独・露・視・洋	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』(朝日出版社) 2,600円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	はま さき せつ お 夫 浜 崎 設 夫	歐・煙・給・融・煙岸	2

講義のねらい	文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。
講義の内容・授業スケジュール	発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。
履修上の留意点	なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。
成績評価の方法	出席回数、宿題をやった回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。
教 科 書	山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）
参 考 書 等	前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	は せ が わ み つ あ き 長谷川 光 明	歐・煙・給・融・煙岸	2

講義のねらい	ビデオ教材を用いて初級文法を学習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教 科 書	『藤田裕二、彼女は食いしん坊！1』（朝日出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	ま え だ の り か ず 前 田 祝 一	英米文・歴史1年	2

講義のねらい	まず、音としてのフランス語に慣れ親しんでもらうことを、第一の目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	生活上の基本語・基本動詞・基本文型を習得することが、この一年間のスケジュールです。
履修上の留意点	毎回の授業が新しいことの学習であり、その積み重ねで一年間の勉強が成り立っているのですから、欠席すれば先のことが分からなくなります。このことに留意しておいて下さい。
成績評価の方法	前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席状況や平常の課題なども考慮します。
教 科 書	加藤晴久・一戸とおる著『時事テーマで学ぶ初級フランス語読本』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	はま 崎 せつ お 夫	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやった回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

滑川『ポケットにフランス語』（第三書房）2,100円

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A	まえ だ のり かず 一	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語 I A・I B の単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

『セレクション・時事フランス語 II』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A	と お や ま ひろ お 雄	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教科書

浜名エレヌ著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01336-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	こ だ ま な り お 夫 小 玉 齋 夫	英米文2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教 科 書

滝川 等 著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2005年度版)』 (第三書房) 1,700円
ISBN4-8086-2675-6 C1085

参 考 書 等

『現代和仏小辞典』(白水社)が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利で
す。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	ぬ ま く ら ひ ろ こ 沼 倉 広 子	英米文2年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして文章を読む力をつける

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオを見ながらフランス各地の風土や歴史を通してフランスの文化を知る

履修上の留意点

文法の勉強もするので、休まない事が肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教 科 書

藤田裕二著『彼女は食いしん坊 2 —フランス美味探訪の旅—』
朝日出版社 2,500円
ISBN-255-35166-X C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	はたなかちあき 畑 中 千 晶	国文・歴史2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	こだまなりお夫 小 玉 齊 夫	国文・歴史2年	2

講義のねらい

クレールさんの料理講義を読みながら、でもむしろ、フランス語を聞き取り、話し、書く力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

一週に一課を終わらせる、という速度で進んでいきます。

履修上の留意点

毎回出席して、その都度、新たな知識をたくわえていって下さい。覚えることは沢山あります。予習・復習も必要です。

成績評価の方法

平常の提出物、授業への「参加」の様子等、それに前期および後期の試験で評価します。

教科書

藤田 裕二 著 『彼女は食いしん坊 2』
（朝日出版社 2,500円）
ISBN4-255-35166-X C1085

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

科外
国
目語

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社） 2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円
 相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円
 武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円
 また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもった優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円
 愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第2版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。
 対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円
 倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科外
 国
 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	布 施 直 子 ふせ なおこ	文学部全学科	2
中 国 語 I B	徳 間 佳 信 とく まよし のぶ		

講義のねらい

中国語をはじめて学ぶ学生が、中国語の発音のしかたと表記（ピンイン）、そして文法を学びつつ、中国語日常会話を音読し、聞き、書き、言えるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が一冊の教科書を用い、一人は文法的な説明を、もう一人は学習内容についてのドリルを担当する。

履修上の留意点

学生諸君には、教科書を必ず用意すること、できるだけ欠席をしないこと、真面目に授業に取りくんでくれることを望む。

成績評価の方法

適宜行なうテスト、出席状況によって成績評価する。

教 科 書

相原茂・陳淑梅『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	政・理・社・融・理	2
中国語 I B	大久保明男		

講義のねらい

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

福地 (A)、大久保 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為 (私語、携帯電話の受信等) は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の中間考査・期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』(同学社) 2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	政・理・社・融・理	2
中国語 I B	布施直子		

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』(東方書店) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	政・理・社・融・理	2
中国語 I B	下出宣子		

講義のねらい

入門段階で最もたいせつな発音指導、発音記号 (ピンイン) の習得、基本文法の概略の学習を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教師が一冊のテキストを用いて授業を行う。下出が文法説明を、釜屋がワードバンクと総合練習を分担する。発音練習、各課本文は二人で反復する。

履修上の留意点

大きい声を出して積極的に学ぶこと。出席は原則として皆出席のこと。

成績評価の方法

小テスト、平常点、出席状況、前・後期期末テストにより総合的に評価する。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』(金星堂) 2,600円

参考書等

開講後紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	しお はた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	政・経・社・国・理・体	2
中国語 I B			

講義のねらい

中国語の音声の魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

IAとIBが連動するので、必ずセットで履修すること。

なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。IAとIBは連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績をIAに、後期の成績をIBに反映させる。

「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

前期、火曜と土曜を合わせて缺席3回を超えると、1回につき10点ずつ減点する。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

科外 国 語 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	き どう ふみこ 佐 藤 普美子	政・経・社・国・理・体	2
中国語 I B			

講義のねらい

中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点

4・5月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書

陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』（金星堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	本間由香利	政・経・社・融・心・理	2
中国語 I B	曹泰和		

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を I A で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を I B で行う。

履修上の留意点 予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書 牧田英二『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等 授業の中で紹介する。

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	曹泰和		

講義のねらい 正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 福地（A）、曹（B）が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

履修上の留意点 自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法 年間数回の小テスト、宿題、前・後期の中間考査・期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書 牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等 辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤 早恵	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	塩旗 伸一郎		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ず中国語 I A・I B (火曜第4時限、工藤先生 土曜第1時限、塩旗) とセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。
缺席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ(改訂版)』(朝日出版社) 2,625円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤 早恵	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	塩旗 伸一郎		

講義のねらい

中国式ローマ字表記(ピンイン)の発音の練習から始め、簡単な対話文を通して基本的な表現方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

使用する教科書は簡単な対話文を通して中国語の基礎を習得するよう構成されています。各課の基本会話文を口頭で繰り返し練習した後、会話文に含まれる文法事項を確認したうえで練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト(前後期末試験を含む)、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価します。

教科書

陳淑梅、蘇明『中国を歩こう』(金星堂) 2,730円

その他

I B(下出先生)と連係

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	本間 由香利	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	佐藤 普美子		

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を I A で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を I B で行う。

履修上の留意点 予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 平常点(出席、授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価は A、B 担当教官がそれぞれ行います。

教科書 陳淑梅・蘇明『中国を歩こう』(金星堂) 2,600円

参考書等 授業の中で紹介する。

科外国語目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋 おまむ	英米文・歴史1年	2
中国語 I B			

講義のねらい 入門、初級段階で必要な正確な発音、そのためのピンイン文字の習得、基本文法の学習を目標に、“話す中国語”をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 週二回、一人の教師が一冊のテキストを用いて授業する。5月までの発音基礎習得の段階は絶対に欠席してはいけない。

履修上の留意点 毎回出席し、大声を出し、恥をかきつつ楽しく学んでほしい。連続3回欠席した場合は学習権の放棄とみなす。

成績評価の方法 小テスト、宿題、学習態度、年二回の期末テスト等で総合的に評価。

教科書 相原茂ほか『学ビテ時ニ之ヲ習フ』(好文出版) 2,400円

参考書等 開講後に紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	小川 たかし	英米文・歴史1年	2
中国語 I B			

講義の内容・授業スケジュール I A と I B とで特に内容を分けず、週2回の授業で、ともかくどんどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法 教科書は全20課(うち発音4課)で、2課に1度の割合でテストを行い、解答はすべてピンイン(ローマ字・声調記号)で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書 『中国語の並木道』(白帝社) 2,400円 (CD付)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。

1. 「重点」には、対話形式の例文
2. 「比較」には、類義語、類義表現
3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さらに出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周閏『中国見たり聞いたり15章』(光生館) 1,890円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福地 桂子	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくる事。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト(前後期各1回)、小テスト、授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)、出席状況を総合して評価する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』(金星堂) 1,943円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	り うん 李 雲	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三宅登之・張国璐・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』(朝日出版社) 2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ひろかね 弘兼加奈子	国文・地理・歴史2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国人の生活を「出生」に始まり、「教育制度」や「結婚」等、8項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

池上貞子・張国瓚『中国人のくらし』（朝日出版社）1,995円

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	かまや おさむ 釜屋修	英米文2年	2

講義のねらい

I AB等で学んだ初級の内容を改めて確認し定着させることをめざす。テキストに初級テキストを用いたのはそのためである。このクラスでは口頭練習に力をいれる。

講義の内容・
授業スケジュール

全員参加、全員出演を基本とする。

履修上の留意点

出席し、積極的に発声し、中国語の文法現象に興味と探求心を持ち、教師を質問で追いつめること。

成績評価の方法

学習態度とテストにより判断。

教科書

相原茂・陳淑梅ほか『恋する莎莎』（朝日出版社）2,625円 CD付。

参考書等

開講後に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	さとう ふみこ 佐藤普美子	英米文2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。

履修上の留意点

ともかく「出席する」ことと、声に出して課文を復習することが大切です。

成績評価の方法

前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。

教科書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲	英米文2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつし 松本 丁俊	英米文2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらには出席状況も加味して、総合的に採点する。

教科書

陳栄生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ねがし まさこ 根岸 政子	国文・歴史2年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法

前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

相原茂・郭雲輝・田禾『新概念・中国語会話 訊くが勝ち』（朝日出版社）2,310円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	張 宏 波 ちやう こう は	国文・歴史2年	2

講義のねらい

一年次に習得した発音、基本構文を確認しながら、実用的な中国語表現を読み、聞き、話し、書くというコミュニケーション中心の授業をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。
 ・新出単語は授業前に予習しておく。
 ・基本項目を確認しながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」る。

履修上の留意点

授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返し練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属CDを用いて予習・復習に活用する必要がある。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価する。

教科書

尹 景春・竹島 毅『新版 中国語さらなる一歩』(白水社) 2,200円

参考書等

推奨辞書は教場で指示する。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	松 本 丁 俊 まつ もと あつ とし	国文・歴史2年	2

講義のねらい

基本動詞の意味合い、取るべき目的語など重点的に列挙し、中級中国語を足もとから固める。

講義の内容・授業スケジュール

中国から日本に来て感じた事を題材に、学生生活、日常生活からバイト先で得たさまざまな体験、日本社会において相手の不可解な反応に当惑し、違和感をもち、中国人と日本人の考えかたの違いを感じ取り、不安と模索のなかで日本を理解しようとする文を読む。毎課に動詞を取り上げ、使い方を説明。それに練習として3問の作文が実力向上に役立つ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業の練習問題、発音などをチェック、又出席点を加味する。

教科書

牧田英二・楊立明『留学生的的心声』(同学社) 2,600円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	上野勝広 <small>うえ の かつ ひろ</small>	政・経・社・観・理1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は導入部から5課まで、後期は6～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習を行います。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科
外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.	文学部全学科1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

西川著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	亀山晃一 <small>かめ やま こう いち</small>	文学部全学科1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I A	ナバロ, ホワン J.	国・理・社・心・理・年	2

講義のねらい

スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教 科 書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科外
国
語
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I B	佐藤 麻里乃	国・理・社・心・理・年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化(現在形・過去形)、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。

成績評価の方法

主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点の対象となることがある。

教 科 書

大岩勉『10課で学ぶスペイン語』同学社

参 考 書 等

小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	米田博美	文学部全学科1年	2

講義のねらい

「スペイン語は神様と話す言葉である」とよくいわれます。アメリカ合衆国では、ヒスパニック（スペイン語系アメリカ人）人口が約4000万弱と勢力を拡大しつつあり、昨秋のアメリカ大統領選挙では、ブッシュ、ケリー両候補とも、スペイン語で演説をしたほどです。4億を越え、世界20カ国で話される言葉は背景にあるスペインやラテンアメリカ（ラ米）の文化と共に魅力に富んでいます。将来、諸君は仕事や観光で、スペインやラ米などスペイン語圏諸国を訪れられることでしょう。本年は、メキシコと日本との自由貿易協定を含む経済連携協定も発効し関係が強化されます。アメリカ合衆国とラ米全域を対象とした自由貿易協定が結ばれる可能性もあり、スペイン語を母国語とする多くのラ米諸国の発展が予想され、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語は重要な言語です。安易な考えでなく、各自、強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

富士祥子著『スペイン語が結ぶ世界への道（PASO A PASO）1』

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『和西中辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

その他

文法事項の説明は一方的なものとならないよう、双方向的な授業形態を取り、発音も重視します。また、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントもする考えです。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	栗林ゆき絵	政・経・社・福・理	2

講義のねらい

年間で約60の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、小テスト（基本文、活用・単語）を実施。

履修上の留意点

指示された課題（練習問題、和訳等）は必ずやってくる。随時小テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。

成績評価の方法

平常点（出席・課題）6割以上、試験（小テスト30%および前後期末70%）合計60点以上で合格とする。出席が6割に満たない者は試験の受験を認めない。

教科書

小池和良『多国籍スペイン語入門』（同学社）2,700円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	おぎの まさし 萩野 雅 司	国・地理・社会・心理学	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行なうことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くて悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

橋本定久他著『スペイン語の広場』(大学書林)

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	さとう まりの 佐藤 麻里乃	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化(現在形・過去形)、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくる。

成績評価の方法

主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点の対象となることがある。

教科書

アルマラス他『ブラサ・マヨール I (改訂新版)』朝日出版社

参考書等

小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II A	ましも ゆういち 真下 祐一	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 一年次の復習の後、接続法過去まで学びます。

後期 スペインの歴史や文化をテーマにした短いテキストを読みます。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

『基礎固めのスペイン語』萩野恵 サンティアゴ・マルティン 同学社

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	上野勝広 <small>うえ の かつ ひろ</small>	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	大岩功 <small>おお いわ いさお</small>	英米文2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
教科書は教場で販売します。
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	福 本 久 美 子	英米文2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また訳読を通して現代スペインの社会や文化、政治、経済、教育などの基礎的理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

西川喬共著『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	福 本 久 美 子	国文・歴史2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また訳読を通して現代スペインの社会や文化、政治、経済、教育などの基礎的理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

西川喬共著『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは大いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	杉山秀子 佐野朝子	文学部全学科1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

科外国語

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	廣田英靖	文学部全学科1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	木 村 英 明 <small>きむら ひであき</small>	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教 科 書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

そ の 他

プリント配布。教場にて指示します。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	杉 山 秀 子 <small>すぎやま ひでこ</small>	英米文2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教 科 書

『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次にわたした文法表。

参 考 書 等

露和辞典

そ の 他

プリント配布。教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	国文・歴史2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教 科 書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）を使用します。

そ の 他

プリント配布。

科外
国
目語

〔再履修クラス〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	まつ どう ひろ こ 松 堂 啓 子	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項を確認しながら、表現力を高めていく。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

出席状況・小テスト・定期試験の結果を総合的に評価する。

教 科 書

English for your Future 1 (マクミラン・ランゲージハウス) ISBN4-89585-483-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常的な表現を用いて意志伝達できるようにします。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストの質疑応答、聞き取り、英作文を含む練習問題を行ないながら日常的な表現を覚え、自分のことを伝えることができますようにします。期末試験の他に前、後期数回の小テストも行ないます。

履修上の留意点

出席と熱心に取り組む姿勢を重視します。追、再試験、またそれに代わるものは実施しませんので遅刻、欠席をしないようにして下さい。

成績評価の方法

前、後期試験、小テスト、発表、出席を総合して評価します。

教 科 書

『NEW CROSSROADS 学んで楽しい会話作文』(マクミラン・ランゲージハウス)
2,100円 ISBN4-7773-6026-1

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

映画のスク립トに焦点をあて、そこで使われている実用的なフレーズを習得し、映画の内容に関してディスカッションを行います。

履修上の留意点

予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

成績評価の方法

平常点、課題、定期試験を総合的に評価します。

教 科 書

『映画英語ワークショップ―漆塗り英語学習法で伸ばす総合運用能力―』(朝日出版社)
1,700円 ISBN4-255-15400-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ 美智子 美智子	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『Effective reading & listening—Learning About Different Cultures— 読解・聴解のための効果的学習ブック』（松柏社）1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・ 授業スケジュール	H.G.Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。
教科書	H.G.Wells 著『A Short History of the World（ウェールズの簡約世界史）』（こびあん書房）教室で販売する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむらゆうこ 西村祐子	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な英語の文章の聞き取りと基本的な英作文ができる訓練をコンピュータを使用して行う。

講義の内容・
授業スケジュール

4－7月：聞き取り訓練 CD-Rom の英語会話を聞きながら質問に答える形式で英語を学んでいく。
9－12月：作文訓練 作文の教科書を用いて、基本的な表現を学んでいく。英作文では実際にクラスの中でコンピュータでタイプしながら表現を学ぶ作業を中心にする。

履修上の留意点

コンピュータ ID を必ず事前に習得しておくこと。MS ワードを使うのでタイピングに慣れておくこと。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

教場にて指定。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	とのいけかずこ 外池一子	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たかやなぎ 高柳 文江	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい	この授業においては、自分の思っていることを英語で如何に表現するかを、Writing だけでなく、Speaking 両面から出来るように成ることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	皆さんが度々出くわす様々な状況で自分の思っていることをどのように表現していくか、教科書の会話を通じて学びます。導入はListening と Speaking により行われますが、あくまでも Writing に重点が置かれます。演習問題を中心に Writing は行われますがその問題に関する文法的な点にも及んで説明がなされます。
履修上の留意点	授業の内容上、予習は必ず必要です。単位を取るためには、2 / 3 以上の出席が課されます。座席指定
成績評価の方法	試験（前期試験・後期試験） 60% 平常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み） 40%
教科書	“From Writing to Speaking”[作文から会話へ] 羽鳥博愛著 弓プレス ISBN4-8034-1128-X
参考書等	テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ひやま 椋 晋	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。
教科書	第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわはら やす お 岩原 康夫	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	丸小哲雄	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎英語に立ちかえりながら、速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・タイムを総理解をとして、リーディング・タイムで日本文化論を読み、自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出を課題とします。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

リーディング・テキスト：The Compact Culture (英宝社)
リスニング・サブテキスト：Listening closer to English (英宝社)

参考書等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	熊沢和明	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけると同時に、会話形式の表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングおよび会話表現を習得するためのペアワークも行います。

履修上の留意点

語学トレーニングの科目なので積極的な参加姿勢を求められます。

成績評価の方法

平常点重視。ただし毎週単語の小テスト。年2回の期末試験を実施します。

教科書

Why Is That? (金星堂)

その他

月曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木村克彦	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『アクティブ・リーディング』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出示しますが欠席者は0点になります。

教科書

映画英語教育学会九州支部著『Every Movie Tells a Story：映画が語る現代社会』1,500円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	牧野 正秀	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

再履修クラス故に過去において何らかの理由より、単位を修得できなかった人たちと思う。いかなる理由によりこのクラスに参加するにせよ、真面目に授業に取り組んでほしい。その上で、基本的な英語の再確認、再復習を重ね基礎の習得をねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

語学の授業は講義ではなく演習が中心なので、指名されたら必ず積極的に発表して下さい。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加してください。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。

成績評価の方法

授業中の発表や予習の度合いといった平常点に、前、後期の試験結果を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

開講時教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原 孝哉	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。

教科書

The Whole Story (南雲堂フェニックス) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	まなご ひさあき 真 砂 久 晃	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教 科 書

A Guide to Effective Reading (金星堂) 1,900円+税

科外国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	たか やなぎ ふみえ 高 柳 文 江	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業ではReadingだけでなくListeningにも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等)40%。

教 科 書

第1回の授業において発表します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	くま まわ かずあき 熊 沢 和 明	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけた上で、同時に会話表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

読読だけでなく、リスニング、ペアワークなどを含んだトレーニングの方式となります。

履修上の留意点

毎回の出席と参加を求めます。メールを利用した指導も対応します。

成績評価の方法

総合評価。単語小テスト、年2回の期末試験実施。

教 科 書

Why Is That? (金星堂)

そ の 他

土曜日・3時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	こん どう 近 藤 まほり 真 彫	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい 時事問題を扱った英文を読んで、ニュース記事の読解力をつけながら、その内容について意見が述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を用い、単語や表現に注意しながら読解する。その上で、英語での意見の表現法を学び記事内容について話し合う。

履修上の留意点 必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法 定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教 科 書 授業で配布するハンドアウトを使用する予定。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい 様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点 リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法 出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%)

教 科 書 *Reading Landmarks of the world* (三修社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	すが かわ のり こ 菅 原 典 子	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい ウィットとユーモアあふれる短編を題材に、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めながら、練習問題もやっています。

履修上の留意点 授業は予習をしてくること。

成績評価の方法 前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、小テスト、態度等を入れて総合的に評価します。

教 科 書 L. A. Hill、安藤賢一 *Witty Tales—Readings and Exercises—* (成美堂) 1,680円 (税込)
ISBN4-7919-4032-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	おお たち みちこ 太田美智子	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Say It In Song (マクミラン・ランゲージハウス)

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	おか ざき としいちろう 岡崎寿一郎	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

長谷川潔 編注『ことばのはじめ』(金星堂) 1,400円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐藤江里子	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験(50%)と平常点(50%)による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	おかざき としちろう 岡 崎 寿一郎	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教 科 書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』(太陽社) 1,470円

そ の 他

火曜日・4時限

科外
国
語
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	つかもと としお 塚 本 利 男	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英文を書けるように英文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

1回の授業で1Unit (3~4ページ)を学習します。第一部、英文を書く時に注意すべき重要事項、第二部、パラグラフの書き方、第三部、各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回、授業の総仕上げとして、英語表現力の実践の場になるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名(例えば、高齢化社会、体罰が必要か、死刑制度など)で小論文を書いて提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教 科 書

『基礎からパラグラフ・ライティングへ』(成美堂) 1,600円+税
ISBN4-7919-5037-2 C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	おおた ゆきこ 太 田 由 紀 子	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教 科 書

Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99
ISBN: 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	矢島直子	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

教科書を使って、英語を聞く力と表現する力をつけるような勉強をします。

履修上の留意点

毎回授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分かるようにしてから、授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	相馬美明	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

IAの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC、TOEFLのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	川島弘之	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』(大修館書店) 1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他DVDの映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
『ロックの意味』(草思社)
『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)

その他

DVDの映像を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	まち だ なお こ 町 田 尚 子	文学部全学科(福祉除)3・4年	2

講義のねらい

英語ⅡAの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語での意思疎通を習得します。英文メールの書き方を手はじめとする予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向を、アンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中の小テスト、質問への解答成績を平常点とし、中間・定期試験の成績と同等の扱いとして成績評価点数を出します

教 科 書

教場で指示します。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	文学部全学科(福祉除)3・4年	2

講義のねらい

英文によって異文化理解、コミュニケーション論等を題材にした英文を読み、国際ビジネスにおける習慣やマナー、エチケット等を身につけ、実践的なビジネス英語を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進め、基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指します。また、実践的なビジネス会話の聞き取りをおこないます。

履修上の留意点

受験は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教 科 書

Global Understanding Success in International Business (成美堂) 1,785円
ISBN4-7919-4066-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	文学部全学科(福祉除く)3・4年	2

講義のねらい

ひとつのまとまった考えや意見を英文で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目標達成のために、比較的短い英文を、語順に注意しながらある程度の量を学習し、同時に文法事項の整理を行なう。ここで行なう短文の学習量が、パラグラフ・ライティングの質を左右することになる。

履修上の留意点

予習を欠かさない。予習範囲内の小テストも行なう。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト及びテスト等総合的に評価する。

教科書

未定。

参考書等

教室で紹介する。

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐 藤 江里子	国・英・文・歴3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。スピード・リーディングはもちろん、リスニングの力を向上させるため、毎回テープを使ったリスニング演習も行う。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験（50％）と平常点（50％）による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	は せ が わ こう いち 長谷川 公 一	国・英・文・歴3・4年	2

講義のねらい

平易な英文を正確に読むことによって、読解力の向上を目指します。また、ガンジーの「非暴力」の理念は、開発途上国インドが、宗主国であるイギリスに対し、清廉潔白、正直、真実の表明などの徳目の面で優位に立つというねらいを持った現実主義の側面もあります。つまり、読解力の向上と、国際政治の中でのインドの植民地としての行動についての学生の理解という一石二鳥の効果をねらいました。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書

『ガンジーその不滅の生涯』（英潮社）本体価格590円

その他

月曜日・4時限目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	かわ て ひろ かつ 川 手 浩 一	国・英・文・歴史3・4年	2

講義のねらい

現代亜米利加の文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

カリフォルニア、テキサス、ニューイングランド等の地域的なものから、日常的な衣食住に至る多様な局面を扱っている。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

日常の学習を重視し、試験の結果を入れて総合的に評価します。

教 科 書

『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	おお た み ち こ 太 田 美 智 子	国・英・文・歴史3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教 科 書

Animal Watching (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	は せ が わ こう いち 長谷川 公 一	国・英・文・歴史3・4年	2

講義のねらい

まず第一に、やさしい英文を正確に読む力、つまり読解力の向上を最重視します。
次に、非暴力による抵抗運動の旗印の下に、1950年代のアメリカで黒人に対する差別撤廃運動を率いて、歴史的な大成果をおさめた黒人キリスト教牧師マーチン・ルーサー・キング師の生涯を理解することに力点を置きます。キング師はキリスト教の隣人愛、同胞愛の立場から公民権運動をくりひろげ、黒人のみならず、白人の人達にも多大の影響を与えました。

成績評価の方法

出席率+前後期2回のテストで評価します。

教 科 書

『マーチン・L・キング』（桐原書店）400円

そ の 他

月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	田中保	国・英・文・歴3・4年	2

講義のねらい

英文の構文を理解し、読解力を培う。また、大意の把握にも心がけ、読む速度を高めていくように学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。

教科書

『数が語る世界』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17218-8

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	落合和昭	国・英・文・歴3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう（一人でする場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりである）。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

Longman Pocket Phrasal Dictionary 1,480円 ISBN0582776422
『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-5026-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川股陽太郎	国・英・文・歴3・4年	2

講義のねらい

IBを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意把握の練習をする。随時、視聴覚教材（VHS、DVD、PC等）を使用し、プリント教材は適宜配布する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表と小テスト、および定期試験の成績を総合して評価する。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	町田尚子 ま だ な お こ	国・英・文・史3・4年	2

講義のねらい

英語ⅡBの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語で書かれたニュース記事や特集記事を読む予定です。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向をアンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中に担当した要旨等の発表内容、質問への解答をA-D4段階で評価する平常点と中間・定期試験成績を同等の扱いとし、成績評価点数を出します。平常評価の素点換算はAプラス=90以上、A=85、Aマイナス=80、B=79-70、C=69-61、D=60です。通年で5回が発表担当の最低基準です。

教科書

教場で指示します。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	本間俊一 ほん ま とう かつ	国・英・文・史3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	やまがた 山 縣 裕	英・英教・歴史3・4年	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日本人のおかしやすい英語のミスを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

『日常会話に役立つ英語ミニ知識』（成美堂）1,700円 ISBN4-7919-4071-7
『データベース5500』（桐原書店）950円 ISBN4-342-01330-4

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	てしま 手 島 敬 子	英・英教・歴史3・4年	2

講義のねらい

本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示

〔ドイツ語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔再クラス〕	し ま 真 と み え 志 真 斗 美 恵	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。

成績評価の方法

平常点（毎回の練習問題の提出・小テスト）と前・後期試験で総合的に評価します。

教 科 書

清水薫著『ドイツ文法・100語の世界』（同学社）2,300円

科外国 目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔再クラス〕	い む ら ゆ き こ 井 村 行 子	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・ 授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教 科 書

教科書販売時までに決定して、書店の方に連絡しておきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A 〔再クラス〕	やぶ した こう いち 数 下 紘 一	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

昨年はドイツ語と戦って負けましたね。今年こそI Aの単位を取りましょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書はまだ未定ですが昨年とは別でしょうから気分を変えてもう一度挑戦しましょう。文法むずかしいですが、外国人が日本語を習うのもどんなに苦しいかを思って下さい。彼らも苦勞してますよ。

履修上の留意点

是非休まず出席して下さい。1回でも休むとわからなくなります。

成績評価の方法

成績は、前期・後期の試験と平常点で決めます。

教 科 書

教科書は4月の1講目に決めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もと 橋 右 京 もと ばし う きょう	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で以って、理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円＋税

科外国語
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いい 塚 公 夫 いい つか きみ お 夫	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっています。

履修上の留意点

出席しただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

荻野蔵平他著『ビデオ教材 ドイツこころのふるさと ビデオで学ぶメルヘンと伝説』（朝日出版社）2,300円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	ほりうち みえ 堀内美江	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な会話やヒアリングを取り入れながら、文法や語彙の学習もバランスよく取り入れた学習を行います。
またドイツ語を通して、日本とは違う環境や文化、歴史や人々の生き方なども経験していただきたいと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

皆さんの理解度にあわせて、ゆっくりと確実に学んでいきます。会話を通じた発話練習と文法習得、そしてヒアリングが各課の学習項目となります。機会を見て、視聴覚資料も導入する予定です。

履修上の留意点

語学は特に最初はやはり、出席すればするほど理解度もアップします。とにかく出席しましょう。
辞書とノートと教科書は必ず持ってくる。わからないことがあったら、どうぞすぐに質問してください。

成績評価の方法

出席点と平常点、前後期の試験および適宜導入する小テストを加えた総合評価を行います。

教科書

秋田静男他『ドイツ語インフォメーション』（朝日出版社）

参考書等

授業中に機会をみてお伝えします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本橋右京	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確かなものとします。

履修上の留意点

テキストには丁寧な練習問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

小黒・日野・佐藤 『ともかく話そうドイツ語』（都文堂）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	井村行子	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいきます。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教科書

『ドイツ語70』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もり森 こうせい 公成	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

ドイツ語ⅠAとⅠBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせませす。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

Susanne Schermann, 篠原敏昭, 岡田恒雄『CD付き ドイツ語万華鏡』（三修社）
ISBN4-384-13079-1 C1084

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もと橋 右京	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んでゆきます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

山本淳『新・じゃあ、またあした!』（同学社）2,500円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	おかもととき 岡本時子	国・英・地・理・歴3・4年	2
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。

履修上の留意点

この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。

成績評価の方法

成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて授業中に説明します。

科外国語

〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に乗っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

『新フランス文法要説』（朝日出版社）2,000円

科外国
語目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	あし はら けん 芦 原 眷	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書

佐藤 久美子 等 著 『アベセデ フランセ』（白水社）2,500円
ISBN4-560-06054-1 C3085

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A 〔再クラス〕	すが わら たけし 菅 原 猛	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい 英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール 1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点 教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法 再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教 科 書 久富健『基礎入門、タブロー・グラメール』（朝日出版社）2,200円
ISBN4-255-35137-6 C1085

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A 〔再クラス〕	なに かわ 谷 川 かのる	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール 文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点 出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法 前期・後期試験、および小テストなど。

教 科 書 太田『フランス語文法の〈基礎〉、新訂版』（駿河台出版社）2,500円、CD付

参 考 書 等 授業中に紹介する。

そ の 他 全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教 科 書 藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま げき 今 関 アン	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2 / 3 の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2 / 3 以上の出席 (25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト (25%) + 前・後期定期試験 (50%)

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社) (7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い とう 伊 藤 なお	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎を学習しながら、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・
授業スケジュール

必要な文法事項を解説し、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、簡単な会話練習を盛り込んだ問題にも取り組みます。また、テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国か、日本とどう異なるかについて知ってもらいます。

履修上の留意点

多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難さも解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川誠司『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 明	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのため、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教 科 書

沼田五十六他『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	はた なか ち あき 畑 中 千 晶	国・数・理・地・歴3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早かつ的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教 科 書

リリアヌ・ラタンジオ、村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー（CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	国・数・理・地・歴3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける

講義の内容・
授業スケジュール

文化、地理などを題材にフランスの現在を知る

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教 科 書

野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円
ISBN4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	まえだのりかず 前田祝一	国文・英文・地理・歴史3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しづつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語ⅡA・ⅡBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的コント』（第三書房）1,100円

科外
国
目語

[中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	こう りん ひで もと 江 林 英 基	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	あき もと たすく 秋 元 翼	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。特にピンインの習得に重点を置く。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

履修上の留意点

ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『聞く・話す フォーアップ初級中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	しお 塩 ばた 旗 しんいちろう 伸一郎	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

まずは中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解しよう。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の出題を含め、評価の半分以上を音声的要素が占める。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

4年生の就職活動等で已むを得ず欠席する場合は、必ず事前に、もしかなわぬ場合は直後に申告し、相談すること。後になって言ってきたとしても受けつけない。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

欠席は年間3回を超えると10点づつ減点。遅刻2回で欠席1回に換算する。ただし4年生の就職活動等による欠席のうち真に已むを得ない理由で、且つ事前に相談のあった場合は、考慮される。

教科書

戸沼・石田・ほか『縁日はとてものにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	さ とう 佐 藤 ふ み こ 普美子	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子ほか『縁日はとてものにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ね ざし 根 岸 まさ こ 政子	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

関根謙『〔改訂版〕基礎固め中国語—4つのステージ』（同学社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	ちょう 張 こう 宏 は 波	文学部全学科2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

体系的に初級中国語を学ぶ。発音・声調、簡体字、基本構文・会話をしっかりと身につけ、確実な基礎づくりをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って、基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。
 ・新出単語は授業前に予習しておく。
 ・発音を磨きながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」ていく。

履修上の留意点

授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返し練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属CDを用いて予習・復習に活用する必要がある。
 なお、出席率が四分の三に満たないようでは、初級といえども中国語を身につけることは不可能なため、不合格とする。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価します。

教科書

尹景春・竹島毅『最新版 中国語はじめの一步』(白水社) 2,310円

参考書等

推奨辞書は教場で指示する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	そう 曹 たい 泰 わ 和	文学部全学科2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

授業を通して、北京のことを中心に中国のさまざまなことを学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション』(朝日出版社) 2,500円

参考書等

開講時に説明する。

その他

辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A [再クラス]	戸 張 嘉 勝 <small>ほり よし かつ</small>	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。
- ③書取や質問に答えるなど、口と耳の活用が多く取り入れる。講義の内容や文法などは教科書の展開順序に従って行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

関中研（関西大学中国語教材研究会）共著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）本体2,415円＋税

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A [再クラス]	三田村 圭 子 <small>みたむら けい こ</small>	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音とピンイン・文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、練習問題で文法の基礎を固める。
後期には、会話のビデオを見ながら学習の進行を確認する。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを5回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

大石智良編『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）2,900円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A [再クラス]	小 川 隆 <small>お がわ たかし</small>	文学部全学科2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直したからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からいねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

山下輝彦『你好！中国語』（金星堂）2,310円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	とく ま よしのぶ 徳 間 佳 信	文学部全学科2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、発音の仕方を習得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の習得が中心となる。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話ができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。出席と復習を心掛けてほしい。より楽しい授業を目指すため、授業中の積極性を高く評価したい。

成績評価の方法

平常の学習態度（30%：出席・宿題による評価）、小テスト（30%）を重視し、各期末のテスト（40%）とあわせて評価する。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊『はじめて習う中国語』（白水社）2,205円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	文学部全学科2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。希望としては、後半少しスピードアップして授業を進めて行きたい。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、欠席せずに積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語ぶくとんほあ』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	文学部全学科2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	政・数・理・地・生・体	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

(1) 四分の三以上の出席を求める。(2) 必ず予習・復習をすること。(3) 授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

三瀧正道・陳祖僖『2005年版 時事中国語の教科書』(朝日出版社) 1,995円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわ まま ひろし 岩 崎 皇	政・数・理・地・生・体	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エペンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	政・数・理・地・生・体	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭明	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

[スペイン語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	文学部全学科2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

数回のテストと小テストの得点、および日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

その他

火曜日・5時限目

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	文学部全学科2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号（NHK出版）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

その他

水曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	文学部全学科2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点 出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法 出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書 ホワン, J, ナバーロ *Español dinámico*

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	文学部全学科2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい 初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書 開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	文学部全学科2・3・4年	2
スペイン語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点 予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法 平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書 福嶋教隆著『生き活きスペイン語』朝日出版社

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

その他 月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	おぎのめくみ 荻野 恵	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	さとうまりの 佐藤 麻里乃	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

毎回の授業内で行う課題による（このため出席は必須である）

教科書

寺崎英樹『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科外国語
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	ふくもとくみこ 福本 久美子	国文・英米文・地理・歴史3・4年 国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬著『やさしくくわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	国文・英数・地理・歴史3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	国文・英数・地理・歴史3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

〔ロシア語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	文学部全学科2・3・4年	2
ロシア語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディー・ランゲージを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参 考 書 等

『露和辞典』

科
外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A〔再クラス〕	さの あさこ きむら ひであき 佐野 朝子・木村 英明	文学部全学科2・3・4年	2
ロシア語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	あん たく 安 徳 ニーナ	文学部全学科2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	おおす かふみかず クロチコフ,Y・大須賀史和	国文・英文・地理・歴史3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教 科 書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）

参 考 書 等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん たく 安 徳 ニーナ	国文・英文・地理・歴史3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし あきと 林 明 人	文学部 (英米文学科) 1・2・3・4 履	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを uses。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	や じま なお こ 矢 島 直 子	文学部 (英米文学科) 1・2・3・4 履	4

講義のねらい

イギリスの現代戯曲を読む勉強をします。取りあげる作品は、2004年8月にロンドンで見た評判のよかった芝居です。少々難しいかもしれませんが、基本的にコメディです。文学と歴史の勉強をする高校生が描かれています。中でフランス語が使われていますが、その部分は私がします。

履修上の留意点

毎回全員に当てるつもりですから、辞書を引いて意味が分ってから授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

Alan Bennett The History Boys (faber & faber) ISBN0-571-22464-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まきの てる よし 牧 野 輝 良	文学部 (英米文学科) 1・2・3・4 履	4

講義のねらい

内容のある高度な英文を正確に読む訓練をする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間3頁読む。指名された受講生はテキストを読み、和訳する事。時々全員に1頁ほどのパラグラフの和訳を紙に書き、担任者の前で読み上げ、評価を受ける作業を課す。

履修上の留意点

指名されたら和訳出来るようによく予習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間毎の口答による和訳と記述試験。

教科書

『真の国際化とは』(成美堂) 980円 ISBN4-7919-1236-5

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	たけむら えつこ 竹 村 恵都子	文部(漢文)学科(1)・(2)・(3)・(4)	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	はやし あきと 林 明 人	文部(漢文)学科(1)・(2)・(3)・(4)	4

科外
国
語

講義のねらい

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・
授業スケジュール

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

参 考 書 等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	岸本茂和 <small>きし もと しげ かず</small>	英語(英検準級)1・2・3・4	4

講義のねらい

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの生涯を読む。
少年少女たちはリンカーンといえば「かわいそうな黒人奴隷を開放したおひげをはやしたやさしいのっぺのおじいさん」というイメージをもっているようだがはたしてそうか。どうもそれだけではないらしいことがつかめればこの授業の目標は達したといえる。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももっともだが、新聞はインキのにおいがするあいだだけがいのち、それが消えてしまえば捨て去ってかえりみるものはない。だから新聞はよまない。雑誌はよまない。
一年間でこの作品を読み通すためにクラスをいくつかのグループに分け、一部を夏季休暇の課題にしたり通常授業でもそのグループの「自主研究」を重んじてゆく。作品は1987年度「ニューベリー賞」受賞。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

Russell Freedman. - *Lincoln: A Photobiography*. (Clarion Books, USA)
(テキストは担当者が手配し授業第一週時に受講希望者に買ってもらう予定)

その他

受講者は40人を上限とする。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たん じ ひろ まさ</small>	英語(英検準級)1・2・3・4	4

講義のねらい

英語の週刊誌の最新号を読みながら、語彙、表現法、文化的な背景を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次の三項目を中心に行う。
(1) 基礎語彙表による単語を記憶する。
(2) 英文記事を毎回プリント2枚分を読解し、内容の把握する。
(3) パソコンを使って電子スクラップを作成して、データの処理を学習する。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教科書

プリント使用。

その他

(注) 受講者多数の場合には人数制限あり。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	矢 島 直 子 <small>や じま なお こ</small>	文学部(現代学)1・2・3・4履	4

講義のねらい

BBC News Onlineと日本の英字新聞Daily Yomiuriのニュースを基にした教科書を使って、英語のニュースをしっかりと読む勉強をします。

履修上の留意点

毎回どんどん当てますから、辞書を引いて意味が分ってから、授業に出席するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教 科 書

柏原英則『英文ニュース入門 2005/2006年版』(成美堂) 1,800円(税別)
ISBN4-7919-4827-0

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	落 合 和 昭 <small>おち あい かず あき</small>	文学部学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級(二級、準一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする(一人の場合と、対話形式の場合がある)。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりづらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は48名しか入れない教場を使用するので、48名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%(現代口語英語の和訳)、後期試験は30%(ヒヤリングが10%、会話英作文が20%)である。課題、小テスト、授業中の発表等は全評価の60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは5~10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 『イディオム表現のマルチ習得法』(北星堂) 1,700円 ISBN4-590-01180-8 C3082
- 映画総合教材『シャイン』(松柏社) 2,000円 ISBN4-88198-561-2 C3082
- Longman Pocket Phrasal Verbs Dictionary ISBN0582776422

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おおば なおき 大 庭 直 樹	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科外国語
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットとコンピュータを使用して、パワーポイントを使った英語プレゼンテーション素材の作り方やインターネットの情報収集の仕方について学ぶクラス。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：CDRom教材を利用し、パワーポイントをつかって内容を英語で説明していく。
 9-12月：インターネットを使って与えられた課題に答える。海外の文化や社会について情報を収集し、パワーポイントでまとめる訓練を繰り返しおこなう。

履修上の留意点

教場の都合で受講は50名に限定。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教 科 書

教場にて指定。

参 考 書 等

特になし。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	文学部全学科 1・2・3・4 選	2

科 外 国 語 目 録

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

講義の内容・授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ソルタ, P. N. F.	文学部全学科 2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教科書

Communicate: book 1 a / David Paul / Macmillan Language House, 1, 230
ISBN0-435-26119-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D. M.	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

そ の 他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ラッセル, S. J.	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty - Fifty Book 1 ISBN0 - 13 - 920000 - 2 (Published by Longman)

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・
授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教 科 書

- I) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7
- II) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レーン, C. M.	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科外
国
語

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	ラッセル, S. J.	文学部全学科2・3・4選	2

科外
国
語
目
録

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Within Your Reach : Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	レーン, C. M.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel more comfortable in communicating in English on a variety of different topics.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on speaking practice and improvement of listening skills. students will be invited to give their opinion on a number of different issues, as well as general conversational practice. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester presentations

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II (夏季集中)	ピアス, D. M.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

科外
国
目語

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

Adam Pelagius *Sociological Notes*, Themis Research Group, 2003

そ の 他

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
7月29日 金	○	○	○	○	○	8月29日 月					
8月1日 月	○	○	○	○	○	8月30日 火					
8月2日 火	○	○	○	○	○	8月31日 水					
8月3日 水	○	○	○	○	○	9月1日 木					
8月4日 木	○	○	○	○	○	9月2日 金					
8月5日 金	○	○	○	○	○	9月5日 月					

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエルズ, J. K.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
 Students must have taken English conv.Ⅱ to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
 I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
 LET'S HAVE FUN

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラージ, R.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・
授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense; talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教 科 書

- I) *New Headway English Course Pre - Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436670 - 7
- II) *New Headway English Course Pre - Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436672 - 3

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・
授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week - to - week participation.
 20%two take home essays (10%each essay)
 40%two presentations, with discussion sheet (20%each presentation)
 40%participation within the class (20%each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

参考書等

Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月				
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月				

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	おお たい まさ こ 太 田 雅 子	文学部1・2・3・4履	2

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

矢作三蔵『Basics of Natural English』（開文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	文学部1・2・3・4履	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	文学部全学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC 受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教科書

『English20』（英進社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	文学部全学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

現地で、一人で、病院に行き、薬局で薬をもらって帰って来られるようにするために、病気や医療場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

医療英会話の短文を、パソコン使用で、聞き取り、書き取り、反復練習する。小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

尾崎哲夫『病気になっても困らない英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L I	にしむら ゆうこ 西村 祐子	文学部全学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語の会話ビデオを見基本的な会話表現を学習する。ディクテーションによって会話を書き取ってタイプし、ペアワークのなかで覚える。

9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。概略をMSワードでタイプして提出する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L I	はなわ みちこ 埴 美智子	文学部全学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills—生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た ま さ こ 太 田 雅 子	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力を向上させる。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

小野田栄『BBC World Understanding the News in English 2』（金星堂）

科外国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

英語 LL I を受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生が受講対象です。初回にテストを行いますから必ず出席してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 LLⅡ	にしむらゆうこ 西村祐子	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書は Unit 1-5 まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。教科書は Unit 6-10までを学習。

科外
国
語

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢のコンピュータ ID を取得しておく。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

英 語 L L III

<英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点>

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	レーン, C. M.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20%attendance
- 40%exams
- 40%participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	久 保 ひさ子	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

英語講演等を、大半、理解でき、さらに、ディスカッションできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、再生、反復練習する。自己紹介、ビデオ、ディベートも含む。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教 科 書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	西 村 祐 子	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：教科書のUnit 1-5まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。
9-12月：教科書のUnit 6-10まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教 科 書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語外国書講読	柴 野 博 子	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができていると思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教 科 書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島としあき の 利 彰	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

ドイツの新聞の面白さは辛辣さです。政治風刺漫画を見ても日本とは大違いです。記者一人一人が手厳しい批判性を備えています。この点を味わいながらドイツで現在問題になっていることのみならず、広くEU諸国で起きている事柄にも触れ、EU全体のイメージを得たいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙の記事を読みます。予習しやすいよう文法事項、時事用語、難しい語については毎回詳しく説明します。

履修上の留意点

訳読は原則として希望者に任せますが、少人数クラスなので一回の授業で必ず一度は訳読の順番が回って来ることを予定してください。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。

その他

テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	柴野ひろこ の 博 子	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読んでいきます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、1, 2年生の文法事項を補足しながら、ゆっくり進みます。
後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。

教科書

教材は、コピーしてお渡しします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L I	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を教多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

テキストは教室で配布する。

そ の 他

ビデオ、カセットを使用する。

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L II	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

Themen I neu

そ の 他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	い がらし のぶ こ 五十嵐 信子	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかり理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	やぶ した こう いち 数下 紘一	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

はじめてドイツ語を習う皆さんに一寸苦しんでもらいます。短い易しい文から始めましょう。

履修上の留意点

できるだけ教室に来てください。出欠をとります。

成績評価の方法

前期・後期の試験で評価します。時々ミニテストもやりますか。

教科書

教科書は4月に決めます。

参考書等

特に参考書はなくていいと思います。辞書については4月の第1回目の講義の時4冊程挙げますので、それを参考にして各自買って下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	やぶ した こう いち 数下 紘一	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

1年生で習った事を元にして、辞書を引きながら読めるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は易しい物をゆっくり、後期は2年生らしい文を読みます。

履修上の留意点

出席は是非して下さい。サボるとわからなくなりますから。

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験+平常点で決定します。平常点も入ります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語外国書講読	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

フランス語で書かれた短編小説ややさしい詩を読むこと。

履修上の留意点

与えられた課題をやった上で、必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

平常点での評価を原則としますが、必要があれば年度末に筆記試験を行いません。

教 科 書

プリントを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事フランス語	く わ た の り あ き 桑 田 禮 彰	文学部全学科3・4選	4

科外
国
語

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2005』（朝日出版社）本体1,900円＋税

参 考 書 等

そのつと授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	小玉 齊 夫 <small>こたま なり お</small>	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思しますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ 2』（駿河台出版社）2,500円
ISBN4-411-00923-4 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (ペーパーペーパー) Presenter Pratiquer Produire』（第三書房）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	でぐち まさとし 出口 雅 敏	文学部全学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	文学部全学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。

教科書

佐藤久美子他著『フロレンゾ』(白水社) 2,100円 ISBN4-560-06036-3

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	すが わら たけし 菅 原 猛	文学部全学科1・2・3・4履	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞書を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

石井洋二郎『新フランス文法要説』(朝日出版社) 2,000円 ISBN4-255-35165-1 C1085

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ (選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 外 国 書 講 読	さ とう ふみこ 佐 藤 普美子	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小说）を読んでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教 科 書

開講時、プリントを配布します。

参 考 書 等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しよ 塩 なた 旗 じんいちろう 伸一郎	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

「速読」篇は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。
併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可缺。
教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。

参考書等

辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。
これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま 釜 や 屋 おさむ 修	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

より正確な発音、基本文法の応用とより深い理解、生きた中国語へのさらなるアプローチを目ざし、会話文・掌篇小説（ショート・ショート）を素材とする。

講義の内容・授業スケジュール

全員参加形式。

履修上の留意点

予習を前提とする。

成績評価の方法

総合的な学力を判定する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中辞典以上の辞書を必要とする。辞書は開講後に紹介する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L I	いわさき 岩崎 ひろし 皇	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータ教場のLL機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの音声教材をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

楊達他著『聞こえる中国語初級テキスト』（南雲堂） 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L II	おがわ 小川 たかし 隆	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級でいどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ゼビこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱榮『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）
※「スリム版」でなく旧版の方を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	かまや 釜屋 おさむ 修	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

正確な発音を習得し、基本文法のいちばん基礎となるところを重点的に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので欠席なく持続的な学習に心がけてもらうが、授業展開も継続性に留意する。

履修上の留意点

週一回の授業なので、一回の欠席は大きな学習欠落となる。出席に注意せよ。

成績評価の方法

出席状況、各種テストにより総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁『中国語プロムナード』（好文出版）2,400円 CD付

参考書等

開講時に指示する。

科外
国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	みやもと あつこ 宮本厚子	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

プリント配布。

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	らん めい 蘭 明	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつもと あつとし 松本丁俊	文学部全学科2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話を題材にし、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学ぶ。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中に、発音のチェックや、作文の練習などを見る。出席点も参考にする。

教科書

陳栄生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語外国語講読	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで様々な分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。

講義の内容・授業スケジュール

今年は日本で暮らすスペイン語圏の人々をテーマにしたテキストを読む予定です。

履修上の留意点

現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関してのコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加と各回の達成度チェックによって評価します。

教 科 書

初回の授業でテキストと入手方法を伝えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事スペイン語	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 新聞記事のスペイン語、世界の出来事をスペイン語で読む。
後期 スペイン語で見た日本

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教 科 書

随時プリントを配布します。インターネットも活用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級スペイン語	う え の か つ ひろ 上 野 勝 広	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教 科 書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

Viaje al español
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	ナバロ, ホワン J.	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II (選)	おぎの まさし 萩野 雅 司	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々と行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接していきます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』(同学社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語外国書講読	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なのは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけでなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ロシア語	木村英明	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L I	安徳二一	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S.KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシ ア 語 L L II	あん とく 安 徳 ニーナ	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

そ の 他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシ ア 語 I A (選)	クロチコフ, Y.	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディール・ランゲージを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 - 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教 科 書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参 考 書 等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B (選)	木村英明	文学部全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混沌から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道を探り始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科外国
目 語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 II (選)	クロチコフ, Y.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語 I A (選)	白賢美	文学部全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。(IA(選)、IB(選)のどちらか一方のみの履修でもよい)

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭の練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座』(初級)(国書刊行会)

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語Ⅱ(選)	白賢美	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座』(中級)(国書刊行会)

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。

科外
国
目語

科外
国
目語

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江口 淳一〉	269
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村 正義〉	270
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤 政之・村松 誠〉	271
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤 政之・森本 葵〉	272
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	〈末次 美樹〉	273
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	〈末次 美樹〉	273
健康・スポーツ実習 (キックボクササイズ)	〈末次 美樹〉	274
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木 淳平〉	274
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	275
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹田 幸夫〉	276
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈館岡 儀秋・森本 葵〉	277
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永吉輝〉	278
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中 佳孝・長濱 友雄〉	279
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	280
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング)	〈秋田 浩一〉	280
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川村正義・山口 良博〉	281
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧野 茂〉	282
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈高橋 俊介・村松 誠〉	283
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	284
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング&太極拳)	〈光 永吉輝〉	285
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	286
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	287
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	287
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (卓球)	〈牧野 茂〉	288
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野 茂〉	289
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	290
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	291
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	292
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	292
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈鈴木 淳平〉	293

生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用（卓球）	〈牧野 茂〉	294
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用（バスケットボール）	〈牧野 茂〉	295
生涯スポーツ実習（集中前期）（テニス集中）	〈江口 淳一〉	296
生涯スポーツ実習（集中後期）（テニス集中）	〈江口 淳一〉	297
生涯スポーツ実習（集中後期）（ゴルフ集中）	〈三幣 晴三〉	298
生涯スポーツ演習（シーズン前期）（ゴルフ）	〈村松 誠他〉	299
生涯スポーツ演習（シーズン後期）（スキー・スノーボード）	〈竹田 幸夫 他〉	300
健康・スポーツ論 1	〈佐藤 政之〉	301
健康・スポーツ論 1	〈森本 葵〉	302
健康・スポーツ論 2	〈大石 武士〉	303
健康・スポーツ論 2	〈村松 誠〉	304
健康・スポーツ論 2	〈牧野 茂〉	305

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1 時限 (国文)		2 時限 (英米文・歴史)		3 時限 (地理・社会・心理)			
月 曜 日	※鈴木	ソフトボール		※江口	テニス		※竹田	体操・トランポリン	
	竹田	体操・トランポリン		竹田	体操・トランポリン		館岡	ゴルフ	
	高橋	空手道		光永	トレーニング		高橋	空手道	
	館岡	ゴルフ		森本	ゴルフ		光永	トレーニング	
	光永	トレーニング		川村	室内球技		森本	ジョギング	
	川村	室内球技		佐藤	卓球		江口	テニス	
	佐藤	ジョギング		高橋	空手道		鈴木	ソフトボール	
	村松	卓球		鈴木	ソフトボール		村松	卓球	
	末次	ダブルダッチ		末次	キックボクササイズ		末次	簡化太極拳	

※は、科目の担当者

保健
体育
目

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日					
1 時限															
2 時限	長	前期・基礎		大	前期・応用		鈴	牧	前期・応用		牧	前期・応用			
		バドミントン			ニュースポーツ※				卓球			バスケットボール			
	濱	後期・基礎		石	後期・応用			野	野	後期・応用		野	後期・応用		
		バドミントン			ニュースポーツ※					卓球			バスケットボール		
3 時限	長	前期・応用		大	前期・基礎		鈴	牧	前期・基礎		牧	前期・基礎			
		バドミントン			簡化太極拳※				室内球技			卓球		バスケットボール	
	濱	後期・応用			石	後期・基礎		木	野	後期・基礎		野	後期・基礎		
		バドミントン				簡化太極拳※				室内球技			卓球		バスケットボール
4 時限	大	前期・応用					鈴	鈴	前期・応用						
		簡化太極拳※							室内球技			バドミントン			
	石	後期・応用			木			木	木	後期・応用		木			
		簡化太極拳※								室内球技			バドミントン		

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科
保
健
体
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一 <small>えぐち じゅんいち</small>	文学部全学科(国文除く)1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむらまさよし 川村正義	国文・英文・歴史1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントン教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	さとう まさゆき むらまつ まこと 佐藤 政之・村松 誠	文学部全学科1必	2

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	さとう まさゆき もりもと まもる 佐藤 政之・森本 葵	歐・煙・社・健・心・理・必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

保 科
健 体
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)	すえ つぐ み き 末 次 美 樹	国文	2

講義のねらい

ダブルダッチとは、2本の縄を使って跳ぶ縄とび運動である。誰もが手軽にでき、集中力、リズム感、バランス感覚が身に付き、また、動きを自分たちで工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動素材である。ダブルダッチを体得する事により、現在および将来の体力、健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ビデオ学習
- 3 時限目：短縄で練習
- 4 時限目：ペアで、リズム・バランス感覚
- 5 時限目：ターナーの練習、偶数と奇数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転、スピード
- 8 時限目：馬跳び、ターナーチェンジ
- 9 時限目：ビデオ学習
- 10～15時限目：応用

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、シューズ、短縄を用意する。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 保
健 健
体 体
目 目
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	すえ つぐ み き 末 次 美 樹	地理・社会・福祉・心理1必	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

・服装：一般的運動服装で手軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (キックボクササイズ)	すえ つぐ み き 末 次 美 樹	英米文・歴史1必	2

講義のねらい

キックボクササイズとは、キックボクシング・空手道・ボクシング・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップビートな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップ・バランスアップなどの効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 次限目：オリエンテーション
- 2 時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明
- 3 時限目：ストレート、フック、アッパーの練習
- 4 時限目：キックの練習
- 5 時限目：コンビネーション
- 6 時限目：フットワークの練習
- 7 時限目：コンビネーション（音楽に合わせる）
- 8～14時限目：総合
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 服装：一般的服装で動きやすいものが良い。その他のものは不用。
- 2) 教場：101教場

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

保 科
健 体
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	文学部全学科1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームであるが、野球ほどの特別な技能の習得なしに比較的簡易に行うことができる。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トスパッティング、その他）ゲーム
- 3 時限目：ク
- 4～14時限目：固定チームでのリーグ戦
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
服装：実技のできる服装とする。ユニフォーム着用の必要はない。
シューズ：スニーカー、ランニングシューズ等は可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、運動やゲームへの積極性も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか 高 橋 俊 介 たか はし しゅん すけ	文学部全学科1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだゆきお夫 竹田幸夫	文学部全学科1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：ク
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

保科
健
体
育
目

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	なておが 館岡 よしあき 儀秋・森本 もりもと まもる 葵	文学部全学科1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

科保健
目体
育

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よし てる 光 永 吉 輝	文学部全学科1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ(室内専用)を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容(毎時間記録をする)、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法(単独法、対人法)などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	たなか よしたか ながはま ともお 田中 佳孝・長濱 友雄	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目： 〃 （サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目： 〃 （シングルスゲーム）
- 5 時限目： 〃 （シングルスゲーム）
- 6 時限目： 〃 （ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 8 時限目： 〃 （まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10時限目： 〃 （ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11時限目： 〃 （ルール解説、シングルスゲーム）
- 12時限目： 〃 （ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13時限目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 14時限目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 15時限目： 〃 （まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目： 〃 （アタックとブロックの技術、ルール解説）
- 4 時限目： 〃 （フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目： 〃 （ゲーム）
- 6 時限目： 〃 （ゲーム）
- 7 時限目： 〃 （ゲーム）
- 8 時限目： 〃 （まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10時限目： 〃 （レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11時限目： 〃 （ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12時限目： 〃 （ゲーム）
- 13時限目： 〃 （ゲーム）
- 14時限目： 〃 （ゲーム）
- 15時限目： 〃 （まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	すず き しゆん べい 鈴 木 淳 平	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席率の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまぐち よしひろ 川村 正義・山口 良博	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健
目育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。
- （2）体育館シューズを用意すること。
- （3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - （2）実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川体育館
 - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の種目を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)

7月17日及び12月21日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合すること。

- (2) 実施時間：10:00～12:00 (昼食・休憩) 13:00～15:30

- (3) 実施場所：玉川体育館他

- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(トレーニング&太極拳)	みつ <small>なが</small> よし <small>てる</small> 光 永 吉 輝	文学部全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | | |
|-----|----|------------------------|
| 1日目 | 午前 | オリエンテーション・体力測定 |
| | 午後 | オリエンテーション・基本動作・第一組(3式) |
| 2日目 | 午前 | カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定 |
| | 午後 | 第一組、第二組(3式) |
| 3日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組(2式) |
| 4日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合 |
| 5日目 | 午前 | 体力測定 |
| | 午後 | 総合(1~11式)、テスト |

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。尚、太極拳は、最終日に演武テストを行う。

そ の 他

再クラス、集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)~21日(木)
(後期) 12月21日(水)~25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：午前10:00~12:00
午後13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館地下トレーニング場
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健
目体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いたけ し 大 石 武 士	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		文学部全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		文学部全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
 2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
- また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：ク
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目：
 - 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目：
- 11時限目：
 - 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：

科 保
健 健
目 体 体
育 育

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		文学部全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 野 茂	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		文学部全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) スマッシュを打つことが出来る。
(3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7 時限目：シングルスゲームの練習
 - 8 時限目：
 - 9 時限目：
 - 10 時限目：
 - 11 時限目：
 - 12 時限目：
 - 13 時限目：
 - 14 時限目：
 - 15 時限目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まきの 牧野 茂	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			文学部全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3時限目：フルコート2マン・パス(1)、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4時限目：フルコート2マン・パス(2)、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：2マン・ファースト・ブレイク(1)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：2マン・ファースト・ブレイク(2)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(1) ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(2) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE(3) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

科保健体育
目育

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		文学部全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			文学部全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

科保健
目体育

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		文学部全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
4時限目：総合練習
5時限目：総合練習
6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
10時限目： }
11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
15時限目： }

保 科
健 体
育 目

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なす ぎ じゅん べい 鈴 木 淳 平	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		文学部全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		文学部全学科4選	

講義のねらい

生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：
- 11時間目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 12時間目： }
- 15時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム

履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 保
健 体
育

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓球)	まさの 牧野 しげる 茂	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			文学部全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目：
 - ｝ 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目：
 - ｝ 総合練習、ダブルスゲーム練習
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目：
 - ｝ 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目：
 - ｝ 総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まきの 牧野 しょう 茂	文学部全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			文学部全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			文学部全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			文学部全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことにより、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	え ぐち しゅん いち 江 口 淳 一	文学部全学科選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1 日目午後：ラリーの応用練習
- 2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3 日目午後：ダブルス (平行陣への移行)
- 4 日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 4 日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)
- 5 日目午前：団体戦形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日 (水) ～25日 (日)
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限 (後期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	文学部全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
(1) 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
(2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むらまつ まこと 村 松 誠 他	文学部全学科選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月22日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義

- 1日目 9月5日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
- 2日目 9月6日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
- 3日目 9月7日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
- 4日目 9月8日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
- 5日目 9月9日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

科保健体育

履修上の留意点

生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 1) 実習日程:9月5日(月)~9月9日(金)の3泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所:(1) 宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
(2) 練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100
(3) コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311
FAX0195-73-5044
- 3) 定 員:40名
- 4) 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
- 5) 受講料:39,350円(左記金額には、交通費は含まれない)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月23日(月)~6月4日(土)
- 6) 服装・用具
(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
(3) グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだゆきお 竹田幸夫他	文学部全学科選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月13日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月14日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月15日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月16日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月17日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)~2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成17年5月23日(月)~6月4日(土)
- 5) 用具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	佐藤 政之	国文・英米文・地理1選	2

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 〃：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 〃：〃（食生活と栄養）
- 4 〃：〃（運動不足と成人病）
- 5 〃：〃（平均余命と寿命の伸び）
- 6 〃：〃（健康のための生活習慣）
- 7 〃：〃（喫煙・飲酒）
- 8 〃：〃（ストレス社会と健康障害）
- 9 〃：〃（ストレスと健康測定）
- 10 〃：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11 〃：〃（スポーツマンのトレーニング）
- 12 〃：〃（スポーツマンの運動処方）
- 13 〃：〃（スポーツ医学の一般知識）
- 14 〃：〃（スポーツと環境・条件）
- 15 〃：まとめ

成績評価の方法

「レポート」の提出3回

教科書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論1(前期)	もりもと まもる 森本 葵	歴史・社会・福祉・心理1選	2

講義のねらい

人生に於て『体力』は生涯ついてまわる財産である。その『体力』は20才前からのトレーニングに負う所が大きい。その方法を『体力づくり』として講座を進めてゆきたい。また、タイムリーな話題として『近代オリンピック』を取り上げてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈体力づくり〉
- 1 時限目：体力のメカニズム
 - 2 時限目：若年時に於ける体力づくりの必要性
 - 3 時限目： } 筋力
 - } 体力づくりの方法 持久力
 - 7 時限目： } 調整力
 - 8 時限目：体力と疲労
 - 9 時限目： 〃
 - 10時限目：疲労の判定法
 - 11時限目： 〃
- 〈近代オリンピック〉
- 12時限目：近代オリンピックの歴史
 - 13時限目： 〃 の問題点
 - 14時限目： 〃 の将来展望
 - 15時限目：テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教科書

- 『保健体育理論』（科学書院）
- 『スポーツトレーナー教本』（日本体育協会）
- 『スポーツとからだ』（岩波書店）
- 『オリンピックの回想』（B・B マガジン社）

その他

レポート提出・ビデオによる講義

保
健
体
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	文学部全学科選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

保 健 体 育 目 録

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新凶解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	むらまつ 村 松 誠	文学部全学科選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、マスコミに溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかというしっかりした健康観をもつことは、適切な選択をするために大切なことである。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

保 科
健 体
育 目

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

小テストとその他などを加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	まきの 牧 野 茂	文学部全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11時限目：日常生活と健康 (2) 〃・〃・〃 (2)
- 12時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について (1) インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』(カヅサ出版部) 1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

科
保
健
体
育
目

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

1 国 文 学 科

国
文

国

文

II. 専門教育科目

(1) 国文学科

基礎国語学	〈三澤成博〉	313
基礎国文学 I	〈近衛典子〉	313
基礎国文学 I	〈松井健児〉	314
基礎国文学 I	〈中嶋真也〉	314
基礎国文学 II	〈岡田豊〉	315
基礎国文学 II	〈高田知波〉	315
基礎国文学 II	〈勝原晴希〉	316
漢文学	〈堀川貴司〉	316
国語学概論	〈土井光祐〉	317
国文学概論	〈武田昌憲〉	317
国文学概論	〈川元ひとみ〉	318
国文学史 I (古典)	〈櫻井陽子〉	319
国文学史 I (古典)	〈田中徳定〉	320
国文学史 II (近現代)	〈勝原晴希〉	320
国文学史 II (近現代)	〈岡田豊〉	321
国語史	〈奈部淑子〉	321
国語学史	〈休講〉	
国語学研究 I	〈土井光祐〉	322
国語学研究 II	〈休講〉	
上代文学研究 I	〈中嶋真也〉	322
上代文学研究 II	〈神野志隆光〉	323
中古文学研究 I	〈松岡智之〉	323
中古文学研究 II	〈松井健児〉	324
中世文学研究 I	〈櫻井陽子〉	324
中世文学研究 II	〈田中徳定〉	325
近世文学研究 I	〈近衛典子〉	325
近世文学研究 II	〈休講〉	
近代文学研究 I	〈榎本正樹〉	326
近代文学研究 II	〈高田知波〉	326
国語学特講 I	〈奈部淑子〉	327
国語学特講 II	〈豊澤弘伸〉	327
国文学特講 I	〈遠藤宏〉	328
国文学特講 II	〈中村文〉	328
国文学特講 III	〈壤晴彦〉	329
国文学特講 IV	〈田口和夫〉	329
国文学特講 V	〈佐藤武光〉	330
国文学特講 VI	〈木村朗子〉	331
国文学特講 VII	〈木村朗子〉	331
国文学特講 VIII	〈篠原進〉	332
国文学特講 IX	〈神田由美子〉	332
国文学特講 X	〈国松俊英〉	333
国文学特講 XI	〈榎本正樹〉	333
国語国文学演習 I [平成13年度以前入学生：国語学演習 I]	〈土井光祐〉	334
国語国文学演習 I [平成13年度以前入学生：国文学演習 I]	〈中嶋真也〉	334

国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈植田恭代〉	335
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈松井健児〉	335
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈立石和弘〉	336
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈櫻井陽子〉	336
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈田中徳定〉	337
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈林達也〉	337
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈近衛典子〉	338
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈岡田豊〉	338
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈勝原晴希〉	339
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈高田知波〉	339
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国語学演習Ⅱ〕〈土井光祐〉	340
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈中嶋真也〉	340
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈立石和弘〉	341
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈松井健児〉	341
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈植田恭代〉	342
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈櫻井陽子〉	342
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈田中徳定〉	343
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈林達也〉	343
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈近衛典子〉	344
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈岡田豊〉	344
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈勝原晴希〉	345
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕〈高田知波〉	345
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国語学演習Ⅲ〕〈土井光祐〉	346
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈中嶋真也〉	346
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈鈴木裕子〉	347
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈松井健児〉	347
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈櫻井陽子〉	347
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈田中徳定〉	348
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈近衛典子〉	348
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈林達也〉	348
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈岡田豊〉	349
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈高田知波〉	349
国語国文学演習Ⅲ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅲ〕〈勝原晴希〉	350
国語学演習Ⅳ〈土井光祐〉	350
国文学演習Ⅳ〈松井健児〉	350
中国文学〈田熊信之〉	351
比較文学〈満谷マーガレット〉	352
児童文学〈国松俊英〉	353
有職故実〈近藤好和〉	353
日本民俗学〈谷口貢〉	354
民間信仰論〈谷口貢〉	354
日本史概説〈松本信道〉	355
日本文化史〈吉田政博〉	355
仏教概論〈池田練太郎〉	356
東洋思想史〈久保田知敏〉	356
西洋思想史〈柴野博子〉	357
美術史概説〈北野良枝〉	357
演劇概論〈森井直子〉	358
書道概論〈金子大蔵〉	359

書	道	史	〈那	須	隆	吉〉	359
書	道	I	〈金	子	大	藏〉	360
書	道	II	〈那	須	隆	吉〉	360
書	道	III	〈那	須	隆	吉〉	361
編	集	務	〈長	谷	川	孝〉	361

国

文

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国語学	三澤成博	国文1必	4

講義のねらい

文法を中心に音韻、文字など国語に関する基礎的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 動詞の分類・形容詞、形容動詞
- 2 仮名遣い・音韻・アクセント
- 3 文の構造
- 4 言語生活

履修上の留意点

ノートを作成し、各時間の講義内容をまとめておく。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、レポート・出席等を参考資料とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

『国語学研究法』（武蔵野書院）
 築島裕『国語学』（東京大学出版会）
 『国語学研究事典』（明治書院）
 『日本語文法大辞典』（明治書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学 I	近衛典子	国文1必	4

国
文

講義のねらい

大きく眺め渡せば古典文学の爛熟期でもあり、近代文学の萌芽期でもある江戸時代の文学作品に親しみ、併せて古典文学を学ぶ上での基本的な方法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

近世小説を中心に、幅広く近世文芸の展開の様を概観する。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合的に見て評価する。

教科書

櫻井武次郎編『近世小説選』（双文社出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国文学 I	まつ い けん じ 松 井 健 児	国文1必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておこなう。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国文学 I	なか じま しん や 中 嶋 真 也	国文1必	4

講義のねらい

大学に入る前に、いくつかの古文を学んできたものと思う。その経験を踏まえつつ、古典文学作品が使われたことばに即して丁寧に読解し、文学研究への視点の置き方を学ぶ。また、古典作品は元来、手で書かれ享受されてきた。その使われた文字に慣れるよう、くずし字の学習も行なう。

講義の内容・授業スケジュール

『百人一首』をきっかけにして、さまざまな作品を読んで行く。早いうちに、くずし字への理解も深める。

履修上の留意点

出席を当然のこととし、受身にならず取り組むこと。授業を軸に、各自の古典への関心を涵養し、様々な作品を自らの意志で読み進めてもらいたい。

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、学期末の試験によって総合的に評価する。

教科書

『字典かな——出典明記——』改訂版（笠間書院）。左記以外の教材は、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	岡田 豊 <small>おかの だ ゆたか</small>	国文1必	4

講義のねらい

作品を具体的に読み進めながら、日本の近現代小説の研究方法について学ぶ。古典文学に比べて、言語上の障害が少ない近現代の小説を、研究の対象として取り上げることの意義および研究の方法について学ぶ一年である。参考文献はどうやって調べるのか、どのようなアプローチがあるのか、どのように論じるのか、等々の問題に向かって進み、近代文学研究の基礎を固め、次年度以降の演習科目（自主的な研究発表の授業）へのスムーズな接続ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの近現代の作品を読む。作品評価の見直しや作家のあまり注目されなかった側面への論及といった近年の研究動向を紹介し、これまで何が問われてきたのかを確認しながら、新たな研究の課題や読みの可能性について探っていく。

履修上の留意点

テキストを各自で準備し、読んで授業に参加すること。「この人物はどうしてこんなことを口にするのか?」「なぜこんな行動に出るのか?」「作品はなぜこんな終わり方をするのか?」等、素朴な疑問を持って授業に参加してほしい。そして、こんな考え方があるのか、ではこんな読みは出来ないだろうかと問題を掘り下げ、考えを深めていってほしい。出席を重要視する。初回の授業時に示す回数を超過した者は、定期試験の受験資格を失う。

成績評価の方法

授業中に提出を求める感想文等も考慮に入れる。筆記試験は、前期と後期の二回に分けて行い、成績は両方の試験の点数を合算して出すので注意してほしい。

教科書

吉本ばなな『キッチン』（角川文庫）その他、配布プリント

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	高田 知波 <small>たかのだちなみ</small>	国文1必	4

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は森鷗外『舞姫』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨床的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだということを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫） 森 鷗外『阿部・族・舞姫』（新潮文庫） 川端康成『伊豆の踊子』（新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	かつ ばら ばる き 勝 原 晴 希	国文1必	4

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使つてのアプローチの方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小说・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。それぞれの作品について、授業時間内に簡単なレポートを課し、その内容をふまえながら講義を進める。また基本的な研究の手づきについて講義する。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

前後二回の試験、出席状況、時間内レポートによる。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
漢文学	ほり かわ たか し 堀 川 貴 司	国文1必	4

講義のねらい

日本文学は上代から明治にいたるまで、中国および朝鮮の文学の影響を受けてきた。日本人が親しんできた漢文学、それを手本としながら独自の発展を遂げた日本人による漢文学（日本漢文学）について、基礎的な知識を得るとともに、作品読解を通じて漢文を読むことに慣れるのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）全体の概説と古代・中世の日本漢文学
（後期）中世（つづき）・近世の日本漢文学とまとめ

履修上の留意点

特に予習・復習は必要としないので、授業時間中は集中してほしい。

成績評価の方法

随時行う小テストおよび学年末試験による。

教科書

プリント配布

参考書等

授業中に必要に応じて提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学概論	土井光祐	国文1・2必	4

講義のねらい

国語学は、国語（日本語）を研究対象とする文化科学である。膨大な学問的蓄積の中から国語（日本語）を科学的に分析するために必須の基礎知識を概説する。国文学科の中の一領域であることに鑑み、国語史的側面からの概説に力点を置くことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】○総論 (1) 言語の捉え方 (ソシュールと構造言語学、時枝誠記と言語過程説、チョムスキーと変形生成文法、西洋言語学と国学と近代国語学)、(2) 世界の中の日本語 (世界における日本語話者の位置付け、「日本語」と「国語」) ○音韻論、文字論 (1) 音声学と音韻論、(2) 日本語の音声と音韻の特質、(3) 音韻変化、アクセント変化、(4) 日本語と文字 (万葉仮名、平仮名、片仮名、仮名遣い)

【後期】○文法論、文体論 (1) 言語の単位 (形態素、語、文の成分)、(2) 学校文法における品詞論の仕組みと問題点、(3) 語論から文論へ (学校文法の構文論と今日の統語論)、(4) 語学的研究における「文体論」とは何か、(5) 文体史。

履修上の留意点

既習の知識が次のトピックの前提となる累積型の授業内容となるので、その都度各トピックの確実な理解が求められる。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

佐伯哲夫・山内洋一郎『国語概説』（和泉書院）1,785円 ISBN4-900137-51-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	武田昌憲	国文1・2必	4

国
文

講義のねらい

国文学概論とは、わが国の文学についての概要を説明するものと、国文学の学問研究に関する概要を説明するものとの二つがある。本講義ではそれぞれを踏まえることになる。特に文学の流れには軍記文学を基軸として、各時代の国文学の「美」意識を眺めていく。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期〉 導入、1、国文学とは－その理念と性格－
国文学研究の展開－2、発生・古代の国文学研究。3、中世の国文学研究。4、近世の国文学研究－国学のあり方－。5、近代文学と国文学。国文学の流れ－怨霊の系譜と文学－6、菅原道真。7、平将門－『将門記』の特質。8、将門伝説。9、『陸奥話記』の特質。10、11、崇徳院－『保元物語』の特質と世界。12、悪源太義平－『平治物語』の世界。13、14、『平家物語』の特質。15、試験。

〈後期〉 16、17、『平家物語』の無常観と美意識、『方丈記』。18、天神信仰の成立と文学。19、八幡信仰の成立と文学。20、21、『義経記』と義経の世界。22、蒙古襲来と絵詞・文学。23、南北朝時代－『太平記』の特質。24、25、『太平記』の世界、『徒然草』、忠臣蔵。26、戦国軍記と司馬遼太郎－秀吉の軍記、『功名が辻』の世界。27、幕末・維新と司馬遼太郎－新選組のことなど。28、天草・島原の乱と文学。29、近世軍書の世界など。30、試験（レポート）。

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験またはレポート。また、教場小レポート、授業態度を含め、総合的に評価する。但し、出席点は総合点（100点満点）から一回の欠席につき2点減点（最大20点まで）し、最終評価点とする予定である。

教科書

秋山虔他篇『日本古典読本』（筑摩書房）1,000円 ISBN4-0946-447-05-9

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	かわもと 川元ひとみ	国文1・2必	4

講義のねらい

江戸時代は、出版文化の開花により、また中国文学の影響を受け多様な作品を多く生んだ。三百年の間を移りゆく作品をできるだけ多くとりあげて、近世全体を概説する。ただし余りに繁雑になるので、本講義では近世小説に絞って概観する。作品を読みとく上でのさまざまな方法を認識することで、より文学作品を楽しんで味わえるようになって欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期〉

- ・江戸時代についての概説
- ・江戸時代の文学全般についての概説
- ・仮名草子
- ・浮世草子

〈後期〉

- ・軍談・実録
- ・談義本・滑稽本
- ・洒落本・黄表紙
- ・説本・人情本

成績評価の方法

前期試験・後期レポート。出席状況、授業時に行う簡単な小テスト等も加えて、総合的に評価する。

教科書

櫻井武次郎編『近世小説選』（双文社出版）1,900円

参考書等

授業の方法は基本的には講義形式ですすめる。ただし、テキストの講読等は各々に担当してもらったこともある。また、時折、簡単な質問に小テストの形で答えていただくこともある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学史 I (古典)	さくら い よう こ 櫻井陽子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本古典文学の流れを、中世を基軸としながら概観する。
時代や社会の変化と文学の足跡とは切り離すことはできない。中世文学が社会の変遷の中で、平安文学をどのように継承し、新たな文学世界を創造してゆくのか、また、中世文学の享受と創造の場の実態はどのようなものか、等を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的に代表的な作品を掲げて作品の特徴を示し、内容に触れながら進める。

- 1) 中世はいつから始まるのか。
 - 1 中世という時代の特徴と文学との関係
- 2) 平安文学の継承と完成、そして、新たな展開 (和歌・日記・随筆)
 - 2・3 『千載和歌集』から、『新古今和歌集』まで
 - 4・5 『新古今和歌集』
 - 6 『新勅撰和歌集』とそれ以降
 - 7 俊成・定家・為家の系譜
 - 8 歌道家と物語作成・受容
 - 9 漢文日記と仮名日記
 - 10 『方丈記』と『徒然草』
- 3) 花開くジャンル (説話・軍記)
 - 11~13 説話と説話集
 - 14 注釈の世界
 - 15~18 軍記物語の発生と展開
- 4) 芸能・美術との交響
 - 19・20 能・狂言
 - 21・22 御伽草子
- 5) 中世の終焉
 - 23・24 合戦の時代の終焉と江戸時代の足音
 - 25・26 まとめ

国
文

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、定期試験 (前期・後期) によって総合的に評価する。

教科書

岩佐美代子他編『新選 中世の文学』(和泉書院) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史Ⅰ(古典)	田中徳定	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本文化の基盤をなすものは何だろうか。河合隼雄氏は、心理学の分野から、神話や昔話の分析を通して、日本文化の背景には母性原理が存在することを述べている。本講義においては、河合氏の研究成果を踏まえながら、古代から中世にかけての古典文学を「母性」の視点から読み解き、日本人の宗教観・倫理観を探り、日本文化のありようを考察する。さらに、古典文学にみる「母性」が、現代に生きる私達の生き方・考え方に、どのような影響を及ぼしているかについても考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

以下の講義内容によって授業を進める予定である。

- (1) 「母性」とは何か、また「父性」とは何か
- (2) 神話にあらわれた「母性」にみる日本文化の基層
- (3) 平安朝物語と母性原理
- (4) 説話文学にあらわれた「母性」
- (5) 唱導文学にあらわれた「母性」
- (6) 隠者文学にみる「個」としての生き方(「場」の倫理と「個」の倫理)
- (7) 室町時代物語にあらわれた「母性」

成績評価の方法

レポートによる(課題は授業中に指示する)

教科書

その都度、プリントを配布する。

参考書等

授業中に随時指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史Ⅱ(近現代)	勝原晴希	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。あわせて詩作品を読み味わう力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目に従って進める。

- | | |
|-----------|---------------|
| 1) 近代詩の源流 | 8) 口語自由詩へ |
| 2) 讃美歌・唱歌 | 9) 象徴詩の展開 |
| 3) 『新体詩抄』 | 10) ヒューマニズムの詩 |
| 4) 『於母影』 | 11) 民衆詩派 |
| 5) 浪漫主義 | 12) 感情詩派 |
| 6) 『海潮音』 | 13) アヴァンギャルド |
| 7) 象徴主義 | 14) モダニズム |
| | 15) 『四季』の詩人たち |

履修上の留意点

自分自身で詩作品を読み、作品の「ことば」を味わい、作品の「こころ」に触れる、柔軟で意欲的な姿勢を望む。

成績評価の方法

前後二回の試験による。成績評価は厳しくするので、そのつもりで受講すること。

教科書

適宜プリントを配布。

参考書等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』(世界思想社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史Ⅱ(近現代)	おかだ 豊	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

- (1) 同時代資料の読解トレーニングと読解力の向上
- (2) 「～派・主義」の分類に終始せず、時代と表現を相関的にとらえて文学史を描くという作業の実践
- (3) さまざまな作家や興味深い文学作品の紹介
以上3点を講義のねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

明治以降の日本の文学の流れを、特に小説を中心にし、かつ同時代資料を通して概観する。学生自らが当時の資料を実際に確認しながら、時代の雰囲気を感じ取ることができるよう、授業担当者はなるべく工夫していく。一般の参考書に出てこない事項、あるいは従来の文学史が描こうとしなかった事柄が出てくるときもあるので、積極的に授業に参加してほしい。

履修上の留意点

読みにくい資料が数多く出てくる。したがって、復習に重点をおき、辞書や事典類で調べる習慣をつけると力がつく。何年、いつ頃の話なのかを見失わないようにすると混乱が避けられる。ある時点、その前後にどんなことが起こっているのかを頭の中で整理していくのもよい。配布プリントを試験に出題するので、ファイルなどに綴じて保管しておく必要がある。

成績評価の方法

年2回(前期・学年末)の試験で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	なべと しこ	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

国語学史(日本語学史)の研究の歴史をわかりやすく説き、研究史に対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1・2国語学史(日本語学史)の意義について。3～5音韻研究について。6～8仮名遣研究について。9～14文法研究について。15～17語意研究について。18～20方言研究について。21アクセントの研究について。22～25外国人の日本語研究について。26学年末試験。

履修上の留意点

一年を通してでないと国語学史(日本語学史)の基礎を理解しにくいいため、なるべく欠席をしないことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験の成績に出席点を加味することとする。

教科書

随時プリントを配布する。

参考書等

特になし。

その他

授業は講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 研 究 I	土 井 光 祐 <small>と い こう へう</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

本授業は、特に、近代語の成立過程について、文献（言語資料）に見られる変化の実際を具体的に観察することによって、日本語の変遷に対する知見を深める。

講義の内容・授業スケジュール

「天草版平家物語」（1592刊）は、キリシタン達の日本語学習書としては最も初級に位置付けられるもので、13世紀（鎌倉時代）成立の「平家物語」（覚一本、百二十句本）を16世紀末（室町時代末期）にローマ字を用いて口語訳したものである。本授業は、「天草版平家物語」を中心として、そこに観察される16世紀末の日本語の特徴を検討し、同時に13世紀成立の「平家物語」（覚一本、百二十句本）と言語比較を行って、中世400年間の日本語の変化の実際を具体的に確認していく。併せて、文献資料の扱い方、研究方法なども身に付けてもらいたい。

履修上の留意点

積極的な取り組みを期待する。

成績評価の方法

授業への取り組み態度とレポート

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 I	中 嶋 真 也 <small>な か し ま し ん や</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』は、類歌・類句と称される、似かよった表現を持つ歌がいくつも見られる。近代的な独創を重視する見方からすれば、批判の対象になるわけだが、それらを豊富に収める『万葉集』の現状はそうではないことを認識しなければならない。また、類歌・類句と位置付けたところで、時に考察は止まり、似ていながら、先行する表現を享受しながら、新たな表現を試みている場合もある。

本講義では、そのような類歌・類句の存在に留意しながら、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」や「月」といった、現在にもほぼ同じものを指すと考えられる植物や天象などの景物を取り上げ、それらが万葉歌の中で、どのようなことばとともに用いられ、どのような表現をなしているのかを見ていく。また、万葉の作歌の時期区分にも常に配慮し、『万葉集』中での表現史を明瞭にすることにも心がける。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全二十巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在四つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。

その上で、景物に即して詠まれた歌を表現に留意しながら、検証していく。具体的に取り上げる景物として、桜、月、萩などを考えている。また、歌人としては、第二期の柿本人麻呂と第四期の大伴家持といった、万葉のみならず、日本文学史上の代表歌人に特に留意していく。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に取り込んでいきたい。主体的な受講を、特に期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末の試験などを軸に評価する。

教 科 書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

そ の 他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅱ	こうのし たか みつ 神野志 隆 光	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「日本」という国号の意味と歴史をめぐって考える。「日本」について、現在ナショナル・コンセンサスが成立しているとはいいがたいが、どのようにして「日本」が成り立ち、どのような歴史を経てきたかをふりかえることが、わたしたちの問題として必要なのではないかと考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 一 「日本」の登場 1 「倭」から「日本」へ 2 「日本天皇」と「日本」
- 二 古代帝国における「日本」 1 『日本書紀』における「日本」 2 「日本」があらわれない『古事記』 3 「日本」の由来
- 三 古代中国における「倭」と「日本」 1 「倭」の意味 2 古代中国における「日本」 3 古代中国の世界像と「日本」
- 四 『日本書紀』講書のなかの「日本」 1 『日本書紀』講書と「私記」 2 講書のなかの「日本」論 3 「日出る処の天子」
- 五 「日本」と「やまと」
- 六 「日本」の変容 1 『釈日本紀』の立場 2 日神の国「日本」 3 大日如来の本国「日本」
- 七 「東海姫氏国」 1 さまざまな呼称 2 「東海姫氏国」 3 「東南大海中」から「東海中」へ
- 八 近代における「日本」 1 宣長 2 近代国家と「日本」 3 国定教科書のなかの「日本」

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

平常点（出席と、授業中の小テストによって評価する）。

教科書

神野志隆光『「日本」とは何か』（講談社現代新書）

参考書等

適宜授業中に指示する。

その他

講義形式でおこなう。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	まつ おか とも ゆき 松 岡 智 之	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
- ②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。
- ③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。
- ④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。
- ⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅱ	まつ い けん じ 松 井 健 児	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『源氏物語』の自然叙述を、その歴史的・表現史的な背景を踏まえつつ読み解いてゆく。ことに自然叙述の種々相における、認識方法や類型化の問題を、表現それ自体に内在する歴史性
の問題として扱うことによって王朝文化論としての展開を試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

『源氏物語』より、訪問・哀傷・儀礼など、固有の意味を持ついくつかの場面を取り上げつ
つ講読する。具体的には、物語叙述と詩歌表現とを相互に関連付ける、歴史的心性および言語
表現史への言及ということになる。折に触れ、他の平安文学作品との比較検討を行う。

履修上の留意点

毎回、長文の本文を講読する。『源氏物語』の文章は難解で知られる。また、和歌・漢詩を
数多く読むこととなる。古語辞典等を活用しつつ、自宅での予習・復習の時間にじっくりと本
文と向き合い味読してほしい。

成績評価の方法

①本文解釈を中心としたレポート ①出席状況 ③その他を総合して行う。

教科書

授業時にプリントを随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅰ	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

軍記物語における源頼朝と源義経について考える。頼朝は軍記物語には表だって登場しない
が、主な軍記物語が鎌倉時代に成立したことを考えると、作品の背後に考えなくてはならない
人物である。一方、義経は室町時代の芸能において華々しく活躍するが、頼朝によって排斥さ
れた人物である。この二人の造型を考えることは、軍記物語の本質を考えることにもなる。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的に作品に触れながら進める。
1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。
4～6 頼朝（『平治物語』）
7～9 頼朝（『平家物語』）
10～12 頼朝（芸能における）
13～15 義経（『平家物語』）
16～18 義経（『吾妻鏡』）
19～21 義経（『義経記』）
22～24 頼朝と義経
25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅱ	田 ^た 中 ^{なか} 徳 ^{のり} 定 ^{さだ}	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

中世は、保元・平治の乱、源平の合戦に始まる。それまでの平安な貴族中心の社会が大きく転換していった時代であった。それにともない、既成の価値観は大きく揺らいでいくことになる。中世という時代は何故出現したのだろうか。また、平安時代とは何が変わり、何が変わらなかったのだろうか。神仏・鬼・天狗等をキーワードとして、文学作品から中世という時代を考えるとともに日本人の信仰や思想の有りようを探究する。

講義の内容・授業スケジュール

激動しながら転変していく時代の中で、中世の知識人達は、時代・社会を動かす「もの」とは何であると考えたのだろうか。中世における神仏への信仰のありようとは如何なるものであったのだろうか。中世になると何故天狗が力を持つようになるのだろうか。鬼は何故退治されるようになってしまうのだろうか。人々はどのように時代に対処して新しい生き方を切り開いていったのだろうか。以上のような問題について、中世文学の諸分野（随筆、評論、軍記、説話、室町時代物語）の作品を読みながら、中世という時代を考え、日本人の信仰や思想の有りように迫りたいと考える。

成績評価の方法

レポートによる（課題は授業中に指示する）。

教科書

その都度、プリントを配布する。

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究Ⅰ	近 ^{この} 衛 ^え 典 ^{のり} 子 ^こ	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷺山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅰ	榎本正樹	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野禎子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方、周辺メディアとの連関性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリなど、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。

参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、町田康、柳美里、長野まゆみ、柴崎友香、金城一紀、伊坂幸太郎、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、石田衣良、村山由佳、絲山秋子、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年に映画化された『ジョゼと虎と魚たち』『きょうのできごと』『世界の中心で愛をさけぶ』『69』『インストール』について、原作と映画を比較対照した分析を行う予定です。

榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛り込んでいきます。

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト (www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/) も参考にしてください。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅱ	高田知波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

年間テーマは「漱石を読む」である。国民的作家と呼ばれる漱石は、著名な作家であるぶん、その作品の読みにはさまざまなバイアス（先入観）が付着している。そうしたバイアスから作品を解き放つ《読み》というものを追求したい。

講義の内容・授業スケジュール

漱石の代表作の中から、『こころ』『三四郎』『それから』の3作を選びこの順番で読んでいく。

履修上の留意点

講義形式ではあるが、受講生参加型の授業である。毎時間、授業の中で、多数の学生を指名して、意見や想像を含むさまざまな発問を行い、時には小討論も取り入れる予定であるので、それに対応できる心積もりをもって受講してほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『こころ』『三四郎』『それから』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学特講Ⅰ	奈部 淑子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

一つの資料を丁寧に読みとくことから、国語学（日本語学）の研究において問題となっている諸事象にふれ、それらに対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 古今和歌集という資料及び藤原定家についての基本的な説明を行なう。2. 古今和歌集巻第十ー恋歌ーから一首ずつとりあげ、問題点を指摘し、説明を行なう。濁点・連濁について。3. 「ヲ」と「オ」の差異について。4. ハ行転呼音について。5. 係り助詞について。6. 係り助詞「こそ」について。7. 過去の助動詞「けり」について。8. 係り助詞「や」「か」について。9. 字余り句について。9. 「ほのかなり」について。10. 「あやし」の語意について。11. 「衣」・「江」・「エ」について。12. 係り助詞「ぞ」について。13. 「ずは」の表現性について。14. 「しのぶ」の活用について。15. 「ど」「ども」について。16. 完了の助動詞「つ」「ぬ」「たり」「り」について。17. 係り助詞「は」について。18. 四ツ仮名について。19. 声点について。20. 「てふ」の表記と発音のずれについて。21. アクセントについて。22. 音便について。23. 継続表現について。24. 「だに」「すら」「さへ」の差異について。25. 係り助詞「なむ」について。26. 学年末試験。

履修上の留意点

一年を通してでないと変体仮名を読むことがなかなか難しいので、あまり欠席をしないことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験の成績に出席点を加味することとする。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

特になし。

その他

授業の方法は講義形式とする。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学特講Ⅱ	豊澤 弘伸	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

国語学研究における、コンピュータを利用した言語情報処理能力の育成をはかります。
 ・これまでのコンピュータ利用による国語学の研究成果を概観します。
 ・国語学において利用の可能な言語情報処理の方法を理解します。
 ・コンピュータを利用した日本語研究の方法を獲得します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1. (1-4) 先行研究についての方法論的検討
 2. (5-8) 国語学研究におけるコンピュータ利用の状況
 3. (9-13) テキストデータの作成の方法
 後期 4. (14-17) データベース・索引の作成と利用
 5. (18-26) 漢字処理の問題

履修上の留意点

授業では総合情報センターのパソコンを使用しますが、初心者でも受講可能です。

成績評価の方法

受講の状況（出席等）や提出物、期末試験などによって総合的に判断します。

教科書

テキストは使用しませんが、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

『パソコンを使う日本語研究』（『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院）

その他

授業は、講義のほか、パソコンを利用した実習を予定（総合情報センターを使用）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅰ	遠藤 宏 <small>えん どう ひろし</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

上代韻文文学のアンソロジーである万葉集を対象とするが、特に第三期（710年～733年）の作家に焦点を絞る。万葉集第三期は、ハイレベルの作家が輩出した時期であり、万葉集の中でも最盛期とされる。その作家達の中から、前期は高橋虫麻呂、後期は山部赤人をそれぞれ中心対象として、作品像・作家像を明らかにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1) 万葉集概説 2) 高橋虫麻呂の履歴 3) 作品1、「水江浦島子」歌 4) 作品2、「真間手児奈」歌 5) 作品3、「筑波山に登る」歌 6) まとめ
後期 1) 山部赤人の履歴 2) 作品1、「富士山」歌 3) 作品2、「吉野従駕」歌 4) 作品3、「神岡に登る」歌 5) まとめ

履修上の留意点

- 1) 出席にはげみ、ノートをとること。
- 2) 私語は慎むこと。

成績評価の方法

- 1) 試験の結果を重視する。
- 2) 前期終了時に中間試験を行う。
- 3) 出席を重視する(但し、全出席でも成績の保障にはならない)。

教科書

鶴久・森山隆編『万葉集』(おうふう)
なお、万葉集全歌が収められているものならば、上記の書以外でもよい。

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

講義を中心とする。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅱ	中村 文 <small>なか むら あや</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

藤原俊成の歌論書『古来風躰抄』を読む。俊成は平安時代末から鎌倉時代初頭にかけて活躍した歌人で、和歌が〈感動を盛る器〉としての性格を失いつつあった時代に、いかにして叙情を回復するかという問題を、和歌史や古典和歌に対する深い洞察を通して考え続けた人物である。『古来風躰抄』を通して、俊成の和歌史認識や秀歌観に触れてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式で行う。変体仮名に親んでもらうために、テキストは影印本を用いるが、活字本もプリントにして配布する。前期は上巻冒頭の俊成の和歌観が示された箇所を中心に、後期は上巻末尾の万葉集や歌病等についての記述から始めて、下巻の勅撰抄出歌までを読む予定である。

履修上の留意点

開講時に和歌史の概観や作者俊成、この時代の和歌を理解する上で必要な用語等についての説明を行うので(2～3時間)、受講を希望する学生は必ず出席すること。歌論は内容が抽象的で、取りつきやすい対象とは言えないが、『古来風躰抄』には和歌をめぐるエピソードも多く含まれており、読んで楽しい面も持っている。俊成が自分の置かれた状況の問題点(詩的世界の更新)を、真正面から受け止め、粘り強く思索し続けて到り着いた解答は、新古今集をはじめとする後世の文芸にも大きな影響を与えている。和歌が苦手だという学生にも是非受講してもらいたい。

成績評価の方法

前・後期末に記述式の試験を行う。その結果と授業態度を合わせて判定する。

教科書

中村文・廣木一人・綿抜豊昭編『中世歌論撰』(三弥井書店)1,800円

参考書等

授業内に逐次紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅲ	じょう 壤 　 はる ひこ 晴 彦	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

好きな小説を文字どおりもって「楽しむために」私は「詠み芝居」という上演スタイルを考え出しました。
脚色をしない劇化、つまり原文のままの芝居です。
作者の文体どおりの息遣いで人物が動き、話し、地の文の名フレーズが語られる。
生演奏と舞踊によって世界の色彩と輪郭が際立つ。耳に美味、目に美味、そして演者の口に美味の新空間。
「詠み芝居」の実際を皮切りに、文学と演劇の美味しい関係を考えて行きたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

VTRなどの資料を使用した「鑑賞」。作品を実際に語る役者体験。語るための文体について。項目計画は思いつくままに。

履修上の留意点

楽しんで下さい。

成績評価の方法

主として出席日数によります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅳ	た ぐち かず お 田 口 和 夫	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本の古典芸能の一つである能楽(能・狂言)は平成13年に世界無形遺産に指定されました。能と狂言は最近なにかと話題になることが多く、紹介・入門の書も面白いものがでています。能役者・狂言役者による新しい試みも数多くあり、現在の舞台も賑わいを見せています。また、能楽学会も発足し、研究面でも新しい局面が開かれようとしています。このような現況を理解するとともに、能・狂言の形成の問題をその背景・素材となる説話との関わりの中で考究します。

講義の内容・授業スケジュール

- ①能・狂言入門(4月)
- ②散楽・猿楽・能楽と展開する道筋を資料の読解によって確認します。(5月)
- ③能・狂言の作品研究の形式で、説話に関わりのあるものを取り上げ、その形成・展開の諸相を解明します。(6・7・8・9・10月)
- ④復曲・新作等の作品について鑑賞・分析します。(11・12月)

履修上の留意点

ビデオを使用して、現在の舞台を分析しますが、それにとどまらず、できるだけ実際の舞台を鑑賞することを期待します。

成績評価の方法

随時課するレポートと出席によります。

教科書

プリントの予定。

参考書等

図書館で見るとべきもの一岩波講座「能・狂言」・能勢朝次著『能楽源流考』(岩波書店)・田口和夫著『能・狂言研究—中世文芸論考』(三弥井書店)

その他

受講人数によりますが、基本は講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講 V	佐藤 武光 さとう たけみつ	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

映像の表現者は映画人であったり、テレビ作品等のクリエイター等であるかのように、思われているが、デジタル時代に入り誰でもカメラを持ち撮影し編集し作品を完成させる事が可能になった。しかもそれを35mmの劇場用映画作品に変換する事さえ可能な時代である。今や「一億総監督時代」に突入したと言える。映像の表現力の豊かさは、活字表現では伝達出来ない要素までも表現できるパワーを持つからに他ならない。もはや映像は、専門家の専有物ではない。誰でも作る事が可能な表現手段なのである。しかし「誰をも魅了する映像」を作る事は、至難の業でもある。そこで本講座は、映像、映画の企画、制作、配給等の実態を解説しまたプロの現場で使われている映像表現技術論、及び演出論、脚本論を考察する。

又映像表現形式の基本と美学的可能性を論じ創造的鑑賞力の養成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- ①映像産業の現況
イ) 映画 ロ) テレビ映画、ビデオシネマ、その他 ハ) 韓国映画産業 ニ) 自主映画（プロとアマ）
- ②映画ビジネス ～実際の映画をモデルケースとして取り上げて～
イ) 企画、制作、配給 ロ) プロデュース論
- ③映像制作ワークショップ ～講義を中心として～
イ) 演出論 ロ) 映像技術論
- ④企画書作りワークショップ
イ) 時代は何を求めているのか（大衆性）
ロ) 作らねばならない映像とは（作家性）
上記項目①②は前期を中心に、③④は後期を中心の講義予定。

国
文

履修上の留意点

日常的な、映像・TV・CM・映画等をそれらの作品が何を目的としたのかを考えながら接し「映像感覚」を磨く。

成績評価の方法

後期末提出のレポート、企画書及びシナリオ作品によって評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

基本的に講義中心であるが、受講者の意見・感想を聞き、討論形式の講義にしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅵ	木村朗子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『とりかへばや物語』『在明の別』などの平安時代後期物語が主題とする男女のあり方について、ジェンダー、セクシュアリティの視座から考える。とくに摂関政治下の宮廷社会を舞台とする物語の登場人物たちがどのように動くことによって権力配置がなされていくのかをみていく。

講義の内容・授業スケジュール

中心的に扱う作品は以下のものを予定している。
 『とりかへばや物語』
 『在明の別』
 『夜の寢覚』

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席と学期末の試験による。

教科書

資料を配布する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅶ	木村朗子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

宮廷を中心につくられた物語空間をより立体的に把握するために、日記やあるいは物語に描かれる都ではない場に注目する。仏教的な異界であったり、地理的な辺境であったりする場所がどのようなイメージを形成しているのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

中心的に扱う作品は以下のものを予定している。
 『史級日記』
 『蜻蛉日記』
 『狭衣物語』
 『浜松中納言物語』

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席と学期末の試験による。

教科書

資料を配布する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅷ	しのはらすすむ 篠原進	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「鼠はおそろしく本を読まない。彼がスポーツ新聞とダイレクトメール以外の活字を読んでいるところにお目にかかったことはない」（『風の歌を聴け』）。
 今から二十年以上も前に、村上春樹が提示した未来図。それが今、現実のものとなりつつあります。
 映画、テレビ、漫画、アニメ、テレビゲームといったサブ・カルチャー、「熱いメディア」（M. マクルーハン）の中で、文学のおもしろさが忘れられています。そんな中、唯一健闘しているミステリー。「ふしぎ」はなぜ、私たちの心をときめかせるのでしょうか。
 この講義では、「ふしぎ」をキーワードとして、現代文学と比較しながら西鶴の魅力を再発見したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

「ふしぎ」という視点で、毎回西鶴の短編から一話を選び、その面白さを考えます。

履修上の留意点

特にありません。「ふしぎ」を楽しむ心と「好奇心」だけを持って御参加下さい。

成績評価の方法

授業内試験。また、毎回授業のうちに意見や感想を書いてももらいます。

教科書

西鶴研究会編『西鶴が語る 江戸のミステリー』（ペリかん社）1,900円

参考書等

講義時間中に紹介し、プリントを配布します。

その他

就職試験や卒論などでやむをえず欠席する時は、あらかじめお知らせ下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅸ	かんだゆみこ 神田由美子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

首都（東京）は、明治時代から現代まで、江戸的な場所を東京的な空間に変化させることで、近代化の象徴としての役割を果たしてきた。本講座では、その近代化の象徴としての東京の空間と文学との関わりを、具体的な作家と作品を通して考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、樋口一葉「たけくらべ」の吉原遊郭、「濁り江」の銘酒屋街、泉鏡花・芥川龍之介・三島由紀夫と鹿鳴館、森鷗外「雁」の無縁坂、永井荷風「夢の女」の新橋停車場、夏目漱石と三越など、明治の〈東京〉を代表する空間を取りあげ、後期は、佐藤春夫「美しい町」の中洲、芥川龍之介「歯車」の銀座、川端康成「虹」の浅草、志賀直哉「灰色の月」の東京駅、村上春樹「ノルウェイの森」の新宿・渋谷・中央線など、大正から現代の〈東京〉を象徴する場所を扱う予定である。

履修上の留意点

講義で取り上げる作品は、授業の前に必ず一読してくること。

成績評価の方法

前・後期各1回のレポートと授業中の参加態度によって評価する。

教科書

テキストは用いず、プリントを用意する。
 樋口一葉「たけくらべ」「にぎり江」、芥川龍之介「舞踏会」「歯車」、三島由紀夫「鹿鳴館」、森鷗外「雁」、夏目漱石の諸作品、永井荷風「夢の女」「隅田川」、志賀直哉「灰色の月」、佐藤春夫「美しい町」、村上春樹「ノルウェイの森」は文庫本で読めるので、各自用意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 X	くに まつ とし ひて 国 松 俊 英	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

この時間では、童話や児童文学の創作を書く。もともと創作は個人の作業である。何を、どのように書いていくかは、ひとりひとりが書きながら考え、苦しみながらその方法を見つけていくものだ。

とはいうものの、創作するための手がかりがあれば、より早くより確実にその方法を見つめることができる。道すがらが判れば、迷ったり悩んだりしなくてもすむだろう。この時間では、書いていく手がかりを提示し、それをもとにいろんな作品に挑戦する。童話、児童文学を書くことの楽しさとすばらしさをみんなが獲得できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①原稿用紙の使い方 ②個性ある文章を書くために ③物語作りのはじめ——どんな方法で書くか ④題材はどこで見つけてくるか ⑤ストーリーを組み立てる ⑥魅力あるキャラクターを作る ⑦説明文と描写文 ⑧生きた会話を書くには ⑨長篇と短編 ⑩表現技術を高める

履修上の留意点

これまで一度も童話や創作を書いた経験がない人もかまわない。この時間では、文章の書き方のABCから始めるつもりである。

成績評価の方法

提出作品と出席状況で評価する。

そ の 他

受講希望者が多い場合は、人数制限がある。第1回の授業で受講者を決定するので必ず出席すること。

講義・実技・合評を組み合わせる授業を行う。

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 XI	えの もと まさ き 榎 本 正 樹	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

世界的に見ても類を見ない表現ジャンルとして進化を遂げた、日本のマンガとアニメについて考察します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はアニメ、後期はマンガについて講じます。前期は宮崎駿監督作品のアニメについて検討を加えていきます。『未来少年コナン』『ルパン三世カリオストロの城』『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『紅の豚』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』の10作品について、作品発表順に作品論を展開して、宮崎駿の表現世界の全貌に批評的に迫っていきたいと思います。

後期はマンガ論について講じます。マンガには、表現論、物語論、ジャンル論、流通論、メディア論、ジェンダー論、記号論、身体論、作家論、読者論など多様なアプローチが可能です。本講義では、「マンガを読むための方法論」について考えていきます。マンガを成立させている要素・成分をさまざまな作品から抽出し、それらを読むための理論へとつないでいくのが後期の目標です。

履修上の留意点

マンガやアニメだけでなく、文学の周辺ジャンルやサブカルチャーに興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じたいと思います。

授業は基本的に講義形式ですが、視聴覚系資料のプレゼンテーションを併用した形になります。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教 科 書

特に使用しません。

参 考 書 等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献や関連サイトについての情報は、教室で教示します。

そ の 他

履修に際しては、榎本のサイト (www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/) も参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	と 井 光 祐 い じょう けう ゆう	14以降入学生/国文2必	4
国語学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

学校文法にはパラダイムとして様々な問題点があるが、既習であるはずの学校文法があやふやでは日本語の歴史的研究や的確な記述文法への理論的発展は永久に望めない。本演習は、学校文法に基づく品詞論（語論）の知識を理論的背景と共に徹底的に理解し、更に、特定の文法学説に拠らない記述文法の成果に基づき、文の成分、統語論の捉え方を学習して、言語資料の語学的分析に応用する力量を養う。

講義の内容・授業スケジュール

特定の古典語資料を対象に担当箇所をレポーターとして割り当て、先ず、厳密な文献学的方法に基づいて日本語資料として確定させる。次に、形態素解析を行って品詞論的、文法史の問題点を確認し、更に、記述文法に基づく文の成分から統語論的に分析していく。

履修上の留意点

将来国語学の専攻を希望する人はもちろん、文法が不得意という人にも、有益な学習の場となるようにしたい。文学研究のための基礎学としての文法論という側面にも配慮し、任意の文学資料の分析に応用可能な知識の習得を目指す。また、基本的な音韻史、文字史の問題にも触れることとなる。

成績評価の方法

発表内容、演習への参加態度、出欠状況、レポートによって総合的に判定する。

教科書

対象となる国語史資料のプリントを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	な じま しん や か じま しん や 中 嶋 真 也	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

国
文

講義のねらい

『万葉集』をよむことを通じて、古典文学研究の実際を体得し、また自身の理解したことを他の人に正確に伝えるための発表技術（資料作成ならびに口頭発表）を習得することを目的とする。

具体的には『万葉集』巻三・四を取り上げる。この両巻は、万葉の三大部立てである雑歌・相聞・挽歌による分類を基本とし、また額田王、柿本人麻呂、山部赤人、大伴家持など、現在でも名の通る歌人の歌々を収めている。『万葉集』を初めて本格的によむ人にも、かなり経験を積んだ人にも魅力の尽きない巻々なのである。

講義の内容・授業スケジュール

最初の数回の授業で、『万葉集』に関しての概説と演習において求める調査方法などの解説を丁寧に行う。発表者は、巻三・四の雑歌・相聞・挽歌の歌々から1首以上を取り上げ、原文・訓みの確定、歌人に関する情報、歌の内容理解を宗とした発表を行ってもらう。その上で受講者全員での討議へとうつる。

履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

発表、質疑に対する応答、討議への参加、年度末に提出するレポート、出席状況によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	うゑ た やす よ 植 田 恭 代	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

『源氏物語』を丁寧に読むことを通して、古典文学作品に親しみ、理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

「若紫」巻をとりあげる。高等学校の教科書にもとりあげられる場面が、原典のどのようなところにあり、物語の展開のうえでどのような役割をはたしているのかについて、考えていく。
 第1回 授業の進め方について
 第2回 『源氏物語』の概説
 第3回～「若紫」巻を読む（その一）
 第13回 まとめ
 第14回～「若紫」巻を読む（その二）
 第26回 まとめ

履修上の留意点

毎回、担当者を決めて報告をしてもらい、それにもとづいて、参加者全員で意見を交換しながら考えてゆく。古典の知識がどのくらいあるかではなく、意欲的に参加することが大切である。

成績評価の方法

報告とその作成資料、参加態度、出席、期末レポートにより、総合的に評価する。

教科書

新潮日本古典集成『源氏物語 一』（新潮社）

参考書等

必要に応じて指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	まつ い けん じ 松 井 健 児	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

平安時代物語の研究を自立的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』『紅葉賀』の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえで分析的な研究を展開できる技術を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

教科書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）

参考書等

参考書は授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たていしかずひろ 立石和弘	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

平安朝物語文学の演習。『源氏物語』を対象として、発表者の問題意識を展開し論として構成する方法と技術を養う。

講義の内容・授業スケジュール

「葵」巻を読む。諸注釈を対照させながら、表現を丹念に読み込む。担当場面から、自己の関心に即して研究テーマを設定し、調査、報告する。古代的な想像力の枠組みや、ジェンダー構成、生活世界を構成する事物や身体配置、あるいは話型など、多様な補助線を引きながらアプローチしてもらいたい。はじめに概略的な説明を行い、以降は報告者の発表と質疑応答によって進めていく。

履修上の留意点

参加者は、自己の発表だけでなく、他の発表者と問題意識を共有しながら、互いに情報を提供し合い、積極的に議論を深めていくこと。

成績評価の方法

演習発表資料・内容、出席状況、授業への参加、レポートによって総合的に評価する。

教科書

阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男校注『古典セレクション 源氏物語3』（小学館）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	さくらいようこ 櫻井陽子	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

国
文

講義のねらい

古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、中世文学を代表する軍記物語に親しむ。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』巻七を読む。一回の発表で、一人一章段を採り上げる。章段を選び、自分でテーマを設定して調査し、報告する。必要に応じ、諸本の比較、周辺作品との比較を行う。発表後の討議の中で自分の問題意識を掘り下げる。後日、レポートにまとめて提出する。
1～3 『平家物語』と巻七の説明
4 担当章段の決定
5～ 発表と討議

履修上の留意点

学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

『平家物語』三（岩波文庫）

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たなかのりさだ 田中徳定	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『徒然草』をとりあげ、語彙調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、関連する物語・説話にも広く眼を向けて、中世の人々の思想や信仰、及び平安時代以来の貴族文化の美意識について探究する。

成績評価の方法

授業時間内に行なう口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。

教科書

鈴木知太郎・西一祥編『新注 徒然草』（おうふう）1,800円

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	はやし たつや 林 達也	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

- ・芭蕉の『奥の細道』を読む。
- ・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことがらについて、身をもって修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・『奥の細道』を「松島」の章段から読み進める。
- ・『奥の細道』の通釈書は多数ある。その中から必読文献を指定し、解釈の比較を行い、その過程を通して自分の読みを定めてゆく。一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な辞書の使い方を覚える。
- ・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- ・参考文献を踏まえながら自分の考えを展開する習慣を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・発表者は、参考資料（レジュメ）を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方、学年末提出のレポート、授業への参加姿勢の三点によって評価する。

教科書

『奥の細道』（岩波文庫）

参考書等

開講時に示す。

その他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習 I	このえのりこ 近衛典子	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習 I		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

古典文学読解のための基本的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上田秋成の『藤篋冊子』(つづらぶみ)を読む。短文の中に織り込まれた和歌、物語、漢詩などを的確に把握し、秋成の和文の妙味をじっくりと味わいたい。授業は受講者による発表形式をとり、質疑応答によって読みを深めていく。

履修上の留意点

発表者は担当部分の語彙の用例調査、典故の検討、登場人物の伝記的調査等の結果を踏まえて、正確な読みを提示すべく試みる。受講者は積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

新日本古典文学大系『近世歌文集(上・下)』(岩波書店)、『上田秋成全集』(中央公論社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習 I	おかだゆたか 岡田豊	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習 I		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

演習という授業の初学者に対し、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎的トレーニングを行う。特に発表技術の習得、レジュメの作成方法、ディスカッションの方法についての指導に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

谷崎潤一郎の小説を読む。格調高い文体で描き出された妖艶な世界を味読したい。司会も学生が行い、演習生が丸となって討論する。一作品を二回に分けて取り上げ、作品の理解を深めていく。

履修上の留意点

発表を体験するだけでも大きな発見がある。皆の意見を誘うような見解を考え、自分たちの読みが伝わりやすい説明の仕方が何か、作戦を立てる。周到に準備したにもかかわらず、皆からの総攻撃を受けたとか、発表者が用意してきたテーマとかけ離れた発言がみんなの興味を誘い、議論が白熱したとか、発表者の面白い報告に引きつけられて、自分も考えていくうちに、嫌いだった作品が好きになっていたとか、演習は予想外の展開に満ちている。その醍醐味を味わうには、ディスカッションの流れをつかみ、勇気を出して発言することが肝要である。

成績評価の方法

演習は教員の説明を聞いてノートをとる形式とは異なり、学生自身が実際に調査・報告・討論を行う。よって欠席回数が多いと多く続けると履修不可能となる場合がある。定期試験は行わないが、レポートを提出してもらう。報告内容、討論参加の態度、レポートを総合的にながめたいうで評価する。

教科書

文庫テキストを各自で用意する。

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

近現代（明治～平成）の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

近現代の詩歌についての基礎知識を学んでいることが望ましい。また各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たか た ち なみ 高 田 知 波	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス（先入観、偏見）からいかにして作品を解き放ち、自由で豊かな《読み》を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

『魚服記』『駆け込み訴え』『お伽草紙』『斜陽』『ヴィヨンの妻』『人間失格』の6作品を学生グループが分担し、年間スケジュールを立てる。グループによる発表と学生全員によるディスカッションを軸にして、原則として1作品4週間のペースで読んでいく。校学演習、演習合宿も実施する予定。

履修上の留意点

毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

平常点と、期末のレポートの採点結果とを総合的に評価する。

教科書

『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィヨンの妻』、『人間失格』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語国文学演習Ⅱ	と 井 光 祐 土 井 光 祐	14以降入学生/国文3必	4
国語学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

本演習は、特定の文献を国語史的観点から具体的に考察することによって、国語史の基礎知識、研究方法、文献学的な処理の方法を身に付けることを目標とするものである。

講義の内容・授業スケジュール

中世は、現代語に通じる日本語の大転換期と言われ、近代語の芽生えの時代とされている。本演習は、言語資料として鎌倉時代に活躍したカリスマ的学僧、明恵上人の言行録である「却廢忘記」文暦元年(1235)写本の写真版を対象とする。「却廢忘記」は、明恵上人の没後三年を経て、弟子が明恵上人存命中に発言した言葉をそのまま文字化した可能性を有する希有の口語資料として知られ、漢字片仮名交り文で記されている。文献学的手続きを厳密に適用して、古代語から近代語への過渡期にあたる鎌倉時代の言語の実態を表記史、音韻史(和語、漢字)、文法史、語彙史、文体史の諸点から考察していく。

履修上の留意点

積極的な取り組みを期待する。

成績評価の方法

レポートと平常点

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に随時指示する。

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語国文学演習Ⅱ	な かの しま しん や 中 嶋 真 也	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

藤原敦隆編『類聚古集』を読み進める。この作品は、平安後期成立で、仙覚以前の本として、『万葉集』の校勘に利用価値が大きい。しかし、万葉歌を収めると把握されるとはいえ、それは、類聚(この語の意味は辞書を調べよ)されたものであって、『万葉集』そのものではない。漢字原文を有するが、訓みとなる別行の仮名(流麗なくずし字である)は漢字原文から乖離しており、万葉歌というより平安期の歌そのもののような場合もある。一方『類聚古集』が、平安後期以降の万葉歌に大きな影響を与えていることは、先行研究により明らかにされている。それは『万葉集』の歌として把握されていたのである。そのような古典の現状を鑑み、『万葉集』に限りなく近い非万葉歌を、現行の『万葉集』歌と対比しながら、精読していく。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、『類聚古集』に関しての概説と、発表にあたって求める調査事項などを解説する。その上で発表に移る。発表者は『類聚古集』から1首以上を取り上げ、現行の『万葉集』を視野に入れた発表を行ない、その上で受講者全員での討議へとうつる。

履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

発表、質疑に対する応答、討議への参加、年度末に提出するレポート、出席状況によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)、『字典かな——出典明記——』改訂版(笠間書院)

参考書等

龍谷大学善本叢書『類聚古集』(思文閣出版)。その他の参考文献に関しては、授業中に適宜指示する。

そ の 他

『類聚古集』に関しては、コピーを利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	たて いし かず ひろ 立 石 和 弘	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

平安朝物語文学の演習。『源氏物語』を対象として、発表者の問題意識を展開し論として構成する方法と技術を養う。

講義の内容・授業スケジュール

「葵」巻を読む。諸注釈を対照させながら、表現を丹念に読み込む。担当場面から、自己の関心に即して研究テーマを設定し、調査、報告する。古代的な想像力の枠組みや、ジェンダー構成、生活世界を構成する事物や身体配置、あるいは話型など、多様な補助線を引きながらアプローチしてもらいたい。はじめに概略的な説明を行い、以降は報告者の発表と質疑応答によって進めていく。

履修上の留意点

参加者は、自己の発表だけでなく、他の発表者と問題意識を共有しながら、互いに情報を提供し合い、積極的に議論を深めていくこと。

成績評価の方法

演習発表資料・内容、出席状況、授業への参加、レポートによって総合的に評価する。

教科書

阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男校注『古典セレクション 源氏物語3』（小学館）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	まつ い けん じ 松 井 健 児	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の「葵」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を行ない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

教科書

石田稔二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）

参考書等

授業時に紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	うえ 植 田 恭 代	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

『源氏物語』の本文を丁寧に読み、そこから見出される問題を詳細に調べることを通して、作品とそれを取りまく文化や思想をさぐり、研究の方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

「初音」「胡蝶」両巻を取りあげる。概説ののち、担当者と担当範囲を決め、報告をしてもらう。全員による討議をおこなう。

- 第1回 演習の進め方について
- 第2回 『源氏物語』の概説
- 第3回～「初音」巻を読む
- 第13回 まとめ
- 第14回～「胡蝶」巻を読む
- 第26回 まとめ

履修上の留意点

全体のあらすじを把握するよう心がけること。

成績評価の方法

報告とその作成資料、質疑応答、出席、期末レポートにより、総合的に評価する。

教科書

新潮日本古典集成『源氏物語 四』（新潮社）

参考書等

授業中に指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。

平家物語の作品世界を知り、内容を精読し味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』に登場する人物、あるいは事柄を取りあげ、研究上の諸問題についてまとめ、その上で自分なりの問題点を設定し、調べ、調査し、発表する。

全体を追ってもよいし、部分に絞ってもよい。但し、絞る場合でも、必ず全体を見通した上での発表となるように。

覚一本を中心とし、精読する中で生み出される疑問を出発点とすること。その際、なるべく他種の異本を用いること。

- 1～3 『平家物語』の説明
- 4～ 発表

履修上の留意点

問題点は書誌学・国語学・芸能・和歌・説話・音楽他、多方面にわたり、また、歴史との関わりにも注意を向ける必要がある。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。

発表の前週に資料を配っておくこと。

授業中の討論に積極的に参加し、必ず一回は発言すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

授業中に適宜指示する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語国文学演習Ⅱ	たなかのりさだ 田 中 徳 定	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読みながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありようを探究し、さらには人々の思想・信仰について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

『今昔物語集』の説話について、鬼・天狗・陰陽道・狐、また笑話等、興味を持ったテーマを設定して、当時の人々の生活や信仰のありようを調査、研究し、その様相を探っていく。

履修上の留意点

専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。

成績評価の方法

授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。

教科書

今野達編『新注 今昔物語集選』（大修館書店）1,260円

参考書等

授業中に随時指示する。

その他

受講生に発表担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行い、その結果をレジュメに作成し、授業中に口頭発表を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語国文学演習Ⅱ	はやし たつや 林 達 也	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

国
文

講義のねらい

・近世（江戸時代）女流の日記・紀行を読み、近世女流文人の様相、文事をめぐる環境・状況等について考察する。
・近世の文書・記述に慣れることもねらいの一つである。

講義の内容・授業スケジュール

・近世の女性が書いた日記・紀行は意外なほど多く残っている。その中から、適宜幾つかの作品を選んで、丁寧に読みたい。近世の女性がどのような旅をしたのか、近世以前の女性の紀行などとどのように違うのか、近世女性の文学にはどのような背景があるのか、和歌・俳諧・漢詩文との関わりはどのようなのか、考えることは様々にある。担当者の発表を中心として読み、考える。
・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
・適切な参考書・文献を使いこなし、読解へ結び付けてゆく方法を身につける。
・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

・演習であるので、出席を義務とする。
・授業には積極的に参加しなければならない。
・発表者は参考資料（レジュメ）を作成する。
・地誌類など多様な資料にも広くあたり、観念的ではなく、具体的に読み解く。
・聞き手の反応を出来るだけ引き出すように工夫をこらされたい。

成績評価の方法

・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方、学年末提出のレポート、授業参加の積極性の三点によって評価する。

教科書

プリントでテキストを作成して配布する。時には、版本も使いたい。

参考書等

開講時に示す。

その他

・授業はレポートの発表を中心に進める。
・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（たとえば、図録・絵画活用等）をとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	この 近 衛 のりこ え 典 子	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

近世文学読解のための基本的な方法を身につけ、本文の正確な読解の力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

井原西鶴の浮世草子『西鶴名残の友』を読む。授業は受講者による発表形式で進める。

履修上の留意点

出席を重視する。受講者は常に問題意識を持って臨み、積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	おかの 岡 田 ゆたか あ 田 豊	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

昭和30年から平成までに発表された小説をいくつかとりあげて読む。
昭和31年の『経済白書 日本経済の成長と近代化』に「もはや「戦後」ではない」と書かれているのはよく知られている。近代化が進み、生活が急変し始めるこの時期から現代までに発表された作品をいくつか取り上げることになる。授業はディスカッション形式をとる。そして、演習Ⅰに比して、教員が関与する度合いが低くなる。学生ひとりひとりが積極的にディスカッションに参加し意見をぶつけ合う。学生の自主性を高めることに重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

2人ないしは3人でチームを組んで報告する。そして、演習生全員で報告者が提起する問題をめぐって討論する。司会進行係も学生からその都度選出する。扱う作家は、石原慎太郎・松本清張・古井由吉・中上健次・村上春樹・村上龍・田中康夫・原田宗典・山田詠美・吉本ばなな・辻仁成・町田康・柳美里・江國香織・宮部みゆき等を予定している。

履修上の留意点

現代小説の研究は、まずテーマを設定するのが困難であり、また参考文献も少ない。読みやすさのなかに何らかの問題を探し、読みを展開できるようにしなければならない。現代小説の研究にはそのような難しさがある。しかし、われわれが生きている現代が抱えるホットな問題を扱うという意味で、魅力的な研究領域でもあるのだ。援助交際、ドラッグ、ひきこもり、性の問題、家族の崩壊など。ふだん身近にあって考えることのない問題を、改めて皆で深く掘り下げて考えていく絶好の機会なのだ。何について、いまどう問い、そしてどう考えるのか、それを各自が持ち寄って欲しい。

成績評価の方法

出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数やその内容等の演習参加の態度、を総合的にながめた上で判定する。発表点と発言点が占める割合が大きい。

教科書

文庫本をテキストにする。

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を深める。

講義の内容・授業スケジュール

近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示する。

その他

人数が多い場合は原則として演習Ⅰ(詩歌)・国文学史Ⅱ(詩歌)の既修得者を優先する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	たが だ ち なみ 高 田 知 波	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。明治前期から1960年代末頃までを対象範囲とする。森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、宮本百合子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品(小説に限定)を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学的流れを体感することを目指す演習である。

講義の内容・授業スケジュール

年度始めに教員側が提示する作品リストの中から、学生の希望にもとづいて11作品を選んで発表分担チームを編成し、年間スケジュールを決定する。1作品2週を標準ベースとし、1週目を発表と質疑、2週目を演習生全員によるディスカッションにあてる。

履修上の留意点

毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教科書

取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語国文学演習Ⅲ	どいこうゆう 土井光祐	14以降入学生/国文4必	4
国語学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

卒業論文執筆のための具体的な手続きについて、発表を繰り返して検証していく。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の手続きを段階的、相互補完的に整理して、発表してもらう。

- 1、卒論の候補となる仮設的なテーマを設定する。
- 2、研究史の確認（リスト化して、コピー、ファイリングし、読む）。
- 3、学問体系の中での研究の意義を確認する。
- 4、研究対象とする言語資料を設定する。
- 5、具体的な研究方法を設定する。

以上をその都度文章化し、ある段階からサンプリング調査、ポーリング調査を試験的に行って、研究の適切性の検証を繰り返していく。1～5はそのまま卒論内の序論となる。

履修上の留意点

1～5の検証を経ずして論題の設定はあり得ない。徹底した調査が不可欠である。

成績評価の方法

発表内容と、上記1～5についてのレポート。

教科書

特になし。

参考書等

授業時に随時指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語国文学演習Ⅲ	なかじま しんや 中嶋真也	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

上代文学で卒業論文を作成する学生を対象に指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文作成に向け、求められる調査方法や具体的な作業について、指導・助言を行なう。演習として、前期・後期それぞれ最低1回の発表を義務とし、個別面談も随時行なう。

履修上の留意点

自主的かつ積極的な取り組みを求める。

成績評価の方法

出席、提出物、討議への参加などを総合的に評価する。

参考書等

その都度、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	オガ <small>オガ</small> 鈴木 <small>まき</small> 裕子 <small>ひろ</small> <small>こ</small>	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

平安時代の物語文学を対象とする卒業論文作成のための授業。卒業論文に取り上げる作品についての研究方法や調査方法などを確認、指導し、よりよい成果をあげるために助言したい。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究対象に即して具体的に指導する。卒論提出まで、5～6回程度小レポート提出と口頭での報告を求める（日時等は授業時に提示する）。

履修上の留意点

主体的に作品を読み、調査し、考えること。

成績評価の方法

レポート、研究発表の内容と出席状況などから総合的に行う。

教科書

適宜、授業中に指示する。

参考書等

適宜、授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	まつ <small>まつ</small> 井 <small>い</small> 健 <small>けん</small> 児 <small>し</small>	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	さくら <small>さくら</small> 井 <small>い</small> 陽 <small>よう</small> 子 <small>こ</small>	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。

- 1～3 卒業論文の書き方・諸注意
- 4～ 学生自身の発表と討議

履修上の留意点

学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法

卒業論文の内容と完成に至る過程。

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	たなかのりさだ 田中徳定	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい 卒業論文作成のための指導を行なう。

講義の内容・授業スケジュール 年度始めに「卒業論文研究計画書」を提出してもらう。その研究計画に沿いながら、授業中に口頭発表を行なってもらい、その都度、発表内容をまとめたレポートを提出してもらう。また、論文の作成方法について、随時、具体的に指導を行なう。

履修上の留意点 専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。

成績評価の方法 授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。

参考書等 授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	このえのりこ 近衛典子	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい 近世文学で卒業論文を作成する学生を対象に、実践的な指導を行なう。卒業論文は各自がそれぞれの問題意識を持って主体的に取り組むべきものであり、本演習はそれを援助するものである。

講義の内容・授業スケジュール 各自の研究テーマに応じて個別指導・助言を行なう。また、夏休み終了後に、中間報告としてレポートを提出してもらう。

履修上の留意点 積極的な取り組みを望む。

成績評価の方法 口頭発表、レポート、及び卒業論文の内容により評価する。

その他 ゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	はやし たつや 林達也	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい 近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌、韻文などで卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。

講義の内容・授業スケジュール 全講義期間を、基礎・展開・完成の3期に分け、それぞれの期間でレポートを提出し、スムーズに卒業論文の執筆へ結びつける。

成績評価の方法 卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

参考書等 授業時に示す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	おが だ 豊 岡 田 豊	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

学生各自が興味を持っているテーマに沿って、自主的に研究を進め、論文として記述していく力を養っていくことをねらいとする。あわせて、日本の近現代文学を対象とした卒業論文の作成指導も行う。参考文献の蒐集の仕方、それらを整理してどう踏まえるのか、作品や作家の論じ方などについて指導する。(卒業論文は、演習に参加し面談を受けて作成するものである。)

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の論題提出までに研究対象とする作品や作家を絞り込む。扱う作品は、卒業論文に関連するものを学生が選定して発表を行うという方式をとる予定である。つまり、グループのメンバーが発表スケジュールや作品を自分たちで決める。

前期、論題提出前に必ず個人面談を行う。ここで対象作家や作品についての相談をする。後期に2回は必ず面談しなければならない。

卒論作成計画書、レポートの提出を義務付ける(レポートは添削して返却する)。詳細は授業時に説明する。

履修上の留意点

卒業論文関連の重要な情報を発信したり、助言指導をする授業でもある。トラブルや事故を未然に回避するためにも、積極的、意欲的な授業への参加が望まれる。

あれもこれもと欲張ってしまい、論じる範囲を拡大しすぎると失敗する可能性がある。捨てる勇気も大切だ。絞り込んで、どのような構成で論じていくのかまで、後期の面談の中でつめていく。つまり、面談も大切な授業のうちであることを忘れないで欲しい。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、研究計画の立て方やレポートの出来具合等を見、さらに卒業論文の完成度をも参考にする。

なお、卒業論文の評価には、口頭試問での返答も大きく関わってくることを付記しておく。

教科書

その都度教場で指示する。

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを2本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

年を前半と後半に分ける。前半は学説の違いの大きな近代小説を共同で読み、後半は学生の選んだ作品を読む。発表は1人、年1回。くわしくは教場で指示する。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅲ	かつ ばら はる き 勝 原 晴 希	14以降入学生/国文4必	4
国文学演習Ⅲ		13以前入学生/国文4必	

講義のねらい

近現代の詩歌・児童文学を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

近現代の詩歌・児童文学を読む。対象とする作家・詩人・作品は学生の希望（原則として卒業論文に関連するもの）を尊重するが、場合によっては振りあてられることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学演習Ⅳ	と い こう ゆう 土 井 光 祐	13以前入学生/国文4必	4

国
文

講義のねらい

卒業論文の指導を継続的に実施する。

講義の内容・授業スケジュール

テーマに対する研究方法、研究対象とする言語資料等の相互の有効性を検証しつつ、進行に応じて個別に指導する。

履修上の留意点

熱意ある取り組みには真摯に応える。

成績評価の方法

研究への取り組み態度を総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	まつ い けん じ 松 井 健 児	13以前入学生/国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究対象に応じた実践的、具体的な指導と助言を行なう。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

卒業論文の内容とその完成に至る過程によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 文 学	田 熊 のぶ ゆき た くま のぶ ゆき	国文2・3・4選	4

講義のねらい

広大な中国の大地に生きた人々、殊にその主体となった漢民族によって築きあげられた重厚な文化は、音、義、形を具備する特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使する独特な表現世界を多岐にわたって発展させた。本講座は、中国の大地とそこに生きた人々によって育まれた表現世界の実態を把握し、理解するため、伝存する作品や再発見された遺文等を選出して、読み解いていこうとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歎こもごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を通して綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くために、歌謡、詩偈等をも含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

教 科 書

テキストについては、プリントを配布してこれを使用する予定。参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

参 考 書 等

参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

そ の 他

授業は、講義及び演習の両方式を混ぜて行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	^{みつたに} 満谷マーガレット	国文2・3・4選	4

講義のねらい

比較文学は欧米各国における「国文学」・「国文学史」が成立した以後、国と国との間の「横の関係」をみるために作られた学問である。近代国家の成立とともに発展した「国文学」があまりにも重視された反省から、国家同士の文学がどのように影響しあって、関係しあってきたかを研究することが比較文学のそもそものねらいであった。フランス、ドイツ、そしていわゆる「新世界」(アメリカ、オーストラリアなど)においてそれぞれ異なる比較文学が成立したが、20世紀前半までには近代文学を中心に「影響関係」を追及することが比較文学者の主な仕事だとされるようになった。しかし作家同士の影響関係を見る前に、文学作品、あるいは文化そのものが越境したとき、それがどのように姿を変えるかを見る必要があるだろう。受け入れる側ではそれがどのように理解され、あるいは誤解されるかも重要な問題だろう。それを見るために本授業では「翻訳」という概念を焦点に、日本と欧米の文学がどのように関係してきたかを見てみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では日本側で欧米の文学・文化がどのようにして受け入れられたかを見て、後期で日本(東洋)の文学・文化が西洋側でどのように受け入れられてきたかを見てみたい。横道にそれる余裕を持ちたいのだが、だいたい次のようなテーマに触れたいと思っている。

前期:

- 1) イントロ: 比較文学の背景と「国文学」。
- 2) 翻訳の背景。
- 3) 近代日本における「翻訳語」。近代の日本語がいかにして翻訳によって出来上がったのか。
- 4) 演劇改良運動とシェークスピアの『ハムレット』の導入。
- 5) 苦悩する翻訳者たち——森田思軒、二葉亭四迷など
- 6) 若松賤子と児童文学の導入

後期:

- 1) 西洋人の見た日本女性——「マダム・バタフライ」を中心に
- 2) アーネスト・フェノロサと「漢字」の発見
- 3) エズラ・パウンドとイマジズム
- 4) アーサー・ウェイリーの英訳を通して「小説」となった源氏物語
- 5) 英米における漢詩の導入
- 6) アメリカ文化における「ハイク」

履修上の留意点

この授業では出席はとらない。従って、出席するかどうかは学生が責任をもって決めることだが、出席しなくても簡単に単位が取れると思ってもらっては困る。また、比較文学の授業は、横文字(英語、フランス語など)を一切使わないでやるのは難しい。英文、仏文の資料を使うとき、必ず日本語訳をつけるので、外国語に堪能である必要はない。しかし横文字を見ただけでアレルギー反応を起こす学生には、この授業は辛いだろう。

成績評価の方法

前期、後期一回ずつエッセイ形式の試験を行う。各試験は50点満点だから、二つの試験の成績を合わせて一年の成績を出す。

教科書

プリント

参考書等

最初の授業で話す。

その他

この授業は講義となっているが、例年の受講生が少ない。講義形式で進めるが、学生からの質問、コメントなどは大歓迎。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	くに まつ とし ひで 国 松 俊 英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どものためになる文学」という考えが中心だった。大人が子どもに与えるもので、子どもを健全な社会的人間に育て導いていくためにあるとされた。子どもが感動したり楽しむよりも、その教育性が特に大切にされた。しかしその考えは時代とともに変わってきた。現代では、児童文学は「大人も子どもも共有できる文学」だと考える人がふえてきた。ミヒヤル・エンデの作品、ハリー・ポッターのシリーズなどファンタジーのいくつかの作品、絵本などには大人たちの熱心な愛読者がついている。大人の文学との境界がなくなってきたともいえる。

この時間では、児童文学とはどんなものか、どんなジャンルがあって、どんな作品が書かれてきたのか、などを探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 児童文学とは何か (2) 児童文学のジャンル (3) 絵本 (4) ファンタジー
(5) ノンフィクション (6) 少年詩 (7) 昔話
後期 (8) 日本児童文学の流れ (9) 赤い鳥の時代 (10) 宮沢賢治 (11) 新美南吉

履修上の留意点

講義を聞くだけでは、児童文学の世界は理解できない。授業で紹介する文学作品をできるだけ読んでほしい。

成績評価の方法

出席状況と年4回のレポート、期末試験によって評価する。

教科書

なし

参考書等

なし

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	こみ どう よし かず 近 藤 好 和	国文2・3・4選	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事(朝廷の儀式・政務)のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男女・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である束帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、束帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

成績評価の方法

前・後期各一回のレポートを予定。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』（東京堂出版）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	まつもと のぶ みち 松本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

参考書等

『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）
青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会）
笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）
佐々木潤之介『概論 日本歴史』（吉川弘文館）

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本文化史	よしだ まさひろ 吉田 政 博	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用していただきたい。また禅文化歴史博物館への見学・説明会を実施することとする。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	池田 練太郎	国文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。
a, 仏教とは何か b, ブッタの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱 f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	久保田 知敏	国文2・3・4選	4

講義のねらい

本年度は、東アジアの思想の源泉となった中国古代、特に先秦の思想の営みを理解することに焦点を絞って講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ原典にあたりながら、そこに残された営みを正確に理解し、中国古代の思想史を再構築して行く。具体的には

- 1 問題の所在
- 2 儒家集団と墨家集団
- 3 義・仁義・礼儀と利
- 4 論理的思考の展開
- 5 道の形而上学
- 6 学術史と学術分類
- 7 新出土資料の利用

などの項目に沿って授業を進めて行く。

履修上の留意点

ともかく何かを感じる事がすべての出発点になる。古典の文章を読み、何でもよいが自分の感想を持ち言語化する。そこから対話が始まる。授業に出席するに当たり、細かな知識など要求しないが、最低限その場で感じ考えることは常に要求して行く。

成績評価の方法

年2回のレポート又は試験・平素の受講態度（出席・課題の予習・理解度の調査・授業への参加）などを総合的に評価する。

教科書

池田知久『諸子百家文選』（研文社）

参考書等

授業中に指示する。授業に関する図書はできるだけ多く読むこと。

その他

少人数の場合はゼミ形式にする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	柴野博子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話する予定です。
後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デイルタイ(11月)など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	北野良枝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

奈良時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 奈良時代から室町時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識、法隆寺金堂壁画
 (3) ~ (4) 仏教絵画 (5) ~ (7) 絵巻物
 (8) ~ (9) 肖像画 (10) ~ (13) 室町時代の水墨画
 後期 室町時代から江戸時代の絵画
 (14) ~ (15) 土佐派、狩野派 (16) ~ (17) 狩野永徳と桃山画壇
 (18) 江戸時代の狩野派 (19) ~ (20) 琳派
 (21) ~ (22) 浮世絵 (23) 南蘋派
 (24) 文人画 (25) 秋田蘭画と司馬江漢
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	もり い なお 森 井 直 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻印されている。

演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期 1、日本近代演劇の黎明（2回）
2、明治40年代の演劇（2回）
3、日本近代戯曲の模索（2回）
4、大正戯曲の時代（2回）
5、築地小劇場（2回）
6、政治と演劇（2回）
7、まとめ（1回）
- 後期 1、戦後新劇の活動（2回）
2、小劇場運動の隆盛（2回）
3、80年代—私さがしとメタシアター（2回）
4、静かな演劇（2回）
5、今日の演劇——上演（2回）
6、今日の演劇——戯曲（2回）

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。（扱う作品は、授業の中で指示する。）また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末のレポートと観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義形式の授業。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道概論	かねこ だいぞう 金子大蔵	国文2・3・4選	4

講義のねらい

中国・日本の書道史を学び、また現代書の誕生と歴史、現況を研究し、書の意義や芸術性に対する知識と理解を高める。

講義内容は主に書道理論と、ビデオや拓本、複製品などを使っての名品や現代書の鑑賞である。

前期では主に、中国書道史の概要を学ぶ。最古の文字「甲骨文」から「金文」、「木簡」へと移行する古代文字の変遷と、書の芸術性を高めたといわれる書聖王羲之の書と人の研究。

後期では主に、日本書道史と現代書の概要を学ぶ。書が中国から日本へと伝来してきた背景と経緯、そして“現代書の父”といわれる比田井天来から現在の現代書7部門までを理解し、実際に数回書の展覧会を見てレポートを提出する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 書とは? (2・3) 甲骨文について (4・5) 金文について (6・7) 簡牘について (8・9) 漢代の隷書について (10・11) 王羲之の書と人について (12・13) 北魏の楷書について

後期 (14・15) 初唐の三大家について (16・17) 顔真卿の書と人について (18~20) 日本書道史について (21・22) 現代書の父比田井天来について (23・24) 上田桑鳩、金子鵬亭など現代書を広めた書家について (25・26) 現代書7部門と今後の書の展開

履修上の留意点

講義では主に頭から入る知識を学ぶが、常日頃から展覧会や博物館等に足を運び、目で親しむ時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

年数回行う展覧会等のレポート提出の内容と、講義中に行う小テストの結果に依拠して行う。

教科書

『書Ⅱ』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道史	なす たかよし 那須隆吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社) 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅰ	かねこ だいぞう 金子 大蔵	国文2・3・4選	4

講義のねらい

書道とはただ文字をきれいに書き写すというだけではない。中国、日本における古代からの名品といわれる古典の臨書を重ねることにより、パソコンやワープロでは表現することができない書き手の心や顔が見ることができ書表現を身につける。

本講座では主に書の基本ともいえる楷書と行書の古典を中心に半紙を使って学び、それにより多彩な線表現を会得し、独自の臨書感を持って書に取り組めるようにする。また最後に漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、我々が今現在使用している言葉を用いた書表現にも挑戦する。

前期では主に楷書の臨書を行う。「高貞碑」等の北魏の楷書から、「九成宮醴泉銘」等の唐の楷書まで幅広く学ぶ。後期では書聖王羲之の最高傑作「蘭亭序」や唐代能書家の名品、日本の空海書「風信帖」まで古今東西の古典を学ぶ。最後3回の講義にて漢字仮名交じり書の作品を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期・楷書の研究 (1) 用具・用材の説明と臨書について (2・3) 高貞碑の臨書 (4・5) 牛ケツ造像記の臨書 (6・7) 孔子廟堂碑の臨書 (8・9) 九成宮醴泉銘の臨書 (10・11) 雁塔聖教序の臨書 (12・13) 顔氏家廟碑の臨書
後期・行書の研究と漢字仮名交じりの書 (14~16) 蘭亭序の臨書 (17) 集王聖教序の臨書 (18・19) 枯樹賦の臨書 (20・21) 祭姪文稿の臨書 (22・23) 風信帖の臨書 (24~26) 漢字仮名交じりの書

履修上の留意点

書道の上達は筆を持つ時間の長さにとらえられがちです。予習復習以外にも日頃から筆を持つ機会を多くすることが大切です。

成績評価の方法

毎講座後に提出する作品の内容の評価と夏休みの宿題の内容の評価を総合判断して行う。

教科書

『書Ⅰ』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅱ	なす たかよし 那須 隆吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、書論、写経等)について理解を深める。
- ・中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。)

成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』(中教出版)約1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅲ	那須隆吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

隷書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどというこないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教科書

コピーによる。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	長谷川孝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくることを目指します。また、編集のはたきは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編修を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択して、自分の表現をつくり出す力を養えるよう考えます。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止めるという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

必要により、授業で紹介します。

国
文

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

2 英 米 文 学 科

英
米
文

II. 専門教育科目

(2) 英米文学科

作品講読	I	〈東雄一郎〉	367
作品講読	I	〈高野正夫〉	367
作品講読	I	〈佐藤真二〉	367
作品講読	I	〈河崎征俊〉	368
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈サンダース, L. P.〉	368
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈レイン, R. V.〉	369
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈マーティン, S. F.〉	369
作品講読	II	〈河崎征俊〉	370
作品講読	II	〈佐藤千春〉	370
作品講読	II	〈逢見明久〉	371
作品講読	II	〈東雄一郎〉	371
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈ブランケン, D. L.〉	372
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈サンダース, L. P.〉	373
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈ハバード, W. D.〉	373
英語学概論		〈佐藤真二〉	374
英語表現法		〈高野正夫〉	374
英語表現法		〈河崎征俊〉	375
英語表現法		〈佐藤千春〉	375
英語表現法		〈逢見明久〉	376
英語史		〈久保内端郎〉	376
3年次ゼミ		〈東雄一郎〉	377
3年次ゼミ		〈逢見明久〉	377
3年次ゼミ		〈河崎征俊〉	378
3年次ゼミ		〈久保内端郎〉	378
3年次ゼミ		〈佐藤真二〉	379
3年次ゼミ		〈佐藤千春〉	380
3年次ゼミ		〈サンダース, L. P.〉	380
3年次ゼミ		〈高野正夫〉	381
3年次ゼミ		〈富士川義之〉	381
アメリカ文学史		〈佐藤千春〉	382
イギリス文学史	I	〈河崎征俊〉	383
イギリス文学史	II	〈富士川義之〉	384
イギリス文学特講	I	〈石原孝哉〉	385
イギリス文学特講	II	〈高野正夫〉	385
イギリス文学特講	III	〈岡崎寿一郎〉	386
イギリス文学特講	IV	〈休講〉	
イギリス文学特講	V	〈富士川義之〉	386
イギリス文学特講	VI	〈丸小哲雄〉	387
演劇特講 (イギリス・アメリカ)		〈落合和昭〉	388
演劇演習 (イギリス・アメリカ)		〈逢見明久〉	388
アメリカ文学特講	I	〈東雄一郎〉	389
アメリカ文学特講	II	〈サンダース, L. P.〉	389
アメリカ文学特講	III	〈足田和人〉	390
アメリカ文学特講	IV	〈逢見明久〉	390

アメリカ文学特講	V	〈 休 講 〉	
イギリス文学演習	I	〈 休 講 〉	
イギリス文学演習	II	〈高野正夫〉	391
イギリス文学演習	III	〈高野正夫〉	391
イギリス文学演習	IV	〈増田恵子〉	392
イギリス文学演習	V	〈富士川義之〉	392
アメリカ文学演習	I	〈川崎浩太郎〉	393
アメリカ文学演習	II	〈サンダース, L. P.〉	393
アメリカ文学演習	III	〈川崎笑佳〉	393
アメリカ文学演習	IV	〈古富猛〉	394
アメリカ文学演習	V	〈佐藤千春〉	394
時事英語		〈サンダース, L. P.〉	395
商業英語		〈町井靖〉	395
ラテン語		〈上野勝広〉	396
ギリシヤ語		〈長谷川岳男〉	396
英米文化		〈広川治〉	397
外国文学		〈薮下紘一〉	397
英米思想史		〈麻生享志〉	398
現代美術		〈矢野陽子〉	399
日本文化史		〈吉田政博〉	400
放送英語		〈大庭直樹〉	401
英文演習		〈東雄一郎〉	402
英文演習		〈久保内端郎〉	402
英語学演習	I	〈菅原勉〉	403
英語学演習	I	〈ピアス, D. M.〉	404
英語学演習	II	〈久保内端郎〉	405
英語学演習	III	〈町田尚子〉	405
英語学演習	IV	〈桧山晋〉	406
英語学演習	V	〈ブランケン, D. L.〉	407
オーラル・イングリッシュ		〈ハバード, W. D.〉	408
オーラル・イングリッシュ		〈リアーディ, N.〉	409
オーラル・イングリッシュ		〈レイン, R. V.〉	410
4年次ゼミ		〈東雄一郎〉	410
4年次ゼミ		〈逢見明久〉	411
4年次ゼミ		〈河崎征俊〉	411
4年次ゼミ		〈久保内端郎〉	412
4年次ゼミ		〈佐藤真二〉	412
4年次ゼミ		〈佐藤千春〉	413
4年次ゼミ		〈サンダース, L. P.〉	413
4年次ゼミ		〈高野正夫〉	414
4年次ゼミ		〈富士川義之〉	414

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文1必	2

講義のねらい

アメリカの名作(小説)を通じて英語の読解力を高める。20世紀初頭のアメリカ、「ジャズ・エイジ」を疾風の如く、駆け抜けた悲劇の天才作家、スコット・フィッツジェラルドの短篇小説を精読します。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、2人から3人に発表してもらいます。前期は「冬の夢」(40ページ程度)、後期は「パピロン再訪」(40ページ程度)を読みます。毎回、4ページ程度読み進めます。

履修上の留意点

必ず予習をした上で、授業に参加すること。遅刻は正当な理由のない限り認めない。通年、4回以上の欠席がある者は評価対象外者とする。

成績評価の方法

月に2、3回程度、授業内で小テストを行う。前期、後期各1回ずつテスト(総合テスト)を行う。小レポートを数回提出してもらう。これらの結果を総合的に判断して評価を下す。

教科書

植村郁夫解説注釈『フィッツジェラルド短篇集』(研究社小英文学叢書)900円程度

参考書等

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	たかのまさお 高野正夫	英米文1必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

その他

授業は演習形式で行います。

英米文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	さとうしんじ 佐藤真二	英米文1必	2

講義のねらい

英米文学の様々な作品を読む事によって、作品を味わい、解釈する力を養うとともに、作品を一人で読んでいくことのできる英語力の向上を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は英米の短編小説を読む。後期では、劇を一本通読する予定。また、夏休みに、原書を一冊以上読む課題を出す。

履修上の留意点

英語力の向上には予習・復習が不可欠である。必ず予習をして授業に臨むこと。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表およびレポートで評価する。

教科書

テキストは開講時に指示する。

その他

授業は演習形式で行う。実際の進め方については教場において指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文1必	2

講義のねらい	P.J. ジェニングズの『中世ヨーロッパ物語集』を読みながら、中世ヨーロッパの文学的伝統を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	Amleth's Revenge, Guigemar, Erec and Enide, The Story Merlin 等の順で読む予定。
履修上の留意点	演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。
成績評価の方法	年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。
教科書	英文ジェニングズ『中世ヨーロッパ物語集』（英宝社）1,311円
参考書等	授業時に指示する。
その他	参考資料のプリントを時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	サンダース, L. P.	英米文1必	2

英
米
文

講義のねらい	This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.
講義の内容・授業スケジュール	Each class will consist of practical listening exercises, and/or short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.
成績評価の方法	Attendance, participation in class activities, speech and/or recitation, two tests (one at the end each semester).
教科書	教材は教室にて配布する。
その他	ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	レイン, R. V.	英米文 1 必	2

講義のねらい

This course will help students to : 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation - giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1 / 3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教 科 書

Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4* Longman 2003
ISBN0-13-183937-3 OR ISBN0-13-026888-7

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	マーティン, S. F.	英米文 1 必	2

講義のねらい

There are two purposes for this class. First, I would like to give students an opportunity to practice English that might be useful in their near future, either as a student, in social situations, or in the work place. Second, I would like to expose students to English input which is designed to be more thought provoking (literature, songs, movies, or newspaper articles) and which depends on and develops their own personal experiences and attitudes about themselves and the world around them.

講義の内容・授業スケジュール

The course material will be a combination of student text and CD, as well as material developed by the instructor. The first semester (zenhan) will focus more on the book and practical English, while the second semester will focus more on thought provoking materials.

履修上の留意点

This is a low - pressure class. Please enjoy playing with ideas in English.

成績評価の方法

Students will be evaluated according to attendance, in class Participation, occasional written tests, and occasional written homework assignments.

教 科 書

Students are required to buy 'Get Real - Student Book 2', written by Angela Buckingham and Miles Craven, published by Macmillan Language House, ISBN 4 - 89585 - 393 - 4 C3082

参 考 書 等

Students should try to use other English source material as much as possible. Any source is acceptable - newspapers, novels, magazines.

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	かわ 崎 征 俊 かき まさ とし	英米文2必	2

講義のねらい

Jane Austen の *Pride and Prejudice* を読みながら、19世紀英語文学の本質を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

19世紀の小説の手法（特に女性文学者）はどのような特質をもっているのか、また、それは所謂「偉大な伝統」の流れの中でどのような位置を占めているのか、この授業ではこのような問題を中心に考えながら19世紀英文学の読み方を習得していく予定。

履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。

成績評価の方法

年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。

教科書

Penguin 版等をコピーにて配布する予定。

参考書等

授業時に時々指示する。

その他

参考資料をプリントを数回配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	き とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文2必	2

講義のねらい

ここでは特定の文学作品は扱わない。ただ文学作品等を読んで行く上で必要とされる時代思潮、あるいはものの考え方などが述べられているので、これらを間接的ながら学んで行くことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

英文の音読に始まり、訳読、文法的説明等、英文の構造を解明し、内容の把握に努める。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時内における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。

成績評価の方法

「履修上の留意点」での注意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。

教科書

ON BEING HUMAN『人間を考える』（成美堂）1260

参考書等

授業内で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	おとう み あき ひさ 逢 見 明 久	英米文 2 必	2

講義のねらい

文学を愉しみながら読解力を養うことを主な目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

英語で書かれた短編小説・随筆・戯曲を扱う予定。原語朗読を重視し、作品毎に心に残る表現と鍵言葉を選び小レポートにまとめる。

履修上の留意点

欠席や遅刻は禁物。作品世界を知るための準備を惜しまないこと。

成績評価の方法

毎回の受講態度と発表内容、小レポート、2回の期末テストで総合的に評価する。

教 科 書

開講時に知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	あづま ゆういちろう 東 雄一郎	英米文 2 必	2

講義のねらい

アメリカの名作(小説)を通じて、英語の速読・精読の力(読解力)を高める。1980年代のアメリカ小説(『ミニマリズムの文学』)を代表するボビー・アン・メイソン、人間の内面のグロテスクさを写實的に語るJ・C・オーツ、SFの名手アイザック・エシモフなどの短篇を読みます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回2~3人に発表してもらい、訳や内容理解についての質疑応答を行います。毎回、4~5ページ程度を読み進めます。

履修上の留意点

必ず予習をした上で、授業に参加すること。遅刻は理由のないものは認めない。年間、4回以上の欠席がある者は評価対象外者とする。

成績評価の方法

授業内での小テスト(ほぼ毎回)、前期、後期各1回ずつの総合テスト、年間数回提出の小レポート、出席点などを総合的に判断して評価を下す。

教 科 書

『現代アメリカ短篇コレクション』(南雲堂出版)1,800円程度

参 考 書 等

開講時に指示します。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ブランケン, D. L.	英米文2必	2

講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings—they will record themselves in various speaking situations—and conversation with the instructor.

講義の内容・授業スケジュール

The schedule will be as follows.:

Spring Semester	Fall Semester
Week 1 : Vetting of student oral proficiency	Fall Semester overview
Wks 2 & 3 : English on the Move (EOM), Unit 1	EOM, Unit 5
Wks 4 & 5 : EOM, Unit 2	EOM, Unit 6
Wks 6 & 7 : Outside material & activities(1)	EOM, Unit 7
Wks 8 & 9 : EOM, Unit 3	Outside material & activities(3)
Wks10&11 : EOM, Unit 4	EOM, Unit 8
Wks11&12 : Outside material & activities(2)	EOM, Unit 9
Week13 : Book check : makeup work	Book Check : makeup work
Week14 : Final Examination	Final Examination

履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, English on the Move. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text: it will take the form of puzzles, games, music and simple reading - and - speaking activities.

The presentation of English on the move will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the schedule for the semester. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non - sequential.

The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course: students are obliged to prepare and perform the latter.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria : (1) classwork, using English on the Move : 30% : (2) classwork, using supplemental materials : 20% : (3) attendance and weekly speaking performance : 30% ; and final Examination : 20%

教 科 書

Name : English on the Move
 Authors : Baxter and Pustulka
 Publisher : Metropolitan English Publications, 1999
 Price : 2,200円

参 考 書 等

A suitable English - English dictionary is strongly recommended, but not required: the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	サンダース, L. P.	英米文2必	2

講義のねらい

This course will be based on developing practical speaking skills and listening comprehension for the intermediate level student.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of listening exercises and videos on related topics, followed by conversation practice and discussions related to cultural studies topics.

成績評価の方法

Class participation, attendance, punctuality, and two tests

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ハバード, W. D.	英米文2必	2

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level 2 or 3 tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

In the first semester (class periods 1 - 12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods 13 - 24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for such tests as the EIKEN level 2 or 3.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2)

教科書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学概論	佐藤真二	英米文2必	4

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。
(前期)

- 1) What is linguistics? (言語学とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)

(後期)

- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野)

成績評価の方法

前期末及び学年末の試験によって評価する。

教科書

J.D.O'Connor, *Better English Pronunciation*, (Cambridge University Press) 1980, (Paperback)

参考書等

参考文献は教場にて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	高野正夫	英米文2必	4

講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あまった時には十分準備をすること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あまった時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	かわさきまさとし 河崎征俊	英米文2必	4

講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できがざりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一步すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的で意欲的な授業への参加が求められる。

成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

教科書

緒方勲『英語表現への道』(成美堂) 1,545円

参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	さとうちる 佐藤千春	英米文2必	4

英米文

講義のねらい

ここで扱う英文はすべて日常会話のものばかりで、いわゆる書き言葉なるものは一つもない。口語英作文と考えてもらえばよい。はじめに基本となる英文の表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程度の短い文を練習し、基本が身に付いているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し、これはあらかじめ分担を決めておくので1人1問の分量を板書してもらう。この授業で扱う表現はすべて実生活を土台としたもので、できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現が出来るようになることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressionの説明、およびテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明し、その後はすべて学生諸君に一問ずつ質問に答えてもらう。Writing Practice はあらかじめあてておくので準備をし板書してもらう。またテキストとは別に、アメリカのColloquialismについて学び、自由作文をしてもらうことも考えている。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。遅刻・欠席はマイナス評価、Assignmentは必ずやってくるように。

成績評価の方法

毎回あてるQuiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書

THE ROAD FROM WRITING TO SPEAKING [コミュニケーションのための口語英作文]
(成美堂) 1,680円

参考書等

授業内にて紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	おうみあきひさ 逢見明久	英米文2必	4

講義のねらい

多様な英語表現の用例に触れて、言葉遣いのニュアンスを学び、英語の音声表現を磨き、文章表現の上達を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は短編小説・戯曲・映画などを利用し、リスニングや朗読を通じて、英語の音感を磨き、音声表現を学ぶ。後期は平易な英語で、身近なことを題材にしたエッセーを書き、上達に応じて短い対話劇や物語を創作し、自作を音読して発表する。

履修上の留意点

成果を出すために、充分に予習をして授業に臨むなど、意欲的な態度が求められる。

成績評価の方法

毎時間の発表と授業態度、および前期と後期のテストの結果から総合的に判断。

教科書

教場で知らせる。

参考書等

必要に応じて紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語史	くぼうちただお 久保内端郎	英米文3必	4

講義のねらい

英語は今でこそ「世界語」と呼ばれるほどになっていますが、5世紀頃のその成立時はゲルマン語に属する一つの地方言語にすぎず、またその初期の段階ではその存続自体危うくなったことが一度ならずありました。英語の過去の姿、そしてその後の変化の過程を見ることによって、英語の何が変わり、何が変わらなかったのかを知ることは、現在の英語の特質を理解する上で重要です。講義では『年代記』、『ベオウルフ』、各期の聖書翻訳など実際の文章例の読解に重点をおきます。前期は古英語（700-1100年頃の英語）を中心に、中英語期（1100-1500年頃）の半ばまで、後期は中英語期の後期から活版印刷術導入期を経て北米大陸などへの拡張期までが中心になります。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1~2) 英語の始源と特徴
- (3~7) 古英語の綴り字、音韻の推定、語尾変化と語順
- (8~10) 英語の語彙 外国語の影響
- (11~13) 中英語期への移行期の文献読解

(後期)

- (14~15) 『カンタベリー物語』
- (16~17) 「英語散文の連続性」と外来語の影響
- (18~19) 近代英語への移行期 活版印刷術
- (20) 標準英語の形成と英語の方言
- (21~22) 『欽定訳聖書』とシェイクスピア
- (23) アメリカ大陸などへの拡大

履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポート、試験の成績による。

教科書

David Crystal, *The History of English* (金星堂)

参考書等

講義の中で随時指示。

英
米
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文3必	4

講義のねらい

19世紀のアメリカの女性詩人エミリー・ディキンソンの作品並びに手紙を精読・味読します。また、彼女に関連した評論を読みます。ゼミ内発表は英語で行い、その発表内容についてディスカッションを行います。後期からは質疑応答も英語で行いますので、発表者以外の者も、自分の意見や主張を英語でまとめ、ゼミに参加して下さい。研究発表者は、英語のハンドアウトを用意し、他のゼミ生に配布して下さい。

履修上の留意点

欠席をせずに、予習を必ず行うこと。

成績評価の方法

研究発表（プレゼンテーション）、ディスカッションへの参加・貢献度などの平常点と小レポート（数回）、年末の総合テスト（1回）の結果を考慮し、評価を下す。

教科書

テキストは
新倉俊一編注『エミリー・ディキンソン詩抄』（研究社）
亀井俊介編『ディキンソン詩集』（岩波文庫）
を使用します。

参考書等

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	おう み あき ひさ 逢見明久	英米文3必	4

講義のねらい

英米演劇における映画化作品研究。

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ劇壇を代表する劇作家アーサー・ミラーの家庭劇『セールスマンの死』（1949）を取り上げる予定。前期は、テキストを精読したうえで、映像作家の作品解釈をその演出から探り、夏期休暇に各々の切り口でレポートをまとめ（400字10枚程度）、後期はレポートを発表し、ほかのメンバーと意見を交換しながら問題点を整理する。

履修上の留意点

毎回全員に発表の機会があるので、準備は怠らないこと。

成績評価の方法

毎時間の発表姿勢と、レポートの結果から判断する。

教科書

Miller, Arthur. Death of a Salesman: Text and Criticism (Viking Critical Library)
ISBN: 0140247734

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社、1996年） ISBN: 4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学藝書林、1992年）
ISBN: 4905640857

英
米
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	かわさきまさとし 河崎征俊	英米文3必	4

講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかになりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

教科書

教科書は、A.C.Baugh版をコピーにして使用する予定。

参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	くぼうちただお 久保内端郎	英米文3必	4

講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時的研究への関心をさらに深めていただくためのゼミとなればと願っています。前期のテキストには Robert McCrum ほかの *The Story of English* (BBC Publications, 1986) のテキスト版を用います。BBC で放映されたものが原本になっています。ビデオも適当な時期に少しずつ見たいと思っています。後期はこれの後半を読むか他の本に移るか、参加の諸君の希望を聞きたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1) 英語の歴史を学ぶとは
- (3~6) 英語の系統
- (7) バイキングの侵入とバイリンガル
- (8~10) ノルマン人の征服の影響
- (11-13) チョーサーとウィクリフ

(後期)

- (14~16) ルネサンス期の英語
- (17) 以後の箇所は参加者の希望による。
- (18~22) 未定
- (23) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

Robert McCrum ほか『BBC: 英語ものがたり』(英宝社) 1,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	佐 藤 真 二 さとう しんじ	英米文3必	4

講義のねらい

Accents of English (地域や社会階級、年齢、性別等による発音の違い) を、音声資料を用いて研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) International Phonetic Alphabet、地域による相違、社会階級による相違、性別、年齢による相違。研究予定地域：イングランド南部 (ロンドン等)、イングランド北部 (リヴァプール等)、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、オーストラリア、カナダ等。使用予定資料：インタビュー、ニュース、テレビ番組、映画、音楽等。
(後期) 学生の研究発表を中心とする。

履修上の留意点

- ・履修には、英語音声学全般に関する基礎知識が必要である。
- ・音声資料の分析等のために、プラクティカルな英語力も要求される。
- ・参考書や資料は、英語のもののみ使用予定。
- ・後期には、学生各自が、自ら選択したテーマで夏期に研究した結果の発表を行う。
- ・口頭発表は、英語で行うことも視野に入れている。(希望者のみ)
- ・後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表や ear-training などの基礎学習が不可欠となる。毎回予習の上出席すること。

成績評価の方法

授業内の発表とレポートによって評価する。

教 科 書

教場にて指示する。

そ の 他

夏期に、音声学をテーマにした合宿を行う予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	佐藤千春	英米文3必	4

講義のねらい

アメリカ文学史上、1830年頃から40年の中頃にかけて、(Transcendentalism) という文芸思潮が頂点に達していた。これは宇宙の本質、神と人間の内部とは究極的に同質のものだとし、人間の精神、自我そのものが神であると主張した。当然そこには、個人こそあらゆるものの根源であるという徹底した個人主義思想が生まれてきた。そして超絶主義はこの神と自我のつながりを認識する媒体能力として直観を重んじた。理性というワクをとりはずし、いっさいの経験、悟性に先立つ直観能力、想像力に信頼をよせ、無限者神との合一を求めた。そこには明るい未来像、世界像が描かれていた。しかしこれに疑問を持ち、その未来像を否定的にさえ眺めていた作家もいた。ナサニエル・ホーソン (Nathaniel Hawthorne, 1804-64) である。ここでは彼の作品を精読し、さらにほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

ホーソンの作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。本年度扱う作品は、“The Minister's Black Veil” “The Man of Adamant” “Egotism; or, The Bosom-Serpent” “Young Goodman Brown” “The Birth-mark” “Ethan Brand”を予定しているが、読む順序は必ずしも上記の通りとは限らず、また時間によってすべての作品に当れるかも決まてはいない。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。遅刻・欠席は厳に慎むこと。人数によって教場変更もあるので4月の開講時に注意していただきたい。

成績評価の方法

分担して発表してもらう姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。

教科書

プリントを使用する。4月の開講時に各自に手渡すので注意されたい。

参考書等

参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	サンダース, L. P.	英米文3必	4

講義のねらい

このセミナーは、カルチャー・スタディのアプローチをもとに、1980年代から現在までのコンテンポラリー文学を学ぶ。

そして次の3つの点に注目する——technology, media and literature.

今年度は、“サイバー・スペース”のクリエイターであるウィリアム・ギブソンの代表作『ニューロマンサー (1984)』などを学習する。

成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	たかの の まさお 高野正夫	英米文3必	4

講義のねらい

1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であった W.H.Auden は、1939年1月にアメリカに渡った後、アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した1939年以降のオーデンの詩を読んでいく予定です。

さらに、このオーデン以外にも、イングリッシュ・ラインと呼ばれる、イギリスの伝統にしたがって詩を書いている現代のイギリス詩人のなかでも、最も知られた、最も人気のある詩人、フィリップ・ラーキンについても読んでいきます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進めていきます。

履修上の留意点

積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えるようにして下さい。

成績評価の方法

レポートや、授業の時の発表や出席状況を見ながら総合的に評価する。

教科書

W.H.Auden, *Collected Shorter Poems 1927~1957* (Faber) を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	英米文3必	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの *Salome* 研究。 *Salome* を精読しながら、ワイルドの文学についてさまざまな角度から考察してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

精読が中心になるが、適宜課題を与えて発表してもらうつもり。レポートなど論文の書き方についても最低限必要な知識についてもふれる。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

試験と発表態度と出席回数を総合的に判断して評価する。

教科書

Salome (英光社)

参考書等

適宜指定する。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 文 学 史	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文2・3選必	4

講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしぼり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

履修上の留意点

講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

成績評価の方法

期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあたっての注意をするわけではない。

教 科 書

西田実『アメリカ文学史』(成美堂) 2,205円

参 考 書 等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学史 I	かわ 崎 征 俊 か しまさとし	英米文2・3選必	4

講義のねらい

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義は次のような順序で行う。
- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
 - (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
 - (3) 中世後期の文学の内容と特質
 - (4) チョーサー文学
 - (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
 - (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
 - (7) シェイクスピア文学
 - (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
 - (9) ジョン・ダン文学
 - (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
 - (11) ジョン・ミルトン文学
 - (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
 - (13) 新古典主義文学
 - (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
 - (15) アレキサンダー・ポープ文学
 - (19) 市民社会と小説の隆盛
 - (20) 18世紀後半の文学の内容と特質
 - (21) ロマン主義文学への曙光

履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけではなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教 科 書

相島倫嘉『イギリス文学の流れ』（南雲堂）3,689円

参 考 書 等

授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

そ の 他

参考資料を時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史Ⅱ	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>	英米文2・3選必	4

講義のねらい

19世紀から20世紀にいたるイギリス文学の流れを、主として小説と詩の代表作に即して説明する。
とくに19世紀と20世紀の代表的な小説に関しては、随時幾つかの作品の映画をビデオで鑑賞する予定。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次のような順序で行う予定。

- (1) ロマン主義とは何か
- (2) ロマン主義の詩——ワーズワスとコールリッジ
- (3) ロマン主義の詩——キーツとシェリー
- (4) ゴシック小説の内容と特質
- (5) ジェイン・オースティンの小説
- (6) プロンテ姉妹の小説
- (7) チャールズ・ディケンズの世界
- (8) ジョージ・エリオットからトマス・ハーデーへ
- (9) ラスキン、ペイター、ワイルドの文学
- (10) モダニズムとは何か
- (11) モダニズムの詩——パウンドとエリオット
- (12) モダニズムの小説——ジェイムズ・ジョイス
- (13) モダニズムの小説——D.H. ロレンス
- (14) 1930年代の文学と思想
- (15) 1940年代の文学と思想
- (16) 1950年代の文学と思想
- (17) 1950年代以後の文学と思想

履修上の留意点

出席は必ずとるので留意すること。授業内容をしっかりノートにとり、テキストや他の参考書や教材コピーなどをきちんと勉強してほしい。

成績評価の方法

試験（夏期）、レポート（冬期）、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書

The English Novel: An Introduction Through Video（開文社）
川口喬一『イギリス小説入門』

参考書等

上田和夫編『イギリス文学辞典』（研究社）

その他

教材コピーを随時配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	いし ばら こう さい 石 原 孝 哉	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たが の まさ お 高 野 正 夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された Lyrical Ballads という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	岡崎 寿一郎 <small>おか ぎき としいちろう</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	富士川 義之 <small>ふじかわ よし ゆき</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説 イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、作品の紹介とオリジナル・テキストの演習を行い、テキストの印象や感想を客観化するために文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの価値評価に向けて演習・講義を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 自然言語・科学言語・論理的言語・文学言語の差異について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学テキストの機能と力について
- 4) さまざまな批評方法について
 - ・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム（ニュー・クリティシズム）、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

- 1) Elements of fiction by R.Scholes（英宝社）
- 2) Roman Selden A Reader's Guide to Contemporary Literary Theory
The Harvester Press（ ）
- 3) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参 考 書 等

随時指示します。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おち あい かず あき 落 合 和 昭	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell(1882-1948)、Alice Gerstenberg(1885-1972)、Eugene O'Neill(1888-1953)、Thornton Wilder(1897-1975)、Tennessee Williams(1911-83)、Arthur Miller(1915-)、Shirley Jackson(1919-65)、Edward Albee(1928-)、Sam Shepard(1943-)、David Mamet(1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge(1871-1909)、Samuel Beckett(1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley(1894-1984)、Peter Shaffer(1926-)、Harold Pinter(1930-)、等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 演 習 (イギリス・アメリカ)	お う み あ き ひ さ 逢 見 明 久	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

主に映画化された現代英米演劇の秀作を扱う。原作から立ち上がる演劇空間を模索して、映像作家の作品解釈を探る。

講義の内容・授業スケジュール

前期に米劇作家デイヴィッド・マメット作『暗号』と英劇作家ハロルド・ピンター作『背信』を、後期に米劇作家ウィリアム・インジ作『ピクニック』他を扱う予定。

履修上の留意点

原作の疑問点や、原作を踏まえた映像分析を、毎回全員で発表し、討論することになるので、テキストの読み込みが前提となる。また、扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。

成績評価の方法

毎回の発言内容と姿勢、及び作品ごとのレポート(各2000字程度)で総合的に評価。

教 科 書

『暗号』プリント配布
『背信』プリント配布
Inge, William. Four Plays (Grove) ISBN: 080213209X

参 考 書 等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN: 4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1992年)
ISBN: 4905640857

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者的詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したのではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅱ	サンダース, L. P.	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

このコースはアメリカンゴシックフィクションを学習する。アーバン・テクノ・サイバーゴシックの3つのエリアにねらいを定める。まずは最近出版されたジョイス・キャロル・オーツの作品から取り組んでいく。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じて配布・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	おう み あき ひさ 逢 見 明 久	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

現代アメリカ小説を映画で読む。原作を踏まえうえて、映像作家の作品解釈を探り、個の在り方がどのように扱われているかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

ヘミングウェイ作『老人と海』、マイケル・カニンガム作『めぐりあう時間たち』、E・アニー・プルー作『シッピング・ニュース』、ダニエル・キイス作『アルジャーノンに花束を』他を扱う予定。

履修上の留意点

扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。原作と映画版について気づいたことをまとめた小レポートを毎回提出することになる。

成績評価の方法

毎回の小レポートと、前期と後期の期末課題レポート（各2000字程度）で評価。

教 科 書

随時紹介する。

参 考 書 等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社、1996年） ISBN：4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学芸書林、1992年）
ISBN：4905640857

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀の英詩においては主に二つの流れがあった。ひとつはポープやジョンソンなどの古典主義の伝統を受け継いだ Augustan Age の詩人たちであり、もうひとつは、このような古典主義から脱して、人間的感情を回復しようとした、いわば Romanticism への移行期の詩人とも言える、グレイ、クーパー、コリンズなどの非伝統的詩人たちである。このまったく対照的な詩を生み出した18世紀の詩人の作品を中心に読む予定です。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で作品の精読解釈を行なっていきます。

履修上の留意点

出席は毎回とりますが、できるだけ予習をして授業に出るようにして下さい。

成績評価の方法

前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。

教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅲ	たかのまさお 高野正夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの1950年代に登場した 'Angry Young Men' とほぼ同じ時期に現われた一群の詩人たちについて読んでいく予定です。'The Movement' と呼ばれた彼らは、イギリス人の日常生活を分かりやすい率直な言葉で描写していたが、彼らが自らの詩という表現方法によってどのように20世紀後半のイギリス社会とのつながりを認識していったのかなどについて考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

'The Movement' に属する詩人たちを何人かとりあげ、前、後期でできるだけ多くの作品を読んでいきます。

履修上の留意点

演習ですので予習を欠かさずに受講して下さい。

成績評価の方法

前、後期のレポートや出席状況、平常点などによって成績評価をする。

教科書

教場にて指示する。

参考書等

Philip Larkin, *Collected Poems* (faber and faber, 1988).

その他

それぞれの詩人の作品を精読しながら、彼らの詩的特質や伝記的な側面について考えていきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅳ	増田 恵子 <small>ます だ けい こ</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀イギリスの散文作品を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

単語をきちんと調べたうえで、音読と独自の訳をしてもらおう。また作家や作品、時代背景についても予習し、自分の意見を発表できるようにしておくことが望ましい。

履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

教 科 書

Elizabeth Gaskell, *The Life of Charlotte Bronte* (Penguin Classics)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅴ	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの20世紀作家の短篇小説を読みながら文章を正確に読みとる訓練をしたい。いずれも粒よりの短篇ばかりで、内容面でも読みごたえがあり、おそらく語学的にも相当骨の折れることがあるかもしれない。だが、たとえ少々歯ごたえがあっても投げ出さないで、辞書と知性と想像力を十分に活用して積極的に読解に挑んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、作家と作品などについて折にふれて説明する。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。

教 科 書

The Prophet's Hair and Other Stories (成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅰ	かわさき こうたろう 川崎 浩太郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の精読を通して、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間2～3編ずつ読んでいきます。作品は、植民地時代の詩から、ポストモダンの詩まで、時代順に抜って行く予定です。

前期は、時代背景や作家の略歴等についてこちらで解説した上で、詩の内容に関して質問します。その上で短い鑑賞文を書いてもらいますので、自分なりの回答を見出してください。後期は簡単なテーマを与えるので、それについて調べてきたことを発表してもらおう予定です。

履修上の留意点

演習科目ですので、「教えてもらう」という受動的な姿勢ではなく、「自分で考える」という能動的かつ積極的な姿勢で授業に臨んでください。活発な発言を期待しています。

成績評価の方法

毎時間提出する小鑑賞文と、レポートあるいは授業中の発表をもとに評価する。

教科書

プリントを配布

参考書等

『アメリカ詩入門』新倉俊一著（研究社出版）
『アメリカ名詩選』（岩波文庫）
『アメリカの詩を読む』川本皓嗣著（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅱ	サンダース, L. P.	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

1980年代のコンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。本年度は下記の作品も学習する。William Gibson.
また、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッドをジャンル別に学ぶ。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅲ	かわさき えみか 川崎 笑佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

J.D.Salinger の作品を講読し、それぞれの作品を通して彼の思想や作風、時代精神などを考察する。毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらう。その際、重要と思われる箇所や疑問点があればその都度それらについて全員で考えていく。また、同時進行で毎回学生にプレゼンテーションを行ってもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

予習の段階で英文の意味などを辞書で確認するのは勿論、内容を吟味して授業に臨むこと。

履修上の留意点

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の態度（発表を含む）、小レポートをもとに総合的に評価する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅳ	古 ^こ 富 ^{とみ} 猛 ^{たけし}	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ社会の特殊性=文学の独自性を基本とし、主に資本主義導入による産業革命によって病んでゆくアメリカ社会を、テーマとしている19Cのソローと20Cのフォークナーを主体として、その作品を扱いたい。

講義の内容・授業スケジュール

講座の性質上、学生諸君に予習発表してもらい、作品上も重要である、アメリカ・インディアンや黒人奴隷問題にも触れ、さらにアメリカ文化の主流であるクレオール主義についてや、それから派生したブルースからジャズへの進展、また文学への影響性は何なのかを述べてみたい。

履修上の留意点

最近の学生諸君の語学力低下を教壇から、痛感しているので、もう一度けんきよになって、高校からの文法事項を復習してもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅴ	佐 ^さ 藤 ^{とう} 千 ^ち 春 ^{はる}	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ・ルネッサンス期の文学作品を扱う。辞書を丹念に引き、英文の構造をしっかりと把握し、文意を探ることを目指すが、同時に、その作品が作家の中で、また文学史上どのような位置にあるか等も探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

辞書の引き方の訓練をかねた英文の読み方が中心となる。毎時間、分担を決めておくので発表してもらおう。

履修上の留意点

英文はいくぶん難解なものといえるので、十分な予習をもって臨んでほしい。遅刻・欠席はマイナス評価となる。あらかじめ決められた分担は責任を持って発表すること。

成績評価の方法

出席、発表姿勢などを含む平常点と年2回の試験によって評価する。

教科書

『トワイス・トウルド・テイルズ』泉田 栄 編注 (北星堂)

参考書等

授業内において必要とあれば指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L. P.	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業英語	まちい やすし 町井 靖	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読み返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

英
米
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
ラテン語	うえの かつひろ 上野 勝 広	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第11課まで、後期は第12課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

辞書と共に初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまとうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいため、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 文 化	ひろ かわ おさむ 広 川 治	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

「映画・演劇に見る英米文化」を中心テーマとして講義を進める。今年度4月から12月の公開映画、上演の舞台のうち何本かをレポート対象作品に指定し、テーマ別に数作品を組み合わせて比較し、レポートにまとめる課題を数多く設定するので、受講者は可能な限り多くの作品を演劇・映画・ビデオ（DVD）などのジャンルから選び、レポートにまとめて随時提出することになる。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) レポートの書き方、対象作品についての説明
- (5月) 米アカデミー賞授賞式について～賞の制度・歴史と今年度のノミネート・受賞作品
- (6・7月) 英米の映画・演劇あるいは美術・音楽からテーマを設定し、講義予定
- (9・10月) イギリス現地で撮影してきたビデオ（街の表情、劇場、観光地、映画のロケ地などを収録）を見ながらイギリス文化の諸相について学ぶ。
- (11・12月) 様々なテーマ（歴史・言語・芸術・生活等）を映画・演劇等にさらに探っていく。

履修上の留意点

出席は取らないが、授業中に見たビデオなどの感想を書いて提出してもらうことがある。12月に成績の申請日を設けるので必ず出席すること。この申請がない者はレポート提出が無効になることがある。

成績評価の方法

提出したレポートの数で基本的に成績が決まる。点数の詳細は初回の授業で説明するが、最低でも演劇1公演、映画館の映画1作品、ビデオ（DVD）4作品程度は見てレポートをまとめることになる。（配布する試験用紙に書いて提出すること。）

教科書

プリント配布の予定。

参考書等

授業内に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 文 学	やぶ した こう いち 数 下 紘 一	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

スウェーデン文学も他の北欧の文学同様そのルーツを北欧神話、古代ギリシア・ローマの文学に持っている。我々は時間軸にそって見て行く。最初何の講義だかわからない所から入って行って時代がヨーロッパ中世辺りの話を過ぎた頃からルーン文学の話が出て来て、又少し離れたかと思うといよいよ北欧の、スウェーデンの文学へ入っていく。ノーベル賞の大江健三郎も有名だが、安倍公房や三島由紀夫の名前も出て来る。そして1970年辺りまでのスウェーデン文学で終る、というかなり大雑把な範囲の話になると思われる。元々は言語学の間人だが、スウェーデン民話の方を文法やらを見つつ訳している事もあって、やって試るとの事で、半年かけてノートを作っていて、今回はこれで…と思った。

履修上の留意点

出欠は一応とります。ノートを1冊用意して下さい。講義形式です。マジメにノートをとって下さい。

成績評価の方法

評価は1月の1回の簡単な筆記試験だけです。簡単な、という所に注意。

教科書

教科書はありません。

参考書等

参考書もありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 思 想 史	あざ お たか し 麻 生 享 志	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、より深い専門的な読書に向かうために、きっかけや興味を持ち、基本的な能力を得ることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から19世紀までを予定します。

履修上の留意点

聴講者全員に、2週目の講義（初回、ガイダンスの次の回）において、「英米（広く英語圏で可）の思想関係の著述家の内から、関心のある人を一名（ないしそれ以上）あげ、その思想内容」について論じてもらいますので、そのための準備を（出来るだけ早期から）しておいて下さい。

後半に演習形式を採った場合に、積極的に取り組む意欲のある学生を希望します。

成績評価の方法

成績は、出席による平常点、4月に授業時間内に書いた論述、前期及び後期のレポート（レポート試験）、夏休み明けに提出するレポートによって評価します。9月以降、演習発表形式になった場合には、基本的には、その発表内容によって後期のレポートを免除します。（例外あり）

教 科 書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

そ の 他

前半は、英米の哲学史に思想史の方法論を加えた講義を行います。後半では、希望者による発表を中心とした演習形式を採りますが、希望人数が少なければその分は講義とします。（発表者予定は、レポート試験時、試験後打合せにおいて決定します。）

初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術を理解するにあたって、まず19世紀後半の美術を簡潔に概観します。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に話を進めます。色彩の使い方を大きく変えたフォーヴィスムと形態を問題にしたキュビスムとがその後の美術運動に与えた多大な影響を追っていきます。後期はシュルレアリスムから抽象美術、ポップアート、近年の動向を紹介します。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席状況とを合わせて評価する予定。

教科書

講義時にプリントを配布します。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円
そのほか授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史	よし だ まさ ひろ 吉 田 政 博	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていたことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展観する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用していただきたい。また禅文化歴史博物館への見学・説明会を実施することとする。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 送 英 語	おお ぼ なお き 大 庭 直 樹	英米文3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、コンピューターを使って、マルチメディアによって英語を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前半における第一の課題は、インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶことである。世界中の最新の報道（CNN, New York Times）をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく（例えば、ニュース・サイト Patherfinder (<http://pathfinder.com/>) にある Time 誌、アメリカの日報 USA Today, New York Times、あるいはエンターテイメント・サイト (<http://www.imdb.com/>) にある映画のデータベース、そして CNN ニュースなど）。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。

後半の課題は、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。そして、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。コンピューターによる自動翻訳を利用して、自動翻訳の問題点、なども考えていきたい。また、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが第一条件である。

履修上の留意点

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEIC の問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用する。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらおう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 作 文 演 習	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文3・4選	4

講義のねらい

「仕事の帰り私にはわか雨にあった」、ほとんどの日本の学生はこの日本語から、“On my way home from work, I was caught in a shower.”の英文を書きます。もちろん、これは正しい英文ですが、この他に「わか雨にあった」は“it started pouring”や“the rain started coming down in buckets”とも表現できます。「私のカメラは故障している」、この日本語については“My camera is out of order”の英文にする学生が多くいます。しかし、“out of order”は機械や公共物について使用するイディオムで個人的なものには使用しませんから、通常は“My camera doesn't work”や“My camera is broken”の英語になります。この演習では、以上のような点を再検討し、日本人が英語を書く際におちいり易い間違いを正し、自然な英語表現ができるようなトレーニング（ドリル）を積み重ねてゆきます。また、役に立つイディオムを多く暗記し、それらを自由に使いこなせるようにします。あわせて、ヒアリング（リスニング）やディクテーションの力も向上させましょう。

履修上の留意点

予習を必ずし、欠席をしないように。

成績評価の方法

授業内に毎回小テストを行います。また前期・後期のまとめのテストを各1回行います。時に、小レポートを提出してもらいます。以上の結果を総合的に判断し、成績評価を下します。年間、4回以上欠席した者は採点外対象者とします。

教科書

テキストは『役に立つ口語英作文』（南雲堂出版社）1500円程度を使用し、必要な場合は他にプリントを配布します。

参考書等

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 作 文 演 習	くぼうち 久保内 ただお 端 郎	英米文3・4選	4

講義のねらい

英文らしい英文を書くという意気込みが大事ですが、作文の場合とくに意気込みが必要であるといえます。コンスタントな努力が必要です。同時によい英語の文章をたくさん読むということも努力して頂きたいと思います。お互いに汗をかきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1～2) 英語の構造と情報の焦点、「文と文がつながる」とはどういう意味か、など
- (3～6) テキストの第1～4課
- (7) これまでの語句、語彙の小テスト、小発表
- (8～10) 第5～7課
- (11) 発表
- (12・13) 第8～9課

(後期)

- (14～16) 第10～12課
- (17) 「郷土紹介」小発表。
- (18～19) 第10～12課
- (20～21) 第13・14課
- (22～23) 第15課と発表

履修上の留意点

授業への積極的な参加と宿題提出の励行を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

岩崎春雄編『大学教養英作文』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習 I	菅原 勉	英米文3・4選	4

講義のねらい

全ての言語は構造上、音声、意味、文法から成り立っています。英語もこれらの三つの要素が複雑にからみ合っており、ひとつだけで成立はしていません。この授業では音声に焦点を当てて、英語の音声の特徴について分析をしていきます。相手に意思が伝わるように発音できることが先決です。英文のテキストや資料に応じて Reading や Speaking も取り入れます。

講義の内容・授業スケジュール

《前期予定》

- ・音声によるコミュニケーションについて
音声というのは
言葉が通じるということと通じないということ
- ・英語の歴史概観
英語の先祖はどうなっているか
- ・英語の標準語は
英国英語と米国英語
地域方言と階級方言
- ・音声器官解説
音声はどのようにして作られるのか
音声はどのようにして聞き取られるか
- ・前期分試験

《後期予定》

- ・音声をどのようにして表記するか
- ・英語の単音について
英語の母音と子音
英語と日本語の比較
- ・英語の母音や子音が連続したらどんな音になるのか
英語の音節構造について
英語のイントネーションについて
- ・後期分試験

履修上の留意点

- ・1年間絶対に休まないという執着心を授業に対して持ち続けること
- ・授業を通して自分の好きなことを必ず見つけ出そうとする好奇心を持つこと
- ・どうしても授業を休みたい時や面白くないと感じた時は、その旨申し出ること

成績評価の方法

- ・年2回の試験（25×2）とレポート（10）、リアクションペーパー（10）及び出席（30）を参考にして総合評価をする

教科書

- ・最初の授業で紹介する。外国発行の原書（英語）を使用することもありうる

参考書等

- ・授業展開中に適宜紹介する

その他

- ・基本的には講義であるが、履修者の数により、ゼミ形式に移行することもありうる
- ・実践的な側面と授業に参加する意欲を重視する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 I	ピアス, D. M.	英米文3・4選	4

講義のねらい

The members of this class are very special students. Since you are majoring in English – American Literature, I expect that you want to use English your whole lives as English teachers, Professors, interpreters, translators, travel agents, and international businessmen. The course is therefore *career-oriented* for students who seek careers as specialists in English. Over the years my overwhelming impression has been that you have not learned how to speak English fluently; it is a deeply worrisome pitfall that threatens to ruin the benefit of all four years of your other study of English. Without the ability to *speak* English, you cannot be successful as an English specialist. Therefore, the course takes drastic efforts to teach you to learn to speak English effectively. You will be speaking English for the full ninety minutes of every period. There is *no* passive participation in this class; at every moment you will be producing and improving yourself. Choose this class only if you sincerely want to improve your ability to speak English; great effort is required, and the instructor will not tolerate laziness. To the purpose of scoring well in TOEFL, TOEIC, EIKEN, etc., there will also be intensive practice in lecture comprehension and composition. The course furthermore prepares you to extend your English proficiency with intensive English study programs overseas and foreign exchange programs.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter – grade less than what the student would otherwise have received. Apart from the two final – semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high – quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Adam Pelagius, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English – Japanese dictionary or a battery – powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅱ	久保内 端 郎 <small>くぼうち ただ お</small>	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時的研究への関心をさらに深めていただくための演習をと考えています。ただ、歴史ばかりに話が終わるのではなく、共時的な問題にも踏み込んでみたいと考えています。テキストとして英語史の古典となっている下記のテキストを読みます。英語の「原点」を知ることになります。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
 (1～4) 第2章「始源」
 (5～8) 「古英語」
 (9～13) 「スカンジナビア語の影響」
 (後期)
 (14～17) 「フランス語の影響」
 (18～22) 「文法の諸問題」
 (23) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートの成績による。

教科書

O. イェスベルセン著『英語の成長と構造』(英文)(南雲堂)

参考書等

参考書は講義の中で随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅲ	町田 尚 子 <small>まち た なお こ</small>	英米文3・4選	4

講義のねらい

12月初旬BBCのウェブサイトのニュースに、向こう10年間で世界の3人に一人が英語を学習するだろう、という記事が掲載されていました。世界共通語としての英語と多様な英語(地域差、母語・第一言語、第二言語としての英語使用者の多様性による)を視野に入れ、共通語としての英語の概要をまずつかみ、さらに多様性の現状とその歴史的由来をみていきます。語彙数の多さ、多義表現の多さ、語形変化・活用で文法関係を示す機能がほとんど消失したのはなぜだろうか、等を特に古英語時代からの他言語との言語接触の観点から考えてみます。母音の発音と文字の基本的な一対一対応が歴史的に崩れていった過程、また、特に大母音推移を考察することで、現代英語の基本的な母音(長母音・2重母音)と表記文字との対応関係の規則性をみます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として Robert McCrum, Robert MacNeil, & William Cran, The History of English 第3版の第1章 An English-Speaking World、第2章 The Mother Tongue に基き、世界共通語としての英語の概要を見ます。
 後期は R. L. Trask, Language: The Basics 第2版の第5章 Change in language およびプリント資料で英語の歴史的变化による説明を考察します。

履修上の留意点

欠席する場合はメール等で連絡し、プリント教材、課題の指示を受けること。連絡変更事項はKOMS Yの講義内容詳細修正に記載します。授業前に必ず確認して下さい。

成績評価の方法

授業中の課題発表評価点、年3回程程度の作業課題(レポート)成績、定期試験期間中に提出するエッセイ・レポートを総合して成績評価点を出します。

教科書

プリント使用予定。

参考書等

Robert McCrum, Robert MacNeil, & William Cran, The History of English 第3版(2002年) faber and faber BBC Books ISBN0-571-21077-5 (10.99ポンド)
 R. L. Trask, Language: The Basics 第2版(1999年、2001年リプリント) Routledge ISBN0-415-20089-x

英
米
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学演習Ⅳ	ひやま 松山 晋	英米文3・4選	4

講義のねらい

基本文法を学びながら、初歩的な古英語文献を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文法を最初の一ヶ月で終え、古英語文献の読解に入る。細かい解説は読解と並行して扱う。最初にどれだけ基本文法を習得できるかが鍵になる。

履修上の留意点

中途半端な現代英語の知識は全く役に立たない。新たに外国語を学ぶ覚悟で受講して欲しい。必ず予習をした上で出席すること。

成績評価の方法

授業での発表を最も重視。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は不合格。遅刻は減点。積極的な授業参加を強く望む。

教科書

森田貞雄・三川基好・小島謙『古英語文法』(大学書林)4,200円 ISBN4-475-01543-X。
別途古英語のテキストを利用する可能性もあるが、これについては適宜教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 V	ブランケン, D. L.	英米文3・4選	4

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (EIKEN) series. The specific goals are to (1) develop student aural-oral ability : (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability : and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・
授業スケジュール

Spring Semester	Fall Semester
Week 1 : TOEIC materials & methods	TOEIC materials & methods
Week 2 - 6 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week 7 : Sample TOEIC Test 1	Sample TOEIC Test 1
Week 8 - 12 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week13 : Sample TOEIC Test 2	Sample TOEIC Test 2
Week14 : Analysis of test performance	Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30-45 minutes a day. Homework will be checked: the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week: reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEIC tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester or afterwards.

To the students: You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30-45 minutes each day is enough—you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows : (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25% : (2) classwork, attendance and performance, 25% : (3) homework, amount of exercises and readings done, 25% : and (4) test performance in terms of progress

教 科 書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参 考 書 等

Materials: Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting.

Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

科目名	担当者名	配当学科	単位
オーラル・イングリッシュ	ハバード, W. D.	英米文3・4選	2

講義のねらい

The two main goals of this course are : (1) to provide students with expressions and strategies necessary for successful communication and (2) to teach students to be sensitive to cultural differences and to interact successfully so that their intercultural experiences can be more satisfying.

講義の内容・
授業スケジュール

This course is discussion oriented and requires a fair amount of group work. Students are first presented with information on how to be an effective group leader and group participant. Current social issues or sociopoints serve as a central focus for all class activities. Some activities raise student awareness of issues in social interaction. Additional exercises are designed to teach them how to interact appropriately. Each sociopoint is divided into a warming up, a talking task, a listening exercise, a summing up, and a vocabulary learning section. This course is useful for ESL learners who desire to improve their English, but usually do not have access to interaction with native speakers of English.

履修上の留意点

Students who take this course should have completed an Oral English II or equivalent class.

成績評価の方法

Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教科書

DESIRE by Robert M. Homan and Christopher Jon Poel, Macmillan LanguageHouse, Tokyo

科目名	担当者名	配当学科	単位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc. will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two.

This will constitute the final grade.

教科書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials: tapes, STEP Test materials, etc. will be supplied by the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	レイン, R. V.	英米文3・4選	2

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, make opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will be given a copy of a script for a 20-minute episode of the American TV show, *The Wonder Years*, and are expected to read the script at home and look up any unfamiliar words. In class the following week, students will ask questions about the script, watch and discuss the episode. For homework, students will be given a question to answer in an approximately one-page essay.

履修上の留意点

Students must come to class prepared, having carefully read the script at home. This is a discussion-oriented class so class participation is essential. Students should also be aware that attendance is important. If the student is absent for 1 / 3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded on the basis of class participation and weekly written answers to essay questions.

教 科 書

none

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文4選	4

講義のねらい

卒業論文の指導を行います。具体的には、夏休み前には、詳細な構想がたてられ、それに関連したテキスト、参考書（研究書）がそろっているようにして下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、ジャンル別のグループ指導（論文の書き方・書式等）を中心に進めます。夏休み以降の後期は、各自のテーマに則した個別指導を中心に進めます。年間スケジュールは開講時に配布します。

履修上の留意点

各自のテーマに真剣に取り組むようにして下さい。また、欠席のないようにして下さい。夏休み前には、ほぼ下書きが出来あがるように努力して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、平常点を中心に下します。文献、参考書等は、開講時に授業内にて指示します。

教 科 書

開講時に授業内にて指示します。

参 考 書 等

開講時に授業内にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	おの 逢 見 明 久 み あき ひさ	英米文4選	4

講義のねらい

英米演劇における映画化作品研究。

講義の内容・
授業スケジュール

3年次ゼミの研究テーマを基礎に卒業論文を書くことを目的とする。開講時に論文の要旨(400字5枚程度)と章立ての構想を必ず提出のこと。前期はこれをもとに論文の方向性を明確にして6月の論題提出に備え、夏期休暇を利用して全体を書き上げる。9月中旬に原稿の写しを一部提出のこと。後期は、原稿を推敲して論文の完成を目指す。

履修上の留意点

論文作成の経過報告を忘れずに、論文の完成に向けて必ず指導を受けること。

成績評価の方法

卒業論文を評価。

参 考 書 等

適宜指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	かわ 河 崎 征 俊 か わ さ き ま さ と し	英米文4選	4

講義のねらい

3年次ゼミで習得した中世英国の文学を精読し、当時の政治的、経済的ならびに社会的背景を探る予定。入手可能な文献を実際に扱いつつ、英文学の源流となった詩人たちの特性に焦点を当ててみたい。なお、卒業論文の作成作業をも考慮しながら、作品の読み方や文献の収集法にも触れる予定。

講義の内容・
授業スケジュール

14世紀後半に書かれたとされる作者不詳の *Pearl* という作品を読みながら、中世英国における宗教的テーマを追究していく。ある段階において各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

作品を精読するため、ノート整理が常に要求される。着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

演習回数および年一回のレポート課題が中心となるが、平常時の学習態度や意欲をもとに総合的に判断する。

教 科 書

教科書は Oxford 版の *Pearl* をコピーにして使用する。

参 考 書 等

参考書は、授業の進行に合わせて随時紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	久保内 端 郎 <small>くぼうちただお</small>	英米文4選	4

講義のねらい

英語を理解するためには、英語そのものを熟読し、味読し、聴解し、響きを楽しむといったことに加えて、英語について英語とはどんな特徴をもつ言語であるか、構造的に、音韻的に、綴り字的に、語彙的に、歴史的になどなど、英語を英語たらしめている特徴は何かといったことに対する理解を深める必要があります。そのような問題に関心をもつ諸君の参加を希望します。テキストには Sidney Greenbaum and Randolph Quirk, *A Student's Grammar of the English Language* (Longman, 1990) を用います。その中でとくに重要と思われる問題を扱う章を重点的に精読したいと思っています。前期は第18章「主題、焦点、情報処理」を中心に、後期は第19章「センテンスからテキストへ」ほかを読む予定です。実際の例を見るために *The Sound of Music* を読みます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
 (1) 英語のセンテンスの構造
 (3～6) 第18章前半
 (7) まとめ
 (8～10) 第18章後半
 (11) まとめ
 (12～13) 関連する諸問題
 (後期)
 (14) 節と節の結合と文と文の結合 テキストの成立条件
 (15～19) 第19章前半
 (20～22) 第19章後半
 (23) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

Greenbaum and Quirk (1990) のテキストはプリントで。
The Sound of Music (金星堂) は購入して下さい。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	佐藤 真 二 <small>さとうしんじ</small>	英米文4選	4

講義のねらい

3年次にゼミで研究した事項(音声学)を基礎として、それを発展し、卒業論文へまとめあげることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 研究方法の再確認。テーマの決定。資料の収集。卒業論文の書き方。アウトライン作成。
 (後期) 卒業論文指導が中心となる。9月下旬序章(或いは第1章)提出、10月下旬第1章(或いは第2章)提出の予定。

履修上の留意点

卒業論文の指導を希望するものは必ず履修すること。
 履修者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員と連絡を取ること。
 5月末からの論題提出期間までには、テーマを決定し、論題の案を用意し、その上で担当教員に連絡の上、相談にくること。
 教育実習に行く学生は早めに論題の準備をしておくこと。
 就職活動で忙しい場合でも、何らかの方法で担当教員に連絡すること。

成績評価の方法

レポートにより評価する。

参考書等

渡部昇一他『論文・レポートの書き方』スタンダード英語講座8(大修館書店)1984年 他

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	ま とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文4選	4

講義のねらい

卒業論文作成の基本となるゼミと考えてほしい。作家・作品その他論題の決定、そのための準備、そして完成への助言、助力を行う。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ・ルネッサンス期の作家を中心として指導を行う。研究室で行うが、人数によりグループ別に分けて隔週でこれを行う予定。6月までにテーマを決め、その研究方針・報告を受け、それによってスケジュールをたてる。尚、4年ゼミの曜日、時限は、水曜日2時限、3時限を予定しているが、4月の3年ゼミ開講時にその点の確認を行うので注意されたい。

履修上の留意点

決められたスケジュールに従って報告をしてもらうので十分な準備をしていただくことになる。

成績評価の方法

報告の内容、論文の内容などを考慮し評価を出す。

教 科 書

とくに使用せず。

参 考 書 等

研究対象によって異なるので、その都度指摘することにする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	サンダース, L. P.	英米文4選	4

講義のねらい

このコースでは卒業論文の書き方について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- 4段階とする。
1. Developing a topic
 2. Conducting research
 3. Writing process
 4. Checking.

成績評価の方法

論文の進み具合などによって評価する。

教 科 書

教材は教室にて配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	高野正夫 <small>たかのまさお</small>	英米文4選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文の執筆に向けて様々な指導を行ないます。どのようにして卒論を書いたらよいのかということについて、具体的な例をあげながら説明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒論の論題受付に向けて、どのようなジャンルやテーマを選んだらよいのか、そしてどのような作家や作品を選んだらよいのかなどについて、相談しながら論題を決定する作業を行います。

後期は、論文を書く時の具体的な原稿用紙の書き方などについて説明し、さらに下書きの段階で提出された論文を訂正するなどして、論文の完成に向けての細かな作業を行います。

履修上の留意点

卒論の作成は長期間にわたるものなので、粘り強く様々な作業を進めることが必要であり、授業の時だけでなく日頃から自主的な姿勢で研究作業を進めていくことが望まれる。

成績評価の方法

授業への積極性や論文の進み方などにより評価する。

教科書

授業開講時に教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>	英米文4選	4

講義のねらい

卒業論文作成にむけて書き方の指導を中心に行なう。

講義の内容・授業スケジュール

論文の書き方、文献の選び方、読み方などについて指導するほか、短編小説を題材にして分析方法を学ぶ予定。

履修上の留意点

真面目に自分の課題と取り組んでほしい。

成績評価の方法

発表態度と内容を最も重視したうえで総合的に判断して評価する。

教科書

コピーを用いる。

参考書等

適宜指示する。

その他

講義と演習を組み合わせる。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

3 地 理 学 科

地
理

地

理

II. 専門教育科目

(3) 地理学科

自然地理学概論〈小池一之〉	421
人文地理学概論〈佐藤哲夫〉	422
人文地理学概論〈桜井明久〉	422
自然地理学実習(地図学実習含む)〈田中靖〉	423
自然地理学実習(地図学実習含む)〈小池一之〉	423
自然地理学実習(地図学実習含む)〈早船元峰〉	424
自然地理学実習(地図学実習含む)〈田中靖〉	424
自然地理学実習(地図学実習含む)〈江口卓〉	425
自然地理学実習(地図学実習含む)〈長沼信夫〉	425
人文地理学実習(地図学実習含む)〈橋詰直道〉	426
人文地理学実習(地図学実習含む)〈佐藤哲夫〉	426
人文地理学実習(地図学実習含む)〈小田匡保〉	427
人文地理学実習(地図学実習含む)〈桜井明久〉	427
人文地理学実習(地図学実習含む)〈須山聡〉	428
人文地理学実習(地図学実習含む)〈土谷敏治〉	429
地域文化研究概説	
〈土谷敏治・小田匡保・桜井明久・佐藤哲夫・須山聡・高橋健太郎・橋詰直道〉	430
地域環境研究概説	
〈田中靖・江口卓・高木正博・長沼信夫・早船元峰〉	432
地域概論〈須山聡〉	433
地理思想史〈休講〉	
地図学〈野々村邦夫〉	434
村落地理学〈高橋健太郎〉	435
都市地理学〈橋詰直道〉	436
交通地理学〈土谷敏治〉	437
文化地理学〈小田匡保〉	437
文化生態学〈中俣均〉	438
歴史地理学〈小田匡保〉	438
リモートセンシング〈田中靖〉	439
環境地理学〈早船元峰〉	439
計量地理学〈土谷敏治〉	440
応用地理学〈高木正博〉	441
地域計画論〈原昭夫〉	442
地理情報論〈村山祐司〉	442
地域文化調査法(現地調査含む)A〈須山聡〉	443
地域文化調査法(現地調査含む)B〈高橋健太郎〉	443
地域文化調査法(現地調査含む)C〈土谷敏治〉	444
地域文化調査法(現地調査含む)D〈休講〉	
地域文化調査法(現地調査含む)E〈橋詰直道〉	445
地域文化調査法(現地調査含む)F〈休講〉	
地域環境調査法(現地調査含む)A〈江口卓〉	445
地域環境調査法(現地調査含む)B〈休講〉	
地域環境調査法(現地調査含む)C〈高木正博〉	446
地域環境調査法(現地調査含む)D〈休講〉	

地域環境調査法 (現地調査含む)	E	〈早 船 元 峰〉	446
地域環境調査法 (現地調査含む)	F	〈 休 講 〉	
地域文化演習	A	〈 休 講 〉	
地域文化演習	B	〈 休 講 〉	
地域文化演習	C	〈 休 講 〉	
地域文化演習	D	〈 休 講 〉	
地域文化演習	E	〈小 田 匡 保〉	447
地域文化演習	F	〈佐 藤 哲 夫〉	447
地域環境演習	A	〈 休 講 〉	
地域環境演習	B	〈 休 講 〉	
地域環境演習	C	〈 休 講 〉	
地域環境演習	D	〈 休 講 〉	
地域環境演習	E	〈田 中 靖〉	448
地域環境演習	F	〈長 沼 信 夫〉	448
地理学演習	〈小 田 匡 保〉		449
地理学演習	〈江 口 卓 一〉		449
地理学演習	〈小 池 一 之 之〉		449
地理学演習	〈桜 井 明 久〉		450
地理学演習	〈佐 藤 哲 夫〉		450
地理学演習	〈須 山 聡〉		451
地理学演習	〈高 木 正 博〉		451
地理学演習	〈高 橋 健 太 郎〉		452
地理学演習	〈田 中 靖〉		452
地理学演習	〈土 谷 敏 治〉		453
地理学演習	〈長 沼 信 夫〉		454
地理学演習	〈橋 詰 直 道〉		454
地理学演習	〈早 船 元 峰〉		455
巡検	A	〈 休 講 〉	
巡検	B	〈桜 井 明 久〉	455
巡検	C	〈小 池 一 之 之〉	456
巡検	D	〈 休 講 〉	
学実地	習	〈清 水 長 正〉	456
日本地誌	誌	〈橋 詰 直 道〉	457
外国地誌	講	〈梅 原 弘 光〉	458
アジアカ地誌	誌	〈前期：高橋健太郎、後期：須山聡〉	458
アメリカ地誌	誌	〈仁 平 尊 明〉	459
ヨーロッパ地誌	誌	〈桜 井 明 久〉	459
経済地理学	論	〈矢 延 洋 泰〉	460
産業地理学	論	〈須 山 聡〉	461
地形学	習	〈小 池 一 之 之〉	462
地形学実地	習	〈清 水 長 正〉	463
社会地理学	習	〈宮 口 侗 勉〉	463
外書講	読	〈佐 藤 哲 夫〉	464
気候学実地	習	〈江 口 卓 一〉	464
気候学実地	習	〈江 口 卓 一〉	465
水文学実地	習	〈長 沼 信 夫〉	465
水文学実地	習	〈高 木 正 博〉	466
人口地理学	習	〈江 崎 雄 治〉	466
歴史地理学実地	習	〈小 田 匡 保〉	467

地球物理学	〈柳田 誠〉	467
土壤地理学	〈漆原 和子〉	468
生物地理学	〈清水 善和〉	469
計量地理学実習	〈土谷 敏治〉	470
測量学	〈田中 中靖〉	471
第四紀学	〈鈴木 毅彦〉	472
現代地理学特論	〈佐藤 哲夫〉	472
地理学特講 I	〈橋詰 直道〉	473
地理学特講 II	〈長沼 信夫〉	473
地理学特講 III	〈澤渡 貞男〉	474
地理学特講 IV	〈 休 講 〉	
地理学特講 V	〈平井 史生〉	474

地

理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概論	こ 池 一 之 いけ かず ゆき	地・環1必(地・環2年)	4

講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。

講義の内容・授業スケジュール

まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

(前期)

自然地理学の基礎的概念 地球の歴史と第四紀

火山の恵みと災害

山と川、平野の成り立ち

(後期)

第四紀の気候変化と海面変化

人間活動と自然環境の変化

地球温暖化にまつわる諸問題

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していない学生にも理解できるよう出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを、最大5割ほどまで加味する。

教科書

今年度は、杉谷 隆 ほか『風景の中の自然地理』（古今書院）（1993）2,500円（税込み）を主に使用する。授業中に重要な本（新書版など）を紹介し、読書メモの提出を求め、成績評価の一部とする。

参考書等

日本第四紀学会（編）（1987）『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,200円＋税

小池一之ほか訳（1983-1984）『一般地質学 1,2,3』（東京大学出版会）各巻

3,400円＋税

その他

授業は講義形式でプリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概論	佐藤 哲夫	地文1必(地文・環境2年)	4

講義のねらい

この授業は、地域文化を研究するために知っておかなければならない人文地理学の専門領域全般について解説した入門的講義です。高校の地理を復習しながら、地域文化を担う人々の暮らしを理解するために必要な地理学的な知識や、地域の見方を身につけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業では以下の各項目について、教科書を参照しながら1～2回で解説します。ただし教科書の順番どおりに学習するわけではありません。地域調査を念頭において、とくに日常的な生活の場に焦点をあてて講義を進めます。教科書で説明が不足している部分は、配布資料で補います。

1. 生活様式と地図：地理学の研究方法に特徴的な地域スケールと地図について説明します。
2. 人口の地域構造：日本の人口分布と構成の変化を、人口動態と人口移動から説明します。
3. 都市景観の形成：日本における都市の発達と形態について説明します。
4. 都市の内部構造：現代の都市内部における地域分化について説明します。
5. 商業地区の種類：商業施設の立地と、商業地区の機能・形態について説明します。
6. 工業地区の性格：工業の立地と集中、地域社会との関わりについて説明します。
7. 交通体系と地域：交通施設と集落や都市の立地・相互関係について説明します。
8. 農村空間の構成：日本における村落の立地条件と土地利用について説明します。
9. 畑作農村の変化：畑作農村のとらえかたについて、産地形成の観点から説明します。
10. 稲作農村の現状：稲作農村の現状について、日本農業の変化に注目して説明します。
11. 山村と漁業集落：山村の特徴を林野利用、漁村の特徴を漁場利用から説明します。
12. 都市の立地理論：社会の構造と都市の機能、都市システムについて説明します。
13. 生活と行動空間：都市に住む人々の生活圏について、消費者行動を例にして説明します。

成績評価の方法

成績は前期末および学年末試験（60%）と出席（20%）、夏休みの課題（20%）で評価します。

教科書

浮田典良『人文地理学総論』（朝倉書店）（総観地理学講座9.）

地理

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概論	桜井 明久	環境1必(環境・地文2年)	4

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、「地図」で考えるという意味について考察し、ついで専門ともっとも関係の深い、人文地理学における環境研究と、重要な調査法の基礎である野外観察についても概説したい。後期には、具体的な研究を例として挙げながら、分布、地域、地域分化、地域構造などについて考え、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

授業の最後に、または教科書のある部分を読んだ後に、疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその疑問や質問を取り上げて考察を深めたい。授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート30点、ミニレポート（読書レポートなど3回ないし4回）20点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）2,500円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習 (地図学実習含む)(後期)	田中靖	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術と考え方を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 天気図の作成
2. 現地調査実習 (大学周辺)
3. 基礎統計
4. Computer Mapping
5. レポートの作成

履修上の留意点

必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。

成績評価の方法

課題・レポートの質と出席状況、参加態度で判断する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

定規や色鉛筆、地形図等を準備する必要がある。適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習 (地図学実習含む)(後期)	小池一之	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

自然地理学を学ぶためには、地形図読図や空中写真判読などの基本的な作業が必要である。本講義の目的は、これらの作業をとおして、基礎的な技術を修得することである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて変更することがある。
- 1) 地形図の読図 (等高線の形状から地形特性や地形断面などを読む)
 - 2) 起伏量図、水系図など主題図の作成 (地形図の読解、製図)
 - 3) 空中写真の実体視・判読による土地利用図の作成 (空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を求める。)
 - 4) 資料や調査結果を図・表に表現する方法 (統計資料の図表転換作業)

履修上の留意点

地形図の読図は地道な作業であるが、地域調査の基礎であり、課題に取り組む積極的な姿勢を求める。成果は期限内に提出できるよう努力すること。教場で個人指導しながら評価する。

成績評価の方法

提出物 (図面とレポート) の内容、作業の進捗状況、出席回数などを点数化し総合的に評価する。

教科書

各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

30cm 程度の定規、図面保護筒は必需品である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学実習 (地図学実習含む)(後期)	はやふね げん ぼう 早 船 元 峰	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成(切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図など)
- ・試料の収集・分析・整理の方法(粒度分析など)
- ・調査器材・器具の使用法
- ・空中写真判読
- ・地形断面図(実測)の作成

履修上の留意点

地形図や製図用具は各自用意してもらう。
出席をこころがけ、成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

そ の 他

実習に必要な資料は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学実習 (地図学実習含む)(前期)	たなか やすし 田 中 靖	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術と考え方を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 天気図の作成
2. 基礎統計
3. 地形図の読図、地形計測
4. 空中写真
5. レポートの作成

履修上の留意点

必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。

成績評価の方法

課題・レポートの質と出席状況、参加態度で判断する。

教 科 書

適宜紹介する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

定規や色鉛筆、地形図等を購入する必要がある。適宜指示する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習 (地図学実習含む)(前期)	えぐち たかし 江口卓	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

自然地理学のフィールド調査を行う際に必要となる基礎的調査手法および調査で得られたデータの解析手法を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

実習の内容は次の通りである。

- 1) 地図と実体視
- 2) 簡易測量
- 3) 天気図の書き方、読み方
- 4) 気候データの処理(分布図の作成、簡単な統計処理)

履修上の留意点

毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。

成績評価の方法

レポートと出席状況を総合して評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業はプリントを配布して進める。
気候データの処理にはパソコンを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習 (地図学実習含む)(前期)	なが めま のぶ お 長沼信夫	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

実習内容としては、次のような作業を予定している。

- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測(水系分布図、起伏量図などの作成)
- 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
- 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
- 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
- 5) 簡易測量(高さ・距離などの測定、平板測量)

履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂)2,520円

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習 (地図学実習含む)(前期)	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

①②地理学文献の検索方法、地図・空中写真・地理データの入手方法、③④地理情報の判読(地形図判読、空中写真判読)、⑤⑥地理データの処理(パソコンを用いたグラフ化)、⑦⑧地理データの分析手法(基礎統計分析手法)、⑨⑩調査課題の設定(地理的課題と地域の設定)、⑪⑫現地調査の方法(フィールドノートのとり方、アンケート調査用紙の作成)、⑬⑭調査レポート(プレゼンテーション・文献レビュー)

授業の多くは総合情報センターのパソコン教室を使用する。

履修上の留意点

必修科目であり、毎週新たな課題が出されるので、特に課題への積極的な取り組みが必要である。もちろん、出席(遅刻をしないこと)状況や授業への参加態度も重視する。課題レポートはパソコン使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートなどの成果品、授業への出席(一定基準以上)や授業への参加状況などを総合的に評価する。

教科書

とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

その他

総合情報センター利用登録を4月中に済ませておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習 (地図学実習含む)(前期)	さとう てつお 佐藤 哲夫	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

この実習では、パソコンを用いて人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標にします。図表やレポートの体裁、統計分析や地図作成などの基礎的技術について学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の予定を基本にしますが、受講者の理解度を見て内容を調整しながら進めます。

1. 写真レポート：写真の撮影と利用
2. 地図のトレース：地図の特徴と編集・作図作業
3. 地形図の計測：長さ、面積の計測作業
4. 文献情報の検索：インターネットによる文献の検索
5. 論文要旨の作成：ワープロによる論文要旨作成
6. パソコンで作図：作図ソフトによる主題図作成
7. 統計情報の整理：地理統計と表計算ソフトの利用
8. 基本的統計処理：平均と標準偏差、特化係数の計算
9. 統計のグラフ化：表計算ソフトによるグラフの作成
10. 回帰分析と予測：表計算ソフトによる回帰分析

履修上の留意点

毎回課題を出します。授業時間内に終わらなかった課題は、持ち帰って仕上げてもらいます。自宅でウィンドウズPCを利用できない場合は、大学の自習室を利用してください。パソコンやソフトの操作方法についてはあまり時間をかけずに、作業の意味や原理について説明します。従って、すでにパソコンの操作に習熟している人は、進んで初心者の方の手助けをしてください。わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問してください。

成績評価の方法

課題の提出状況で評価します。出席も取りますが、これは受講者の進捗を把握するためのものです。課題提出の最終的な締め切りは7月15日で、遅れた場合は不可になります。

教科書

教材と作業課題は授業時間に配布します。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習 (地図学実習含む)(前期)	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 雑誌・参考図書紹介
2. 地形図の説明
3. 主題図の作成
4. 情報検索
5. 統計資料の加工(表・グラフ作成)

履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。後半の授業は総合情報センターを利用するので、利用者IDを手元に用意しておくこと。コンピュータ基礎科目を履修するなどして、パソコンの基本的な使用方に慣れておくこと。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況(遅れずに提出したかどうか)によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

教科書

担当教員作成のプリントを配布する。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

定規・地形図などを用意する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習 (地図学実習含む)(後期)	桜井 明久 <small>さくら い あま ひさ</small>	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学ぶための実習である。

講義の内容・
授業スケジュール

地形図の利用、土地利用図の作成、分布図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作製、統計手法の利用、表計算ソフトの利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

履修上の留意点

実習であるから、授業に出席し、ともに作業をすることが前提である。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える。欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生に聞くなどして確認しておくこと。

成績評価の方法

授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

その他

様々な地域の地形図、色鉛筆、定規などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 文 地 理 学 実 習 (地図学実習含む)(後期)	す 須 ^{やま} 山 ^{さとし} 聡	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

人文地理学における基本的な分析手法を習得するとともに、最低限必要な表現（図的表現・文章表現）技法を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 文献検索・文献リストの作成
 - (2) 統計データと統計地図の種類と利用法
 - (3) 要約文の作成*
 - (4) 土地利用調査（野外観察の基礎）
 - (5) 土地利用図の作成（口頭表現のトレーニング）
 - (6) 景観観察と地図表現
 - (7) コロプレスマップの作成*
 - (8) ドットマップの作成*
 - (9) サンプリングと土地利用の分析（修正ウイーバー法）
 - (10) ネットワークの分析（最大流動法）
 - (11) 人口の静態的分析（人口構造・ランクサイズルール）
 - (12) 人口の動態的分析（コーホート分析）
- *は2回行うこともある。

履修上の留意点

各回に与えられる課題は次回までにレポートとして提出する。本実習では、日本語表現を地理学を学ぶ上での重要な能力と位置づけている。したがって作成した課題に基づき、レポート上でいかに説得力のある論理を構築できるかが重視される。
課題未提出者はノルマが雪だるま式に増えて首が回らなくなるおそれがある。

成績評価の方法

毎回の授業で課されるレポートをもとに判断する。レポートは要求水準に到達するまで何度でも書き直しを求める。具体的には合格したレポートは1点、不合格は0.5点、未提出は0点とし、それらの合計点に基づいて評価する。したがって、不合格または未提出であっても再提出して合格すればよい。

教 科 書

毎回資料を配布する。

参 考 書 等

製図ペン・電卓を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習 (地図学実習含む)(後期)	つち なた とし はる 土 谷 敏 治	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

9～11月上旬：コンピュータを用いて、レポートの作成方法、文献検索方法、統計データの処理・グラフ化を行う。

11月中旬～12月：資料の整理、図表・地図の作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。

主な実習項目は、次のとおりである。

1. ワードプロソフトによる文書作成：レポート、論文の作成に備えて、作文能力を高め、ワードプロソフトを使いこなせるようにする。
2. 文献の検索と読解：文献検索能力を身につけるとともに、地理学に関する文献を読んで、書評を書くことにより、読解力を身につける。
3. 作表実習：表計算ソフトにより、作表技術を身につける。
4. 統計分析：表計算ソフトを使用して、統計データの集計、分析、グラフ作成の実習を行う。
5. 地図作成：統計データを地図表現する能力を身につける。

履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターの利用者登録をしておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。書評、地図の作製は、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となる。浮田典良編『ジオ・バル21 地理学便利帖』(海青社)
中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)
菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化研究概説	土谷 敏治・小田 匡保 桜井 明久・佐藤 哲夫 須山 聡・高橋健太郎 橋詰 直道	地文2必	4

講義のねらい

地理学の視点から地域の文化と社会をとらえる方法を学ぶことを主なねらいとする。地域に暮らす人々の生活や行動に隠されているパターンすなわち地域文化が、地域の風土や歴史、社会のしくみによって、どのように生み出されてきたのか考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

地域文化を研究するための地理学的方法について、7人の教員がそれぞれの視点から講義を行う。統一的なテーマとして「地域文化へのアプローチ」を意図している。各教員の講義のテーマとして、次のものを予定している。

1. 風土と日本人
2. 景観の見方・読み方・考え方
3. 空間と時間のスケール
4. 都市と歴史と文化
5. 文化地理学いろいろ
6. アジア地誌研究の方法
7. 民族文化を考える

履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が3～4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席することが必要である。

- 4月12日～4月26日 橋詰直道
5月10日～5月31日 須山 聡
6月7日～6月21日 桜井明久
6月28日～9月20日 土谷敏治
9月27日～10月18日 小田匡保
10月25日～11月15日 佐藤哲夫
11月22日～12月6日 高橋健太郎
12月13日 担当者全員

地 理

成績評価の方法

評価は、各担当者が指定するレポート、および授業時間中に実施する小テストと、出席点を合計して行う。7人の担当者の合計点が総合評価となるので、毎回の出席点に加え、レポート、小テストを必ず提出すること。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

(橋詰)

- 和辻哲郎『風土—人間学的考察—』(岩波文庫)
祖父江孝男『県民性—文化人類学的考察—』(中公新書)
市川健夫『ブナ帯と日本人』(講談社現代新書)
佐々木高明『照葉樹林文化の道』(NHK ブックス)
渋谷昌三『人と人との快適距離』(NHK ブックス)
小林秀樹『集住のなわばり学』(彰国社)
大谷晃一『大阪学』、『新大阪学』(新潮文庫)

(須山)

- 青山高義・小川 肇・岡 秀一・梅本 亨編『日本の気候景観—風と樹 風と集落—』(古今書院)
中島峰広『日本の棚田—保全への取り組み—』(古今書院)
須山 聡『在来工業地域論—輪島と井波の存続戦略—』(古今書院)
山下晋司編『観光人類学』(新曜社)
山と地図のフォーラム『富士山展望百科』(実業之日本社)
古沢 保『風景印散歩—東京の町並み再発見—』(日本郵趣出版)
千田 稔・前田良一・内田忠賢編『風景の事典』(古今書院)
中村和郎・手塚 章・石井英也『地理学講座4 地域と景観』(古今書院)

(桜井)

- 尾留川正平編著『沿岸集落の生態』(二宮書店)
市川健夫・山本正三・斎藤功編『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)
桜井明久『西ドイツの農業と農村』(古今書院)

- 高橋伸夫・ジャン・ロベール＝ピット・手塚 章編著『パリ大都市圏－その構造と変容－』
 (東洋書林)
 桜井明久『地理教育学入門』(古今書院)
- (土谷)
 早川東三・工藤幹巳『ドイツを知るための60章』(明石書店)
 浜本隆志・高橋 憲『現代ドイツを知るための55章』(明石書店)
 大西健夫編『ドイツの政治－連邦制国家の構造と機能－』(早稲田大学出版部)
 平井 正『ベルリン 歴史の道』(光人社)
 宇都宮淨人『路面電車ルネッサンス (新潮新書034)』(新潮社)
 土居靖範・近藤宏一・榎田基明『LRT が京都を救う 都大路まちづくり大作戦』(つむぎ出版)
- (小田)
 鈴木秀夫・久保幸夫『日本の食生活』(朝倉書店)
 山村順次『新観光地理学』(大明堂)
 杉浦芳夫『文学・人・地域－越境する地理学』(古今書院)
 徳川宗賢『日本の方言地図』(中公新書)
 平山輝男『日本の方言』(講談社現代新書)
- (佐藤)
 「地球の歩き方」編集室編『地球の歩き方 タイ』(ダイヤモンド社)
 綾部恒雄・林行夫編著『タイを知るための60章』(明石書店)
 長澤良太『リモートセンシングによる土地資源評価』(古今書院)
 河辺宏編『研究双書367 発展途上国の都市システム』(アジア経済研究所)
 藤原健蔵編『総観地理学講座2 地域研究法』(朝倉書店)
- (高橋)
 高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)
 佐々木信彰編『現代中国の民族と経済』(世界思想社)
 可児弘明ほか編『民族で読む中国』(朝日新聞社)
 松村嘉久『中国・民族の政治地理』(晃洋書房)
 山下清海『東南アジア華人社会と中国僑郷』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境研究概説	田中 靖・江口 卓 高木 正博・長沼 信夫 早船 元峰	環境2必	4

講義のねらい

地理学の視点から環境をとらえることを主なねらいとする。地球環境から地域環境まで、個々の地域に特有な人間活動と環境とのかかわりにも注目し、さまざまな環境形成要因を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

5人の教員により視点を変えて環境の諸問題について学ぶ。意図するテーマは、「地域環境を読む」である。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 地球環境問題の気候学的側面【4月12日～5月17日 江口 卓】
歴史時代の気候／地球温暖化問題とは？／地球温暖化の日本への影響／酸性雨とは？／日本の酸性雨
2. 第四紀の気候変動と地殻変動【5月24日～6月21日 田中 靖】
気候変動とは？／海面変化と平野の地形／地殻変動とは？／日本の山地形成／地形シミュレーション
3. 扇状地における自然と人間のかかわりあい【6月28日～9月27日 早船元峰】扇状地とは—黒部川扇状地、大間々扇状地を事例地域として—／地形発達史／土地利用と水利用／集落の立地
4. 都市域の環境を水循環の視点から考える【10月4日～11月8日 高木正博】都市の水収支／都市の河川／都市における新たな水災害／都市の水環境／都市の水循環を回復させるには
※11月1日は駒澤祭が予定されるため予備日とし、授業は行わない。
5. 地理学における地域環境研究【11月15日～12月13日 長沼信夫】
土地環境の在り方／地域の環境変化—川崎市など—／地域環境を南西諸島で考える—自然環境と生活環境—

成績評価の方法

定期試験は行わず、評価は小テスト（江口・田中・長沼）およびレポート（早船・高木）、出席状況を考慮して行う。出題・採点は各担当者が行い、その結果を総合して評価する。

参考書等

シリーズ『自然景観の読み方』全12冊（岩波書店）
シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊（岩波書店）
西岡秀三、原沢英夫編『地球温暖化と日本—自然・人への影響予測—』（古今書院）
原沢英夫、西岡秀三編『地球温暖化と日本 第3次報告—自然・人への影響予測—』（古今書院）
樽谷修編『地球環境科学』（朝倉書店）
IPCC 編『IPCC 地球温暖化第三次レポート—気候変化2001—』（中央法規）
山田安彦編著『総合地域の科学—水と地域のかかわり合い—』（古今書院）
都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』（共立出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域概論	須山 聡 <small>すやま さとし</small>	地文・環境2・3・4選必	4

講義のねらい

本講義では地域を理解するための基本的な視点・概念・方法論を紹介する。とくに、地域把握のための重要な概念である景観と、地域と人間の関係を理解する上で不可欠な、人間の知覚・行動について重点的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地域概念 (キーワード; 地誌学、人文地理学、地域、等質地域、結節地域)
2. 景観の諸相1 (キーワード; 景観、自然景観、文化景観、集落景観)
3. 景観の諸相2 (キーワード; 江戸、風水思想、ディズニーランド、観光資源)
4. 景観の諸相3 (キーワード; 富士山、風景印、写真、読みの強要)
5. 人間の空間的行動 (キーワード; 行動の記述、時間地理学、Quality of Life)
6. 空間の認知 (キーワード; メンタルマップ、選好地図、アクションスペース)
7. 空間の評価 (キーワード; 都市のデイリーリズム、空間構成のエレメント)

履修上の留意点

毎回出席をとる。また、随時簡単なエッセイを課する。試験は(考えようによっては)大変に難しいので、受講者は講義内容のみで満足することなく、さらなる学修のきっかけと捉えて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験(50%)、出席状況(50%)で判定。

教科書

適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 図 学	野々村 邦 夫 <small>の の む ら くに お</small>	地文・環境2・3・4選必	4

講義のねらい

地図を利活用する能力を養うことを視野に入れつつ、地形図の作成技術に関することを含め、地図に関する基礎知識について講義をする。更に、防災、環境等の分野における応用を含め、地図を利活用する能力の養成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げるテーマは、次のとおりである。1つのテーマについて、1～2回の講義を行う。学生による発表を主体とする授業を行うこともある。

(前期のテーマ)

1. 地図とは何か
2. 地図と測量
3. 地球の形と大きさ
4. 位置表示の方法
5. 投影と座標系
6. 地形図の作成
7. 地形図の規格と図式
8. 主題図
9. 数値地図

(後期のテーマ)

1. 地図の基礎知識
2. 地形図の維持管理と刊行システム
3. 旧版地形図の利用
4. 地理情報システム (GIS)
5. さまざまな分野における地図の利用
6. 防災分野における地図の利用
7. 環境分野における地図の利用
8. 地球規模の地理情報
9. 地図の歴史と楽しみ

履修上の留意点

毎回の授業では、受講報告(小レポート)を提出してもらう。その内容は、キーワードの解説、小論文等である。講義の内容を鵜呑みにするのではなく、自分なりの考えや意見を持つことを心がけて受講し、その結果を受講報告に反映させて欲しい。

講義を欠席した場合、または、原則としてあってはならないことではあるが、やむを得ず遅刻または早退した場合は、講義に出席した場合よりはるかに多くの努力を払って自習をすることが必要である。

成績評価の方法

毎回の授業で提出してもらう受講報告と学期末に行う試験(場合によりレポートや本格的な論文で代替することもある)とを併せ、成績を評価する。

教科書

特定の教科書は使わず、毎回の授業でプリントを配布する。

参考書等

参考書、参考文献は、授業の中で紹介する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
村落地理学	たか 高 橋 けんたろう 健太郎	地文2・3・4選必 環境2・3・4選	4

講義のねらい

日本と中国の村落を比較しながら、村落の形態・構造・機能、および行政や住民の取り組みについて理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

まず村落のとらえ方、村落の立地と変容について説明し、次に日本の村落の事例として、中山間村、沿岸村、近郊村などを取り上げ、その特徴と行政や住民の取り組みを紹介する。グリーンツーリズムについても説明する。
中国の村落については、改革開放政策と農村の変容、地域間格差、貧困問題、環境問題などのテーマについて解説する。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30%）と定期試験の結果（70%）で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり（授業スケジュール順に掲載）。その他については、授業中に随時紹介する。

山本正三ほか『日本の農村空間』（古今書院）
宮崎 猛編『グリーンツーリズムと日本の農村』（農林統計協会）
中島峰広『日本の棚田』（古今書院）
高橋 誠『近郊農村の地域社会変動』（古今書院）
河原昌一郎『詳解中国の農業と農村』（農山漁村文化協会）
張 玉林『転換期の中国国家と農民』（農林統計協会）
王 文亮『中国農民はなぜ貧しいのか』（光文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
都市地理学	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文2・3・4選必 環境2・3・4選	4

講義のねらい

モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①②都市の概念(都市とは・都市研究とは)、③④都市システム(中心地理論・日本の都市システム)、⑤⑥都市機能の分類(アメリカと日本での研究)、⑦⑧都市の内部構造(都心の機能と構造・都心の再開発)、⑨⑩都市化と大都市圏(郊外化・スプロール問題)、⑪⑫都市の居住空間(セグリゲーション・ジェントリフィケーション)、⑬⑭郊外の居住空間(郊外住宅地・郊外の生活)、⑮⑯都市と高齢化(団塊世代・少子高齢化社会と女性)、⑰⑱都市の環境(生活環境と犯罪)、⑲⑳都市住民の行動(生活時間と生活行動)、㉑～㉓都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、㉔㉕都市環境の整備(都市計画・緑地計画)、㉖まとめ(テスト)
これらの項目について最近の都市地理学と関連分野の研究成果を中心に講義する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題を含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林) 2,500円
石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院) 3,605円
森川 洋『日本の都市化と都市システム』(大明堂) 3,800円
荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫訳『生活の空間都市の時間』(古今書院) 3,000円
荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『生活の空間と時間』(古今書院) 3,090円
若林芳樹・神谷浩夫ほか編著『シングル女性の都市空間』(大明堂) 2,800円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、配布プリント及びOHP、PC画像を中心に行い、課題や小テストも実施したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
交通地理学	つち なに とし ほる 土 谷 敏 治	地文2・3・4選必 環境2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、(1)前期は、これらの地域間の結びつきを反映する都市システム構造と、これらの結びつきから都市システム構造を分析する方法を解説すること、(2)後期は、現在の交通システムの特色とその問題点を明らかにし、今後の交通政策に求められることを考えること、の2点をねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの交通地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ
4. 都市圏内部における公共交通の現状と課題
5. 鉄道交通の現状と問題点
6. 航空交通の特色と都市間結合関係

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期最終回(7月)の中間試験と、1月の定期試験時の2回の試験を実施する。2回の試験は、それぞれ100点満点で採点し、その合計点で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』(大明堂)
奥井正俊『自動車交通の地域分析』(大明堂)
奥野隆史『交通と地域』(大明堂)
奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)

その他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地文2・3・4選必 環境2・3・4選	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。出席不足、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化生態学	なか 中 また ま ぼ ひとし 均	地文2・3・4選必	4
		環境2・3・4選	

講義のねらい

いわゆる「伝統的」な文化地理学の一分科として「文化生態学」を位置づけ、その内実を説明する。特に日本の文化地理学における主流派としての文化生態学という側面を強調したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、学説史をふまえた文化生態学の概説、後期には、応用編として「島 (island)」の文化生態学を語る。

履修上の留意点

教室内での私語は厳に慎まれない。

成績評価の方法

前期・後期とも、レポートの提出を求め、それによって成績を評価する。なお、レポートは提出期限厳守で、いかなる例外も認められないので、授業中になされる指示および掲示等によく注意していること。今のところの予定では、前期レポートは夏休み後、後期レポートは学年末試験期間中に回収する予定。

教科書

講義開始時に詳しく指示する。基本的に決まった教科書の採用は予定していない。(参考書も同様)

その他

講義によって授業を進める。ただし、なるべく教員側からの一方的な情報提供に終わらないような工夫をしたいと考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学	おだ 小 だ まさ 田 田 やす 匡 保	地文2・3・4選必	4
		環境2・3・4選	

講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。前期は、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述し、後期は歴史時代の村落・都市について概観する。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

*受講生が少ない場合は、大学周辺のミニ巡検を1回行ないたい。

履修上の留意点

日本の歴史地理について講じるが、日本史ではない。したがって、事件史のように人物が中心になることはない。なお、科目の性格上、歴史が苦手な学生に向かないのは当然であるが、古文書が読める必要はない。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。出席不足、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
リモートセンシング	田中靖	環境2・3・4選必 地文2・3・4選	4

講義のねらい

リモートセンシングとは、離れた所から非接触で対象物を同定あるいは計測し、その性質を分析する技術の総称である。このうち、主に空中写真の判読や衛星画像解析から、地理学的に意味のある空間データを抽出する研究は、リモートセンシング研究の最も重要な一分野として位置付けられている。そこで本科目では、デジタル化された空中写真画像や人工衛星画像データを用いて、画像解析の基礎を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. リモートセンシング入門
2. 電磁波
3. 画像処理の基礎（コンピュータプログラム作成によるデータ処理）
4. リモートセンシングで用いられるデータ
5. 応用解析実習（植生指数の計算、地表面温度の推定、土地被覆分類）

履修上の留意点

地図の読図・作図作業およびコンピュータによるデータ処理が好きな学生に向いている。コンピュータや数学の現在の能力は問わないが、積み上げが大切な科目なので出席を重視する。

成績評価の方法

出席点と授業内で行なうテスト、および最終成果物で評価する。

教科書

田中邦一ほか著『フォトショップによる衛星画像解析の基礎』（古今書院）3,600円

参考書等

適宜紹介する。

その他

授業はPC教場での実習を中心に行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境地理学	早船元峰	環境2・3・4選必 地文2・3・4選	4

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・災害などを通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 前半
- ・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止など）について。
- 後半
- ・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について。
 - ・ピオトープ・環境基本計画について。

成績評価の方法

課題（主題図の作成）・レポート・出席状況などによる平常点。

参考書等

永見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計 量 地 理 学	つち なに とし はる 土 谷 敏 治	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 代表的な度数分布の型
5. データの検定
6. 相関・回帰分析
7. 多変量解析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもにも使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要がある。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。
後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を点数化する。
成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）
野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

そ の 他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	たかぎまさひろ 高木正博	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野 2. 河川流域の水収支 3. 日本の河川流況特性 4. 河成平野の地形分類と防災 5. 河道治水から流域治水へ 6. 水防の再構築 7. ダムと森林
8. 日本の水利用 9. 農業用水の利用と問題点 10. 渇水とは… 11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える 13. 多摩川における水利権の変遷 14. 地域用水と環境用水 15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末の授業最終日に実施する教場試験の1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域計画論	はら 原 あき 昭 お 夫	環境2・3・4選必 地文2・3・4選	4

講義のねらい

地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多種の課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期: i) 4～5月/地域を知る: 地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。
ii) 6～7月/課題を発見する: 地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。
- 2) 後期: i) 9～10月/課題を考える: それらの課題がどのような原因を持つかを考える。
ii) 11～12月/地域を計画する: 地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。

履修上の留意点

現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。

成績評価の方法

出席(授業への積極性の評価)およびレポート(年数回、折々の社会や環境についての自己の意見・論評・提案等の独自性の評価)。

教科書

原昭夫著『自治体まちづくり』(学芸出版社) 2,800円+税

参考書等

『都市計画』(共立出版) 3,800円+税
『都市計画論』(NHK出版) 2,400円+税
その他授業の都度に提示する。

その他

講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習(「地域計画作成ワークショップ」)なども考えたい。(平成16年度は実施した。)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理情報論	むら 村 やま 山 ゆう 祐 じ 司	環境2・3・4選必 地文2・3・4選	4

地
理

講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システム GIS について概説する。

GISは、地図(地域)情報と属性(主題)情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザーの意思決定を支援する。

GISは、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法(文献) 2. 地理情報の収集方法(統計データ) 3. 地域分析に有用な統計パッケージ 4. 地理情報と空間分析 5. 多変量解析 6. 地理情報システム GISとは 7. GISのハードウェア 8. GISの発展史 9. GISのデータ構造 10. アナログ地図とデジタル地図 11. ラスターデータとベクターデータ 12. 社会モニタリング 13. GISの空間解析機能(オーバーレイ・バッファリング) 14. GISの空間解析機能(ネットワーク分析・テッサレーション) 15. GISの社会的応用(環境問題・防災) 16. GISの社会的応用(行政・民間) 17. インターネットによるGIS・地理情報の入手 18. インターネット GIS 19. GISの将来 20. 地理学とGIS(まとめ)

成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

教科書

中村和郎・寄藤 昂・村山祐司編『地理情報システムを学ぶ』(古今書院) 3,000円 1998年

その他

- 1) 駒澤大学「総合情報センター」において、GISのデモを行う。
- 2) GIS関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域文化調査法(現地調査含む) A	す やま さとし 須 山 聡	地文 3 選必	4

講義のねらい

本授業はフィールドワークを主体とした卒業論文の作成を前提とし、研究課題の設定・事前調査・調査計画の立案、現地でのフィールドワーク、収集資料の分析、報告書の作成といった一連の過程を経験し、そのなかから地理学調査の具体的な方法を学びとることを目的とする。要は卒業論文を書くときにまごつかないようにするための授業である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は鹿児島県の奄美大島を対象地域とし、7月上旬に5泊程度の現地調査を実施する予定である。現地調査実施前には、研究課題の設定(文献講読を含む)および調査計画の立案(調査票の作成などの具体的な準備を含む)までを行う。後期は現地で収集した資料の分析、報告書の執筆を行う。報告書原稿は最低でも3回以上チェックするので、教員・学生ともどもかなりの負担となることが予想される。

履修上の留意点

交通費・宿泊費に多額の出費(8万円程度か?)が見込まれるので、本当に興味のある学生のみに参加してもらいたい。現地調査は、数人のグループを単位としてそれぞれテーマを設定する。当該地域には膨大な研究蓄積があるので、先行研究を参照してテーマを決めてもらいたい。興味本位で安易なテーマを選ぶと苦勞するのは本人たちである。

成績評価の方法

参加の積極性と報告書の達成度を規準とする。

参 考 書 等

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル—よりよい地理学論文作成のために—』(古今書院)1994、214p
市川健夫『フィールドワーク入門—地域調査のすすめ—』(古今書院)1985、237p。
上野和彦編『地域研究法』(大明堂)1990、191p

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域文化調査法(現地調査含む) B	たか へし けんたろう 高 橋 健太郎	地文 3 選必	4

講義のねらい

農山村地域の生活文化や地域社会の特徴、および地域活性化の取り組みへの理解を深め、さらに聞き取りや資料収集の手法の基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

フィールドワーク(聞き取り調査)は、熊本県小国町の農山村地域において4泊5日の日程で実施する予定である。調査項目の詳細は受講者と相談して決めるが、主に次のようなテーマが考えられる。山村における農林業の取り組み、少子高齢化と地域社会の変容、UターンやIターンの地域社会への影響、観光開発と地域振興、中山間地域の商店街活性化など。選択したテーマにしたがって、グループ別に調査計画の立案から調査報告書の作成までを行う。

おおよそのスケジュールは以下のとおり。

前期：研究テーマの設定、文献資料の収集と検討、研究計画の立案、フィールドワークの準備
後期：フィールドワーク、調査資料の整理と分析、調査結果の発表、PCによる地図の作成、調査報告書の作成

履修上の留意点

事前の準備やフィールドワーク、調査報告書の作成など、年間を通して相当量の作業が見込まれる。さらに、調査旅費の負担も少なくない。そのため、問題意識をもち、自分から積極的に行動できる方のみ受講されたい。

加えて、過去に「村落地理学」を受講したことがあるか、今年度に受講することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、フィールドワークでの活動状況、調査報告書の内容で評価。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域文化調査法(現地調査含む)C	つち なたし ほん 土 谷 敏 治	地文3選必	4

講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、事前に関連する既存の文献をよく読んだ上で、まず調査・研究の手順を学んでおく必要がある。それを踏まえて、調査の目的・調査地域・調査スケジュールの設定を行うとともに、統計資料等を用いて調査地域の特色を把握する。現地調査後は、収集資料を整理・分析し、調査結果をまとめる必要がある。このような視点から、本授業では都市の問題を主要テーマとして、まず文献検索・文献研究を行い、調査・研究の仕方を学ぶとともに、現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

- ① 現地調査で取り上げようとするテーマに関連する論文を読み、その内容をまとめて発表する。
- ② 各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行いレポートにまとめる。
- ③ 各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。
- ④ 現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ⑤ 現地調査。
- ⑥ 調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑦ 調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑧ 調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑨ 各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

調査対象地域：岡山県、愛媛県、高知県、鹿児島県にある都市のうちの1都市を選択する予定である。詳細は授業の中で、受講者の希望を聞きながら決定する。

現地調査日程：10月の中旬を予定している。

履修上の留意点

現地調査はもちろんであるが、その前提となる論文研究や事前の計画・準備、調査後の資料整理や分析が重要である。とくに、毎回の出席は不可欠であり、出席率が8割を下回った場合は、単位を認定しないことがあり得る。また、積極的な討論への参加、事前・事後の発表、レポートの提出、報告書作成作業への参加も必要である。

成績評価の方法

文献のまとめ方、事前調査のレポート、現地調査状況、調査結果の整理・分析と口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

そ の 他

事前の準備、現地調査では、1人、あるいは3・4人からなるグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化調査法(現地調査含む)E	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文3選必	4

講義のねらい

講義で得た知識を実際に現地調査で確認すると同時に、特定のテーマに沿った地域調査を実施し、その成果を報告書としてまとめる。

今年度の調査テーマ：「地方都市の機能と自立」

今年度の現地調査予定地：尾道市

現地集合・現地解散（公共交通機関を利用）

現地調査期間：7月3日（日）～7月7日（木）の4泊5日（予定）

講義の内容・
授業スケジュール

「地方都市の機能と自立」というテーマで調査する。現地では、都市の構造と機能、都市計画、都市の生活行動、都市問題などの調査を中心に、地方都市の特徴や地方都市のかかえる諸問題を学ぶ。

地理学調査法の授業は、テーマに沿った事前の文献調査・現地調査・調査結果のまとめ作業からなる。現地調査では、詳細な課題テーマごとに班別調査を実施する。毎日班別の調査報告とミーティング、レポート作成が必要となる。現地調査には、公共交通機関を利用すること。

授業スケジュールは4～6月が事前調査（文献・資料調査による事前学習と現地調査用資料の作成）、7月3日～7月7日が現地調査、7月第3週が現地調査結果の個人報告書提出と現地調査結果の班別発表会、9～12月は現地調査結果の班別集約作業並びに現地調査報告書の作成とその印刷製本作業となる。

履修上の留意点

現地調査への参加はもちろん、4～12月の地理学調査法の授業（報告書作成）へも積極的に取り組む学生に限る。

成績評価の方法

毎時間の授業への出席状況（一定基準以上）、現地調査レポート、現地調査の個人報告書、最終報告書作成への取り組み、授業及び現地調査での参加姿勢を総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境調査法(現地調査含む)A	えぐち たかし 江 口 卓	環境3選必	4

講義のねらい

問題の設定、調査、報告書の作成という、フィールド調査による環境研究の基礎的な流れを理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

現地調査は、屋久島を対象として、10月に行う予定である。

前期は、屋久島の自然環境に関連する文献や各自の調査テーマに関連する文献を読み、調査の事前準備を行う。後期は、調査のまとめと報告書の作成を中心に行う。

履修上の留意点

毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況を総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域環境調査法(現地調査含む)C	たかぎまさひろ 高木正博	環境3選必	4

講義のねらい

地理学の基本とも言える「地域」の捉え方を、現地調査を含めた1年間の授業をとおして学ぶ。とくに、それぞれの地域に固有な水と人々のかかわりを、現地で行う測水調査や水利用システムの調査をとおして明らかにしたい。現地調査を重視し、結果・考察をまとめた報告書を作成する。

講義の内容・授業スケジュール

地域調査の準備段階として、文献調査、資料収集、地形図・空中写真などによる地域概要の把握を行い、調査マニュアル(資料集)を作成する。現地調査は班別行動を原則とし、各班毎の主題に沿って、各種の実測調査、聞き取り調査や資料収集などを実施する。現地では効率的かつ精度の高い調査が要求される。調査期間中は毎日の成果を報告し、レポートを作成する。調査終了後は、各自の成果をまとめた個人レポートを提出する。また、各班毎に行った調査結果を整理・分析・考察して発表し、最後に全ての成果をまとめた報告書を作成する。

履修上の留意点

調査テーマは各自の希望を尊重するが、場合によってはこちらで指示することもある。現地では班別行動をとるので、同様なテーマを持つ人同士で班を構成してもらう。
資料集および報告書は、ワープロの使用を義務づける。

成績評価の方法

個人レポートの内容を主に判断する。その他、授業の出席状況、現地での調査活動、報告書作成への取り組みなどを総合的に評価する。

参 考 書 等

参考書は適宜指示する。

そ の 他

調査地域は熊本県阿蘇カルデラ内の高森町周辺を予定している。当地域は白川水源域にあり、阿蘇外輪山などからの豊富な地下水利用に特徴がある。地元住民の地下水利用・保全に対する熱心な取り組みと湧水の水質など測水調査をとおして阿蘇地域の地下水の特徴を明らかにする。地域概要や調査内容、調査期日などについては、4月8日に行われるガイダンスで発表する。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域環境調査法(現地調査含む)E	はやふねげんぼう 早船元峰	環境3選必	4

講義のねらい

文献目録の作成・資料の収集・試料の分析や現地調査の方法を修得し、さらに教室の講義のみでは理解しがたい地理的事象を、学生自らの現地での体験(観察)を通して理解してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

調査地 北海道 特に道央

期間 未定(3泊4日)

目的 自然と人間とのかかわりあい

- ・自然班・土地利用(農業)班・グリーンツーリズム班に分かれ行動する。
- ・地形図より主題図の作成や当日レポート・個人レポート(実施後)を課し、成果集を作成する。

履修上の留意点

班作業もあり、欠席なきよう努めること。

成績評価の方法

事前調査(関連した論文の発表・主題図の作成)・現地調査・レポートや出席状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化演習 E	小田 匡 保	地文3選必	4

講義のねらい

卒業論文を書くためには、「論文」がどのようなものか、数を読んで理解しておく必要がある。この科目では人文地理学関係の文献を読み、研究動向と論文の書き方を学習する。ただ、フィールドの経験もしてほしいので、野外調査の時間を織り込む。

講義の内容・授業スケジュール

担当を決めて文献を読んでいく。学生の発表形式をとる。後期に一度、フィールド調査を実施する。調査地域は、受講生と話し合って決定したい。

履修上の留意点

人文地理学の中でも、文化地理・歴史地理・村落地理的なテーマに関心のある履修者を歓迎する。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表内容によって行なう。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化演習 F	佐藤 哲 夫	地文3選必	4

講義のねらい

地域の自然や歴史的・文化的背景を知ろうとする時、景観は大きなヒントを与えてくれます。この授業では、景観を手がかりにして地域を研究する方法について、文献などを通して学びます。良質の文献をたくさん読むことで、論文を書く力が養われます。できれば4年次生の地理学演習と合同で、文献輪読をしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

景観や街並みと、それを構成する建築物や建築環境、そしてそれらが地域の再生とどのように結びつくかという議論、等々に関連する文献を参加者が分担して読んでその要旨を報告し、理解を深めます。とりあげる論文は地理学に限定せず、建築学や都市計画、観光学など、広い分野にわたります。学際的なアプローチをとりますので、地理学のオーソドックスな手法を学びたいという人には向きません。自ら文献を読み、自分なりの景観研究の方法を展開しようという意欲のある人を対象にします。

なお、参加者と相談のうえ、景観観察のタウンウォーキングを、国内外で何回か実施したいと思います。それに関しては、参加は任意で、成績評価の対象とはしません。

履修上の留意点

文献リスト等の詳細は調査法・演習の振り分けの際に説明しますので、必ず出席してください。

成績評価の方法

出席状況、発表内容などで総合的に評価します。

参考書等

必要な資料は配布します。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 環 境 演 習 E	田 中 靖 <small>た なか やすし</small>	環 境 3 選 必	4

講義のねらい

地域環境調査の基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・調査地に関する文献調査・データ解析
 - ・現地調査（日帰り～一泊程度）
 - ・調査結果の発表（簡単なレポートをまとめる）
- 以上を、関東周辺の2～3ヶ所について行う予定。場所は相談によって決める。

履修上の留意点

現地調査の場数を踏むことを最重要視する。したがって、授業時間の枠を超えた積極的な取り組みが必要である。

成績評価の方法

勉強への姿勢と提出物の内容で評価する。

教 科 書

適宜紹介する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 環 境 演 習 F	長 沼 信 夫 <small>なが ぬま のぶ お</small>	環 境 3 選 必	4

講義のねらい

水文地理学とその応用（水環境、水資源、水利用、自然災害など）に関連する文献・資料の研究を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期：水文学関係の文献・資料を用い、水の地理学に関する知識を養うとともに、論文構成のあり方やその読み方などを学ぶ。また、水文調査から得られたデータを用い、望ましい図表類の作成などを検討する。
- 後期：受講者各自が関心をもつ論文を2編以上読み、これを基に要旨の作成、口頭発表並びに討論を行う。

履修上の留意点

少人数のゼミ形式で行うため、発表や討論への積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

出席回数、口頭発表、レポート作成などを基にして総合的に評価する。

教 科 書

前期に使用する文献・資料については、担当者が用意する。

参 考 書 等

必要に応じて適時指示する。

そ の 他

年度内に1回（時期未定）、1泊2日程度の小巡検あるいは合宿を実施する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	小田 匡保	地文・環境4必	4

講義のねらい

1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること。
2. 人前でわかりやすく発表できること。
3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する（2回）。
後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう（2回）。
1月：卒論発表会。

履修上の留意点

発表の後は、受講者の間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。
4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。
卒業論文の評価とは別である。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	江口 卓	地文・環境4必	4

講義のねらい

地理学における論文の作成の流れを卒業論文の作成を通して理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自の卒業論文の方針発表、関連文献の発表を行う。
後期は、卒業論文の報告を中心に進める。

成績評価の方法

出席を含む平常点で評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	小池 一之	環境・地文4必	4

講義のねらい

地形学を含む地表環境全般にわたり、基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論論題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域を決め、同調査を行なう。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期はゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教科書

演習進行時に、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	さくら い あき ひさ 桜井明久	地文・環境4必	4

講義のねらい

ある地域の事象ないしはある地域の人文地理学的課題について、討論を通じて、その調査方法を考え、資料を集め卒業論文として完成させる。

講義の内容・授業スケジュール

前期については課題を解くための方法、調査法を中心に考える。後期については、収集した資料から説明すること、もしくはその説明のための統計資料の加工や表現方法について考えたい。

履修上の留意点

自分の卒論研究について考えるのは当然であるが、仲間の研究の討論に積極的に参加することが重要である。そのことによって自分の研究の仕方にも刺激が得られるであろう。

成績評価の方法

ゼミへの参加の状況と討論への参加の状況、並びに各自の研究への取り組みを総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	さ とう てつ お 佐藤哲夫	地文・環境4必	4

講義のねらい

この演習では卒業論文を作成するための調査の方法、資料の収集整理の方法、報告の発表方法などについて学びます。できれば3年次生の地域文化演習Fと合同で、文献輪読も指導したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象を決定します。国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを直ちに入手し、現地を踏査して概況の把握をしてください。海外の地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その所在を確認します。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進めます。9月末の段階では2までを、9月末の段階では4までを目標に進めていきます。

- 1 研究対象を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行います。
- 2 文献リストを作成し、重要な文献を読んで研究の目的・方法を限定します。
- 3 仮説（あるいは暫定的な解釈）を設定します。
- 4 現地調査または資料調査により、仮説の検証に必要なデータを収集します。
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てます。
- 6 論文の構成を修正しつつ、執筆を進めます。

全員に対する合同での指導を発表会形式で数回実施します。それ以外は各自の都合に合わせて対応しますので、各自が責任をもって研究を進めてください。発表会の日程は、最初の授業時間に相談して決めます。

共通のテーマをもった受講者がいる場合には、グループで分担して文献を輪読することも予定していますが、これについては、参加者と相談して決めます。

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要です。Eメールを通じた指導も可能なので、積極的に利用してください。報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモを作成してきてください。文章にすることで頭の中を整理できます。口頭での説明は、その場しのぎに過ぎません。

成績評価の方法

参加の積極性で評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	須山 聡 <small>す やま さとし</small>	地文・環境4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回1人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論により緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスションを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やつつけ仕事」として卒論を捉えられることをもっとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

教科書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

その他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	高木 正博 <small>たかぎ まさひろ</small>	環境・地文4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、1. 適切な論文のテーマを設定すること、2. 研究成果の要旨をまとめて発表すること、3. 論文作成の具体的な方法を指導することなどである。

授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や主題図作成を課題として指示する。また、年2回の発表を義務づけ、出席者相互の活発な討論をとおして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いてきた研究構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。現地における調査研究の方法についても検討する。

後期は、現地調査や文献・資料などから得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸事項についても指導する。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。

受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらえらるであろう。授業を欠席する場合は、必ず事前に連絡すること。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論への参加状況など、平常点で評価する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	高橋 健太郎 <small>たか けい けんたろう</small>	地文・環境4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を進めながら、フィールドワークや文章執筆の方法を習得し、加えて地域社会を理解する力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期：研究テーマの設定、研究計画の立案、調査地域の設定、文献資料の収集と検討、フィールドワーク
後期：フィールドワーク、調査結果の整理と分析、地図の作成、論文執筆、研究成果の発表

履修上の留意点

卒業論文作成についての相談にはできる限り対応するが、卒業論文は最終的には自己責任で完成させるものであるということを、受講者には認識してもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、卒業論文発表会での発表内容で評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	田中 靖 <small>たなか やすし</small>	環境・地文4必	4

講義のねらい

卒業論文を完成させることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月：研究テーマの設定
5月～7月：共通テーマでの勉強会、巡検など
夏休み前：方針発表
夏休み：調査、解析作業
10月：中間発表
12月：卒業論文提出

履修上の留意点

相談には可能な限り対応するが、できるだけ主体的に取り組むこと。

成績評価の方法

平常の研究姿勢で評価する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	つち なた とし はる 土 谷 敏 治	地文・環境4必	4

講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。8月：夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。

履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に本授業専用の欠席届によって、申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。また、出席率が7割を下回った場合は、単位の認定をしない。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となる。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	ながぬまのぶお夫 長沼信夫	環境・地文4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。

後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表内容などを基に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

参考書等

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

その他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論の中間発表会のための合宿（2泊3日）を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	はしづめなおみち 橋詰直道	地文・環境4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成のための具体的指導を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。具体的な演習の授業は、提出された年間スケジュールを基に次のように行う。

6～7月は、それまでの文献レビューや事前調査などの成果をもとに中間発表会を個人別に実施する。

9～11月は、夏休み中およびその後の調査成果をもとにした中間報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。

論文提出後、内容・構成など卒業論文として不完全なものは書き直しを要求する。

1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末（2004年度は1月25日）に卒論発表会を行う。発表では各自パワーポイントを使用する。発表会には次期地理学演習（橋詰ゼミ）履修者の3年生も全員参加してもらおう。

履修上の留意点

卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会も行うので、積極的な研究姿勢が重要である。

成績評価の方法

授業（卒論発表会を含む）への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参考書等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

その他

事前に『地理学文献目録』（図書館）など地理学データベースを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習	早 船 元 峰 <small>はや ふね げん ぼう</small>	環境・地文4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。後半は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関連した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。

履修上の留意点

就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的態度をのぞむ。

成績評価の方法

出席状況・口頭発表・レジメなどで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡 検 B (後期)	桜 井 明 久 <small>さくら い あき ひさ</small>	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

地域調査の方法、ないしは人文地理学の調査方法について現地における実践を通じて学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

調査地域は未定であるが、その調査方法の概略を学ぶ。まず、おおよその調査を計画し、地域（未定）で調査方法の実習をしながら、現地調査を行い、その結果をレポートにまとめる。

履修上の留意点

実習型の授業であり、グループでの活動も多くなるので、欠席は厳しく扱う。

成績評価の方法

出席、討論への参加の状況、作成された報告書を総合的に評価する。

教 科 書

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）1994年

参 考 書 等

必要なものについては適宜授業の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡 検 C (前期)	こ 池 一 之 いけ かず ゆき	環境・地文2・3・4選	1

講義のねらい

この巡検は地理学科2年以上の全学生に開かれている。
地理学での現地調査の重要性を十分理解した上でこの授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

5月末から6月初めにかけての2～3泊の現地調査が中心となる。
調査地域は那須野原、白河周辺から会津盆地を予定している。
4, 5月: 調査の準備
- 巡検 -
6, 7月: 調査の整理, レポート・報告書の作成

履修上の留意点

屋外での調査が中心なので, やる気のある学生を望む。
雨天の場合は汚れることがある。
調査用具は地理学科で用意する。

成績評価の方法

平常点

教 科 書

授業中に指示する。
『日本の地形』[4 関東][3 東北](東京大学出版会)の関係部分は必読である。

参 考 書 等

関連論文などは授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
図 学 実 習 (後期)	し みず ちよう せい 清 水 長 正	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

2万5千分1地形図は、環境・文化にかかわらず地理学のいろいろな調査・研究に欠くことはできません。そうした利用者からみて、地形図に表現されている内容についてよく知ることは重要なことです。この実習では、地形図の内容や作製過程などについて『地形図図式』を中心に、利用者として理解を深めてもらうのが目標です。また、近年普及しはじめたデジタルマップの情報やそれを利用した編集作業などを紹介します。

講義の内容・
授業スケジュール

2万5千分1地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』です。これは本来、プロの地形図作製者が使用する規程書ですが、ここではそれを詳細に解説します。その間にデジタルマップを利用した簡易な編集作業もやってみましょう。その他、日帰りで地形図に関する現地調査実習を実施する予定です。

履修上の留意点

地形図の最新情報・地図業界の動向など知りたい学生は履修するといいいでしょう。なお、10月下旬ごろに開催されるデジタルマップフェアは見学する予定です。

成績評価の方法

図式に関するミニ試験、地図編集作業の成果品の作製などから評価します。

教 科 書

『平成14年2万5千分1地形図図式』(日本測量協会)

参 考 書 等

利用しやすいデジタルマップや関連ソフトなどは、実習中に紹介します。

そ の 他

現地実習・見学は受講学生の都合により日時を決めましょう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 地 誌	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1)(2)日本の風土(自然環境・生活文化)、(3)(4)自然環境と生活(気候景観・水の利用)、(5)(6)自然環境と生活(地下資源の利用・植物の利用)、(7)(8)日本の災害(自然災害・環境保全)、(9)(10)都市化と農業地域(兼業化の進展・自立型農業地域)、(11)(12)農業地域の変容(近郊農業地域・輸送圏芸地域)、(13)(14)農業地域の変容(果樹園芸地域・茶業地域)、(15)(16)地場産業地域の変容、(17)～(19)中山間地域の変容(林業地域・まちおこし)、(20)～(22)余暇活動地域の変容(ふるさと運動・農村観光)、(23)～(25)リゾート開発(スキーリゾート地の諸問題)、(26)まとめ(テスト)

これらの項目について各地の事例研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

山村順次編『図説日本地誌』(大明堂)2,750円
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』(古今書院)2,527円
市川健夫『風土の中の衣食住』(東書選書)960円
原 剛『日本の農業』(岩波新書)620円
平松守彦『地方からの発想』(岩波新書)550円
田村明『まちづくりの実践』(岩波新書)660円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、配布プリントと OHP、PC、ビデオ画像を利用して行い、課題や小テストも実施したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国地誌特講	梅原弘光	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

地誌を講じる目的は地域変化の説明である。ここでは20世紀後半に目覚ましい変化を遂げた東南アジア地域に注目し、その変化の過程とそれをもたらした要因、新たな問題点を確認すると同時に、われわれとの関わりの理解を目指す。そのために具体的にはフィリピン共和国を取り上げて、第二次世界大戦後の農村社会の変容とそれに伴う地域変化を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に東南アジアにおけるフィリピンの位置付け（地体構造、民族分布、海路東西交易、農耕のはじまり）を確認した後に、戦後のフィリピン共和国の直面した問題（社会不安、土地問題）近代化政策（工業化、農地改革、農業近代化政策）、農村社会変容（農業商業化、農村階層分化、労働力移動）、地域分化（都市化の進展、地域間格差、環境劣化）について検討する。

履修上の留意点

日ごろからフィリピンのみならず東南アジアの国々に対して関心をもつことが望まれる。

成績評価の方法

基本的には夏休みの課題レポートと期末試験で評価する。ただし、授業への出欠状況も参考にする。

教科書

とくになし。

参考書等

参考文献は授業時に紹介する。

その他

講義が中心となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア地誌	前期：高橋健太郎 後期：須山 聡	地文・環境2・3・4選	4

地理

講義のねらい

中国および朝鮮半島の地誌について講義する。前期は高橋が中国を、後期は須山が朝鮮半島を担当する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期（高橋）
1. 中国の行政区域と地域性
 2. 地域間の経済・生活格差
 3. 1人っ子政策と人口移動
 4. 都市構造と生活空間
 5. 民族政策と文化変容
- 後期（須山）
1. 朝鮮半島の自然環境
 2. 主題図でみる韓国
 3. 都市誌—ソウル・釜山大都市圏、地方都市—
 4. 農村の近代化と農業—セマウル運動と全国総合開発—
 5. 製造業・サービス業—漢江の奇跡とIT革命—
 6. 生活文化と日常生活—ウリ主義と個人主義—
 7. 朝鮮民主主義人民共和国

成績評価の方法

前後期各50%のウエイトで評価する。前期は、教場で作成してもらう小レポート（10%）と筆記試験（40%）で評価する。後期はレポートと出席を等分に評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

随時資料を配付する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ地誌	仁平尊明	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ合衆国の社会と自然の地理的特徴について、配付資料、教科書、写真、インターネットをもとに講義します。前期は、アメリカ合衆国全体を対象として、自然、歴史、産業、交通、観光に関するテーマを扱います。後期は、アメリカ合衆国の中西部を対象として、景観、歴史、産業、環境問題に関する講義を行います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 北アメリカの自然環境・その1、(2) 北アメリカの自然環境・その2、(3) 北アメリカの自然環境・その3、(4) アメリカ合衆国の歴史・その1、(5) アメリカ合衆国の歴史・その2、(6) アメリカ合衆国の人口と都市、(7) 産業・その1 (農業)、(8) 産業・その2 (商業、工業)、(9) 交通、(10) 西海岸・中西部の観光地理・その1、(11) 西海岸・中西部の観光地理・その2、(12) 特論：世界に広がるアメリカ文化

(後期) (1) 大平原の原風景・その1、(2) 大平原の原風景・その2、(3) フロンティアの開発、(4) 世界最大の地下水資源、(5) 冬小麦地帯・その1、(6) 冬小麦地帯・その2、(7) 灌漑農業地帯の誕生、(8) 水消費型産業の立地と環境問題・その1、(9) 水消費型産業の立地と環境問題・その2、(10) 大平原の都市と町、(11) 土地資源の評価と持続的環境利用、(12) 試験

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を持参すれば講義の理解が深まります。

成績評価の方法

成績は、試験 (60%)、出席 (30%)、授業ごとのコメント (10%) で評価します。試験は、ノート、教科書、参考書等を参照してかまいません。

教科書

前期は講義ごとに資料を配布します。後期はアメリカ合衆国中西部の地誌学に関する次の教科書を使用します。矢ヶ崎典隆・斎藤 功・菅野峰明編著『アメリカ大平原—食糧基地の形成と持続性—』(古今書院) 3500円。ISBN:4-7722-1572-7

参考書等

講義ごとに紹介します。

その他

授業のホームページ <http://deanmac.hibun.tsukuba.ac.jp/nihei/america.html> (パスワードは授業でお知らせします)

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ地誌	桜井明久	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの農業と農村の地域的問題を考える。なお、読図の練習・訓練を行うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考える。後期は、中核部としての北西ヨーロッパ、とくにドイツについて、具体的な地域、村落を例に引きながら、近年における農業の変化、その地域性、近年の農村景観の変化などの状況を、日本のそれらと対比しながら考えていきたい。同様に、都市関係の問題については、パリ、ケルン、ボンなどを例に考えたい。

履修上の留意点

授業の中で地図や統計図表をともに読みながら授業を進めるつもりである。すなわち、事実も重要ではあるが、事実を発見する方法の学習を重視したい。なお、学年末試験はここで配布した資料をもとに解答する形で試験を行うので、配付資料を紛失しないようにすること。

成績評価の方法

出席とミニレポート30点、読書レポート20点(ヨーロッパ自由研究)、夏休みレポート20点(各自のヨーロッパ自由研究)、学年末試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』(大明堂) 5,160円
桜井明久『西ドイツの農業と農村』(古今書院) 4,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 地 理 学	矢 延 洋 泰	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

地域の空間構造の中で経済の諸活動の地理的現象は、大旨経済地理学の対象となる。その対象領域は大変広く、網羅的にとり上げることが不可能であり、また余り意味もない。

従ってここでは世界が構造的変化をみせる中で、とりわけ大きな動きをみせる東アジアを視座に、多面的に分析してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(カッコ内は時数)

A アジア経済発展の系譜 (前期)

1. 植民地遺制の光と陰 (2)
2. 「儒教・漢字文化圏」はプロテスタンティズムに替わり得るのか (2)
3. 経済開発と人権・秩序 (2)
4. NICS から NIES への変化 (2)
5. ASEAN 諸国の開発政策 (2)
6. 非難される開発独裁 (1)
7. ハブ&スポークスの夢競争 (1)
8. 21世紀の開発戦略：シンガポールの OHQ 制度と“ビジネス・ハブ”を考える (2)

B 国際化と地域化 (後期)

1. ASA から ASEAN へ (2)
2. 冷戦後の構造変化：新世界秩序の模索 (2)
3. EAEC 構想から AFTA 誕生まで (2)
4. APEC10年 (2)
5. FTA (Free Trade Agreement) 締結の流れ (2)
6. アジア経済開発の課題 (2)

履修上の留意点

積極性と意欲を期待したい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験結果に出席を加味。

教 科 書

教科書はなし。適宜プリントを配布。

参 考 書 等

矢延洋泰著『インサイト東南アジア』(勁草書房)
鶴見良行著『東南アジアを知る』(岩波新書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 地 域 論	須 ^す 山 ^{やま} 聡 ^{さとし}	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

日本の在来工業地域を事例に、地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。講義の最初では、経済地理学的な分析の枠組みを批判的に提示する。工業は従来よりその経済的側面が強調され、立地・集積といった分布現象や工業地域に内包されたメカニズムもまた、経済的ロジックに基づいて説明される傾向が強かった。そのため、工業地理学は経済地理学の枠組みに押し込められ、地域を構成する諸要素との有機的な関係性といった地理学に独自の視点を捨象するに至った。

産業は、その地域の経済のみならず、地域社会や文化の構成要素でもある。本講義では、地域社会や文化の担い手としての産業の側面を強調する。具体的には土地利用、景観、コミュニティ、労働力、社会組織・制度などと工業（産業）の関係を検討し、工業を地域的構成要素のなかに位置づけ直すことを眼目とする。その際、従来の工業地理学ではあまり用いられてこなかった分析手法についても論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定で講義を進める。

- 1 経済地理学の論理による工業現象の説明様式
- 2 古典的経済地理学のアプリケーション（輪島漆器業、地域構造論）
- 3 分布・集積の新たな説明（輪島漆器業、インキュベータ「仮説」）
- 4 在来工業地域における人口移動パターン（輪島漆器業、ライフパスの援用）
- 5 在来工業とコミュニティ（輪島漆器業、産業地域社会）
- 6 在来工業による新たな景観形成（井波木彫業、景観の「演出」、「伝統」の誤謬）
- 7 在来工業を支える「制度」（結城紬、イエ制度）
- 8 おまけ：文学の中の地理空間（結城紬、有吉佐和子『鬼怒川』）
- 9 生産と生活—中小企業集積地域に対する視点—

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

出席状況（50%）と試験（50%）を規準とする。

教 科 書

須山 聡『在来工業地域論—輪島と井波の存続戦略—』（古今書院）2004年
購入を義務づけるものではないが、あった方が絶対に便利。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	こ 池 一 之 こ いけ かず ゆき	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、

地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形）

後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

教 科 書

小池一之ほか（1998）『地表環境の地学－地形と土壌』（東海大学出版会）2,500円＋税

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税

小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

貝塚爽平（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

そ の 他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学 実 習 (前 期)	し み ず ち ょ う せい 清 水 長 正	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

地形とは簡単に言えば地べたの形のこと。我々はこの地形上で活動し生活しているのに、最近ではアーバンライフが定着したせいとか、地形を見る目が一般に退化していると言わざるをえません。いわんや地理学科の学生までも地形の見方が苦手？。環境・文化を問わず地理的現象の大半は地形上に立脚しているのですから、地理学を勉強した中で地形のことも少しでも知っておこうよ、というのがこの実習の目標です。さらに地形を見ることによって、その土地が地震や洪水などの災害にあう度合いの予測評価も可能なので、これは一生役にたつワザになるかもしれません。

講義の内容・授業スケジュール

実習の内容として、空中写真判読、現地調査に重点を置きます。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握のこと。難しそうに思うかもしれませんが、まずやってみることが肝心で、あとは「習うより慣れろ……」でしょう。現地調査については、休日を利用した半日2回程度と、夏休み前半に1泊2日の巡検を行います。現地における地形の実測と、地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、これもやってみることにしましょう。

履修上の留意点

地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、同時に履修することが望ましいが、ただし各自の都合によって履修できない場合は仕方ないでしょう。また、空中写真実体視については経験済みかもしれませんが、もう一度、コツを手ほどきします。

成績評価の方法

空中写真判読図・巡検レポートなどにより評価。

教科書

テキストは使用しない。

参考書等

参考書は実習中に指示します。

その他

とにかく地形を敬遠せずに、まずはやってみなければ話にならないよ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 地 理 学	みや ぐち とし みち 宮 口 侗 逸	地文・環境2・3・4選	4

地
理

講義のねらい

社会地理学は、人間集団が、蓄積された文化を背景に、どのような空間的状況を主体的に生み出してきたかを議論する、地理学の中でもホットな分野であると考えている。この講義では、都市化の中で衰退の状況にあると一般に見られている日本の農山村地域にどのような動きがあり、どのような発展が考えられるかを、実例を踏まえて論じたい。そしてその前提として、世界の農村の多様性、日本の農村のオーソドックスな姿とユニークな姿を、文化地理的に理解してもらおうよう努める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の農山村がどのように歩んできたかを、諸外国との対比の上で説明し、経済成長期を経て、都市化の中でどのような変容を示してきたかを述べる。後期はその延長上に、農山村地域の活性化のためにどのような思考が必要かを、手順を追って述べる。

履修上の留意点

白著の教科書を使用するが、話す内容はかなりオリジナルなものなので、出席して直接聞くことが必要である。

成績評価の方法

前期は授業中に見せた写真やビデオについてレポートを課し、後期は最後の授業に試験をして総合的に評価する。

教科書

宮口著『地域を活かす－過疎から多自然居住へ－』（原書房）2,800円

参考書等

宮口著『地域づくり・創造への歩み』（古今書院）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	佐藤 哲夫	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、英文の地理資料を読み、地理でよく用いられる英語に親しみます。英語で地理の知識を広げる楽しさを知ってもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストには、中学生が使う日本地理の教科書の英訳本を予定しています。内容が身近で、英語もあまり難しくないので、語彙を増やしながらなるべく速く読むことを目標にします。参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、重要な部分に解説を加えながら読み進めます。順不同で毎回少なくとも1度はあてます。英作文の添削によってその英語表現を身につけることにも心を配りたいと思います。なおテキストは大学院地理学専攻の英語の試験範囲に含まれています。

時間があれば、後期には地理学の学術論文または専門書の読解にも挑む予定です。

履修上の留意点

下の文章は最初に用いるテキストのprefaceです。この意味が理解できる程度の英語力を持っている諸君を、受講対象者として想定します。

This book is intended to provide a geographical overview of Japan to readers who are unfamiliar with Japan's regional geography. The book consists of two parts. Chapters one through six present the physical, historical, cultural, economic, and social features of Japan. Chapters seven through thirteen deal with regional geography by dividing the country into seven districts. The chapters on regional geography are based largely on a Japanese geography textbook written by H. Sato and others. The first six chapters were newly written for this book by the editor. I hope that this book will be of help in understanding the regions and regionality of Japan.

毎回必ず、英和辞典を持ってきてください。

成績評価の方法

成績は出席100%で評価します。定期試験はしません。またレポートによる救済もしませんので、注意してください。

教科書

テキストはコピーして配布します。出所は下記のとおりです。
YAGASAKI, Noritaka ed. 2002. *Japan - Geographical Perspectives on an Island Nation Third Edition.* TEIKOKU-SHOIN

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
気候学	江口 卓	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

日本および世界の気候の成り立ちとその地域的・季節的な違いを理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、最初に世界と日本の気候区分をとりあげ気候学の考え方の流れについて講義する。その後、日本の気候の季節変化とその地域性について、季節ごとに順に講義を行う。後期は世界の気候の基礎について講義を行った後、世界の各地域の気候について講義する。各地域について講義する中で、関連する砂漠化などの環境問題についても触れる。

履修上の留意点

気候に関する予備知識は必要としないが、ステップアップの講義であるので、講義の概要は復習のうえ理解し、次の講義に臨むこと。

成績評価の方法

各学期末の筆記試験と出席を含む平常点を総合して評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）
気候影響・利用研究会編『日本の気候Ⅰ』『日本の気候Ⅱ』（二宮書店）
鈴木秀夫『風土の構造』（原書房）

その他

講義は、プリントを配布して行う。適宜、スライドやビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
気候学実習(後期)	えぐち たかし 江口 卓	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

気候を研究する上で必要となる調査の方法およびデータの解析手法を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

実習は次の内容に即して行う。

- 1) 気候観測：測器の使い方、観測の実施、観測データの処理
- 2) 気候データの解析：テーマを決め、気象庁観測データの解析を行う。
- 3) 天気図の解析：上記のデータ解析によって明らかになった現象の原因を天気図によって分析する。

履修上の留意点

本実習では学外において気候観測を行う。これは自由参加ではなく、正規の授業の一環なので、必ず参加することが必要である。日程・場所等は、授業の最初に案内するが、1泊2日ないし2泊3日程度を予定している。気候学の講義を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況を総合して評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

実習中に適宜指示する。

その他

気候データおよび天気図の解析に際しては、パソコンを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学	なが のぶ 長沼 信夫	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 前期：1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
3) 陸地における水の基本的在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
- 後期：4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜市域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し評価する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏—海洋と陸水—』（東海大学出版会）2,625円

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPなどを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学実習(前期)	たかぎまさひろ 高木正博	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

降水量の観測、河川や地下水・湧水などの調査をとおして、都市の水文環境を明らかにする。野外での水量や水質調査及び採水試料の分析実験に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

調査の準備段階として、大学周辺の降水状況、河川や地下水・湧水の水量・水質などに関する基礎的な学習を行ってから、調査目的、水域・地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用方法などについて検討する。

調査後は、試料の分析、図表の作成、結果の整理・考察などとおして総括する。野外での測水調査は、2回程度予定している。

履修上の留意点

野外での調査、実験室での分析など授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。時間に制約されるが、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

授業・調査中の実習態度を基礎点とし、提出物の成果と合わせて評価する。

教科書

新井 正『水環境調査の基礎』改訂版(古今書院)2,500円

参考書等

日本地下水学会編『名水を科学する』、『続・名水を科学する』(技報堂出版)
半谷高久・小倉紀雄『水質調査法』(丸善)
日本分析化学会北編海道支部『水の分析』(化学同人)、その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	えさきゆうじ 江崎雄治	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握(性比、年齢構造)

〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標(合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因

〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標(生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因

(後期)

〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴

〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動

〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因

〔将来人口の推計〕将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学実習(後期)	おだ まさ やす 小田 匡 保	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料(あるいは研究対象)として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行う。また、博物館等での古地図見学も1、2回実施する。

履修上の留意点

旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教科書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』(NTT出版)1,650円

参考書等

林英夫監修『増訂近世古文書解説辞典』(柏書房)2,524円

その他

教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球物理学	やなぎ だ まこと 柳 田 誠	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は地理学専攻の学生を対象として地球物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アイソスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 1. 地球の構造/地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係を見る。地球の化学組成や物性(粘性)について説明する。
2. プレートテクトニクス/地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振りかえる。
- 後期 3. 地震と火山/日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。
4. 活断層とは何か?/内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。
5. 地球の年代/地球の年齢は?どうやって決まっているのか?月の年齢は?
6. 山はなぜ高いか?/山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか?高くしているのはなぜか?なにが山を削るのか?いろいろと考えてみたい。

履修上の留意点

地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。

教科書

授業中に紹介する

その他

OHP やスライドを多く使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
土 壤 地 理 学	うるし ばら かず こ 漆 原 和 子	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

この授業は、土壌や植生、気候の世界的な分布の様式について講義します。前半は、土壌の定義、土壌の生成作用と土壌型の違いについて説明し、後半はそれぞれの土壌型が世界にどのように分布しているかについて説明します。土壌は、植生や気候の違いを反映しているものであることを十分理解し、自然環境の違いを推定する手段としても利用できるものであることを理解して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1～2回 土壌と人間活動の関わり歴史
- 3～5回 土壌の定義と土壌断面の見方
- 6～10回 土壌生成作用と土壌生成因子
- 11～12回 世界の土壌型の違い

後期

- 13～18回 世界の土壌型の分布と気候・植生との関わり
- 19～20回 日本の土壌型の分布と気候・植生との関わり
- 21～24回 土地利用と土壌管理、酸性雨と土壌特性の変化

履修上の留意点

テキスト、配布プリント等を利用します。順をふんで土壌が理解できるよう講義を進めますので、休まず講義を聴いてください。

成績評価の方法

試験で判定します。但し、出席状況を参考にします。

教科書

ブリッジズ（永塚鎮男・漆原和子訳）『大学テキスト世界の土壌』（古今書院）3,600円

参考書等

参考書等は授業中にその都度紹介します。

その他

講義（時間的にゆとりがある場合、駒沢公園内で、土壌の観察方法を実習します。）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物地理学	清水 善和	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

現在、地球上には1000万種を越える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。これらの種の分布は、現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種がたどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに分布するのではなく、地域の歴史や環境条件のまとまりに応じて特有の分布パターンを作り、それらが集まって大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 生物の分布と移動
 (1) 生物地理学とは (2) 生物の分布 (3) 分散と移動 (4) 生態系とニッチ
- 第2章 生物分類体系
 (1) 学名 (2) 分類体系 (3) 生物五界説 (4) 種の定義と属性 (5) 図鑑と同定
- 第3章 生物進化と進化論
 (1) 地質年代図 (2) 初期の生命 (3) カンブリアの爆発 (4) 生物の上陸
 (5) 進化のメカニズム
- 第4章 区系生物地理学
 (1) 分布パターンと区系 (2) 世界の生物地理区 (3) 日本の生物地理区
 (4) 琉球列島の生物相 (5) 分布境界線と移行帯
- 第5章 生態生物地理学
 (1) 大気の大循環と気候帯 (2) 群系と温量指数 (3) 世界の植生帯
 (4) 日本の植生帯 (5) 植物社会学と植生調査法
- 第6章 系統生物地理学
 (1) 分子時計の原理 (2) 系統系統と分布パターン (3) 分子系統地理の研究例
- 第7章 絶滅
 (1) 絶滅の様式 (2) 大量絶滅 (3) 大型哺乳類の絶滅 (4) 人為による絶滅
- 第8章 大陸移動と生物分布
 (1) プレートテクトニクス (2) ゴンドワナ起源の生物 (3) 南北米大陸の交流
 (4) ヒマラヤ造山 (5) 魚類の進化と分布
- 第9章 氷河期と生物分布
 (1) 氷期と気候変動 (2) ビュルム氷期の環境 (3) 後氷期の生物移動
 (4) 海面変動と生物分布
- 第10章 大洋島の生物
 (1) 大洋島と大陸島 (2) 長距離散布と定着 (3) 動的平衡モデル
 (4) 種分化の原理 (5) 島症候群 (6) 島大陸と古代湖
- 第11章 帰化生物
 (1) 人為移動と定着 (2) 在来生物への影響 (3) 都市化と生物

地
理

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期のレポート、講義の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義の内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして使用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計量地理学実習(前期)	つち たに とし はる 土 谷 敏 治	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、これらの分析手法を活用できるようになるため、基本的なソフトウェアの使用方法を習得するとともに、計量地理学の学習の準備をすることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excel の使用方法
2. データの入力方法
3. データの加工方法
4. 統計的分析方法
5. グラフ作成方法
6. Adobe Photoshop、Adobe Illustrator の使用方法
7. 統計地図作成方法
8. Microsoft Power Point の使用方法
9. コンピュータによるプレゼンテーション

履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshop・Adobe Illustrator を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『KOMAnet 利用ガイド』

そ の 他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
測 量 学	たなか やすし 田 中 靖	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。しかし最近では、旧来の「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントすることも含めて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。そこで本講義では、測量の基礎から国土数値情報の素養を得ることまでを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | |
|---------|---------------------------|
| 0. 基礎数学 | 5. 距離の測定 |
| 1. 地球の姿 | 6. 水準測量 |
| 2. 誤差論 | 7. GPS 測量 |
| 3. 地理座標 | 8. 空中写真測量・空中写真判読 |
| 4. 角測量 | 9. GIS (デジタルマッピングと国土数値情報) |
- それぞれの項目に2～3時限程度をあてる予定。年5回程度課題を出すので必ず提出すること。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得(国家試験免除)のための必修科目である。したがって成績評価は厳しい。高校教科書レベルの数学(特に三角関数、対数および確率・統計)を十分に復習しておくこと。

成績評価の方法

学年末試験の点数で評価する。ただし、課題を提出していない場合には、試験の点数から未提出分を差し引く。

教 科 書

包国・茶畑・平田著『絵とき 測量』(オーム社出版局) 2,700円+税

参 考 書 等

村井俊治著『空間情報工学』(日本測量協会) 2,286円(税別)

そ の 他

授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
第四紀学	鈴木毅彦	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

第四紀とは最近約200万年間のことをさす。この地質時代は、人類、動植物、気候、地形などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説する。主なテーマは第四紀の概要、氷河作用、地形・地質、気候変化、火山灰編年などである。後半では日本列島の第四紀の主要な現象である、火山活動と第四紀地殻変動などに焦点をあてる。

講義の流れをキーワードで示すと以下のとおりである。

前半

第四紀の定義・概要、学際科学としての第四紀学、氷期認定の歴史、大陸氷床の発達と海面変化、氷期・間氷期サイクル、酸素同位体比と氷期・間氷期サイクル、地球上各域における気候変化、ミランコビッチサイクル、数値年代と放射年代、古地磁気編年とレス編年、火山灰編年、日本列島の海面変化

後半

日本列島の火山（分布と第四紀火山の概念）、各種噴火様式と火山災害、関東地方の地震活動と第四紀地殻変動、活断層、山地形成、人類の誕生、日本列島の人類史

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

主には前期末のレポートと後期末の筆記試験

教科書

教科書は特に指定しない

参考書等

参考書として、町田ほか編『第四紀学』（朝倉書店）、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）、成瀬『第四紀学』（岩波書店）をあげる。それ以外は講義中に紹介する。

その他

授業の方法：講義

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	佐藤哲夫	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

東南アジアの環境問題について知ると同時に、海外での地域調査の方法について学ばせたい。実習的な作業課題を通じて、海外の地形図やリモートセンシング画像を利用する技術も学びます。

講義の内容・授業スケジュール

東南アジアの環境問題について概観しながら、タイでの地域調査を想定して、地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの作業を行います。なお希望者がいれば、相談のうえ、タイで巡検を行います。その場合、参加は任意で、成績評価の対象とはしません。

履修上の留意点

課題の作業を行なうために、パソコン操作の初歩の技術（佐藤担当の人文地理学実習程度）が必要です。地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

出席状況（50%）と課題（50%）によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。なお在学中にこの分野の知識・技術をマスターして、就職や進学に生かしたいと考えている人には、下記の参考書は必携です。講義の中でもランダムに参照します。

長澤良太『リモートセンシングによる土地資源評価－東南アジアの土地利用－』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅰ(後期)	橋詰直道	地文・環境2・3・4選	2

講義のねらい 今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法の歴史とその課題について紹介する。

講義の内容・授業スケジュール 今年の講義(半期=後期)内容は、次の項目を予定している。①②都市計画(都市計画と地理学・都市計画の概要)、③④東京の都市計画史(戦前・戦後)、⑤⑥都市緑地の整備と保全(生産緑地・公園緑地計画と緑地保全政策)、⑦⑧エコ・シティ(環境共生都市・住宅)、⑨⑩英国の田園都市運動(ガーデンシティ・ガーデンサブurb)、⑪~⑬郊外住宅地建設(アメリカ・日本の郊外住宅地建設史)、⑭まとめ(テスト)
これらの項目について最近の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点 「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法 定期試験の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書 特に定めない。

参考書等 五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』(岩波新書)580円
五十嵐敬喜・小川明雄『都市再生を問う』(岩波新書)740円
越澤明『東京都市計画物語』(ちくま学芸文庫)1,300円
石田頼房『都市計画と都市生活』(自治体研究社)700円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他 講義は、参考書と配布プリント及びOHP、PC画像を利用して行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅱ(前期)	長沼信夫	地文・環境2・3・4選	2

講義のねらい 水文地理学的な視点から地中に存在する水—地下水、温泉(水)—について講義する。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容の概要は次に示す通りである。
1) 水資源としての地下水の在り方:一般的な特徴
2) 地下水の存在状態:地下水の流動、水理、水質など
3) 地下水の存在量と使用量
4) 地下水を取り巻く環境問題:開発と保全、地下水利用に伴う障害(地下水位の低下、塩水化、地盤沈下、水質汚染など)
5) 温泉の定義、温泉法、温泉の成因など
6) 温泉の存在状態:温泉の3要素、水質など
7) 温泉利用と地熱開発の諸問題

履修上の留意点 地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法 授業期間内に2回程度の筆記試験を実施し評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 必要に応じて適時指示する。

その他 受講者が少人数の場合、講義のみでなくゼミ形式で実施することもある。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 特 講 Ⅲ	澤 渡 貞 男	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

文学部地理学科学生の学問的専門履修科目の応用と実践を意図して通年課程で設置された「特講Ⅲ」は、観光産業の中核である運輸・宿泊・旅行業に共通する国家資格「旅行業務取扱主任者（2005年度より「管理者」と変更予定）試験」の受験を目指す学生への補助的講座として設置されたものである。

講義の内容・授業スケジュール

主任者試験には一般（2005年度より「総合」と変更予定）と国内の区別があり、受験科目は、①旅行業法及びこれに基づく命令についての知識 ②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款 ③国内旅行実務（運賃料金、観光地理、旅行実務） ④海外旅行実務（国内と同項目に加え出入国関連法令及び手続実務、観光英語）で、国内は上記①②③科目で例年9月に実施、一般は上記全科目で10月に実施される。これを踏まえ、一般及び国内に共通する「業法」「約款」については、それらの理解に必要な関連事項も含めて前期に重点的に講義し、実務については「旅程管理業務（添乗員業務）」を軸として旅行業界の業務内容及びその理解に必要な外国事情、また、地理学科学生の関心ある外国生活事情等につき、実際の経験を基にした講義を後期に行う。

履修上の留意点

業法約款の理解には旅行業の現状理解が不可欠との立場から、冒頭に業界の現状・歴史等について概括的な講義を行うので必ず出席のこと。また、各自の経験に照らして考えると理解し易いので、日頃から業法約款的な見方で接するように心がけてほしい。受験科目の勉強については、学生の専門的・集中的学習を通信講座或いは専門講座により受験対策を講じられるようお薦めする。

成績評価の方法

前期及び後期の出席率並びに定期試験成績をそれぞれ評価のうえ、単位付与並びに成績評価とする。なお一般国内旅行業務取扱主任者試験合格者には無条件4単位付与とする。

教科書

中央書院編集部『一般または国内旅行主任者試験合格ハンドブック』2004年版（株）中央書院
東京都千代田区猿楽町2-8-11

参考書等

業法・約款は上記教科書に編纂されている。時刻表、旅行業小六法、観光白書、旅行会社の制作する広告・宣伝印刷物。必要に応じプリント配布。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 特 講 V	平 井 史 生	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

「オゾンホール」「エルニーニョ現象」「台風・集中豪雨」など社会的に関心の高い時事問題を題材とし、現象の空間的な把握や分布図の重ね合わせ等の地理学的手法を用いて分析していきます。卒業論文の主題選定に役立つ話題や切り口を多く提供することをめざしています。

講義の内容・授業スケジュール

参考までに2004年の題材をお知らせします。2005年も同様な話題を取り上げます。「春夏秋冬の定義ができるか」「グラフ・等値線図の表現法」「雷雲群とダウンバースト」「梅雨の特性」「地球温暖化は進行中?」「トロピカルサイクロンの気候学」「新潟・福井集中豪雨」「成層圏オゾンと有害紫外線」「エルニーニョ現象」「新潟地震被害ネット調査」「ヒートアイランド」「スキー場の気候学」「スギ花粉飛散と気象条件」

履修上の留意点

選択科目の「気候学」と最も関連が深く、「水文学」「都市地理学」「地図学」など地理学全体が興味の対象となります。講義レジュメについては、ウェブサイトに掲載し、コンピューター教場で実施します。レポートなどの成果品は電子媒体で提出を求める場合があります。

成績評価の方法

作図実習の成果品、提出課題、筆記試験の内容で総合的に評価をします。特に図の作成にあたっては、重箱の隅をつつくような口うるさいことを言いますが、ご容赦ください。

教科書

特に定めません。講義中に資料を配布する場合があります。

参考書等

必要に応じて講義中に指示します。参考ウェブサイトを示す場合もあります。

その他

WEBサイトにレジュメを掲載しています。質問・相談等もメールで受けつけています。

II 專 門 教 育 科 目

4 歷 史 學 科

歷
史

II. 専門教育科目

(4) 歴史学科

日本史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈熊本史雄〉	… 481
日本史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈湯浅隆〉	… 481
日本史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈中野達哉〉	… 482
東洋史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈石井仁〉	… 482
東洋史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈杉山清彦〉	… 483
西洋史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈大城道則〉	… 483
西洋史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈佐々木真〉	… 484
考古学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈設楽博己〉	… 484
日本史概説	[平成15年度以前入学生：日本史概説Ⅰ（古代・中世）]	〈松本信道〉	… 485
日本史概説	[平成15年度以前入学生：日本史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈出口宏幸〉	… 485
日本史概説	[平成15年度以前入学生：日本史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈熊本史雄〉	… 486
東洋史概説	[平成15年度以前入学生：東洋史概説Ⅰ（古代・中世）]	〈石井仁〉	… 486
世界史概説	[平成15年度以前入学生：東洋史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈小林惣八〉	… 487
西洋史概説	[平成15年度以前入学生：西洋史概説Ⅰ（古代・中世）]	〈佐々木真〉	… 487
日本考古学概説	[平成15年度以前入学生：考古学概説Ⅰ（日本）]	〈酒井清治〉	… 488
外国考古学概説	[平成15年度以前入学生：考古学概説Ⅱ（外国）]	〈飯島武次〉	… 488
世界史概説	[平成15年度以前入学生：西洋史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈井村行子〉	… 489
史学概論	〈伏島正義〉		… 490
日本史学史	〈湯浅隆〉		… 490
考古学史	〈小柳美樹〉		… 491
演習Ⅰ	〈久保田昌希〉		… 491
演習Ⅰ	〈熊本史雄〉		… 492
演習Ⅰ	〈小林和幸〉		… 492
演習Ⅰ	〈瀧音能之〉		… 493
演習Ⅰ	〈中野達哉〉		… 493
演習Ⅰ	〈廣瀬良弘〉		… 494
演習Ⅰ	〈松本信道〉		… 494
演習Ⅰ	〈湯浅隆〉		… 495
演習Ⅰ	〈石井仁〉		… 495
演習Ⅰ	〈石川重雄〉		… 496
演習Ⅰ	〈杉山清彦〉		… 497
演習Ⅰ	〈大城道則〉		… 497
演習Ⅰ	〈佐々木真〉		… 498
演習Ⅰ	〈伏島正義〉		… 498
演習Ⅰ	〈飯島武次〉		… 499

演	習	I	〈酒井清治〉	499
演	習	I	〈設樂博己〉	500
演	習	II	〈久保田昌希〉	500
演	習	II	〈熊本史雄〉	501
演	習	II	〈小林和幸〉	501
演	習	II	〈瀧音能之〉	501
演	習	II	〈中野達哉〉	502
演	習	II	〈廣瀬良弘〉	502
演	習	II	〈松本信道〉	503
演	習	II	〈湯淺隆〉	503
演	習	II	〈石井仁〉	504
演	習	II	〈杉山清彦〉	504
演	習	II	〈大城道則〉	505
演	習	II	〈佐々木真〉	505
演	習	II	〈伏島正義〉	506
演	習	II	〈飯島武次〉	506
演	習	II	〈酒井清治〉	507
演	習	II	〈設樂博己〉	507
考古発掘実習			〈酒井清治・飯島武次・設樂博己〉	508
日本史史料講読I		I	〈瀧音能之〉	508
日本史史料講読II		II	〈久保田昌希〉	509
日本史史料講読III		III	〈中野達哉〉	510
日本史史料講読IV		IV	〈小林和幸〉	510
古文書研究I〔15年度以前入学生：古文書講読I〕			〈廣瀬良弘〉	511
古文書研究II〔15年度以前入学生：古文書講読II〕			〈湯淺隆〉	512
記録史料学I〔15年度以前入学生：古文書学〕				
			〈松本信道・久保田昌希・中野達哉〉	513
記録史料学II〔前期：小林和幸・後期：熊本史雄〕				514
東洋史文献史料講読I〔15年度以前入学生：東洋史史料講読I〕			〈石井仁〉	515
東洋史文献史料講読II〔15年度以前入学生：東洋史史料講読I〕			〈休講〉	
東洋史文献史料講読III〔15年度以前入学生：東洋史史料講読I〕			〈休講〉	
東洋史文献史料講読IV〔15年度以前入学生：東洋史史料講読I〕			〈休講〉	
東洋史文献史料講読V〔15年度以前入学生：東洋史史料講読I〕			〈杉山清彦〉	516
東洋史文献史料講読VI〔15年度以前入学生：東洋史史料講読I〕			〈休講〉	
東洋史文献史料講読VII〔15年度以前入学生：東洋史史料講読II〕			〈渡邊義浩〉	516
東洋史文献史料講読VIII〔15年度以前入学生：東洋史史料講読II〕			〈休講〉	
東洋史文献史料講読IX〔15年度以前入学生：東洋史史料講読II〕			〈須江隆〉	517
東洋史文献史料講読X〔15年度以前入学生：東洋史史料講読II〕			〈休講〉	
東洋史文献史料講読XI〔15年度以前入学生：東洋史史料講読II〕			〈山口洋〉	518
東洋史文献史料講読XII〔15年度以前入学生：東洋史史料講読II〕			〈休講〉	
西洋史文献史料講読I〔15年度以前入学生：西洋史史料講読I〕			〈伏島正義〉	519
西洋史文献史料講読II〔15年度以前入学生：西洋史史料講読I〕			〈休講〉	
西洋史文献史料講読III〔15年度以前入学生：西洋史史料講読I〕			〈佐々木真〉	520
西洋史文献史料講読IV〔15年度以前入学生：西洋史史料講読I〕			〈休講〉	
西洋史文献史料講読V〔15年度以前入学生：西洋史史料講読I〕			〈大城道則〉	520
西洋史文献史料講読VI〔15年度以前入学生：西洋史史料講読I〕			〈休講〉	
西洋史文献史料講読VII〔15年度以前入学生：西洋史史料講読II〕			〈石田恵子〉	521
西洋史文献史料講読VIII〔15年度以前入学生：西洋史史料講読II〕			〈休講〉	
西洋史文献史料講読IX〔15年度以前入学生：西洋史史料講読II〕			〈菊池紘一〉	521

西洋史文献史料講読X〔15年度以前入学生：西洋史史料講読Ⅱ〕〈休講〉	
西洋史文献史料講読XI〔15年度以前入学生：西洋史史料講読Ⅱ〕〈土方史織〉	522
西洋史文献史料講読XII〔15年度以前入学生：西洋史史料講読Ⅱ〕〈休講〉	
考古学実習（写真）〈塚原明生〉	522
考古学実習（測量）〈古庄浩明〉	523
考古学実習（実測）〈上敷領久〉	523
考古学実習（情報）〈小柳美樹〉	524
日本古代史〈瀧音能之〉	524
日本中世史〈久保田昌希〉	525
日本近世史〈中野達哉〉	525
日本近代史〈小林和幸〉	526
日本史特講Ⅰ〈休講〉	
日本史特講Ⅱ（古代）〈三舟隆之〉	527
日本史特講Ⅲ（中世）〈小松寿治〉	527
日本史特講Ⅳ（中世）〈黒田基樹〉	528
日本史特講Ⅴ（近世）〈桜井邦夫〉	528
日本史特講Ⅵ（近世）〈出口宏幸〉	529
日本史特講Ⅶ（近代）〈熊本史雄〉	529
日本史特講Ⅷ（近代）〈岸本昌也〉	530
東洋史各説Ⅰ〈休講〉	
東洋史各説Ⅱ（古代史）〈石井仁〉	530
東洋史各説Ⅲ（中世史）〈石田肇〉	531
東洋史各説Ⅳ（近世史）〈佐藤文俊〉	531
東洋史各説Ⅴ（近・現代史）〈趙軍〉	532
東洋史各説Ⅵ（アジア諸民族史）〔15年度以前入学生：東洋史学史〕	
〈奈良修一〉	533
東洋史特講Ⅰ（古代史）〈山口洋〉	533
東洋史特講Ⅱ（中世史）〈石川重雄〉	534
東洋史特講Ⅲ（近代史）〈杉山清彦〉	535
東洋史特講Ⅳ（近・現代史）〈藤谷光悦〉	535
東洋史特講Ⅴ（アジア諸民族史）〈片岡一忠〉	536
東洋史特講Ⅵ（アジア諸民族史）〈松本弘〉	537
西洋史各説Ⅰ〈庄司啓一〉	537
西洋史各説Ⅱ〈休講〉	
西洋史各説Ⅲ〈長谷川岳男〉	538
西洋史各説Ⅳ〔15年度以前入学生：西洋史学史〕〈佐々木真〉	539
西洋史特講Ⅰ〈休講〉	
西洋史特講Ⅱ〈伏島正義〉	540
西洋史特講Ⅲ〈休講〉	
西洋史特講Ⅳ〈割田聖史〉	541
西洋史特講Ⅴ〈休講〉	
西洋史特講Ⅵ〈大城道則〉	542
西洋史特講Ⅶ〈休講〉	
西洋史特講Ⅷ〈早川理徳〉	543
考古学各説Ⅰ〈休講〉	
考古学各説Ⅱ〈近藤英夫〉	543
考古学各説Ⅲ〈休講〉	
考古学各説Ⅳ〈三宅俊彦〉	544
考古学特講Ⅰ〈休講〉	

歴
史

考	古	学	特	講	Ⅱ	〈酒	井	清	治〉	544
考	古	学	特	講	Ⅲ	〈休	講			
考	古	学	特	講	Ⅳ	〈設	楽	博	己〉	545
考	古	学	特	講	Ⅴ	〈休	講			
考	古	学	特	講	Ⅵ	〈上	敷	領	久〉	545
考	古	学	特	講	Ⅶ	〈休	講			
考	古	学	特	講	Ⅷ	〈矢	野	和	之〉	546
日	本	仏	教	史	史	〈松	本	信	道〉	546
日	本	文	化	史	史	〈吉	田	政	博〉	547
西	洋	文	化	史	史	〈石	田	恵	子〉	548
有	職	故	俗	実	学	〈近	藤	好	和〉	548
日	本	民	俗	学	学	〈谷	口	貢		549
歴	史	地	理	学	学	〈小	田	匡	保〉	549
人	文	地	理	学	説	〈小	池	と	み	子
地		誌		学	学	〈川	元	豊	和	
地		誌		学	学	〈藤	永	豪		551
地		誌		学	学	〈山	内	昌	和	
哲		学		史	史	〈山	口	祐	弘	
中	国	歴	史	文	学	〈田	熊	信	之	
仏	教	美	術	史	術	〈村	松	哲	文	
西	域	美	術	説	史	〈松	平	美	和	子
美	術	史	概	説	説	〈北	野	良	枝	
ラ	テ	ン		語	語	〈上	野	勝	広	
ギ	リ	シ	ヤ	語	語	〈長	谷	川	岳	男

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学基礎演習	くまもと ぶみお 熊本史雄	日本史1必	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

大学で歴史学を専攻していくうえで基礎となる、「歴史を読み解く作法」を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

公文書史料や外交官・政治家・軍人の日記などを講読する。また、それら素材を複合的に組み合わせ活用することを通じて、史料批判の方法、歴史認識の生成とその意味、などについて考えていく。

今年度は、『日本外交の過誤』もしくは『岐路に立つ外交官』（いずれも未公刊）をテキストとして使用する。

履修上の留意点

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく、「考える歴史」、「発見する歴史」を身につけるきっかけをつかんで欲しい。

成績評価の方法

夏期休暇中に課すレポートと後期の報告内容、さらには出席状況、授業態度を総合的に勘案して判断する。

教科書

とくに指定しない（教師側で準備する）。

参考書等

適宜紹介する。

その他

前期は講義形式で進め、後期は演習形式で行う。解説・補足説明などは随時織り交ぜていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学基礎演習	ゆあさ たかし 湯浅隆	日本史1必	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

大学で日本史学を専攻していくための基礎となる事項を述べていく。高等学校までは学ぶこと、すなわち既存の体系を知識・理解として習得することに努めてきた。大学では、これまでの学習を承けて研究すること、すなわち自ら問題点を見つけ自ら考えて解き明かし、他者に説得力を伴った説明をすることが必要になる。このために必要な能力は、3年生までに配当されている各科目を通して履修することになる。

この講義では、上記への準備課程として、大学の歴史学へ無理なく馴染んでいけるよう、歴史学への接し方を紹介するとともに、討議をとおして理解を身につけていこうとする。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～3) 研修旅行関連 (4～6) 歴史の叙述 (7～8) 論文を読む
(9～10) 研究発表を聴く (11～13) 史料の保存と活用
(後期) (14～15) 歴史事象への先入観と再検討 (16～19) 史料の講読 (食べ物・時間)
(20～23) 現代社会 (24～25) 世界との関係 (26) まとめ

履修上の留意点

大学の歴史学には、戸惑うことが多いと思う。疑念・戸惑いは、授業の内外で早め早めの解決を図ること。

成績評価の方法

いくつかの事項については、授業中に各自の見解を尋ねる。夏期休業中には課題を、後期末には教場試験かレポートを課す。評価はすべてを合算して行なう。

教科書

特定のものを使用せず、プリントを配付する。

参考書等

その都度、提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学基礎演習	なかの たつ や 中野達哉	日本史1必	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

高校の教科書の記述の変化、史料や先行研究の調べ方、歴史と歴史学・歴史研究、日本人の歴史観、自国史(日本史)と世界史、時代区分の再検討、地域と歴史研究など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。

履修上の留意点

授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法

夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。

教科書

必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史学基礎演習	いし い ひとし 石井 仁	外国史1必(東洋史)	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

東洋史(中国史)を専門に研究するための、基礎的・予備的な知識と作業方法を修得することを目的とします。前期は、東洋史学の生い立ちから、現在までの研究の歩みを紹介しながら、研究の視点と方法などについて解説します。後期は、漢文史料(『史記』ほか)の読解などもまじえつつ、中国の歴史と歴史書(その他の史料)について理解を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) (1~4) ガイダンスおよび図書館の使い方ほか (5~8) 東洋史学とは何か
(9~13) レポート・論文の書き方ほか
(後期) (14~16) 中国人の歴史意識と歴史認識 (17~19) 司馬遷の『史記』
(20~23) 二十四史その他の史料について
(24~26) 工具書(=研究のための実用書)の使い方ほか

履修上の留意点

それぞれ初心に立ち帰り、なぜ歴史が好きなのか、なぜ歴史を学びたいと思ったのか、などについて考えましょう。

成績評価の方法

学期末試験・レポート(数回)の成績、および出席状況を総合的に評価します。

教科書

とくに使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。

参考書等

宮崎市定『中国史(上・下)』(岩波全書)
谷川道雄編『戦後日本の中国史論争』(河合文化教育研究所)
堀敏一『中国通史-問題史としてみる』(講談社学術文庫)
川勝義雄『中国人の歴史意識』(平凡社ライブラリー)
など。その他の参考文献については、講義で紹介します。

その他

講義形式で進めますが、適宜質問をしたり、漢文史料を訓読してもらうこともあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史学基礎演習 基礎歴史学	すぎやまきよひこ 杉山清彦	外国史1必(東洋史) 歴史1必	4

講義のねらい

東洋史学とは「東洋」を対象とする「歴史学」である。では、「東洋」とは何か。「歴史学」とは一般にいう「歴史」と何が、どう違うのか。どのような方法でそれに取り組むのか、また先人はどう取り組んできたか。このようなことを念頭に、1年間をかけて、大学において「東洋史」を学びかつ自ら研究していくための基本的な知識と技術の修得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、おおむね以下を予定している。

- ・「歴史」と「歴史学」
- ・東洋史学とは何か
- ・史料とは何か
- ・文献・用語の調べ方：図書館と工具書
- ・論文・レポートの書き方
- ・漢籍・漢文の基礎知識

講義を中心に進めつつ、受講生にも辞書を引く、文献を探すなど実際に作業を行ないその結果を報告してもらう。受講生には、積極的に参加する姿勢を求める。

履修上の留意点

今後4年間の基礎となる知識と技術の獲得が目的であるので、4月初回から必ず出席し、毎回出席を怠らないこと。また随時レポート等を課す。

成績評価の方法

出席点と平常点、および随時課すレポート・課題作業等を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は配布する。

参考書等

講義で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史学基礎演習 基礎歴史学	おおしろみちのり 大城道則	外国史1必(西洋史) 歴史1必	4

講義のねらい

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を通じて、以下のような内容を扱う。

- 図書館の使い方
- インターネットの利用方法
- 歴史学に関する文献（書籍や研究論文）の探し方
- レポートの書き方と提出されたレポートの添削
- 授業での発表
- 外国語文献の講読

履修上の留意点

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識の習得を目指す。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。

成績評価の方法

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的な作業を繰り返すことにより進行する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史学基礎演習	ささき まこと 佐々木 真	外国史1必(西洋史)	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業です。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を通じて、以下のような内容を扱います。

- 図書館の使い方
- インターネットの利用方法
- 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
- レポートの書き方と提出されたレポートの添削
- 授業での発表
- 外国語文献の講読

履修上の留意点

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識を習得してもらいます。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席して下さい。原則として欠席は認めません。

成績評価の方法

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

その他

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的作業を繰り返すことにより進行します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学基礎演習	した ら ひろ み 設 楽 博 己	考古学1必	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

考古学の諸問題 標記のテーマにもとづいて、研究発表の方法と実際を学ぶ。研究発表に際しては、問題提起、学史の理解、適切な資料の提示、論理的な分析によって、結論を明快に述べる必要がある。そのためには、わかりやすいレジュメの作成、プレゼンテーションなど他人を納得させる客観的な技術を身につける必要がある。また、司会のしかたを学んだり、他人の発表を聞いて、質問をする癖を身につける。考古学は、発掘調査などにもとづく資料を丹念に分析して歴史を復元する実証的な学問である。発掘調査は日々行なわれ、新たな資料が続々と現れるので、常に新しい情報に敏感になる必要があり、そうした力も養う。

講義の内容・授業スケジュール

まず、前期は私がいくつかの研究発表を行なって、それに対する質疑応答を行なう。前期の後半から後期は、受講者が研究発表を行ない、討論する。発表は、『文化財発掘出土情報』の中から、好きな記事を選び、それについて調べて行なう。

履修上の留意点

講義中の私語は厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので、要注意。

成績評価の方法

発表及び中間レポートと、年度末の試験、出席による評価。

教科書

とくになし。

参考書等

『文化財発掘出土情報』

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	日本史1必	4
日本史概説 I (古代・中世)		外国史・考古学1・2・3・4選必	
		歴史1・2・3・4必(日本史)	
		歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

参考書等

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館)
青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会)
笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)
佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	でぐち ひろ ゆき 出 口 宏 幸	考古学1・2・3・4選必	4
日本史概説 II (近世・近代)		歴史1・2・3・4必(日本史)	
		歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	

講義のねらい

日本史概説といいながら、戦国時代～近代初期までを中心にした内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の授業は、戦国時代から近世前期を中心に講義する予定です。戦国時代を混乱と見るだけでなく、あらたな社会を創り出す過程という視点から、戦国の世に生きた様々な人々の姿を追ってみたいと考えています。そして、戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行する過程で、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点をもちつつ話を進めます。

後期の授業は、近世中後期から近代初期にかけて講義する予定です。近世社会が成熟し、諸制度が整備されると、文書による支配が展開します。これは、近世社会の特徴のひとつで、領主は文書による支配を実現します。財政基盤である年貢を、村からいかに徴収するかは最重要課題で、そのための仕組が村に構築されます。行政村として存在した近世村に着目することで、近世社会における村の重要性を解説します。また、近代社会についても近世社会の諸制度が、いかに変容し受け継がれたのか、また否定されたのか考えます。

歴史学では、史料に基づき、時代像を実証的に構築することが重要です。古文書を読むことは、当時の人との「会話」であり、追体験することといえます。歴史と向き合う時間は、貴重かつ重要な「体験」といえるでしょう。

成績評価の方法

試験80%、平常点20%

教科書

必要に応じ、授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	くまもと ふみお 熊本史雄	考古学1・2・3・4選必	4
日本史概説Ⅱ (近世・近代)		歴史1・2・3・4必(日本史)	
		歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	

講義のねらい

幕末から明治、大正、昭和を経るなかで、近代日本は国民国家を如何にして形成・発展させてきたのか、その過程について政治、外交、文学、ことば(「国語」の形成)などを切り口に講述する。これら各テーマは、近代日本が西洋を中心とした外の世界との接触において、その対向たる「内」の問題として還元されていったものである。

本講義では、そうした諸相における個々の検討を積み重ねることによって、「対外関係」という視点から全体を通して近代日本像の提示を試みる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：近代日本の西洋体験／「国語」の創出／「国語」の海外進出と植民地政策
後期：近代日本の対外政策と外交思想(山県有朋／内藤湖南／内村鑑三／宮崎滔天／牧野伸顕／幣内喜重郎／石橋湛山／佐藤尚武／石原莞爾／吉田茂)

履修上の留意点

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく「考える歴史」、「発見する歴史」を。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

伊藤 隆『昭和史をさぐる』(朝日文庫)1991年
中野目徹『書生と官員－明治思想史点景－』(汲古書院)2002年
細谷千博『日本外交の軌跡』(NHKブックス)1993年
三好行雄編『漱石文明論集』(岩波書店)1986年
E.H. カー著 清水幾太郎訳『歴史とは何か』(岩波新書)1962年
イ・ヨンスク『「国語」という思想』(岩波書店)1996年

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史概説	いし い ひとし 石井 仁	外国史1必(東洋史)	4
東洋史概説Ⅰ (古代・中世)		歴史1(東洋史)	
		歴史1・2・3・4必(東洋史)	
		歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	

講義のねらい

歴史教科としての「東洋史」は、近代日本におけるアジア・オリエン研究＝東洋学を母胎としており、この学問・研究の成立と発展は、明治以来の日本の対アジア政策と密接にリンクしています。講義では、東洋史の生い立ちをたどりつつ、アジアの歴史を中国古代・中世史、ならびに日中関係史を柱に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～3) 東洋史の誕生 (4～6) 時代区分論争
(7～9) 黄河文明と長江文明 (10～13) 漢の武帝とその時代
(後期) (14～16) 三国志の世界 (1) (17～19) 三国志の世界 (2)
(20～22) 六朝貴族制 (23～26) 隋唐帝国の成立

履修上の留意点

講義を通して、歴史を学ぶことの意味を考えて欲しい。

成績評価の方法

学期末試験・レポート(1～2回)の成績、および出席状況を総合的に評価します。

教科書

熊本崇編著『中国史概説』(白帝社)
適宜、プリント資料も配付します。

参考書等

講義で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	こばやし そう はち 小 林 惣 八	考古学1・2・3・4選必	4
東 洋 史 概 説 II (近世・近代)		歴史1・2・3・4必(東洋史)	
		歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	

講義のねらい

アジア史を基点に世界史の歩みを多角的にとらえることを主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

その場合の取り扱い方法として、同時代史に力点を置いて講義する。
 例えば、・中国の秦漢時代史とローマ帝国の盛衰
 ・モンゴル民族の発展とヨーロッパ騎士団との対立
 ・清の黄金時代とヨーロッパの市民革命…など10項目を設定する。ときに、ディスカッションや課題学習も考慮に入れる。

成績評価の方法

前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。

教科書

特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。

その他

出席を重視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 概 説	さ さ き まこと 佐 々 木 真	外国史1必(西洋史)	4
西 洋 史 概 説 I (古代・中世)		歴史(東洋史)・歴史(東洋史)1・2・3・4選必	
		歴史1・2・3・4必(西洋史)	
		歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	

講義のねらい

ヨーロッパ史の流れのなかで、いくつかの題材をとりあげて、その内容についての歴史学上の見解の変遷を解説します。それにより、歴史学の学問的特質や、現在を生きる我々と過去との関係について検討を加えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1) はじめに
 - (2～5) ギリシア史の理解
 - (6～8) ローマ帝国の意義
 - (9～12) キリスト教について
 - (13) 前期のまとめ
- (後期)
- (14～16) 中世社会について
 - (17～18) ルネサンスについて
 - (19～20) 近代ヨーロッパの成立
 - (21～25) 近代ヨーロッパへの視点
 - (26) まとめ

歴
史

履修上の留意点

週1回の講義で、具体的な事件を挙げつつヨーロッパ史全体の流れを述べることは不可能であり、講義では抽象的な解説が多くなります。そのため、ヨーロッパ史に関する具体的な歴史知識がある程度有していることを前提として講義をするので、高等学校の世界史程度の知識は自ら身につけておいて下さい。また、講義中に紹介された書籍をなるべく多く読むことを希望します。

成績評価の方法

成績は前期末のレポートと学年末試験および出席により判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

参考書等は講義中に、必要に応じて紹介します。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本考古学概説	さか い きよ じ 酒 井 清 治	考古学1・2必	4
考古学概説 I		日本史・外国史1・2・3・4選必	
(日本)		歴史1・2・3・4必(考古学)	
		歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	

講義のねらい	日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	考古学の遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、最新の資料も紹介しながら日本考古学を時代史的に概観する。講義は最初に考古学とは何かにあつて研究方法について述べたのち、旧石器時代から縄文時代・弥生時代・古墳時代・歴史時代を概観する。
履修上の留意点	遅刻厳禁、私語厳禁。
成績評価の方法	定期試験で採点。平常点も加味する
参考書等	鈴木公雄『考古学入門』（東大出版社） 安藤雅雄『考古学キーワード』（有斐閣） 江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社） そのほか授業中に解説しながら紹介する。
その他	講義の中で OHP を使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国考古学概説	い い じ ま たけ つぐ 飯 島 武 次	考古学1・2必	4
考古学概説 II		日本史・外国史1・2・3・4選必	
(外国)		歴史1・2・3・4必(考古学)	
		歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年 飯島武次『中国考古学概論』（同成社）2003年
その他	スライドやビデオを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
世界史概説	井村行子 <small>いむらゆきこ</small>	考古学1・2・3・4選必	4
西洋史概説Ⅱ		歴史1・2・3・4必(西洋史)	
(近世・近代)		歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1講 世界史の成立
- 第2講 古代オリエント
- 第3講 古代地中海世界(1)
- 第4講 古代地中海世界(2)
- 第5講 中世ヨーロッパ世界
- 第6講 ビザンツ帝国と正教世界
- 第7講 近世ヨーロッパ(1)
- 第8講 近世ヨーロッパ(2)
- 第9講 近世ヨーロッパの社会経済(1)
- 第10講 近世ヨーロッパの社会経済(2)
- 第11講 オスマン帝国と東ヨーロッパ
- 第12講 革命の時代
- 第13講 自由主義と発展主義
- 第14講 諸国民の春
- 第15講 帝国と国民統合
- 第16講 ベル・エボック
- 第17講 ハプスブルク帝国とラテンアメリカ
- 第18講 世界戦争の衝撃
- 第19講 大衆動員の時代
- 第20講 大恐慌と一国主義的分立状況の出現
- 第21講 社会主義的ユートピア
- 第22講 戦後世界と冷戦
- 第23講 冷戦の終結と新世界秩序
- 第24講 エスニシティとジェンダー

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

教科書

近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社)1999 3,200円(必ずしも購入しなくてよい)

参考書等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

その他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
史 学 概 論	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	考古学1必	4
		日・外史1・2・3・4選	
		歴史2・3・4必	

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代における歴史認識の一般的な例として、たとえば、ドロイゼン、クローチェ、ブロック、フェーブル、ラッツェル、ブラーシュ、ホイジンガー、カーなどの見解を紹介する。次に、古代から近代までの歴史認識の展開と概略を、順次中国、日本、西洋においてみる。もとより各地域それぞれにおける詳細な史学的論点は、当該の授業に委ねるものの、本講ではそれぞれの地域においては、それぞれ歴史認識の特徴のあることを理解したい。そしてその特徴の意義を考え、広く古代から現代、そして未来に続く人間の歴史を考えたい。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定める必要はない。前期の講義開始の最初の授業で掲げる参考書、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて指摘する参考書を読んでいただきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 学 史	ゆ あさ たかし 湯 浅 隆	日本史1・2必	4
		外国史・考古学2・3・4選	
		歴史2・3・4必(日本史)	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

歴 史

講義のねらい

現在の私たちは、日本列島を舞台として各時代の人びとが積み重ねてきた営為のうち、いくつかの要素を抽出し、系統的に組み立てて日本史像を構築している。これまでの日本史認識の積み重ねの到達点として、こんにちの日本史像があり、それは将来も変わり続けていくと想定できる。

この科目では、これまでの日本史認識の変遷を説くことで、われわれの出発点として、日本史学における現在のありようを理解することを目的としている。この理解を踏まえて、これから各自が自らの歴史像を構築していくことを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 記憶の保存と継承 (2) 過去への認識 (3~4) 中国の正史 (5~6) 8世紀以前の修史 (9) 六国史 (10) 私撰の歴史 (11~13) 中世の史書(愚管抄・神皇正統記・太平記)
(後期) (14~15) 神道・儒学 (16~19) 近世の史書(幕府の修史・大日本史・国学者の歴史) (20~22) 近代の日本史学 (23~26) 現代の日本史学

履修上の留意点

日本史学の潮流を知識としてではなく理解として記憶するようにして欲しい。

成績評価の方法

いくつかの事項については、授業中に各自の見解を尋ねる。前期末・後期末には教場試験を課す。評価はすべてを合算して行なう。

教科書

特定のものを使用せず、プリントを配付する。

参考書等

その都度、提示する。

その他

授業は講義形式となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学 史	こ ^{やなぎ} 柳 ^{よし} 美 ^き 樹	考古学1・2必	4
		歴史2・3・4必(考古学)	
		歴史・地理・図画(特修別)2・3・4選	

講義のねらい

日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理の構築の仕方、議論の展開について学び、また近年の考古学の発見がどういう意義を持っているのかを確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法等の確立を望む。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを発見、発掘調査、研究者列伝、論争などを軸として、日本通史の時代別に分けて論じる。

履修上の留意点

限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書に自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して補充して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。
学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。

成績評価の方法

夏季休暇のレポート作成
学年末の試験
出席はあくまで参考

教科書

なし（レジュメを準備し、授業時に配布している）

参考書等

授業時に紹介していく

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	く ^{ほた} 久保田 ^{まさ} 昌 ^き 希	歴史3必	4

講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では数年来、戦国大名関係の文書と取り組んでおり、そのなかでもとくに東国戦国大名（今川・武田・北条・上杉氏）を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一点の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

歴史

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

適宜史料コピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

その他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	くまもと ふみお 熊本史雄	歴史3必	4

講義のねらい

昭和期を中心とする近代日本の政治と外交につき、配布史料を読解、検証する作業を積み重ねることで、歴史像を自ら構築する力を養う。これら作業を、翌年に控えた卒業論文作成の準備に役立てたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、外交史料館所蔵記録（公刊物としての『日本外交文書』を含む）や外交官、政治家の日記などを講読対象史料・文献とする。

報告者は、事項、人物、問題の背景など基礎的事項を把握したうえで、報告者自らが設定した問題となるテーマに沿って報告をする。その際、必要に応じて先行研究や関連史料なども踏まえること。さらに、参加者全員で討論し、問題に対する理解を深めていく。

履修上の留意点

配布史料や課題図書参照指定箇所には、必ず事前に目を通すように。授業冒頭には、配付史料・図書に対する感想や問題点、疑問などを、「1分間コメント」として参加者全員に手短かに述べてもらう。

成績評価の方法

出席、報告内容、授業態度などを基に総合的に判断する。

教科書

適宜史料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	こばやし かずゆき 小林和幸	歴史3必	4

講義のねらい

日本近現代史上の政治、思想、文化に関する諸問題を検討する。近代日本の形成・確立の過程は、その複雑さと多様性の故に、確定されていない歴史的な事実も多く残されている。また、それだからこそ、興味深い研究のテーマも豊富に存在しているといえるであろう。本演習は、受講者による史料に則した報告と演習参加者全員による討論を通じて、各自が日本近現代史に関する史料の読み解き方や研究法を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、幕末維新期及び明治・大正期の史料を素材とし、担当報告者が正確に史料内容をつかんだ上立って、興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに参加者全員によって討論をすることで日本近現代史に関する理解を深めていく。

履修上の留意点

既存の価値判断から離れ、史料に基づいた新しい日本近現代史像を構築するという積極的な姿勢を期待する。

成績評価の方法

出席、報告、学習態度を総合的に勘案する。

教科書

教室で指示すると共に、適宜史料を配布する。

参考書等

報告に則して、関連する先行研究を適宜参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	たきの瀧 おとよし ゆきの	歴史3必	4

講義のねらい

『古事記』と共に、日本古代史の研究の不可欠の史料である『日本書紀』をテキストにして、史料の読解力や扱いかたを養成すると共に、史料を通して古代社会を構築する力を養いたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの数回は、私が、『日本書紀』についてのガイダンスをします。そのあとは、参加者に担当した部分の報告をしてもらいます。

履修上の留意点

演習は、講義とことなり、みなさんの参加の度合いが強い授業形態です。こうした形態をプラスにするのもマイナスにするのもみなさんの熱意次第です。積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

担当個所の報告内容、および他者の報告に対する意識によって評価します。

教科書

はじめの授業のさいに、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なかの たつや 中野達哉	歴史3必	4

講義のねらい

史料の解読・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史（織豊期～幕末期）研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解読から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞哀藁』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世の社会について考える。講読は受講者が分担して解読し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

その他

史料の見学・調査なども考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史3必	4

講義のねらい

中世史料の講読を通じて、戦乱の世をしたたかに生きた人びとの生活・文化・宗教等について考えます。また、人びとのものの考え方、慣習、しぐさと芸能、主従の関係、男女の関係、人びとの信仰と神や仏などについても考えたいと思います。例えば、中世の村々の寺院は文字通り駆込み寺化しておりましたが、どのような人物が駆込んで身の安全を図ろうとしたのでしょうか。敗戦者・殺人犯・離縁希望者・逆心者（反逆者）・博徒など様々です。また、「女房の密懐」（不倫）にプライド高い男たちはどのように対応したのでしょうか。戦国大名は家臣同士が争うような「困った」問題にいかに対応しようとしたのでしょうか。史料に基づく事実の究明はとても興味深いものです。少し難しいが、すぐにおもしろくなる授業にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

どのようなものを読み進めて行くか、受講者の希望を生かしたものにしますが、以下のような授業を予定しています。

前期の第1回から14回は室町幕府法や戦国大名の分国法の中から不入・走入り（駆込）・無縁所や密懐（不倫）に関するものなど、文化史に関する条文を中心に読み進めます。

後期の第15回から26回も引き続き戦国大名の分国法を講読していきますが、さらに、戦国時代に嫁ぐ者に対して、求められる「嫁」像を説く『幻庵覚書』、弾丸が飛び交った乱世を生き抜いた「おあむ」「おきく」の物語などにも触れたいと思います。

履修上の留意点

最初は少し難しいが、すぐに興味深いものになります。探究心をもって史料に臨んでほしいと思います。

成績評価の方法

担当した史料に対する発表状況、他者の発表に対する質問等での積極的な参加などを考慮します。試験は行いません。

教科書

随時、史料のコピーを配布します。

参考書等

随時紹介してゆきますが、『くずし字解説辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	歴史3必	4

歴
史

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	湯浅隆	歴史3必	4

講義のねらい

日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマを中心とした演習となる。具体的なテーマに基づいて、先行する研究成果の検討、史料に接し文言の解釈、歴史像の構築などを行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 史料を輪読しながら、江戸時代後半の社会のありようを大きく把握することをめざす。
 テキストには『日暮硯』(岩波文庫)を用いる。
 (1～3) 先行研究の整理 (4～13) 史料の講読と内容検討
 (後期) 江戸町方にかんする史料を講読し、歴史事象の抽出と内容検討とを行なう。併せて、卒業論文作成に向けての課題の絞り込みをおこなう。
 (14～21) 史料の講読と内容検討 (22～26) 卒業論文にむけて課題の絞り込み

履修上の留意点

『日暮硯』は4月授業開始前に入手し、岩波文庫本78ページまでは読んでおくこと。

成績評価の方法

授業中の発表・討論での発言に基づく。

教科書

前期は『日暮硯』(岩波文庫)、後期はプリントを配付する。

参考書等

その都度、提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石井仁	歴史3必	4

講義のねらい

中国史、ことに隋唐時代以前の歴史を研究する際の基本史料は、歴代王朝によって公式の記録と認定された歴史書-「正史」です。正史は司馬遷『史記』から『明史』まで24あり、「二十四史」と呼ばれています(中華民国の時に正史に加えられた『新元史』をあわせて「二十五史」ともいう)。正史はすべて本紀(帝王の伝記、および在位中の諸事件の記録)と列伝(帝王以外の重要人物の伝記、もしくは諸外国の記録)を柱とする、いわゆる紀伝体の形式で書かれています。二十四史中、魏・蜀・呉-三国時代(3世紀)を記録したものが、有名な『三国志』(西晋の歴史学者、陳寿の撰)です。講義では、この『三国志』の講読を通して、正史の読み方、あるいは正史を用いた研究方法などについての理解を深めることを目的とします。なお、『三国志』のどの巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) ガイダンス (3～13) 講読演習
 (後期) (14～26) 講読演習

履修上の留意点

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

成績評価の方法

講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。

教科書

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します(コピーを配付)。

参考書等

随時紹介します。

その他

テキストを受講者が輪番で漢文訓読します(必要に応じて現代語訳)。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	いし かわ しげ お 石 川 重 雄	歴史3必	4

講義のねらい

本講義は清朝の趙翼『廿二史劄記』を読みながら、史料学、史料批判などについて学んでいくことを目的といたします。また宋代の記事を中心にすすめてまいります。まず各自関心のある項目をいくつか選択し、ノートに原文を書写することからはじめます。つぎに返り点を附し、訓読し、口語訳をつくります。さいごに趙翼が援用した記事と正史の記事との校合、当該時代の語彙・人物・地名等の検討をして、「訳註」を完成させたいと思います。このほか講義の合間に、「暦のはなし」「年号のはなし」「諱を避ける」などの基本問題についても考察する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期〉

1. テキスト説明 (4月)
2. 辞書・工具書説明 (4月)
3. 講読発表 (4月～7月)
4. 暦のはなし (4月～7月)
5. 諱を避ける (4月～7月)

〈後期〉

6. 「訳註」(前半) レジュメ提出 (9月末)
7. 講読発表 (10月～1月)
8. 年号のはなし
9. 正史編纂のはなし
10. 「訳註」(後半) レジュメ提出 (1月末)

履修上の留意点

発表形式ですすめます。各自予習が必要となります。授業の際には適当な漢和辞典を持参して下さい。出席重視。

成績評価の方法

成績評価は、平常の発表、「訳註」レジュメの提出(2回)、レポートによって行う予定です。

教科書

テキストは、プリントを配布いたします(B4版)。各自ファイルして下さい。

参考書等

参考書は講義時間中に説明します。

その他

輪読発表形式をとります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	すぎやま きよひこ 杉山清彦	歴史3必	4

講義のねらい

歴代正史の考証である清・趙翼著『二十二史劄記』、および清の故事・制度を記した清・礼親王者『嘯亭雜録』をテキストとして元・明・清代に関する記事を選読し、漢文読解力を養成するとともに近世中国史・内陸アジア史の基礎知識を獲得することをめざす。あわせて、これらは一次史料そのものではないが、これらを手がかりとして、史料の読解・利用の方法の修得と着眼・問題意識の涵養をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

初回はガイダンス。以降、講読。受講者全員に漢文の訓読・現代語訳を課し、そのうち担当者にはレジュメを作成・講読してもらう。

履修上の留意点

演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。

成績評価の方法

出席状況を含む平常点による。場合によりレポートを課す。

教科書

テキストは両書とも中華書局刊の標点本を使用し、講読箇所のプリントを配布する。

参考書等

随時紹介する。

その他

各自、漢和辞典など基本工具書必携。詳しくは開講時に紹介・指導する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおしろ みちのり 大城道則	歴史3必	4

講義のねらい

最終目標である卒業論文作成の準備のために、文献の読み方、資料の集め方と扱い方を学ぶのが講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

- ①卒業論文作成の手始めとして、西洋古代史に関する外国語文献をテキストとし輪読を行う。
- ②各自が決定した卒業論文作成のための文献収集とその結果報告を行う。
- ③後期には、各自が選んだ卒業論文のテーマについての発表・報告を行い、意見交換を行う。

履修上の留意点

まずは演習に参加し、他の学生の考え方などを知ることが重要である。

成績評価の方法

講義に対する取り組み姿勢と出席率により評価する。

教科書

テキストは受講生と相談のうえ決定し、そのコピーを配付する。

参考書等

必要があれば適時紹介する。

その他

後期に行う発表・報告は1時間に2～3人を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さ さ き ま こ 佐々木 真	歴史3必	4

講義のねらい

西洋近代史に関する英語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養うと同時に、卒業論文作成の準備を行います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定します。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する文献の調査レポートを作成する課題を出します。卒業論文作成の準備としては、後期のあいだに、各受講生に、自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づけます。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してきて下さい。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。テキストを正確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となります。そのため、欠席は原則として認めません。また、文中に出てくる固有名詞は、できる限り事前に調べておくこと。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意して下さい。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意します。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらいます。また、年度最初の授業には必ず出席して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ふ せ じ ま ま さ よ し 伏島 正義	歴史3必	4

講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマを具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語、仏語、英語のいずれかで書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集、さらにその解説には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

共通するテーマ及びテキストは受講生と相談し、決める。

参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	飯 島 武 次 <small>い い じ ま た け つ ぐ</small>	歴史3必	4

講義のねらい

中国語原典『新中国考古五十年』（1999年）および『新中国的考古発現和研究』（1984年）の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『新中国考古五十年』（文物出版社）1999年
『新中国的考古発現和研究』（文物出版社）1984年

参考書等

飯島武次『中国考古学概論』（同成社）2003年

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	酒 井 清 治 <small>さ か い きよ じ</small>	歴史3必	4

講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集法、執筆の方法を学ぶ。また、論文作成の基礎知識を養う。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で論議する。各自で興味あるテーマを日本考古学の中から選び、研究レポートを書く。それを授業で資料収集方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらう。それについての問題点を質疑応答する。

履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。また関連する遺物・遺跡を自ら積極的に見学することを心がけること。

成績評価の方法

研究レポート、発表要旨、報告者へのコメント、出席状況。特に授業で発表者に質問した回数 は重視する

教科書

研究する上に必要な論文等は授業の中で指摘する

参考書等

論文掲載の引用文献

その他

授業はゼミ形式で

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	したらひろみ 設楽博己	歴史3必	4

講義のねらい

洋書講読 縄文時代の文化がアメリカン・ネイティブの文化と類似していることは、古くから指摘されてきた。最近では、アメリカン・ネイティブが非農耕社会であるにもかかわらず、階層化しており奴隷もいることから、縄文文化も階層化社会だったのではないか、という議論がおこなわれている。しかし、比較の対象になるアメリカン・ネイティブの文化の歴史がどのようなものか、というまとまった記述はさほど多くない。

アメリカ合衆国ポートランド州立大学のケネス・M・エームズ教授らが著した『Peoples of the northwest coast』は、すぐれたアメリカン・ネイティブの考古学書であり、上述の比較のための有効な情報を得ることができる。そこで、受講者には割り当てられた部分を邦訳してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

まず、割り当てを決める。4・5月は邦訳の準備期間にあてると同時に、すでに私が邦訳した部分の紹介をおこない、本書に慣れる。その後、1時間に2名ほどの訳文発表を行い、翻訳や考古学的内容についての議論をおこなう。

履修上の留意点

考古学の普遍的方法論を身につけるための準備として、洋書講読は必要である。割り当て部分だけではなく、毎時間各自翻訳をしていくことが大事。

成績評価の方法

割り当て部分の翻訳の提出と年度末の試験。試験は、テキストから取り出した文章を翻訳してもらう。

教科書

テキストは翻訳部分のコピーを配布するが、できれば購入を薦める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	くぼたまさき 久保田昌希	歴史4必	4

講義のねらい

本講座では、3年次での演習Iの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討論を行いたい。そしてそのことで、受講者（発表者）自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	くまもと ふみお 熊 本 史 雄	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を主として行う。
昭和期を中心とする日本近代史研究の状況を把握しつつ、各種公文書（内閣、外務省、陸軍省、海軍省など）や私文書（日記や手紙）についての史料状況を解説する。また、関連する先行研究を読むことも併せて行う。これらを踏まえた後、受講生が自らのテーマについて研究を深め、卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は上記についての解説と先行研究の確認を行う。前期の後半より後期にかけて、受講生各自が報告を行い、それに基づき参加者全員で討論を行う。

履修上の留意点

各自の選んだ研究テーマに真摯に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを基に総合的に判断する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	こばやし かずゆき 小 林 和 幸	歴史4必	4

講義のねらい

維新、明治期を中心とする日本近代史研究の現状を把握した上で、史料状況を検討分析し、近代日本の政治や文化について考察する。受講者各自のテーマについて研究を深化させ、あわせて「卒業論文」作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

担当者が、先行研究や関係史料の分析検討の結果を報告し、さらに演習参加者全員による討論を行い、各自テーマの理解を深める。

履修上の留意点

研究テーマに対する真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを総合的に勘案する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	たき おと よしゆき 瀧 音 能 之	歴史4必	4

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	なかのたつや 中野達哉	歴史4必	4

講義のねらい

大学生生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解説・分析力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史(織豊期～幕末期)を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程(順番)を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ひろせりょうこう 廣瀬良弘	歴史4必	4

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていきます。授業スケジュールとしては、

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| (1・2) 卒業論文のテーマの提示 (4月～) | (3～6) 研究史の整理 (5月～) |
| (7・8) 卒論論題の確定 (6月10日論題提出) | (9・10) 研究史の整理と参考文献の検討 |
| (11～13) 中心的史料等の分析と論点の明確化 | (14) 卒論の章立に関する作業 |
| (17・18) 卒論の概要に関する発表 (9月～) | (19・20) 中間報告 |
| (21) 卒論作成に関する技術的なアドバイス | (22) 最終報告 |
| (23・24) 下書の提示に基づく指導と添削 | |
| (25・26) 清書・完成・提出 (12月10日提出) | (27) 卒論をふりかえる |
- の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導という形式で進めていきます。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めらるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価します。

教科書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していきます。

参考書等

随時、示していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	まつもと のぶ みち 松本 信 道	歴史4必	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。

後期は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。

履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

その他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ゆ あさ たかし 湯 浅 隆	歴史4必	4

講義のねらい

日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマで卒業論文を作成しようとする者を対象とした演習となる。

卒業論文を4年間の生活が凝縮するものとして捉え、それへ向かってオリジナルの作品を悔いなく創りあげていくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 卒業論文のテーマ・先行する研究、論文構成の骨格を確定させていく。
 (1～5) 卒業論文のテーマを確定し、先行研究を把握する。(6) 論題の確定
 (7～13) 史料を収集し検討を加えつつ、中間発表を行なう。
 (後期) 論文の構成を確定し、個々の論証を加えつつ、論文の作成にあたる。
 (14～20) 論旨の中心部分について発表を行ない、ゼミ構成員の検討を受ける。
 (21～26) 論文下書きを報告して、ゼミ構成員の検討を受ける。

履修上の留意点

自己の卒業論文のみならず、ゼミ構成員全般のテーマ・方法に関心をもつこと。

成績評価の方法

授業中の発表・討論での発言に基づいて行なう。

教科書

使用しない。

参考書等

その都度、提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	石井 仁 <small>いし い ひとし</small>	歴史4必	4

講義のねらい

東洋史（中国史）に関する卒業論文の作成を指導します。研究テーマの設定から、参考文献や基本史料の調査・収集・解読、具体的な論文執筆の方法・手順に至るまで、全般的にバックアップします。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1）ガイダンス （2～13）演習
（後期）（14～26）演習

履修上の留意点

講義時間外も、可能なかぎり、相談に応じます。「自分の研究なのだ」という自覚をもち、一生に一度の卒業論文の執筆に情熱を傾けましょう。

成績評価の方法

卒業論文の作成に対する取り組み方を総合的に評価します。

その他

前期では、各自の問題関心にかかわる基本的な研究、ないしは注目する研究について調査し、輪番で報告します。そのうえで、これまでの研究の問題点や精査を要する事項などをチェックしつつ、研究テーマをしばりこみ、論文作成の手順を確認します。後期では、できるだけ早い時期に、各自の研究テーマを輪番で中間報告し、作業手順を再確認します。進捗度によっては、作業手順（あるいはテーマ自体）の補足・修正などについてもアドバイスします。ただし、受講者が極端に少ない場合には、前期・後期とも個別指導をおこないません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	杉山 清彦 <small>すぎ やま きよ ひこ</small>	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文、とくに近世～近現代中国史、および内陸アジア史を扱う卒業論文の作成を指導する。大学での4年間の学業の集大成である卒業論文とは、自分の問題意識と興味関心に基づいてテーマを設定し（問題設定）、それを解くための史資料を収集・検討し（史料読解・批判）、自分の検討結果・見解を論理的に他者に提示する（構想報告・論文執筆）という一連の過程である。受講生各人がこの過程を体験し、かつ朋輩の報告・討論に参加することによって、問題発見・解決の力とプレゼンテーションの力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文へ向けての構想報告とそれに対する討論・指導を主として進め、並行して東アジアの近世～近代史に関する秀れた研究論文を講読する。いずれも受講生が輪番で担当する。スケジュールについては、開講後受講生の人数・テーマを勘案して相談する。

履修上の留意点

演習であるので、毎回の出席はもちろん、発表・討論に積極的に参加する姿勢が求められる。卒業論文作成に関しては、演習の时限に関わりなく相談に応じるので、遠慮なく相談されたい。

成績評価の方法

出席状況を含む平常点による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	おおしろみちのり 大 城 道 則	歴史 4 必	4

講義のねらい

演習 I で行った基礎作業を踏まえ、最終目標である卒業論文の完成に向けての指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は各自がそれぞれ選んだ外国語文献を読み、その内容について講義中に紹介を行う。後期は各自が準備を進めている卒業論文のテーマについての発表を行う。その際に準備状況についての最終的な確認を行う。

履修上の留意点

就職活動を優先することはいたしかたないが、発表者は必ず欠席しないこと。

成績評価の方法

各自の発表内容と授業への積極的な参加・出席を重視する。

教 科 書

教科書は無いが、発表者各自がレジユメを作成し、それをコピーし配布する。

参 考 書 等

必要があれば適時紹介する。

そ の 他

発表・報告は1時間に1～2人を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ささきまこと 佐々木 真	歴史 4 必	4

講義のねらい

外国語文献の輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは昨年度使用したものの続きを読むことを予定しています。また、必要に応じて各受講生の卒業論文の準備状況を報告してもらいます。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してきて下さい。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意して下さい。

そ の 他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらいます。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	伏 島 正 義	歴史4必	4

講義のねらい

演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの段階で読むことのできなかつた文献の入手と解説に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。これに並行して各人が進めてきた研究の進捗状況、成果を順次発表する。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職しようとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかつた例をこれまで少なからず見てきたからである。なお、演習に出席することは当然であるが、万一就職活動その他の理由により欠席する場合は、必ずその理由を報告していただきたい。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。

そ の 他

他人（教師）による評価にとどまるのではなく、自身にとっても、大学生活の、最後にして最大の、忘れ難い記念碑となるような卒業論文を作成すべく、心がけてください。自身が心をこめて自身におくった贈り物ほど、いとおしく、尊いものはない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	飯 島 武 次	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第になる場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

そ の 他

授業方法は、学生による研究発表。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	酒井清治	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文をどのように書くのかを指導する。

講義の内容・授業スケジュール

前半は論文の書き方について説明し、各自自分のテーマと関連ある主要論文を読み込み、研究の方向性を決め、各自のテーマに沿った卒業論文の構成作りを行う。後半はテーマに基づいた研究発表を行い、皆で論議しながら論文としてまとめられるよう指導する。

履修上の留意点

発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。

成績評価の方法

卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。発表要旨、発表者への質問も考慮し、授業で発表者に質問した回数は重視するので積極的に発言してほしい。

参考書等

授業の中で紹介する。

その他

授業はゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	設楽博己	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文の指導を行なう。論文は、先行研究を咀嚼しているか、適切な素材を用いているか、正確な分析を行なっているか、妥当な結論に達しているかが要求される。数回にわたる中間発表によって、そうした手続きが論理的に行なわれているかどうか、自分自身で確認できるようにする。論文は、章立ての階層構造の論理性、文体の統一や図表の適切なレイアウトなども要求される。人が読んでわかりやすい論文を仕上げるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

前期2回、後期2回ほどの中間発表を行なう。前期はまず、6月のテーマ提出を目指し構想を発表した後、学史を中心とした研究発表を行なう。後期は資料分析について研究発表を行なった後、章立てを完成させて各章ごとにその要約を発表する。質疑応答も行なう。

履修上の留意点

与えられた課題をスケジュールどおりにこなすこと。

成績評価の方法

出席及び発表内容や質疑応答の状況と年度末の試験で評価する。

参考書等

その都度指示。

歴
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 発 掘 実 習	酒井 清治・飯島 武次 設楽 ひろみ 博巳	歴史3必(考古学)	2

講義のねらい

考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後に計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点および発掘実習の態度と発掘日誌などを総合して判断する

教 科 書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（雄山閣）1984年

参 考 書 等

授業の中で資料を配付する

そ の 他

通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 史 料 講 読 I	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	日本史・歴史(日本史)2選必	4
		外国史・考古学2・3・4選	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

歴

講義のねらい

8世紀のはじめに成立した『常陸国風土記』をテキストにして、それを読みながら、古代の常陸および東国の社会のさまざまな様相について考えてみたいと思っています。

史

講義の内容・授業スケジュール

毎回、テキストを使って、その解説をおこないますが、単に私だけが、講義をするのではなく、質問などを通して出席者とのコミュニケーションを大事にしたいと考えています。また、できれば、ビデオなどの視覚教材も使いたいと思っています。

成績評価の方法

筆記試験をおこない、その結果を重視しますが、それに授業での平常点を加えて評価します。

教 科 書

はじめの授業のさいに、指示します。

そ の 他

ただ、授業をきくのではなく、積極的に参加しようという熱意を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅱ	くぼたまさき 久保田昌希	日本史・歴史(日本史)2選必	4
		外国史・考古学2・3・4選	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。それによって、各自が歴史像を構築していくのである。そうした積み重ねが大事である。その過程で各自が新たな発見を通して、楽しさや意義を見出すことができるだろう。

史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そしてそのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。

講義の内容・授業スケジュール

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきであろうが、もとより中世史料は前時代とくらべて多く、その一端に止めざるをえない。史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

(前期)

1. 中世史料入門
2. 吾妻鏡を読む
3. 御成敗式目・建武式目を読む
4. 中世史料所蔵機関の紹介

(後期)

5. 中世民衆史料を読む
6. 公家日記を読む
7. 棟札や金石文を読む
8. 中世史料・遺跡保存への視点

履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史史料講読Ⅲ	なかの たつ や 中 野 達 哉	日本史・歴史(日本史)2選必	4
		外国史・考古学2・3・4選	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

また、近世史料のなかには、活字になっていないものも多くあり、その所在も個人宅や図書館・博物館・文書館など多様である。史料の所在や調査方法などについても触れていきたい。

履修上の留意点

難解なものとは怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。

成績評価の方法

授業での平常点および年度末に行う定期試験により評価する。

教 科 書

教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史史料講読Ⅳ	こ ぼやし かず ゆき 小 林 和 幸	日本史・歴史(日本史)2選必	4
		外国史・考古学2・3・4選	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取扱い方と解読の手法を学ぶことにより、日本近代史研究のための基礎的な史料読解力の養成を目的とする。あわせて、近代史料の特質や史料の伝来等を解説すると共に、各史料保存機関の所蔵史料についても随時紹介していく。

講義の内容・
授業スケジュール

幕末期から明治・大正期にかけての近代日本の公文書類や政治家の書翰、日記等の一次史料をテキストにして、受講者と共に解読し史料内容の検討分析を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

教 科 書

随時、テキストとなる史料を配布する。

参 考 書 等

尾玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂)

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書研究 I	ひろせりょうこう 廣瀬良弘	日本史2・3・4選必	4
古文書講読 I		外国史・考古学2・3・4選 歴史2・3・4選	

講義のねらい

古代・中世古文書の読解力と分析力を身につけることと、その楽しさを知ることを目的とします。歴史の研究は資料の解読に始まることは、言うまでもありません。なかでも、多くの情報を含んでいる古文書史料の解読の能力を持つことは、歴史を云々する以前の問題であり、歴史学のスタートラインと言えます。合わせてアーカイブ（史資料）に関する知識・意識を高めます。

前期では古文書の概要と形式を把握し、人名や度量衡の単位などが多数記載されている検地帳や戦国期のパターン化されている比較的読みやすいものからはじめます。後期には平安鎌倉・南北朝期の古文書の読解に努め、古文書のバリエーションに対応できる力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2) 古文書の概要と形式 (3～6) 検地帳を読む(人名・度量衡)
(7～10) 戦国大名文書に親しむ(禁制・印判状)
(11～13) 天下人の書状を読む(信長・秀吉・家康)
- (後期) (14) 古代文書を読む(太政官府・院庁下文) (15・16) 女房奉書を読む
(17) 頼朝下文を読む (18・19) 関東下知状 (20・21) 室町將軍家御教書を読む
(22・23) 文書伝達のシステム(遵行・打渡状) (24・25) 戦国時代の文書を読む
(26) まとめ

履修上の留意点

古文書の読解力は、慣れ親しむことから身につきます。予習復習はもちろんのこと、授業の時だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれます。

成績評価の方法

学年末試験の結果と受講者の提出物の内容に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

講読する史料のプリントを随時配布します。参考書としては『くずし字解読辞典』（東京堂出版）2,200円、『古文書解読字典』（柏原書房）2,500円の携帯を望みます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古 文 書 研 究 Ⅱ	湯 浅 隆 <small>ゆ あさ たかし</small>	日本史2・3・4選必	4
古 文 書 講 読 Ⅱ		外国史・考古学2・3・4選 歴史2・3・4選	

講義のねらい

江戸時代に作成された古文書の読解力習得をめざす。文書の形を知ること、文字を解読すること、そのうえで文言・様式から歴史事実を読みとる力の養成を目的とする。
古文書には、歴史学のこれまでの蓄積の総量を遙かに超える豊富な事実が詰め込まれている。解読の扉を自ら開き、さらに広げていくことで、江戸時代への限りない興味が広がっていくきっかけとなることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会のいろいろなところで出された文書・文字に幅広く接するようにする。
(1～4) 武家の文書(幕府、大名、旗本、高札) (5～7) 町方の文書(沽券状など)
(8～10) 村方の文書(年貢割付状など) (11～13) ひらがな(瓦版など)
(後期) 類出する可能性の高い文書や、同じ様式の文書を読み比べることを通して、江戸時代の言葉の言い回しに慣れ、内容から文字を推定できるようにしていく。
(14～15) 借用証文 (16～17) 往來手形 (18～20) 村明細帳 (21～22) 引き札
(23) 掛け幅・卷子の取り扱い (24～26) 版本

履修上の留意点

古文書の表現に慣れることが肝要であり、文書および活字史料にできるだけ多く接するようにすること。

成績評価の方法

授業における取り組み、学年末の試験などを合算して行なう。

教科書

史料のプリントを配付する。

参考書等

その都度、提示する。

その他

授業は、輪読形式となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
記録史料学 I	まつもと 松本 信道・くぼた まさき 久保田昌希	日本史2・3・4選必	4
古文書学	なかの 中野 達哉	外国史・考古学2・3・4選	
		歴史2・3・4選	

講義のねらい

古代から近世にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) ガイダンス……(担当教員全員)。
- (2) 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…(松本担当)。
- (3) 中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…(久保田担当)。
- (4) 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…(中野担当)。
- (5) ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

履修上の留意点

古代から近世までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
記録史料学Ⅱ	前期：小林 和幸 後期：熊本 史雄	日本史2・3・4選必 外国史・考古学2・3・4選	4

講義のねらい

現在、各地の文書館などで記録史料を取り扱う専門職（アーキビスト）の設置が検討されており、その必要性が広く認識されているが、本講義では、記録史料を取り扱う基本的な知識を取得する事を目的としている。ここでは、明治維新以降に作成された様々な「近代史料」について、史料の収集や整理、保存さらに修復など、さらには近年注目される「オーラルヒストリー」の方法など、「記録史料（アーカイブ）」の全般について講義する。前期は、「近代史料」の取り扱い方全般について学び、後期は、とくに公文書の読解における作法を学ぶ。具体的には外交文書（電報、公信）を主として採り上げ、そこから窺い知れる文書処理や政策決定の過程、さらには「記録」として保存されることの意味につき検証する。これらを踏まえ、階層構造をなす文書群の固有の体系性について考える。また、「記録史料学」の授業の中では、教室での講義にとどまらず、実際に文書館を訪ね、現物の史料にふれると共に史料整理や保存などの現場を見学し、実践的な学習を重視する。

講義の内容・授業スケジュール

第一回：講義の概要
 前期（担当：小林）「記録史料学」とは／史料収集について／史料の整理／史料の保存／史料の修復／史料閲覧の考え方／「オーラルヒストリー」の方法
 後期（担当：熊本）「公文書」と「私文書」／「文書処理」の過程／政策決定過程の再現／先例事項としての「記録」／「原秩序」の再構築／「階層構造」としての文書群

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、史料に接する事の喜びを感じ取ってほしい。また、「公文書」がもつ「固有の体系性」を学び取って欲しい。

成績評価の方法

出席と授業態度、前後期授業における試験の結果を総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

「記録史料学Ⅰ」と合わせての履修が望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史文献史料講読 I	石 井 仁 いし い ひとし	外国史 2・3選必(東洋史)	4
		別冊(国史)・別冊(教科書)2・3・4選	
東洋史史料講読 I		歴史 2・3・4選必(東洋史)	
		歴史 2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

北宋の司馬光(1019-1086)が編纂した『資治通鑑(しじ・つがん)』294巻は、周の威烈王二十三年(西暦紀元前403年)から五代後周の世祖顯徳六年(紀元後959年)までの1362年間を編年体で叙述した歴史書です。司馬光は各時代の基本史料を整理収集し、事実と考えられる記事を採用しました。内容は政治過程を基調としつつも、社会経済・文化など、多岐にわたり、各時代の概況が通観できるように工夫されています。また、元の胡三省が『資治通鑑』にほどこした精密な注釈(=胡注)は、単なる字句の解釈にとどまらず、政治制度・地理などの各分野ですぐれた見解を提示しています。

以上のような特色を兼ね備える『資治通鑑』の講読を通して、漢文史料読解力の向上はもとより、研究のための各種実用書-工具書(辞典・年表・地図・索引類など)の使用方法や、文献の検索方法など、中国史研究に不可欠の基本知識と作業手順の修得をめざします。なお、『資治通鑑』のどの時代、何巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) ガイダンス (3~13) 講読
(後期) (14~26) 講読

履修上の留意点

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

成績評価の方法

講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。

教科書

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します(コピーを配付)。

参考書等

随時紹介します。

その他

テキストを受講者が輪番で漢文訓読します(必要に応じて現代語訳)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史文献史料講読Ⅴ	すぎ やま きよ ひこ 杉 山 清 彦	外国史2・3選必(東洋史)	4
		外国史(西史)・8校・教科1・1・4選	
東洋史史料講読Ⅰ		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

清末、19世紀後半に著された清の掌故の書である福格『聽雨叢談』・呉振棫『養吉齋叢録』を選読し、漢文史料読解力を養成するとともに、清代の制度・史実について知識と理解を深める。あわせて、辞書・索引・年表など各種工具書の利用法や史料・研究文献の検索法など歴史学研究のための基本的な知識と技術の修得を目指す。また、テキストの内容に応じて関連する研究論文も講読する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

初回はガイダンス。以降、講読。受講者全員で漢文を訓読・現代語訳し、輪番で担当者に関連事項に関するレジュメを作成・報告してもらう。

履修上の留意点

講読演習であるので、怠りなく出席することはもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的な参加姿勢とが求められる。

成績評価の方法

出席状況を含む平常点による。場合によりレポートを課す。

教科書

テキストは中華書局(『聽雨叢談』)・北京古籍出版社(『養吉齋叢録』)刊の標点本を使用し、講読箇所プリントを配布する。

参考書等

随時紹介する。

その他

各自、漢和辞典など基本工具書必携。詳しくは開講時に紹介・指導する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史文献史料講読Ⅶ	わた なべ よし ひろ 渡 邊 義 浩	外国史2・3選必(東洋史)	4
		外国史(西史)・8校・教科1・1・4選	
東洋史史料講読Ⅱ		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

東洋史の研究、就中、中国古代史の研究に必要な漢文読解力の涵養を目標とする。近年の高等教育における漢文学習の不足に鑑み、第一に漢文を講読するための基礎知識を説明し、第二に基本的な漢文の文法を学ぶ。そのうえで、第三に実際の歴史史料として『三国志』武帝紀を取り上げ、その精読を通じて漢文の訓読・現代語訳への訓練を行うものである。

講義の内容・授業スケジュール

第一回～第二回 漢文を訓読するための基礎知識
第三回～第六回 漢文文法
第七回～ 『三国志』武帝紀の訓読・現代語訳

履修上の留意点

漢和辞典(電子辞書ではないもの。角川書店の『新字源』が好ましいが、新たに購入する必要はない)を持参すること。

成績評価の方法

第七回以降の『三国志』武帝紀の訓読・現代語訳は、参加者の輪番で行う。それを以て評価を定める。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

石井仁『曹操 魏の武帝』(新人物往来社)2,800円

その他

ゼミ(輪読)形式で行う。

歴
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東洋史文献史料講読Ⅹ	す 須 江 たかし 隆	外国史2・3選必(東洋史)	4
		外国史(国別史)・日本史・考古学?・1・4選	
東洋史史料講読Ⅱ		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

この授業は、中国宋代における地方志及び碑記史料に着目し、それらを用いた文献学的研究の遂行過程の呈示を通じて、研究論文作成の方法を、研究文献の読解・整理や史料解析の実践に即して習得・理解してもらうことを目的とする。前期は、宋代に作られた地方志や碑記史料の内容や特徴を概観した上で、これらの史料に関する史料論的研究史を整理し、研究史整理の手法の習得を目指す。なお、個別研究論文の内容の要約や批評を受講者に分担してもらう。後期は、これらの史料の解説・分析を受講者に実践してもらい、史料の読解力向上と分析手法のコツの習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------------|------------------|
| 第1回：講義ガイダンス | 第16回：史料読解の工具書 |
| 第2回：研究の視点Ⅰ | 第17回：宋代地方志序跋文選読Ⅰ |
| 第3回：研究の視点Ⅱ | 第18回：宋代地方志序跋文選読Ⅱ |
| 第4回：宋代の地方志Ⅰ | 第19回：宋代地方志序跋文選読Ⅲ |
| 第5回：宋代の地方志Ⅱ | 第20回：宋代地方志序跋文選読Ⅳ |
| 第6回：宋代の碑記史料Ⅰ | 第21回：宋代地方志序跋文選読Ⅴ |
| 第7回：宋代の碑記史料Ⅱ | 第22回：宋代地方志序跋文選読Ⅵ |
| 第8回：宋代地方志に関する研究文献Ⅰ | 第23回：宋代地方志序跋文選読Ⅶ |
| 第9回：宋代地方志に関する研究文献Ⅱ | 第24回：宋代碑記史料選読Ⅰ |
| 第10回：宋代地方志に関する研究文献Ⅲ | 第25回：宋代碑記史料選読Ⅱ |
| 第11回：宋代の碑記に関する研究文献Ⅰ | 第26回：宋代碑記史料選読Ⅲ |
| 第12回：宋代の碑記に関する研究文献Ⅱ | 第27回：宋代碑記史料選読Ⅳ |
| 第13回：宋代の碑記に関する研究文献Ⅲ | 第28回：宋代碑記史料選読Ⅴ |
| 第14回：研究史整理に関する総括 | 第29回：宋代碑記史料選読Ⅵ |
| 第15回：前期のまとめ | 第30回：後期のまとめ |

履修上の留意点

演習形式の授業なので、必ず予習の上、出席のこと。基礎的な漢文法に習熟していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末のレポート(50%)、演習点(40%)、出席点(10%)の総合評価とする。

教科書

講義用の参考資料や講読用の研究文献・史料のプリントを随時配布する。

参考書等

講義中に随時紹介する。

その他

授業は、一部講義形式で行うが、大部分は演習(ゼミ)形式で実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史文献史料講読Ⅺ	やまぐちひろし 山 口 洋	外国史2・3選必(東洋史)	4
		外国史(西洋史・日本史・朝鮮史)2・3・4選	
東洋史史料講読Ⅱ		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

漢文史料の読解能力と調査技術の習得。中国の南北朝時代と同時期の北アジア史の知識習得。

講義の内容・
授業スケジュール

柔然関係史料を扱う。柔然は、魏晋南北朝時代に北アジアに勃興した遊牧民族で、その最盛期には北魏や北周、北齊諸王朝の脅威ともなり、中国の南北分裂にも影響を与えた。また後に北アジア遊牧民族の君長を意味する可汗(カガン)の称号も柔然が始まりであった。授業では、柔然の勃興から衰退までを扱うが、テキストとして柔然について最も詳しい『魏書』蠕蠕伝を中心に、『魏書』の関連記事(本紀、各列伝)を含めて検討する。また、『資治通鑑』や南朝諸正史も適宜検討に加える。

(前期) 第1回-第2回ガイダンス、史料解題 第3回-第6回柔然勃興時期史料 第7回-第12回柔然最盛期史料(社崙時代他)

(後期) 第13回-第17回対北魏関係 第18回-第21回対北齊・北周関係 第22回-第23回関連史料検討 第24回試験

履修上の留意点

講読は、史料を自らの力で読むことに意味がある。毎回出席すること当然であるが、必ず予習をすること。また、漢和辞典を毎回持参すること。なお、出席不良者には単位修得を認めない。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、及び平常点

教科書

『魏書』蠕蠕伝(プリント配布)。適宜『魏書』他の正史関連史料を配布。

参考書等

内田吟風『北アジア史研究(鮮卑柔然突厥篇)』(同朋舎)1975

その他

授業方法はゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史文献史料講読Ⅰ	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	外国史2・3選必(西洋史)	4
西洋史史料講読Ⅰ		外国史(西洋史)・日本史(古代2・3・4選)	
		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会学科の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問いかけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。

昨年度は初歩のラテン語を一通り学び、ラテン語で記述された史料を読んだ。たとえば、9世紀初頭バリのサン＝ジェルマン＝デ＝プレ修道院の院長イルミノンによる所領明細帳の一部を読んだ。これは西洋中世における領主―農民関係を議論する場合の根拠とされる第一次史料である。但し、本年度はドイツ語による史料も考えている。受講生と相談のうえ、いずれによるかを決めたい。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。学期末にテストを実施し、決める。

教科書

必要な史料等はプリントして、配布する。

参考書等

もしラテン語による史料を採用し、初歩のラテン語を学ぶのであるならば、D. A. Kidd, *Collins Gem Latin Dictionary Latin - English ; English - Latin* がさしあたり携帯に便利である。参考書等は授業に合わせて、その都度指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史文献史料講読Ⅲ	ささき まこと 佐々木 真	外国史2・3選必(西洋史)	4
西洋史史料講読Ⅰ		外国史(東洋史)・日本史・教養2・1・4選	
	歴史2・3・4選必(東洋史)		
	歴史2・3・4選(東洋史以外)		

講義のねらい

フランスのアンシャン・レジームから革命期にかけての文献をフランス語で講読します。同時に、テキストの背景となる歴史状況についての解説も行います。

講義の内容・授業スケジュール

授業は履修者の輪読による演習形式で進めます。進行方法については、受講者の数やレベルを考慮して授業を行うなかで決めていきます。

履修上の留意点

外国語を講読する授業なので、フランス語の基礎的な知識は必要となります。また、フランス史についてのある程度の知識が必要となるので、授業中に紹介する参考文献や概説書を必要に応じて読んで下さい。テキストを正確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となります。そのため、欠席は原則として認めません。

成績評価の方法

成績は授業への出席と、授業に対する各受講生の取り組みを中心に評価し、必要が認められた場合には学年末に試験を実施します。

教科書

テキストは授業開始時にコピーを配布します。

参考書等

参考文献は必要に応じて授業の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史文献史料講読Ⅴ	おおしろ みちのり 大 城 道 則	外国史2・3選必(西洋史)	4
西洋史史料講読Ⅰ		外国史(東洋史)・日本史・教養2・1・4選	
	歴史2・3・4選必(東洋史)		
	歴史2・3・4選(東洋史以外)		

講義のねらい

西洋史をテーマとして卒業論文を書く場合、外国語を読むことは避けることが出来ない。そこで本講義では、西洋史研究の基礎となる外国語文献および外国語史料の扱い方・読み方を学ぶ。また外国語文献に接する機会を数多く持つことにより、常日頃から外国語を読むことに慣れるのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

古代西洋史・古代オリエント史に関する外国語文献を輪読し、必要があれば適時その内容について講義中に解説、及び受講者間での討論を行う。

履修上の留意点

毎回の出席を望む。本講義は語学ではなく歴史学の講義であり、内容の理解度を重視するため、テキスト中に登場する固有名詞(人名・地名)などについても調べてくること。事前に訳者を割り当てたりはしないため、必ず毎時間予習してくることを心がけること。

成績評価の方法

授業への積極的な参加・出席を重視し、学年末の試験により総合的に評価する。予習がなされていない場合は欠席扱いとする。

教科書

受講生と相談して決定する予定である。講読する文献のコピーは配布する。

参考書等

必要があれば適時紹介する。毎回辞書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史文献史料講読Ⅶ	いしだ けいこ 石田 恵子	外国史2・3選必(西洋史)	4
		外国史(選択制)・日本史・科学2・3・4選	
西洋史史料講読Ⅱ		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

西洋文明の基層には古代メソポタミア文明にその源を発する要素が多々ある。古代メソポタミア文明を紹介し、西洋文明や現代文明を見つめ直す。

講義の内容・授業スケジュール

古代メソポタミアに関する数冊の英文概説書から適宜抜粋し、毎授業時に輪読しつつ、内容の補完説明も行う。

履修上の留意点

英語文献ではあるが、高度な内容も含むため、理解しにくい点があるかもしれないが、予習は不可欠。

成績評価の方法

出席点を重視。前期は課題レポート。後期は試験。

教科書

講読資料はその前の授業時に適宜配布する。

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史文献史料講読Ⅷ	きくち こういち 菊池 紘一	外国史2・3選必(西洋史)	4
		外国史(選択制)・日本史・科学2・3・4選	
西洋史史料講読Ⅱ		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

西洋史の基本テーマに関する欧語——ここでは英語——文献を読む力をつけることにより西洋史理解のレベルを上げるための訓練を兼ねますが、今日のわれわれにとって切実な意味を持つ歴史に臨場感を持ってもらうことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストとして、David Herlihy(ed. by Samuel K. Chorn, Jr), *The Black Death and the Transformation of the West*, Harvard University Press, 1997を予定しています。序文・本文合わせて80頁ほどの小品ながら、西洋世界の変容を決定づけた14世紀の黒死病の実態と影響を解説した基本文献です。これを完読し、黒死病以後の西洋史を展望するなかでどのような歴史的課題が出てくるか検討していきます。

履修上の留意点

基礎的な知識があって理解が進むわけですから、参考文献の読書も疎かにしないこと。

成績評価の方法

授業への取り組みと期末試験の成績を合わせて評価します。

教科書

上記テキストからプリントしたものを使用する予定です。

参考書等

開講時に紹介し、読み方を指示します。

その他

逐語訳ではなく大意をつかむことを重視し、参考書の利用と併せてプレゼンテーションしてもらい、講師が適宜コメントを加えます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史文献史料講読Ⅵ	ひじ かつ し おり 土方 史 織	外国史2・3選必(西洋史)	4
		外国史(東洋史)・日本史(考史)2・3・4選	
西洋史史料講読Ⅱ		歴史2・3・4選必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

英語文献をテキストにして、そこに書かれている内容を把握し、読解力の向上を図る授業です。単なる単語の置き換えではなく、時代背景などの文脈をふまえ、文献を正しく理解出来ることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

イギリス近代史の二次文献を読み進めます。また、こちらから解説を適宜加えていきます。

履修上の留意点

イギリスを含む西洋近代史の知識を持っていることが求められます。また、英語文献をテキストにしますので、和英大辞典や英英辞典の使い方にも慣れておいて下さい。

成績評価の方法

基本的には発表・発言など、授業に対する貢献度で評価を行います。直接の発表者でなくとも授業への積極的な参加が認められた場合は評価の対象になります。また、受講生が多い場合には試験を行うことも考えます。

教科書

開講時に発表します。

参考書等

村岡健次、川北稔編著『改訂版 イギリス近代史：宗教改革から現代まで』（ミネルヴァ書房）2003年
竹岡敬温、川北稔編『社会史への途』（有斐閣選書）1995年

その他

授業では、毎回、テキストの和訳を発表してもらいます。出来るだけ多くの受講生に発表してもらうためにも、予習は必ずしてきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習(写真)	つが はら あけ お 塚 原 明 生	考古学2・3・4選必 歴史2・3・4選必(考古学)	2

講義のねらい

考古学における、発掘現場写真撮影出土遺物写真撮影について基礎より学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

写真撮影の為のカメラ機材及び写真用品の解説とその使用方法、用途や目的に応じたその利用方法を写真専門用語と共に基礎より学び、撮影実習暗室実習を通して写真記録の重要性を考える。

履修上の留意点

受講生は実習を円滑に進める為、原則的に35mm判一眼レフカメラを所持する事を条件とする。(デジカメ及びコンパクトカメラは不可)

成績評価の方法

課題写真提出、出席点(どちらが欠けても評価の対象外とする)

その他

前期に講義を中心とし撮影実習(屋外)後期に撮影実習(屋内)及び暗室実習を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習(測量)	ふるしやうひろあき 古庄浩明	考古学2・3・4選必 歴史2・3・4選必(考古学)	2

講義のねらい

発掘調査に必要な測量技術を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

測量機器を使って野外で測量活動をおこなう。

履修上の留意点

野外での作業を伴うので、作業しやすい服装で受講すること。

成績評価の方法

出席を最も重視する。また、一定の技術を習得したか試験を行う。

その他

男女とも野外作業に適した服装

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習(実測)	かみしきりやうひさし 上敷領久	考古学2・3・4選必 歴史2・3・4選必(考古学)	2

講義のねらい

考古学の基本は遺跡の発掘と出土遺物の実測です。特に遺物実測は単に土器や石器を模写するのではなく、先人が作った道具に込められた技術の復元や機能の推定等を行う重要な基礎作業です。本講義では上半期を土器、下半期で石器の実測を行い、出土資料の持つ情報をどのように図化するか、実測の手順を習得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

上半期は実測概念の講義と実技の基礎習得を行います。4～5月は実測の概念と遺物観察方法についての講義。6～7月は土器・石器の模型等を使って基礎技術の習得を行います。下半期は遺跡から出土した実物の石器・土器を使って実測図を作成します。

履修上の留意点

本講義は考古学を専門に目指す学生を対象としています。出席はとりませんが、土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象としますので継続して受講する必要があります。

成績評価の方法

年度末定期試験・レポート提出は行いません。土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象とします。

参考書等

講義中に適宜レジュメを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学実習(情報)	こ ^{やなぎ} 柳 ^{よし} 美 ^き 樹	考古学2・3・4選必 歴史2・3・4選必(考古学)	2

講義のねらい

この授業は、考古学上の調査および整理、研究におけるパソコンの活用について基礎的な方法や目的、考え方などを学ぶものである。

講義の内容・授業スケジュール

基本的なパソコン・ソフトである文章作成機能、数理統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。

履修上の留意点

履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れている学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意ください。

課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。

成績評価の方法

きちんと出席していること。
課題を全て提出していること。

教科書

指定する教科書・参考書はない。

その他

フロッピー・ディスク2枚を、用意すること。
開講時までには学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本古代史	た ^{おと} 瀧 ^{よし} 音 ^{ゆき} 能 ^の 之	史・郷・群・観・小・信	4

講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されるところです。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再認識させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、隔年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

教科書

瀧音能之著『古代の出雲的世界』(白鳥舎)

参考書等

瀧音能之著『古代出雲と風土記世界』(河出書房新社)

その他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなど使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本中世史	くばた 昌 希 久保田 昌 希	歴史・地理・文化	4

講義のねらい

本講座は中世社会の構造を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史(公家政権の衰退史)が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世世界の形成』へ継承されていく。

それから約60年を経つつある段階の今日、中世史研究はまことに活況である。さまざまな視点や方法論による史料解釈などがその多彩性を生み出している。しかしそれは同時に研究の細分化をともなうことになった。ここではそうした研究の現状を追いかけるのではなく、中世社会の基礎的な構造について紹介する。

その目的は、はたして中世という社会は、古代から近世社会の間でいかなる構造をもち、いかなる展開を遂げたのかという、いわば中世社会の「枠組み」を考えることの大切さを強調したいからである。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. 古代から中世へ
2. 鎌倉幕府と朝廷
3. 武家と公家の法秩序
4. 鎌倉中・後期の幕府と朝廷
5. 建武新政をめぐる

(後期)

6. 室町幕府と守護体制
7. 惣的結合と一揆の時代
8. 戦国大名領国の形成
9. 豊臣政権
10. 近世(幕藩制)社会へ

履修上の留意点

細かな政治史、事件等の経緯については、各自で中世史関係の論文や図書を読んでほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本近世史	なか の たつ や 中野 達 哉	歴史・地理・文化	4

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 近 代 史	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴史・地理・政治・経済	4

講義のねらい

明治維新以降を対象とする日本近代史の研究は、新史料の発掘や史料の新しい解釈によって、従来の通説的理解が様々に修正されつつあり、また、研究の対象が現代に生きる我々にとっても極めて身近であるということから、近年、特に活性化した研究分野となっている。本講義は、こうした最新の研究動向と新史料を踏まえ、近代日本の政治と社会を解明する。

本年度は、近代政治史、特に二院制議會制度について検討したい。二院制議會は、幕末維新时期に構想され、王政復古政府から、明治新政府の時期に模索され、自由民権運動期の議論を経て、明治憲法により本格的に始動するのだが、本講義では、維新时期の構想から帝国議會として制度化され運営される過程を、政府中枢や保守派、宮中勢力、民権勢力及び政党など諸政治勢力の主張を検討しつつ、明らかにする。二院制議會の展開を通じて、近代日本政治における「公議輿論」による政治の模索の実相を明らかにし、日本近代史像を示していく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下の通り、講義形式で授業を進める。

- ・ 講義の概要
- ・ 幕末に於ける二院制議會の構想
- ・ 華族制度の創出と華族の使命
- ・ 「民権」論者の二院論
- ・ 帝国憲法の制定と貴族院の創設
- ・ 貴族院と衆議院
- ・ 桂園時代・大正政変
- ・ 大正期の議會
- ・ 軍国主義の台頭と議會

履修上の留意点

幕末維新时期から昭和期という近代日本に興味を持つ学生に受講してほしい。柔軟な発想、積極的な質問、意見交換を望む。

成績評価の方法

レポートと定期試験により、出席状況も勘案する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

小林和幸『明治立憲政治と貴族院』（吉川弘文館、2002年）、その他随時紹介する。

そ の 他

基本的に講義形式で進めるが、映像資料の参照も行いたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 Ⅱ (古代)	み ふね たか ゆき 三 舟 隆 之	映・融・群・融・小・儒	4

講義のねらい

弥生時代から平将門の乱までの東国の古代史を対象とする。弥生・古墳時代の小地域国家から国家成立の過程を検証し、併せて古代国家の成立の中で、東国という地域の特殊性を浮かび上がらせる。地域史の検証から古代日本の姿を認識し、中央中心の歴史観の問題点を指摘する。

講義の内容・
授業スケジュール

1～3、弥生・古墳時代の東国の成立、4、稲荷山古墳出土鉄剣銘の問題点、5～7、上毛野氏と渡来文化・武蔵国造の反乱、8～10、大化改新と東国、東国国司、東国の範囲、11、壬申の乱と東国、12～16、東国の金石文、上野三碑、17～20、律令制の成立と東国、下総国戸籍・木簡、21、墨書土器と文字瓦、22、東国の郡衙・寺院・国分寺、23、防人と蝦夷征討、24、平将門の乱

履修上の留意点

講義中心の授業となる。

成績評価の方法

成績評価は、レポート・試験で総合評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書などは、授業内で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 Ⅲ (中世)	こ まつ とし はる 小 松 寿 治	映・融・群・融・小・儒	4

講義のねらい

讓状や置文などの相続にかかわる史料を検討しつつ、鎌倉時代の武士の「イエ」の在り方について考えてみる予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

相続にかかわる研究のなかで代表的な論文の解説をする。そのうえで個別の事例にあたりたいと思います。

履修上の留意点

講義では板書が多くなるので、ノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

評価は試験によって行いますが、論理的に説明ができているかを重視します。

教 科 書

教科書は特に定めず、参考となる文献については授業中に紹介しますので、購入等は自己の判断でしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅳ (中世)	黒田 基樹	史・観・社・政・小・権	4

講義のねらい

15C 後半～17C 前半は、日本史上における大きな転換期にあたる。これまで中世と近世という形で分断されてきたこの時期を、一つの時代として認識するとともに、「中世の戦争と飢饉」から「近世の平和」へ、という観点から、この時代の歴史的段階としての特質について追求していきたい。

近年の中世史研究における村落論の進展によって、社会を村落・民衆の視点から認識できるようになった。ここではその観点をさらに発展させるべく、人々の生存・生活という側面に迫り、そこから15C 後半～17C 前半（いわゆる戦国～江戸初期）という時代の特質を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中世、とくに戦国時代における戦争と平和の問題を、村落・民衆の視点から追及し、戦争の時代から平和の時代への移行の具体像を明らかにしていきたい。戦国時代は、なぜ100年以上も戦争が続いたのか。戦争の現場では何が起きていたのか。村・民衆はそれにどう向きあっていたのか。また平和を創りあげる仕組みはどのようなものであったのか。それをどう維持させていったのか。これらの問題を解決していきたい。

履修上の留意点

授業中に示した参考文献についても、なるべく読むようにしていただきたい。また授業のなかで不明な点があれば、積極的に質問されるよう望む。

成績評価の方法

レポート、出席状況などから判断する。

参考書等

適宜、授業のなかで紹介する。

その他

授業は、史料を講読しながらすすめていく。その都度、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅴ (近世)	桜井 邦夫	史・観・社・政・小・権	4

講義のねらい

近世における庶民の旅を中心に講義する。旅という問題を通して、この時代の社会や交通の実態を探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ①旅のうつりかわり
- ②旅活発化の背景
- ③旅日記の見方
- ④旅日記から見えること（講義全体の中心）
- ⑤江戸近郊の旅
- ⑥旅と宿場
- ⑦旅と街道
- ⑧旅と関所・川越
- ⑨女性の旅
- ⑩武士の旅
- ⑪旅の道具
- ⑫旅の変質

成績評価の方法

出席回数、授業中の態度、授業へのかかわり方、期末試験の成績などを総合的に判断して評価する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

その他

授業で用いる史資料のコピーは、必要に応じ随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VI (近世)	て くち ひろ ゆき 出 口 宏 幸	経済・地理・歴史・文化	4

講義のねらい この授業では、近世における漁業社会を中心に話を進めます。従来、近世史研究にあって注目度が低く、農業の補完的位置付けがなされてきましたが、近年非農業的側面の重要性が指摘され、近世社会における新たな評価がなされはじめています。この分野を取り上げることで、近世社会の多様性を、漁業という分野を通して浮き彫りにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール 前期の授業では、漁業史研究の流れと、漁業・海付村落（漁村）を概観します。特に、①直接生産者（漁民）の漁場認識から近世的漁業権の成立、②海付村落の実態などについて解説します。後期の授業では、中後期以降に顕著となる漁獲物流通（商品流通）への関与が、いかに村落を変容させたのかについて、様々な事例を通して解説します。江戸日本橋の肴問屋の資本流入や漁業生産がもたらす社会的影響、さらには漁場争論などです。ほとんどの村落が農業に従事するなか、漁業が村落運営にいかなる規定性をもったのか。とくに、江戸に近接する関東漁業の発展を通して考えます。

成績評価の方法 試験80%、平常点20%

教 科 書 必要に応じ、授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VII (近世)	くま もと ふみ お 熊 本 史 雄	経済・地理・歴史・文化	4

講義のねらい 第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール 前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

歴
史

履修上の留意点 史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法 前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教 科 書 とくに指定しない。

参 考 書 等 適宜紹介する。

そ の 他 講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅷ (近世)	岸本昌也	史・観・語・観・小・備	4

講義のねらい

本講義では、近代日本の外交における宗教の役割（宗教外交）について論ずる。近年の中東問題などをみるまでもなく、相手国（地域）が宗教的一体性を持つ場合、外交目的を達成するために、国内においてその宗教を保護したり、国内の宗教者や信徒を派遣したり、或はその宗教のネットワークを使った宣伝を行うなどの活動が想定されよう。宗教外交とはこれらの諸活動を指す。一方我が国は憲法上国教を持たず、条件付とはいえ信教の自由が認められていたことから、宗教外交は国家ではなく民間の宗教団体が担うことになり、したがって宗教外交の発動には宗教団体の思惑とその国内的立場とが反映する。このような宗教外交の顛末を、昭和期の外交政策とキリスト教（カトリック）を軸に語ってみようというのが本講義のねらいである。さらに時間の許す範囲で他の宗教（仏教やイスラム教）についても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

大体以下の論点を踏まえて講義を進めていきたいと考えている。

1. 近代日本と宗教（帝国憲法と神社非宗教論）
2. 日本とバチカン
3. 昭和初期の国際関係（満州事変と国際連盟脱退）
4. 連盟脱退後の日本の外交政策（リットン報告書と帝国政府意見書）
5. カトリック教徒外交官
6. 日本におけるカトリック
7. アジアにおけるカトリック
8. マニラ・万国聖体大会（宗教外交の発動）
9. 教皇代理の訪日

成績評価の方法

レポートにより評価する。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅱ (古代史)	石井仁	史・観・語・観・小・備	4

講義のねらい

いわゆる三国志には、3世紀末、西晋の歴史家、陳寿によって編纂された正史『三国志』と、14世紀の元末明初期に大衆芸能をもとに書かれた『三国志演義』とがあります。言うまでもなく、後者は脚色が施された小説であって史実ではありませんが、現代の日本では、中国史の専門家も含め、これをもとに三国時代の歴史が語られる場合が少なくありません。講義では、『三国志演義』の強い影響のもと、これまで誤解・曲解されてきた三国時代の歴史や人物像を再構成することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1～3) 近代日本と三国志 (4～6) 三国分立の原因
(7～9) 董卓と袁紹－梟雄の素顔 (10～13) 曹操の虚像と実像
(後期) (14～16) 黒山賊と白波賊－民衆と塙壁 (17～19) 劉備と劉氏の物語
(20～22) 孫呉の外交戦略とその挫折 (23～26) 諸葛孔明論

履修上の留意点

受講前に、三国時代の簡単な歴史の流れや主要人物について、一通り勉強しておいて下さい(小説・マンガ・映画などでも構いません)。

成績評価の方法

学期末試験・レポート(1～2回)の成績、および出席状況を総合的に評価します。

教科書

使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。

参考書等

渡邊義浩『諸葛孔明』(新人物往来社)
同上『図解雑学・三国志』(ナツメ社)
石井仁『曹操－魏の武帝』(新人物往来社)
など。このほか、講義で随時紹介します。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅲ (中世史)	いし だ はじめ 石 田 肇	史・観・語・観・小・備	4

講義のねらい

〈唐宋変革期の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・授業スケジュール

前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科学論といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。ある年度には征服王朝を中心に話す予定でしたが、受講生は宋代を卒論に取りあげる学生がほとんどであったために、彼等の卒論のテーマに即した史料などを読むこともありました。このようなわけで、講義内容は受講生によってかなりかわります。

履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出によります。

参考書等

適宜、講義中に示します。

その他

講義を中心としますが、なるべく受講生に発言を求めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅳ (近世史)	さ とう ふみ とし 佐 藤 文 俊	史・観・語・観・小・備	4

講義のねらい

本講義の扱う時代は宋・元・明・清四王朝を対象とし、特に明朝時代を詳説する。漢民族王朝の宋・明、非漢民族王朝の元・清の継起の中で、今日いう中華民族国家が清代に形成された。明清時代に形成された政治・経済・社会・文化等の内容は、現代中国に継承されている側面も多い。又、最近の研究動向にも留意しつつ、世界史の動向と関連する東アジア史の中で、明朝時代を位置づけたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 風土と歴史的特徴
2. 宋・遼・金の時代
3. 元朝史
4. 洪武帝時代
5. 永楽帝時代
6. 明代中期史
7. 明代後期史 (a) 嘉靖～万暦前期 (b) 万暦後期～崇禎期
8. 明朝の滅亡 (a) 満州族の興起 (b) 明末農民反乱
9. 清朝の中国統一
10. 清朝の盛期——康熙・雍正・乾隆期
11. 嘉慶白蓮教の乱
12. 特殊テーマ

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

試験による成績評価を軸とする。なお受験資格は実授業数の3分の2以上の出席を要する。

教科書

授業でその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 V (近・現代史)	ちよう 趙 ぐん 軍	東洋史・現代史	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概略的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

1. アヘン戦争と中国の「開国」
2. 「太平天国」農民運動
3. 洋務運動と日清戦争
4. 士紳らの救国運動－戊戌維新－
5. 農民らの救国運動－義和団事件－
6. ブルジョア階級による救国運動－辛亥革命－
7. 北洋軍閥統治下の中国
8. 国民革命の開始と挫折
9. 日本の満州侵略と紅軍の長征
10. 中国の抗日戦争
11. 解放戦争と新中国の誕生
12. 1950年代前期の中国
13. 「反右派闘争」前後
14. 「文化大革命」の嵐
15. トウ小平と改革開放政策

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』（岩波書店）岩波新書336

参 考 書 等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅵ(アジア諸民族史)	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	外国史・日本史・地理2・3・4選	4
東洋史学史		歴史2・3・4必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

海からの歴史：VOCの目から

講義の内容・授業スケジュール

現在、海からの世界史が注目を集めている。それだけに、海を舞台にした東西交渉史が語られるが、どうしても交易品に焦点が当てられることが多い。しかし、この海上ルートは、広い範囲で、長い期間使われてきており、紀元前後から、モンスーンを利用し、様々な商品だけでなく、文化・技術・思想なども運んでいる。それだけに、各地の社会、文化を比較する際の、興味深い資料を提示してくれる。

この講義では、この海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに、16～18世紀に活躍した、オランダ東インド会社（VOC）の活動に焦点を当てたい。というのは、この時代は、近世（Early Modern）であり、海上交易が盛んになった時代でもある。さらに、VOCが、歴史上初めて、一つの組織によって、ヨーロッパから東アジアに至る海上交易ルートの管理を行ったからである。このVOCの歴史を通し、海上ルートがどのような歴史を持ち、また、どのような商品が運ばれたか、さらに、この交易により、他の地域のどのような変化を起こしたのか、という、東西相互の関係を考察していきたい。さらに、近代における交易問題とも比較しながら、近世と近代の特徴を明らかにしていきたい。

履修上の留意点

東西交渉史となると、どうしても、扱う範囲が広がる。そのために、基本的な世界史の知識を確認しておくほうが、良いかと思う。また、授業には地図帳を持ってきてもらいたい。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

教科書

参考資料などは随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅰ (古代史)	やま ぐち ひろし 山 口 洋	歴史・地理・地理2・3・4選	4

講義のねらい

中国王朝と周辺諸国との関係について、如何なる問題点が存在し、どの様に研究が進められているのかを知ると共に、自ら問題に取り組めるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

前漢王朝以来、中国王朝にとって北アジアの遊牧民族勢力との関係は非常に重要であった。遊牧勢力は時には中国世界の奥深く進入し、やがて王朝をうち立てることもあった。北魏や北朝諸王朝、隋、唐などもその王族は鮮卑系である。また、西域諸国と中国王朝との交流は、それ自体が中国王朝に様々な影響を与えたが、その過程では北アジア遊牧勢力との力関係が影響していた。本講義では、北アジア史や中央アジア史の視点から中国史を再検討する。対象時代は、中国王朝で言えば秦から唐まで。以下の予定で進める。

(前期) 第1回～第2回：アジアの地理と風土 第3回：冊封 第4回～第5回：西域と漢王朝 第6回～第7回：匈奴 第8回～第9回：鮮卑 第10回～第11回：柔然

(後期) 第12回～第13回：隋の統一 第14回～第16回：突厥 第17回～第18回：隋王朝と西域 第19回～第20回：吐谷渾 第21回～第22回：高昌国 第23回：まとめ 第24回：試験

履修上の留意点

出席不良者には単位修得を認めない。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、及び平常点（出席、授業態度）を総合して評価する。

教科書

授業時間内に史料をプリントを配布。

参考書等

池田温〔ほか〕著『中国史』（山川出版社）1996、7（世界歴史大系）

その他

授業方法は講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 II (中世史)	いし ^{かわ} 石 ^{しげ} 川 ^お 重 ^雄	映 画 研 究 小 組	4

講義のねらい

本講義は、「12世紀から13世紀における中国の訴訟と社会」というテーマを掲げます。中国では南宋時代をむかえており、概説書などではしばしば君主独裁制というフレーズで括られます。しかし、近時『名公書判清明集』（『清明集』と略称）というテキストの全貌が明らかとなったことにより、従来の知見とは異なり、民衆がエネルギーに、且つしたたかに活躍する社会の実態が知られるようになりました。『清明集』とは、南宋時代の地方官僚がのこした裁判の判例集です。そこには、官僚・宗室・官僚・士人・胥吏・僧侶・道士・豪横・民衆ら、さまざまな階層の人々が登場します。この『清明集』を通して伝統中国の社会の本質について考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期〉

プロローグ
 テキストの紹介
 檻の中の乱痴気騒ぎ～豪横
 権力がものをいう～宗室・士人
 宗教のかたち～淫祠
 十虎が民を虐げる～胥吏

〈後期〉

女性の財産権～女承分
 経済犯罪の実態～官会
 何度も訴訟がむしかえされる～判決の確定力
 飲んだくれの県知事～対移
 殺人事件と検死～検驗格目
 お祭りの日と闇社会～賭博

履修上の留意点

講義形式をとります。

成績評価の方法

出席、レポート、試験にて行います。

教 科 書

大澤正昭ほか『主張する〈愚民〉たち』（角川書店）

参 考 書 等

講義中にお話しします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ (近代史)	すざ やま きよ ひこ 杉 山 清 彦	史・地・教・社・政・小・理	4

講義のねらい

現代中国の統治領域・民族構成は、18世紀までに形成された清帝国の領域に淵源しており、その領域形成過程と支配構造の解明は、前近代史のみならず近現代史、ひいては現代世界の理解にも不可欠である。このような観点から、17～18世紀における清帝国の形成過程と支配の構造、19世紀以降のその変容・再編について説く。

講義の内容・授業スケジュール

前期：清帝国の形成と支配構造
 ・現代中国の統治空間
 ・清帝国の形成・発展過程
 ・清帝国の統治領域と支配構造
 ・満洲皇帝とモンゴル＝チベット仏教世界
 ・海域アジア世界と朝貢システム
 後期：ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ
 ・近代における清支配の変容・再編
 ・「中国」の出現と内陸アジア
 ・今日の諸問題：未完の「中国」創出と国家統合の諸矛盾

履修上の留意点

講義形式で進め、一方通行にならないよう随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるが、特に条件とはしない。講義中随時参考文献を紹介するので、自分で広く読書してほしい。

成績評価の方法

年2回、長期休業時に課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅳ (近・現代史)	ふじ や こう えつ 藤 谷 浩 悦	史・地・教・社・政・小・理	4

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と文化を中心に考察する。テーマは前期が「民衆反乱」、後期が「文化摩擦」である。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下の通りである。
 [前期]
 (1) 問題提起 (2) 18世紀の世界 (3) 白蓮教徒の乱 (4) 民間諸宗教
 (5) 反乱の世界 (6) 会党と近代 (7) 太平天国1 (8) 太平天国2
 (9) 太平天国3 (10) 義和団1 (11) 義和団2 (12) 義和団3
 (13) 辛亥革命 (14) (予備) (15) (予備)
 [後期]
 (1) 問題提起 (2) お茶と文化 (3) 茶の世界史 (4) 病気の歴史
 (5) 茶とアヘン (6) アジアの近代 (7) アヘン戦争1 (8) アヘン戦争2
 (9) 上海と横浜 (10) 上海の歴史 (11) 留学生と日本 (12) 文化と政治1
 (13) 文化と政治2 (14) (予備) (15) (予備)

履修上の留意点

当該時期に関心を抱くことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う。

教科書

教科書や参考書は授業の中で指示する。

その他

適宜、史料を配付する。

歴
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 V (アジア諸民族史)	かた おか かず ただ 片 岡 一 忠	歴史・地理・文化・現代社会	4

講義のねらい

中国の西方、すなわち西域は諸民族の活躍した舞台である。その西域と中国の関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 西域とは
- 2 西域の地理的環境
- 3 オシア世界の世界政治的特徴
- 4 遊牧民と西域
- 5 中国と遊牧民
- 6 中国と西域
- 7 中国王朝の西域政策
- 8 清朝の西域征服とその統治政策
- 9 19世紀の世界情勢と西域
- 10 清朝の政策の変更
- 11 辛亥革命と西域（新疆）
- 12 20世紀中央アジア—ソ連と中国
- 13 今日の中央アジア

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域（中央アジア）に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教 科 書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参 考 書 等

授業の中で指示する。

そ の 他

講義形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 VI (アジア諸民族史)	まつもと ひろし 松本 弘	映・観・研・聴・小・備	4

講義のねらい

本講義は中東史であり、一般にイスラーム期と呼ばれる中世と、近現代がその内容となる。近年、日本における中東やイスラームに関わる研究は急速に拡大、充実しているものの、一般にはその理解は未だ十分ではない。それゆえ、講義の対象には初学者を想定し、中東及びイスラームの基礎的な理解のための情報提供を第一の目標とする。

しかし同時に、中東に関する一般的な興味、関心が、現在報道されている様々な事件にあることを考慮し、それらの解説や論評も行なう。これが、第二の目標となる。当然、両者は別々のものではなく、中東史に関わる基礎的・一般的理解と、その現状に関わる個別的な理解との総合が、本講義の大きな枠組みとなる。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 授業の目的と予定 (2~5) 中東の地域概念、国や民族・宗教の構成、中東一神教世界(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)などの概説 (6・7) イスラームの成立 (8・9) ウマイヤ朝・アッバース朝 (10・11) イスラーム法学 (12・13) イスラーム神学

(後期) (14~15) オスマン帝国 (16・17) 中東の近代概説 (18・19) ナショナリズムの時代 (20~22) 中東和平問題の歴史と現状 (23~25) イスラーム原理主義の史的展開 (26) 現代中東の民主化

履修上の留意点

中東の歴史を、現代の状況や諸問題からも考えていく作業となるので、中東やイスラームに関わる新聞報道(特に国際面)の見出しだけでも、毎日見る習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法

前期末および学年末のテストによって、評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜、プリントなどで指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史各説 I	しょうじ けいいち 庄司 啓一	映・観・研・聴・小・備	4

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史

アメリカ合衆国について情報は氾濫している。それは日本と政治・経済・文化などの分野において最も密接な関係がある国だからである。そればかりではない。アメリカは世界最強の軍事・経済・文化帝国であり、世界のあらゆる出来事に強い影響を与えている。しかしながら、アメリカ合衆国の全体像、その基本的な性格を理解するには、その歴史に遡らなければならない。「アメリカ史」を日本の若者はどのように学んできたのだろうか。日本の若い人々にとり生活の一部となっており、わざわざ勉強しなくてもいい、と考えられていないだろうか。

アメリカはヨーロッパの植民地として歴史がはじまり、原住民であるインディアンを追い払いながら、ヨーロッパから多様でたくさんの人々を受け入れてきた「移民国家」である。黒人はアフリカ大陸から強制的に奴隷として連行されてきたのであり、決して自由な移民ではない。また、アジアからも中国、日本、フィリピンなどからの移民は人種・民族的な差別を体験しながらアジア系アメリカ人としてのアイデンティティを模索している。このような世界各地の人々が自らを「アメリカ人」として自己認識するには長い歴史的時間が必要であった。

世界の辺境の地に植民地として歴史がはじまったアメリカ合衆国が世界最大の工業国家に成長し、世界に君臨するようになり、その歴史的な限界をも露呈するようになった今日、アメリカの歴史の基本線を勉強することは、日本人にとっても大切なことだと考える。

成績評価の方法

前期・後期ともに論述試験実施。

教科書

開講時に指示します。

歴史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 各 説 Ⅲ	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	政治・経済・社会・文化	4

講義のねらい

古代地中海世界はアレクサンドロス大王の東方遠征の結果、まず東部において大きな変化を遂げることになる。またほぼ同時期からイタリア半島中部のコミュニティ、ローマも勢力拡大を進め、地中海の西部に覇権を唱え、ついには東方のギリシア世界も勢力下におき、地中海世界の支配者となった。このように地中海世界が大きな変貌を遂げる時期を取り上げ、特にギリシア人の視点から、当時の社会や文化を中心に眺めてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では次のテーマを扱う予定である。①アレクサンドロス大王登場までの地中海世界②アレクサンドロス大王の東征③ヘレニズム世界概観④ヘレニズム史研究の問題点（ここまでが前期）⑤ヘレニズム社会の実像⑥ローマの拡大⑦ローマとギリシア⑧この時代の歴史的意義（以上後期）。これらいくつかのトピックから西洋文明に中世以降現代まで実際に多大に影響力を行使したヘレニズム世界を多面的に考察したいと考えている。

履修上の留意点

ただ情報を得るだけではなく、講義内容を上台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。なお基本的な概説は行うので、西洋古代史の知識のない学生の参加も歓迎する。

成績評価の方法

講義をした上で年度末に試験かレポートを行って評価するが、出席が前提となる。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

なお参考書は講義中に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史各説Ⅳ	ささき まこと 佐々木 真	外国史・日本史・考古学2・3・4選	4
西洋史学史		歴史2・3・4必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

フランス絶対王政から革命までの歴史をこれまでどのような研究がなされてきたのかを中心に解説します。これにより、史実の変遷を提示するとともに、対象についての歴史学上の解釈の変化を解説して、19世紀以降の歴史学のあり方の変化を解説します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1) 問題点の提示
- (2, 3) 絶対王政概観
- (4, 5) 絶対王政研究①：実証史学
- (6, 7) 絶対王政研究②：マルクス主義
- (8, 9) 絶対王政研究③：比較経済史
- (10, 11) 絶対王政研究④：社団国家論
- (12, 13) 絶対王政研究⑤：社会史

(後期)

- (14, 15) フランス革命概説
- (16, 17) フランス革命研究①：ブルジョワ革命論
- (18, 19) フランス革命研究②：修正主義
- (20, 21) フランス革命研究③：新しい文化史
- (22, 23) フランス革命研究④：国民国家とフランス革命
- (24, 25) フランス革命研究⑤：新たな潮流
- (26) まとめ

履修上の留意点

授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけて下さい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

参考文献は必要に応じて講義中に紹介します。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 Ⅱ	ふせ しま まさ よし 伏 島 正 義	日 本 史 学 部 史 学 科 1314 Ⅱ	4

講義のねらい

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。

講義の内容・
授業スケジュール

関係する論文、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文、史料などをその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ぼうとするものである。本年度はドイツ語による論文、史料等も考えているが、具体的には受講生と相談のうえ決める。

履修上の留意点

本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求しようとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。

成績評価の方法

毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。授業で毎回とる出席と期末テストで評価する。

教 科 書

教科書は特に定めない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。

参 考 書 等

参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 IV	わり た さと し 割 田 聖 史	史・地・社・政・小・理	4

講義のねらい

本講義のテーマは、「近代ヨーロッパにおける『国民』」である。「国民」をめぐる問題は近年歴史学において盛んに論じられており、本講義はそれらの議論を基に、近代ヨーロッパにおける「国民」という問題を歴史的に検討していくことを目的とする。なお本講義で扱う「近代」とは19世紀を意図しているが、その際には始点をフランス革命、終点を第一次世界大戦とする「長い19世紀」（ホブズボーム）を念頭においている。さらに、主要な対象地域は中東欧地域とする。特に、「ドイツ領ポーランド」と呼ばれる地域を中心に問題を析出していくこととなる。

講義の内容・授業スケジュール

詳細については初回の授業で示すが、以下のような講義内容を予定している。

1. 国民・民族・ナショナリズムをめぐる研究史
2. フランス革命とプロイセン改革
3. ポーランド史（ポーランド分割まで）
4. 1815年から1848年の中東欧における「国民」
5. ポーゼン州の成立と「プロイセン領ポーランド」
6. 1848年革命
7. ドイツ国民運動
8. 「ドイツ統一」とポーランド人
9. ドイツ第二帝政におけるポーランド国民運動
10. 第一次世界大戦

履修上の留意点

事前の予備知識などは必要ではないが、授業で指定した参考文献に関しては読書を要求することとなる。

成績評価の方法

前期・後期のレポートに出席を加味して成績評価を行う。

教科書

教科書は特に定めない。必要な資料は適宜配布する。

参考書等

参考文献は授業内で適宜指示する。

その他

授業は基本的に講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 VI	おおしろみちのり 大 城 道 則	歴史・地理・文化・社会	4

講義のねらい

人類の歴史の中でも異彩を放つ古代エジプト王国は、約2000年前に既に滅亡したにもかかわらず、その文化は消滅することなく、現在においても未だその輝きを失っていない。本講義は、その古代エジプトの文化に焦点を当て、いまだ我々を魅了する古代エジプト文化とはいったいどのようなものであったのかについて理解を深めることがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

古代エジプト文化がどのように形成され、拡散し、そしてどのように現代世界にまで影響を及ぼしているのかを具体例を用いながら講義を行う。時代的には新王国時代以降を扱う。以下のような講義内容を予定している。

- ① 第三中間期とリビア王朝
- ② ポッコリス王とその時代
- ③ クシュ王国と第25王朝の歴史
- ④ サイスルネサンスとネカウⅡ世
- ⑤ ペルシア支配と第30王朝
- ⑥ アレクサンドロスとアレクサンドリア
- ⑦ プトレマイオス朝とクレオパトラ
- ⑧ 古代ローマ世界における古代エジプト文化1
- ⑨ 古代ローマ世界における古代エジプト文化2
- ⑩ 古代ローマ世界における古代エジプト文化3

履修上の留意点

15分以上の遅刻には出席を認めない。

成績評価の方法

後期試験の結果および出席を重視する。

教 科 書

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）必要に応じて講義内容に関する資料をコピーし、配布する予定である。

参 考 書 等

必要があれば適時紹介する。

そ の 他

スライド等の映像資料を用いながら講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講Ⅷ	はやかわりほ穂 早川理穂	史・地・社・政・経済・情報	4

講義のねらい

近代フランス史におけるマイノリティー
フランス革命期から19世紀にかけての歴史を、マイノリティーの立場から捉えていく。具体的には貧民、女性、いわゆる「反革命」派、植民地奴隷を採り上げる。フランス革命により「国民の統合」が進められていく中、彼らの取り込み・排除はどのように行われたのかを、それ以前に社会の周縁で生きた人々の歴史も踏まえて、見ていく。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会の周縁に生きる人々
中世～近世の乞食、放浪者、犯罪救済から排除へ
2. 貧民救済と徴兵・選挙権拡大
公的福祉としての救済
近代的徴兵制と普通選挙制
3. 女性の社会的地位と政治参加
女性の役割
政治参加
4. カリブ海植民地奴隷制度を巡る議論
植民地政策と奴隷制撤廃
ハイチ革命とその影響
5. 「反革命」としてのヴァンデ戦争
「反革命」とは
ヴァンデ戦争と記憶
6. 産業化と社会問題
「危険な階級」としての労働者
文学作品に見られる社会問題

成績評価の方法

前期は指定されたテーマに沿ったレポート、後期はレポート試験により評価を行う。夏休み前にレポートの課題を発表するが、就職活動等で欠席する可能性を考え、確実に課題を把握できるように対処すること。

教科書

特に指定はしないが、全体の流れをつかむため、概説書に目を通しておくこと。

参考書等

授業の中で随時紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅱ	こんどうひろお夫 近藤英夫	史・地・社・政・経済・情報	4

講義のねらい

授業の内容であるが、南アジア最古の都市文明であるインダス文明の解説を中心におき、講義をすすめる。授業各時限に個別のテーマ（「都市と農村」や「交易」など）を設定し、都市を存立させたさまざまな基盤について検討していく。その際、インダス文明と並行する年代のメソポタミアや湾岸地域の動向についても紹介していく。これらの作業を通して、「都市とはなにか」「文明とはなにか」について考えていく。

履修上の留意点

授業では極力、視聴覚資料を多用し理解をはかる。また、授業中に参考文献等を示していくので、事前にそれに目を通して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業の進行に従い、数度のレポートを課し、それを総合して成績評価を行う。

参考書等

辛島昇他『インダス文明』（日本放送出版協会）1980年
近藤英夫編『四大文明〔インダス〕』（日本放送出版協会）2000年
『ORIENTE』23（古代オリエント博物館）2001年
その他の文献については、授業の進行に応じ適宜、示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅳ	三宅俊彦	史・地・文・理・工・農	4

講義のねらい

「北アジア考古学」について講義をおこなう。
特に、中国北方からモンゴル高原にかけての地域を中心に、この地域で興亡した遊牧民の残した考古遺物・遺跡を探っていきたい。前期はおもに青銅器時代を中心に講義をおこなうが、後期はできるだけ多くの時代をあつかっていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「青銅器時代における北アジアの考古学文化」を探ることに主眼をおく。まず日本人にはなじみの薄い、遊牧とはどのような生活文化であるのかを紹介し、その認識の上で北アジアの青銅器時代を探っていきたい。
後期は「歴史時代における北アジアの考古学文化」を探る。歴史時代には、北アジアの草原地域には突厥やモンゴル帝国など、強大な王朝が成立し、中国史の中にも大きな影響を与えた。それら遊牧民がつくった王朝の足跡を、考古学的に明らかにしていきたい。

履修上の留意点

授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。

成績評価の方法

出席点ならびにレポートによって成績を評価する。

参考書等

特になし。授業の参考になる書籍等は、その都度紹介する。

その他

授業は講義が中心となる。出来るだけプリントやスライド等を用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅱ	酒井清治	史・地・文・理・工・農	4

講義のねらい

日本列島には各時代にわたって大陸から多くの渡来人が訪れた。彼らは日本に多くの文化を伝え、それが日本文化にも影響を与えた。渡来人が弥生時代・古墳時代・歴史時代に伝えた文化は、発掘調査によっても多くの遺跡・遺物として確認できる。そのような遺跡・遺物を取り上げ、渡来人がどのような文化を残し、それがどのように受け入れられていったのかを探り、各時代の文化に与えた影響などについて考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

弥生・古墳・歴史時代を通史的に、それぞれの時代の渡来人と渡来文化について遺物・遺跡などの資料を紹介しながら見ていきたい。

履修上の留意点

遅刻しないこと

成績評価の方法

レポート、出席、授業態度

教科書

授業の中で適宜紹介する

参考書等

授業の中で適宜紹介する

その他

授業は OHP を利用して講義を行う

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅳ	したらひろみ 設楽博己	史・郷・社・観・小・4	4

講義のねらい

弥生文化論 弥生時代という時代概念や文化観はどのように形成されてきたのか。学史を紐解くことによって、その形成過程を時代背景とともに考える。弥生時代は日本で本格的な農業を行なうようになった時代であると同時に、西日本と東日本に地域差が生まれ、あるいは琉球列島と北海道など弥生文化に属さない地域が生まれるなど、日本列島が多様な文化圏に分裂していった時代でもある。その多様性がどのようにして生まれ、その後の歴史にどのように影響を与えていくのかを考える。さらに東日本の初期農耕文化を弥生文化の範疇に入れられない見解もあり、その是非を学史を振り返りながら問うていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、弥生時代という時代概念が日本考古学の中に定着するまでの歴史を追い、弥生時代・弥生文化というのはどのようにして他の時代と区別されてきたのか、考える。後期は、特に東日本の弥生文化研究の歴史に焦点を当てて、そこで形成された歴史観が西日本を中心に形成された弥生文化観との間にどのような違いがあるのか、さぐる。

履修上の留意点

考古学の基礎は年代論にある。この講義もその一環であり、考古学に特有の方法論や自然科学の分野での年代測定法などに話が及ぶ。考古学専攻生以外にはきわめて難解なので、ついてくる自信のあるもの以外は履修を見合わせたほうがよい。講義中の私語厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので要注意。

成績評価の方法

年度末の試験による評価。

参考書等

『日本考古学選集』築地書館コピー・『弥生文化の研究』雄山閣出版コピー・レジュメなどをその都度配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅵ	かみしきりょう 上敷領久	史・郷・社・観・小・4	4

講義のねらい

先史時代（旧石器時代～縄文時代）の人類社会と自然環境について考察し、社会の変化と環境の変化がどのようにに関わり合っていたのかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

4～5月は先史時代の枠組みについて。6～7月は環境考古学の概念について。9～10月は先史時代社会の変化と気候変動について。11～12月は南関東、特に多摩地域の先史時代遺跡で検出された遺構・出土遺物からみた環境変化の例を検討します。

履修上の留意点

本講義のテーマとする時代は先史時代ですが、環境考古学の概念とその応用は通時的な内容ですから、先史時代に興味を持つ学生以外も対象として講義を行います。

成績評価の方法

通常の出席と年度末の筆記試験によって評価します。

参考書等

講義中に適宜紹介します。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅷ	矢野和之	歴史・地理・社会学・現代学	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

とくにないが、人文系の知識だけでなく、理科学系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

参考書等

適宜指示

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	松本信道	歴史・地理・社会学・現代学	4

歴史

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史	よし だ まさ ひろ 吉 田 政 博	本校・附属・教育学部・歴史2・3・4	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていたことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用していただきたい。また禅文化歴史博物館への見学・説明会を実施することとする。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史	石田 恵子 <small>いしだ けいこ</small>	史・地・社・理・小・体	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名	担当者名	配当学科	単 位
有職故実	近藤 好和 <small>こんどう よしかず</small>	史・地・社・理・小・体	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男女・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である束帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、束帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

成績評価の方法

前・後期各一回のレポートを予定。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	現代・地域・文化・歴史	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学	小田匡保	現代・地域・文化・歴史	4

講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。前期は、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述し、後期は歴史時代の村落・都市について概観する。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1. 歴史地理学とその概要
- 2. 歴史地理学の資料
- 3. 村落
- 4. 都市

*受講生が少ない場合は、大学周辺のミニ巡検を1回行ないたい。

履修上の留意点

日本の歴史地理について講じるが、日本史ではない。したがって、事件史のように人物が中心になることはない。なお、科目の性格上、歴史が苦手な学生に向かないのは当然であるが、古文書が読める必要はない。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。出席不足、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	小池とみ子	地理学・地域学	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野を取り扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界の地域構成を理解するために、前期は主として民族・国家の観点から各地域における民族問題・地域紛争などを取り上げる。後期は経済地理学的視点から、経済発展と地域の変容を世界の諸地域について検討し、現在の課題を追求する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

学年末に試験を行う。また前期末にレポート作成を、平常時にミニ感想文等を課する。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳〔『新詳高等地図』帝国書院など。その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。時々ビデオ、スライドなどを取り入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学	川元豊和	地理学・地域学	4

講義のねらい

南アジア・東南アジアの地誌について授業を進める。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。前期は、まず、アジアの地域的特色を主として、人口・農業・宗教の側面から概観する。次に、バングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。後期は、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴や工業化・都市化にともなう村落の変貌などについて、最近の地域研究の成果を紹介してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

①はじめに ②アジアの人口動態 ③稲作における「緑の革命」 ④アジアの宗教 ⑤バングラデシュ農村における近年の農業の変化 ⑥バングラデシュ農村における土地所有と小作制度 ⑦半島マレーシアにおける多民族社会の形成 ⑧半島マレーシアにおける地方都市の発展 ⑨サラワク州におけるイバンの生活 ⑩まとめ

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席（授業回数の2/3以上）及び9月末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

授業内において、その都度紹介する。

その他

講義形式。

歴史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学	ふじ なが ごう 藤 永 豪	地・地・地・地・地	4

講義のねらい

地誌学とは、地理学という大きな学問領域を構成する主幹の1つともいべき分野である。そもそも地誌学は世界の諸地域における人間活動や自然環境を記述することから始まったように、地域の特性、すなわち地域性を明らかにすることを目的としている。本講義では、地誌学を理解するための、この「地域」という基本的概念に関する視点や方法論について概説する。その際、身近な地域から世界の各地域まで、様々な空間スケールの事例を提示し、学生の皆さんに自分なりの「地域の見方」を習得してもらいたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は次のような基本テーマをもとに進めていきます。

- ①地理学における地誌学の位置づけ
- ②地誌学における地域という概念
- ③地域性と地域差
- ④地域スケール
- ⑤地域構造
- ⑥地域モデル
- ⑦地域と景観（景観にみる空間的まとまり）
- ⑧地域のイメージと認識
- ⑨「地域科学」としての地誌学？

履修上の留意点

毎回、講義内容に対する感想を書いてもらいます。これを出席票の代わりとします。

成績評価の方法

試験と出席状況を5：5の割合で総合評価します。ただし、講義に支障をきたすような授業態度については評価上のペナルティを課しますので注意して下さい。

教 科 書

特に指定はしません。毎回、資料を配布します。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介します。

そ の 他

授業の方法－講義形式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学	やま うち まさ かず 山 内 昌 和	地誌・歴史・地理・文化	4

講義のねらい

日本の農山漁村地域を対象に、現在の状況や第2次世界大戦後の変容過程について理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、地誌学について概説し、農山漁村地域を理解するために必要となる日本の自然環境や、地図を用いた考え方・見方について整理し、近年の農山漁村地域の状況について、新しい研究成果を紹介しながら概説する。主なテーマは次の通りである。(1)地誌学について (2)日本の自然環境 (3)地図の利用 (4)農山村 (5)漁村 (6)離島

後半は、高度経済成長期を中心とする農山漁村地域の変容過程について、研究成果を紹介しながら概説する。主なテーマは次の通りである。(1)人口からみた日本 (2)高度経済成長期以前の農山漁村地域 (3)過疎と過密 (4)新しい労働市場の形成 (5)1990年代以降の変化と今後の見通し

履修上の留意点

高校時代に使用したもので構わないので、地図帳を持参してほしい。

成績評価の方法

年度末に試験(1回)を課す。随時とる出席も考慮する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

必要に応じて授業中に指示する。

そ の 他

講義形式をとる予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 史	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	地誌・歴史・地理・文化	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』(勁草書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国歴史文学	た くま のぶ ゆき 田 熊 信 之	職・履・辯・観・小・福	4

講義のねらい

広大な中国の大地に生きた人々、殊にその主体となった漢民族によって築きあげられた重厚な文化は、音、義、形を具備する特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使する独特な表現世界を多岐にわたって発展させた。本講座は、中国の大地とそこに生きた人々によって育まれた表現世界の実態を把握し、理解するため、伝存する作品や再発見された遺文等を選出して、読み解いていこうとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を通して綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くために、歌謡、詩偈等をも含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを配布してこれを使用する予定。参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

参考書等

参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	むら まつ てつ ふみ 村 松 哲 文	映 画 研 究 科	4

講義のねらい

インド・中国・朝鮮・日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代や国によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。
また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界 (1) 日本・飛鳥時代の仏像 (2～4)
 日本・白鳳時代の仏像 (5・6) 日本・天平時代の仏像 (7～9)
 日本・平安時代の仏像 (10～12) 日本・鎌倉時代の仏像 (13～15)
 〔後期〕
 インド・無仏時代 (16) インド・ガンダーラ仏とマトゥラー仏 (17・18)
 中国・初期の仏像 (19) 中国・敦煌石窟 (20～22)
 中国・雲岡石窟 (23～25) 中国・龍門石窟 (26～28)
 朝鮮・三国の仏像 (29) 朝鮮・統一新羅の仏像 (30)

履修上の留意点

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 域 美 術 史	まつ だいら みわ こ 松 平 美和子	映 画 研 究 科	4

歴 史

講義のねらい

広義の西域をシルクロードにとらえ、日本から西欧に至る広大な文化圏の中に生まれた美術工芸の東西交流を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 シルクロード上の遺跡とその美術について。特に2001年3月に破壊されたパーミヤン遺跡をはじめとするアフガニスタンの芸術を様々な角度から考察し、その東西交流の様を解明する。
アフガニスタンの芸術／パーミヤンの壁画／パーミヤンの装飾文様／東西工芸の宝庫ペグラム／アフガニスタンの文化保存について／ヘレニズムの大遺跡アイ・ハヌム／キジールの壁画／オアシス都市の芸術
後期 シルクロード上で生まれた二大工芸であるガラス工芸と陶磁器工芸の発達と展開を考える。
ガラスの誕生／トンボ玉の交渉史／ローマングラスと吹きガラス／ローマングラスの交易／サングラスと正倉院／イスラムガラス／イスラム陶器の展開／中国青花磁器と海上貿易／有田磁器とマイセン

成績評価の方法

夏期休暇後のレポート、学年末のレポート試験、講義時の提出物、出席状況から総合的に評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

講義時に随時紹介する。

その他

毎時間スライドを、必要に応じてビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	きたのよしえ 北野良枝	映・融・辯・観・1・4	4

講義のねらい

奈良時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 奈良時代から室町時代の絵画
- (1) ガイダンス
 - (2) 絵画に関する基礎知識、法隆寺金堂壁画
 - (3) ～ (4) 仏教絵画
 - (5) ～ (7) 絵巻物
 - (8) ～ (9) 肖像画
 - (10) ～ (13) 室町時代の水墨画
- 後期 室町時代から江戸時代の絵画
- (14) ～ (15) 土佐派、狩野派
 - (16) ～ (17) 狩野永徳と桃山画壇
 - (18) 江戸時代の狩野派
 - (19) ～ (20) 琳派
 - (21) ～ (22) 浮世絵
 - (23) 南蘋派
 - (24) 文人画
 - (25) 秋田蘭画と司馬江漢
 - (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラ テ ン 語	うえのかつひろ 上野勝広	映・融・辯・観・1・4	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第11課まで、後期は第12課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。
1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

辞書と共に初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ギリシヤ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史・地理・科学・文化・現代社会	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいのので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教 科 書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参 考 書 等

参考となる資料は随時、配布する。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

5 社 会 学 科
社 会 学 專 攻

社 会
(社会学)

社(社会学)
会

Ⅱ. 専門教育科目

(5) 社会学科 (社会学専攻)

社会学概論	〈坪井 健〉	561
社会調査	〈牛島千尋〉	562
社会学基礎研究	〈川崎賢一・牛島千尋・川本勝・坪井健・松信ひろみ・山田信行・李妍炎〉	563
情報処理実習	〈軽部 幸浩〉	564
調査統計基礎演習	〈松信 ひろみ〉	565
社会学史	〈李 妍 炎〉	566
社会学演習Ⅰ	〈牛島千尋〉	566
社会学演習Ⅰ	〈川崎賢一〉	567
社会学演習Ⅰ	〈川本 勝〉	567
社会学演習Ⅰ	〈坪井 健〉	568
社会学演習Ⅰ	〈松信 ひろみ〉	568
社会学演習Ⅰ	〈李 妍 炎〉	569
社会学演習Ⅱ	〈牛島千尋〉	569
社会学演習Ⅱ	〈川崎賢一〉	570
社会学演習Ⅱ	〈川本 勝〉	570
社会学演習Ⅱ	〈小林弘人〉	570
社会学演習Ⅱ	〈坪井 健〉	571
社会学演習Ⅱ	〈松信 ひろみ〉	571
社会学演習Ⅱ	〈山田 信行〉	572
社会学演習Ⅱ	〈李 妍 炎〉	572
理論社会学	〈休 講〉	
外書講読	〈川崎賢一〉	573
現代社会論	〈山田 信行〉	574
政治社会学	〈岩瀬 庸理〉	575
家族社会学	〈休 講〉	
法社会学	〈小林弘人〉	575
文化社会学	〈川崎賢一〉	576
宗教社会学	〈芳賀 学〉	576
地域社会学	〈牛島千尋〉	577
災害社会学	〈小嶋直子〉	578
マス・コミュニケーション論	〈川本 勝〉	579
産業・職業社会学	〈休 講〉	
社会心理学	〈坪井 健〉	580
社会病理学	〈山本 功〉	581
社会学原論	〈渡辺 源樹〉	582
教育社会学	〈伊藤 茂樹〉	583
宗教人類学	〈佐藤 憲昭〉	583
社会調査演習	〈川本 勝〉	584
社会統計学演習	〈松信 ひろみ〉	585
社会調査実習	〈山田 信行〉	586
社会学理論研究Ⅰ	〈李 妍 炎〉	587
社会学理論研究Ⅱ	〈川本 勝〉	587
社会学特殊講義Ⅰ	〈松信 ひろみ〉	588

社会学特殊讲义	Ⅱ	〈李	妍	炎〉	589
行政		法	德	登〉	589
学(福祉)		〈小	林	人〉	590
社保		船	水	弘	591
会人		論	浩	光	591
社老		東	條	雅	592
児童		村	田	昭	593
地城		論	田	一	593
児童		論	田	宗	594
産業		学	山	裕	594
環境		心	野	剛	595
老心		心	野	公	595
社心		学	隆	一	596
勞心		策	克	造	596
民會		法	博	治	597
経働		法	岡	美	597
		論	本	茂	598
		淺	宮	隆	599
			野	巳	600

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学概論	つばい 坪井 健	社会1必	4

講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念3 - 社会的地位 -
14. 社会学の基礎概念4 - 社会的役割 -
15. 社会学の基礎概念5 - 文化 -
16. 社会学の基礎概念6 - 価値と規範 -
17. 社会学の基礎概念7 - 集団と組織 -
18. 社会学の基礎概念8 - パーソナリティと社会化 -
19. 社会学の基礎概念9 - 社会的性格と消費社会論 -
20. 現代社会論1 - 学生文化の崩壊 -
21. 現代社会論2 - 崩壊する家族 -
22. 現代社会論3 - 人生と職業労働 -
23. 現代社会論4 - 高齢社会と生き方 -
24. まとめ - 社会学の仕方 -

履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見を記入するリアクションペーパーを配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマは1時間で完結の予定である。内容や順序は変更することもある。なお、年数回ビデオ教材を使って、社会認識を深める工夫をする予定である。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートをとり、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席＋毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

なお、この授業は、出席は遅刻も含めて厳密にカウントしています。また、成績評価の具体的方法は、3回（初回講義時・夏休み前講義時・最終回講義時）説明し、受講生に公表しています。ご注意ください。

教科書

特定の教科書は使用しない。毎回講義内容をプリントで説明する。

参考書等

その都度、指示する。

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会調査	うしじまちひろ 牛島千尋	社会1必	4

講義のねらい

社会調査とは、私たちの周囲に生起する社会的現象を解明することを目的として、データを収集し、記録・整理し、分析するという一連の過程を指す。本講義は社会学の重要な方法としての社会調査を学習していくが、しかし、単に技法の習得だけでは社会学の真の研究にはつながらない。本講義では、技法の講述に加えて、これまでに行われた実証的研究を紹介しながら、履修者の理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 実証主義の精神と社会調査
2. 社会調査の範囲と系譜 1—行政目的の統計調査、社会福祉（事業）目的の調査—
3. 日本における社会調査の始まりと発展—ビデオ—
4. 社会調査の範囲と系譜 2—市場調査、世論調査、研究目的のための調査—
5. 理論化の道程—帰納法と演繹法、命題・仮説・検証—
6. 社会調査の二つの方法 1—量的方法と質的方法—
7. 社会調査の二つの方法 2—量的方法と質的方法—
8. 量的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「自殺論」—
9. 質的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「社会分業論」—
10. 仮説の修正と新たな発見—メーヨーの「ホーソン実験」—
11. 社会調査のさまざまな技法 1—横断的調査と縦断的調査—
12. 社会調査のさまざまな技法 2—モレノのソシオメトリーとその応用—
13. 社会調査のさまざまな技法 3—ホワイトの「ストリート・コーナー・ソサエティ」と参与観察—
14. 既存データ、既存資料の収集と使い方 1—国勢調査データ、官公庁統計
15. 既存データ、既存資料の収集と使い方 2—各種民間調査データと公開個票データ—
16. 調査実施過程の説明—フィールド・ノート作成、調査票を使用した面接調査の手順—
17. 資料の収集とリスト作成
18. 作業仮説の設定と質問項目の作成
19. 調査方法の選定と準備 1—非構成的技法と構成的技法—
20. 調査方法の選定と準備 2—全数調査と標本調査、母集団、標本数と誤差—
21. 調査票の作成 1—質問文作成の注意点—
22. 調査票の作成 2—選択肢作成の留意点—
23. 調査票の作成 3—回答形式の種類、コードブック作成の留意点—
24. 質問文を使用した調査の方法—個人面接調査・留置き調査・郵送調査法・電話調査・集合調査・インターネット調査—
25. 標本抽出の方法 1—単純無作為抽出法、系統抽出法—
26. 標本抽出の方法 2—層化抽出法、多段抽出法、有意抽出法—
27. データの整理と集計の準備 1—データの整理とデータ入力—
28. データの整理と集計の準備 2—データのクリーニング、論理チェック、アフター・コーディング—
29. まとめ—社会調査をする際の心構え—
30. 後期試験

社会（社会学）

履修上の留意点

必修科目であるので、オリエンテーションぬきで第一回から講義に入ります。

成績評価の方法

出席状況、授業中のレポート提出、後期試験（持ち込み不可）によって評価します。

教科書

森岡清志編『ガイドブック・社会調査』日本評論社、1998年

参考書等

谷岡一郎『「社会調査」のウソ』（文春新書）
K. プラマー『生活記録の社会学』（光生館）
渡辺久哲『調査データにだまされない法』（創元社、1,500円）

その他

授業は講義形式で行いますが、テキストに書かれている内容よりもはるかに多くのことを講述するので、ノートをしっかりとってください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学基礎研究	かわさき けんいち うしじま ちひろ 川崎 賢一・牛島 千尋 かわもと まさる つよし 川本 勝・坪井 健 まつのぶ のぶゆき 松信ひろみ・山田 信行 り けんえん 李 妍炎	社会1必	2

講義のねらい

社会学的研究方法について、その基礎をマスターすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、全教員リレー方式で講義をする。後期は、ゼミ形式で、研究方法(文献へのアクセス・レジュメの書き方・レポートの書き方・プレゼンテーションの仕方、など)を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席が義務付けられている。また、前期と後期と必ず、終わりにレポートが課せられる。

成績評価の方法

出席点とレポートにより評価される。

教科書

こちらで指定し、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理実習	かるべ ゆきひろ 軽部 幸浩	社会1必	4

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計ツールパッケージの習得 (秀吉 Pro2000for Windows)
- ・プレゼンテーションの実践 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実践と注意 (マナーやモラルについて)
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick、MS-Excel、MS-Power Point、秀吉 for Windows の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了すること。

参考書等

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に用意しておくこと。その他、年間約5枚程度の3.5インチ高密度フロッピディスクが必要となる。

その他

年間20回数程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センター1F自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンでMS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
調査統計基礎演習	松 ^{まつ} 信 ^{のぶ} ひろみ	社会2必	4

講義のねらい

本講義の目的は、(1) 既存の調査データや調査報告書などの統計データを読み解くために必要な基礎的な統計知識、および(2) 社会調査を企画・実施した際に得られた結果(データ)を集計・分析するための統計知識、を習得することにある。前期は主として、社会調査における多様なデータの位置づけと記述統計について検討する。後期は、統計データの集計・分析に必要な推測統計の知識や変数の連関・解析について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

統計的データの理解、集計・分析に必要な基礎統計を検討する。以下の各々の項目について数回ずつ講義を行い、随時、内容確認のための演習問題を学生自身に解いてもらうという形式で進めてゆく。

1. 社会調査と統計
2. データの記述とまとめ方
3. 度数分布
4. 確率分布と正規分布
5. 点推定と区間推定
6. 仮説の検定
7. 有意性の検定① z 検定と t 検定
8. 有意性の検定② カイ二乗検定
9. 相関関係と相関係数
10. 相関と回帰
11. 回帰分析

履修上の留意点

高校程度の確率・統計の基礎知識が必要である。各自復習をしておいて欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験と平常点(出席、演習問題の提出など)によって評価する。

教科書

ロウントリー(加納訳)『新・涙なしの統計学』(新世社)2002年 1,600円

参考書等

ボンシュテッド&ノーキ(海野、中村訳)『社会統計学』(ハーベスト社)1990年 6,500円

その他

基本的に講義形式で行うが、演習問題については学生からの解答を求める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学史	李妍炎	社会2必	4

講義のねらい

学史を学ぶ目的は、社会学の理論や人物に関する知識を得るためだけではない。むしろ社会学者の発想法を学び、現代社会の諸事象を鋭く描き出すための道具を身につけるためである。従ってこの講義では、社会学を学んでいく上で必要となる基本的な諸概念を理解してもらうと同時に、社会学的な思考法を学んでもらうことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、時系列の軸に従って、社会学の誕生から今日に至るまでの各発展段階を踏まえて、主要な社会学者とその理論を紹介していく。社会学理論の特徴と構成、主要な流派を受講者に理解してもらう。前期の講義は「総論」という位置づけで考えてもらいたい。社会学理論の全体の流れを把握することが目的である。

後期では、「社会学は近代という時代の申し子である」という視点から、近代社会の基本的な特徴及び価値である「合理性」「自由・平等・民主主義」を軸に進めていく。具体的には「合理性と非合理性」「競争と協調」「自由・平等・民主主義のダイレンマと可能性」「モダンとポストモダン」という4つのセッションに分けて、それぞれにおいて、主要な社会学者の理論を取り上げて、今までの社会学的理論の蓄積を示していき、近代という時代、そして現代という時代を説明する上で、社会学はいかなる思考の道具をわれわれに提供しているのかを明らかにしていく。

履修上の留意点

私語をしない、携帯電話の電源を切るなど、基本的なマナーを守ること。

成績評価の方法

平常点と期末レポートで評価を行う。

教科書

指定しない。授業中にプリントを配布する。

参考書等

新陸人はか『社会学のあゆみ』、『社会学のあゆみパートII』（有斐閣新書）1979

その他

主に講義形式で授業を進めるが、前期は授業中に小テストを行う（参照可）。後期はリアクションペーパーで受講者の意見や感想などを取り入れながら進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	牛島千尋	社会3必	4

講義のねらい

履修者は「都市」に関するテーマを絞りこみ、論文という形に完成させるまで研究を進めていく。他者に理解できるような発表の仕方についても学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をする（基礎研究の復習）。後期は、研究論文の骨子を考え、引き続き、文献検索と資料収集を行い、発表を重ねていく。

履修上の留意点

履修者は、大学での演習と、さらに合宿での研究発表を併せて年に3回以上の発表を行う。

成績評価の方法

出席回数、発表内容、演習中の発言にて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介していく。

その他

「沈黙は金」ではなく、「発言は金」であることを自覚して演習に臨んでください。

社会(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習 I	川崎賢一 <small>かわ きま けん いち</small>	社会3必	4

講義のねらい

このゼミの目標は2つある。1つは、卒業論文執筆のノウハウを習得することである。そのために、3年次では、(1) 研究テーマの複数設定 (2) 研究計画 (3) テーマ絞りこみまでをおこなう。したがって、自主的な研究意欲と熱意が要求されるのはいうまでもない。もう1つは、(1) 社会学的分析のトレーニングと、(2) 文化や情報化・国際化に対応した文献(英文を含む)を講読する。前者は、オーソドックスな分析法を身につけることを目的に、各自の興味あるテーマ別に、発表形式で行う。後者は、最近の社会学研究の動向を踏まえた研究成果を講読する。

履修上の留意点

いずれにしる、研究を優先し、インターネットや英会話などがある程度できることをゼミ生に期待している。

成績評価の方法

平常点による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習 I	川本勝 <small>かわ もと まさる</small>	社会3必	4

講義のねらい

社会学の理論と方法を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

マス・コミュニケーションの社会学を中心に扱う。
前期は、マス・コミュニケーション論に関する論文を読みながら、理論の整理を行い、メディアと社会生活を分析する社会学的視点を修得する。
後期は、内容分析などを行い、方法論を修得する。理論と方法論を学んで、卒業論文のテーマを見つける。
年2回のゼミ合宿を行います。

成績評価の方法

出席、レポートによる報告、議論への参加によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	坪井 健	社会3必	4

講義のねらい

このゼミでは、社会学・社会心理学の学習を通して、我々が生活している世界の認識能力を高め、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざして、理論的・実践的な相互学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、集団心理、対人関係、世代（青年・高齢者）文化、国際交流、異文化理解など研究領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際的な研究をする。

具体的な共同研究テーマは、毎年変わる。

<坪井ゼミの年間行事予定>

「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「ゼミ合宿」(9月) / 「4年生卒論発表会」(12月) / 「追い出しコンパ」(1月) / 「卒論構想春合宿」(3月)

履修上の留意点

ゼミは、知識伝授型の学習ではなく、問題発見型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身であることを認識すること。ゼミ学習の場は、教室内に限らない。街頭や国内・海外を含む。そうした積極的な行動力を養ってもらいたい。また、ゼミでは、自分の個別の学習目標を持つこと。相互啓発を喚起すること。ゼミの集団文化育成に協力すること。

成績評価の方法

①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

教科書

特に、事前に指示しない。必要に応じて指示する。

参考書等

授業時間中に指示する。

その他

ゼミは、少人数授業ですので、全員参加が前提です。遅刻・欠席は教師に直接事前連絡することを義務づけます。ゼミ行事も多彩ですが、ゼミ生が共有する集団文化育成の集団活動ですので全員参加が前提です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	松 信 ひろみ	社会3必	4

講義のねらい

本演習では、現代家族やジェンダーにかかわる諸現象・諸問題に焦点を置き、基礎文献の講読、グループでの研究報告や討論、レポートの作成などを行う。一連の作業を通じて、卒業論文に向けての研究手法を習得するとともに、卒業論文のテーマの絞込みと研究の基礎固めを行うことが目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、いくつかのグループを作り、前期は基礎文献の輪読を行う。文献の読み方、レジュメの作成や報告の仕方など、ゼミの基本を確認するとともに、後期の研究テーマの発見に努める。後期は、各々のグループごとに研究テーマを設定して調査研究を進め、レポートの作成を行う。なお、9月には4年生と合同で合宿を実施し、卒業論文のテーマについての検討を行う予定。

履修上の留意点

履修者は前期、後期各々最低1回ずつの報告が期待される。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教科書

輪読する文献は開講時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

ゼミは、出席することはもちろん、参加しなければ意義がない。「恥じはかき捨て」のつもりで積極的に自分の意見を発言するように心がけて欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅰ	李妍炎	社会3必	4

講義のねらい

この演習には2つの目的がある。第1に、検索力、理解力と表現力を高めることである。そのために演習メンバーをグループ分けし、各グループでテーマを設定して定期的に発表を行う。それによって特定のテーマに関する検索作業、文献読み、プレゼンテーションの力を高める。第2の目的は演習メンバーが各自卒業研究に向けて準備作業を行うことである。それぞれが卒業研究で行いたい分野を見つけ、テーマを絞り、研究対象と課題を見つけるために一連の必要な作業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は演習の進め方、研究の進め方などの基本的な情報を共有した後に、3-4人単位のグループに分けて、交替でグループ発表を行う。発表テーマは自由に決める。グループ発表を行ってもらうと同時に、メンバーが各自の卒業研究準備作業を開始する。卒業研究の指導は個人指導の形で行う。

後期はグループ発表のほかに、ディスカッションもしくは個人によるプレゼンテーションも実施する。また、引き続き卒業研究の個人指導を行う。なお、3月に合宿を行い、卒業研究の中間発表を予定している。

履修上の留意点

演習でHPを作って運営し、メンバー同士でEメールのやりとりを行うことが多くなるので、自宅でもネット環境があったほうが望ましい。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

その他

外部講師による特別講義も予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	牛島千尋	社会4必	4

講義のねらい

演習Ⅰでは、すでに自分の研究テーマを絞り込み、論文作成のために文献を収集し、章立てと各章の概要をまとめているはずである。演習Ⅱでは、各自の研究テーマを引き続き深め、卒論完成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、卒論のおおよその骨子をまとめ、順に発表していく。後期は、細部にわたって論文の修正を行っていく。

成績評価の方法

出席回数、授業内での発表、発言、レジュメの内容、定期的な提出物によって総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介する。

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅱ	川崎賢一	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文を作成するために必要な指導が中心となる。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、卒論の書き方、そのマネジメントを教える。それから、各自の進行具合に即して、個人指導を中心にして行う。なお、時間が足りない場合は、別途アポイントメントをとって補足する予定である。

履修上の留意点

卒論への取り組みは早め早めにおこなうこと。

成績評価の方法

平常点・論文の出来、を勘案して評価する。

教科書

特になし。

参考書等

各自の必要性に応じて教示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅱ	川本勝	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成に向けた議論と指導が中心となります。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、卒業論文のテーマと内容について検討します。
夏合宿で、卒業論文の構成を考え、章、節だてを行います。
後期はドラフトを検討し、論文を書き上げていきます。

成績評価の方法

出席と議論への参加、レポート、論文の内容によって評価する。

参考書等

卒業論文のテーマによって適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅱ	小林弘人	社会4必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

社会
会
(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅱ	坪井 健 <small>つばい つよし</small>	社会4必	4

講義のねらい

このゼミでは、三年の「社会学演習Ⅰ」に引き続き、大学における社会学学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、3年次3月の「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降、補充研究と下書きおよび清書して、12月卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。1月末の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

〈坪井ゼミの年間行事予定〉

「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月) / 「卒論発表会」(12月) / 「新年会」(1月) / 「追い出しコンパ」(1月末) /

履修上の留意点

最終学年のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文を書かなければ卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究ノートを常に携帯して、空き時間等を上手に利用して、図書館等で自主的・計画的に研究を進めることが肝要です。

成績評価の方法

①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度、により総合的に評価します。

教科書

なし

参考書等

その都度、適切な参考文献を指示する。

その他

教師との積極的な相談を厭わないことをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅱ	松 信 ひろみ <small>まつ のぶ</small>	社会4必	4

講義のねらい

本演習では、卒業論文の作成を目指し、個人研究の指導を行う。各々の学生のテーマに沿った研究に基づき、無事卒業論文を執筆できることが最終的な目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、家族社会学・ジェンダー社会学の基本的な分析枠組みを教授するとともに、個々人の研究の進捗状況について報告してもらう。後期は、執筆中の論文についての報告をしてもらい、その内容についての議論、指導を行う。なお、9月には3年生と合同で合宿を実施し、卒業研究の中間報告をしてもらう予定である。

履修上の留意点

論文作成のためには、ゼミへの出席ばかりでなく、自ら行動を起こすことが要求される。文献・資料収集、調査など、自分の足を使い、積極的に行動して欲しい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

その他

大学生活最後のゼミである。論文の作成はもちろんだが、コンパや合宿を通じてゼミ生同士の交流も図り、有意義な時間として欲しい。

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文の執筆に向けた指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、自分の問題意識を見極めることを通じて、少なくとも論文のテーマだけは確定することを目標にしたい。就職活動の合間を縫って参加する学生が多くなることが想定されるが、テーマ設定は卒論執筆の前提なので頑張ってほしい。後期は、一人あたり少なくとも二回の中間報告を行ってもらい、執筆に向けた作業を詰めて行きたい。最終的には提出前に全員の草稿の読みあわせを行いたい。

成績評価の方法

卒業論文の執筆をもって、単位認定を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	り けん えん 李 妍 炎	社会4必	4

講義のねらい

この演習は、メンバーが各自充実した卒業研究を行うためのサポートを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前半では、メンバーそれぞれが定期的に各自の卒業研究について発表を行い、それを巡って全員で議論していく。後半では、各自のテーマと研究方法および進行状況に応じて、個別指導を中心に行う。

履修上の留意点

他人の研究に関心を持つように心がけること。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	川崎賢一 <small>かわ さき けん いち</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会学を理解するうえで、必要な英語を読む力をつけることを目的とする。単に、古典を読むことはしない。むしろ、前半は、実用的な読解力を新聞・雑誌・入門書でつけて、後半は、実際に、現代社会学を代表する文献の一部を購読する。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、新聞（朝日新聞英語版・インターナショナルヘラルドトリビューン）・雑誌（News Week）、入門書（GiddensのSociologyかKohenらのGlobal Sociology）等を使い、日本に関連する記事や論文の一部を読む力をつける。後半は、現代社会学代表する理論の一部（Giddens, The Transformation of Intimacy, 1992; Naoki Sakai, You Asians, 2002, 等）を使い、読解力や解釈力を高める。

履修上の留意点

授業の性格から、ゼミ形式をとり、事前に読むべき文献のコピーを渡し、それを読んだ上で授業に出席することが前提である。なお、何度もレポーターが回ってくることも承知しておいてもらいたい。

成績評価の方法

平常点を中心として、最後に簡単なレポートを課す予定である。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

社会学辞典（日本文と英文）を前もって購入しておくこと。また、出来る限り、英英辞典を使用すること。必要があれば、相談すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 社 会 論	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	社会2・3・4選	4

講義のねらい

題目：グローバリゼーションの社会学

この講義では、現代社会の基本的な趨勢のひとつであるグローバリゼーション（グローバル化）をとりあげ、主として経済的な過程に照準しながら、その過程と影響について、世界システム論的なアプローチに基づいて検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

主な内容は以下の通り。

1. グローバリゼーションとはなにか
2. グローバリゼーションをとらえる枠組
3. 日本におけるグローバリゼーション－経済過程を中心に
 - (1) 日本の生産システムの国際移転
 - (2) ポスト・フォーダイズム論争
4. NIEs 社会論－グローバリゼーションにおけるローカリズム
 - (1) NIEs 形成の社会的差異－アジアとラテンアメリカ
 - (2) 開発国家の社会的基礎
 - (3) NIEs 論としての日本資本主義論争
5. グローバリゼーションと世界システムの変容
 - (1) 「ポスト新国際分業」の成立
 - (2) 世界システムと社会主義

履修上の留意点

必修科目ではないので、あえて出席を促すことはしないが、講義内容の理解を深めるためには継続的に出席することが不可欠である。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。別途、レポートを課す可能性がある。

教 科 書

山田信行著『階級・国家・世界システム』ミネルヴァ書房、1998年。

参 考 書 等

適宜、指示する。

そ の 他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治社会学	岩瀬庸理 <small>いわせのぶただ</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 政治社会学の対象と方法
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
2. 政治的社会化
政治的自我の形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
3. 参加行動
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
4. 権力構造
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
5. イデオロギー
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

その他

講義形式とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法社会学	小林弘人 <small>こばやしひろひと</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教科書

及川伸著『法社会学講義』（法律文化社）2,781円

参考書等

講義初日に説明する。

（社会学）
社会

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化社会学	川崎賢一	社会2・3・4選	4

講義のねらい

文化的グローバリゼーションについて社会学的に分析する。領域としては、文化政策・文化産業・文化交流の3つである。主に、1980年代後半以降の最新の動向を中心に、多角的な観点から分析を進める。

講義の内容・授業スケジュール

文化政策については、多角的国際比較、文化産業については、創造都市論、文化交流に関しては、国際文化交流機関の社会学、という3つに、NGO/NPO論を追加して論じる予定である。

履修上の留意点

授業は、講義形式で行われるが、あわせて参考文献をあらかじめ読んでおいたり、必要なグローバルな情報・知識（指定する）を習得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

平常点とレポート

教科書

特に指定しない。

参考書等

川崎など編「NPOの電子ネットワーク戦略」（東大出版会、2004）
Kawasaki (eds.), *Global Culture*, Routledge, 2002

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教社会学	芳賀学	社会2・3・4選	4

講義のねらい

古今東西、人間社会には（形の違いこそあれ）何らかの宗教が存在し、それぞれの社会や時代の状況に対応してさまざまな役割を果たしてきました。この授業では、アイデンティティをキーワードとして、そもそも人間にとって宗教が必要である根本的な理由と、われわれの住むこの日本社会において宗教（及び宗教周辺現象）が果たしてきた（または果たしている）役割について概括的に理解することを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期）（1）オリエンテーション （2～5）アイデンティティと宗教
（6～8）新宗教とは何か（発達段階・思想・組織・活動）
（9～13）時代の中の新宗教（幕末から現在まで）
（後期）（14・15）宗教周辺現象の拡大 （16・17）心理療法的な活動
（18～20）ネットワークビジネスとエステ
（21・22）占いとヒーリング （23・24）オウム事件と危機管理
（25・26）自分探しのパラドックス

履修上の留意点

本講義を履修するにあたっては、以下の二点に留意してください。（1）有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。（2）多くの情報をどん欲に吸収すると同時に、それを鵜呑みにしないで、自分に引き付けてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績については、基本的に、夏期休暇に課すレポート（4000字程度）と年度末に行うペーパーテスト（筆記式）との総合評定で決定しますが、不定期に課すリアクションペーパーの提出状況によってはその結果に若干の加点措置を講じる予定です。

教科書

使用しない。

参考書等

授業開始後に適宜紹介する。

その他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域社会学	うし牛 じま島 ちひろ 尋	社会2・3・4選	4

講義のねらい

1) 本学の地域社会学は従来の農村社会学と都市社会学を併せ持った内容を提示することを目的として開講されている。高度経済成長以降、都市人口はますます肥大化し、その重要性は農村をはるかに凌いでいる。そのため、本講義の前半では、主に都市社会学の主要な理論を講述し、地域社会としての都市へアプローチするための基本的概念と分析方法について理解を深めていく。しかし、都市の成長過程は農村の衰退過程と対応関係にある。そこで、主に東京をとりあげ、近代以降の都市拡大と歴史的変容過程に焦点を当て、その背後にある諸要因および都市拡大・変容がもたらした諸結果について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 2) 講義内容の概略は以下の通りである。
1. 人間生態学とシカゴ学派の諸研究
 2. 都市と農村、中心都市と郊外、
 3. シカゴ学派の都市研究に対する批判と継承
 4. 都市化過程と都市サイクル論
 5. 都市問題と都市計画
 6. 現代の大都市構造と新しい問題の生起

履修上の留意点

- (3) 前半の理論部分を理解していなければ後半の講義は理解できません。その点を留意して履修してください。

成績評価の方法

- (4) 出席状況 (20点)、中間試験 (40点)、後期レポート (40点) によって評価します。

教科書

- (5) 高橋勇悦監修、菊池美代志・江上渉編『21世紀の都市社会学』学文社、2002年。

参考書等

- (6) その都度紹介します。

その他

- (7) ビデオや powerpoint などの電子教材を利用し、講義形式で行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
災 害 社 会 学	こ 小 ^{しま} 嶋 ^{なお} 直 子	社会2・3・4選	4

講義のねらい

自然災害研究には、自然科学と社会科学の双方からのアプローチがあるが、本講義では社会学、社会心理学および都市科学を含めた社会科学的観点から講義する。自身、風水害といった自然災害に関する災害時の情報と人間行動、災害後の復興計画などの諸問題について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・オリエンテーション
- ・「災害社会学」概説
- ・災害史（天災～都市災害）1. 2
- ・災害研究史
- ・災害の持つ諸次元
- ・災害文化と災害観1. 2
- ・災害と大衆行動1. 2
- ・災害と流言飛語1. 2
- ・災害と報道1. 2. 3
- ・災害と地域特性1. 2
- ・組織論
- ・ボランティア
- ・災害の社会文化に対する長期的影響1. 2
- ・災害復興と社会システム1. 2

履修上の留意点

とくになし

成績評価の方法

平常点と定期試験により評価する。

教 科 書

使用せず

参 考 書 等

授業中に指示する。

そ の 他

過去の災害研究を踏まえ、災害に関わる様々なトピックを挙げながら講義を進める。また、近年の災害を事例として災害時における諸問題を明らかにする。必要に応じてビデオテープの使用や資料配付を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 川本 勝 <small>まさる</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、効果、影響過程を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教科書

特に使用しない。

参考書等

適宜紹介する。

社
会
学
()

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 心 理 学	つばい 井 健	社会2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、個人の社会的行動、対人関係、集団行動と個人、集団心理現象など、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、実験、テスト、観察、調査など心理学と社会学の研究方法が用いられており、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この講義では、境界科学としての特徴を生かし、具体的なテーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて授業を展開したいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会的自己 - 自己過程の社会心理 -
3. 他者との交わり - 友人関係と対人魅力 -
4. 対人関係の心理 - 援助行動と社会的影響 -
5. 集団の中の個人 - 同調行動と意思決定 -
6. 文化現象と個人 - 異文化と日本人 -
7. 現代社会と個人 - 現代人の社会心理 -
8. その他（社会的認知、社会的欲求、態度変容、リーダーシップなど）

履修上の留意点

1. 授業中に、小実験や心理テストなどを行なうことがあるので、積極的に参加すること。
2. 講義の内容は、通年テーマの概略である。授業の流れとの関係で内容や順序は変更する。
3. 授業中は、配布資料を参考にノートを取り、さらに深く研究したい人は、紹介した文献を参考に自主的に学習内容を深めてもらいたい。

成績評価の方法

1. 出席 + 毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (20%)
2. 課題レポート・期末試験 (80%)

教 科 書

毎時間のテーマ毎に指示する。

参 考 書 等

授業時間中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の中では、時々、過去の卒論から優れた研究事例（社会心理学的）を紹介しますので、これから卒論作成をしようとする人は、自分の卒論研究のテーマや研究方法のヒントにしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会病理学	山本 功 <small>やまもと いさお</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回 イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回 「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回 「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回 「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回 「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか：犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回 ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価。

教科書

矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』（学陽書房）1,995円 ISBN4-313-34008-4

参考書等

澤登俊雄『少年法』（中公新書）2000年
 鮎川潤『少年犯罪』（平凡社新書）2001年
 中河伸俊『社会問題の社会学』（世界思想社）1999年
 平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学』（世界思想社）2000年
 矢島正見『少年非行文化論』（学文社）1996年
 法務省編『犯罪白書』
 警察庁編『警察白書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 原 論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 授業内容とそれに必要な準備
- 第1回 社会学とは何か
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位としての行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程
人間の行為は“inter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1、役割の取得－社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第6回 2、役割の準拠－準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第7回 3、役割の葛藤－マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとしての職場人間
- 第8回 社会統制と逸脱行為
1、規範と同調－逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第9回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第10回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第11回 社会集団
- 第12回 1、社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第13回 2、社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第14回 3、集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第15回 4、集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第16回 5、集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第17回 前期試験 集団・文化・パーソナリティ
- 第18回 組織論と官僚制
1、組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第19回 2、官僚制組織の基本原理 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原理 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第20回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／ゲールドナー、ブラウの官僚制論
- 第21回 社会意識
1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第22回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第23回 3、社会的性格
イ、フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第24回 ロ、ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第25回 4、社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第26回 全体社会の構成
1、経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第27回 2、政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
- 第28回 3、法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
- 第29回 4、教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第30回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

社
会
(社会学)

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）。

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育社会学	伊藤 茂樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室以内での人間関係や相互作用といったマイクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたいうえで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマとして、教育社会学の対象と方法、学校の歴史と機能、社会化とその変容、情報化社会と青少年、教育制度、カリキュラムと知識、学校の組織と文化、階層と教育、教育問題と教育改革、などを予定している。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を求める。

成績評価の方法

課題とレポートにより評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤 憲昭	社会2・3・4選	4

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「シャーマニズムと仏教」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにしたい。

シャーマニズムとは、神霊と直接交流をしながら、予言、託宣、祭儀、治病行為などの役割を果たす人物（＝シャーマン）を中心とする宗教現象である。この現象はあらゆる宗教と結びつく性格を具えているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教との諸関係に注目して考察するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、1. 宗教人類学の学問的特徴、2. フィールドワーク、3. シャーマニズムの研究史、後期は、1. シャーマンの神人交流の諸相、2. シャーマンと仏僧、3. シャーマニズムと仏教の諸相、などのテーマのもとに考えてみたい。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

（社会学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会調査演習（前期）	かわもとまさる 川本 勝	社会2・3・4選	2

講義のねらい

社会調査の方法は、統計調査（量的調査法）と事例調査（質的調査法）に大別される。この社会調査演習では、後者の質的なデータの収集、分析の方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション：社会調査演習の目的と進め方について。
2. 質的調査法の特質と意義（1）
統計調査（量的調査法）と対比し、質的調査法の特質を整理する。
3. 質的調査法の特質と意義（2）
質的、インテンシブ、インフォーマルな研究方法の必要性と意義について考える。
4. 質的データ収集の方法（1）
参与観察、ヒヤリング調査、内容分析など質的調査の方法、種類について。
5. 質的データ収集の方法（2）
データ収集上の注意点。特に現地への入り方、協力のもとめかた、聞き取りなどについて。
6. ヒヤリング（聞き取り）をやってみよう
課題を設定して、学内でヒヤリングを実施してみる。
7. データの整理と分析（1）
質的データの整理、分析や解釈の方法とその問題点。
8. データの整理と分析（2）
実施したヒヤリングの内容を整理分析する。
9. 内容分析の方法。
内容分析とは何か。内容分析の目的、手続き。内容分析の研究例。
10. 内容分析の課題の設定
内容分析であきらかにする課題の検討。新聞かテレビ番組を対象にして検討する予定。
11. 内容分析の対象の選定
調査対象（分析するメッセージ）の決定、分析単位とそのカテゴリセットの検討。
12. ゴーディング（1）
コード表を作成した後、コーディング作業を実施する。
13. ゴーディング（2）
コーディング作業の実施。
14. 結果の集計：集計、分析を行う。分析の妥当性、信頼性について。
15. まとめと課題

履修上の留意点

社会調査士の認定科目になる予定なので、毎回参加できること。

成績評価の方法

出席、討論・作業（演習）への参加、貢献の度合いなど平常点によって評価。

教科書

特に使用しない。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会統計学演習（前期）	まつのぶ 松 信 ひろみ	社会2・3・4選	2

講義のねらい

本演習では、社会調査における量的調査のデータ分析に不可欠である様々な手法について、主として社会統計パッケージ（SPSS）を用いて学んでゆく。まず、SPSSの操作法に慣れるために、基礎統計量の算出やクロス集計・分析についてその手法を学び、最終的には重回帰分析をはじめとする多変量解析モデルを取得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義とコンピューターを用いた実習を織り交ぜながら、以下のような項目にしたがって、各々の項目について数回ずつ時間をとって進めてゆく。

1. さまざまな多変量解析の手法
2. SPSSの操作法
3. 基礎統計量の算出とクロス集計
4. 重回帰分析
5. ロジスティック回帰分析
6. 因子分析
7. クラスタ分析

履修上の留意点

演習時間内だけで、SPSSの操作法を習得することは困難である。空き時間を利用して、少しでも操作法になじむようにしてほしい。

成績評価の方法

平常点、および課題の提出。

教科書

室淳子+石村貞夫『SPSSでやさしく学ぶ多変量解析』（東京図書）2001年

参考書等

石村貞夫『SPSSによる多変量データ分析の手順』（東京図書）2001年

その他

卒業論文で量的手法により自分で調査を行う、あるいは既存の統計データを加工して使用したいと思っている学生は、積極的に履修してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 調 査 実 習	やま だ のが ゆき 山 田 信 行	社会3・4選	4

講義のねらい

2年生までに受講した社会調査関連の授業で体得した理論・分析手法・スキルを総動員し、通常行われている社会調査の全過程に関わることを通じて、“現実の”社会に接し、社会認識を深めることを課題とする。

講義の内容・
授業スケジュール

参加学生は相互に協力しながら、自らの問題意識をもって仮説をたて、調査を企画し、調査票を作成し、調査を実践し、収集データを分析し、報告書をまとめてもらわなければならない。社会調査関連の授業の総決算として、社会調査という学問を最終的にマスターすることを目指す意欲的な学生の参加を期待する。主なスケジュールは以下の通り。

1. 調査テーマの決定
参加者による討議を経て決定する。
2. 調査票の作成
調査テーマに則して、参加者が分担してクエスチョネアを作成し、配列する。
3. サンプルングと調査対象者への事前連絡
今年度は自治体に協力してもらい、サンプルングを行う予定。サンプルングした対象者にハガキで調査に関して事前連絡を行い、協力を依頼する。
4. 調査の実施
夏休みなどの期間を利用して、2週間程度かけて集中的に調査を実施する。調査は、面接法による。
5. コーディングとデーターの入力
収集したデーターをコーディングし、参加者が分担してSPSSソフトに入力する。
6. データーの分析
クエスチョネアを作成したときに設定した仮説に基づき、分担してデーターを分析する。
7. 結果の報告
分析結果について、参加者がひとりずつ報告を行い、さらなる分析課題を確認する。
8. 報告書の執筆
参加者が無図からの分析結果に基づき、報告書を執筆する。
9. 反省会
調査実習に参加した経験を振り返り、反省点を確認する。

履修上の留意点

授業に参加することがなりよりも重要。

成績評価の方法

出席と参加意欲を重視した平常点によって評価する。参加者は報告書の分担執筆の義務がある。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

安田三郎他『社会調査ハンドブック』有斐閣など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学理論研究Ⅰ(前期)	李 妍 炎	社会3・4選	2

講義のねらい

この授業では、リーダーシップの理論について、文献を講読し、受講者全員で議論する形で進めていく。それを通して、リーダーシップに関する理論を理解し、リーダーシップのあり方について考え、現在の日本におけるリーダーシップの問題について検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

リーダーの資質や類型に関する議論、リーダーシップのあり方に関する議論は、社会学の分野においてだけではなく、経営学や組織行動学の分野においても盛んに行われてきた。カリスマ型のリーダーよりも、近年はファシリテーター型リーダーの重要性が強調されるようになったのも、それらの議論の流れの1つである。この授業ではリーダーとリーダーシップに関する文献を精選して講読し、寡頭型リーダーシップ、協働型リーダーシップ、サポート型リーダーシップなど、多様なリーダーシップのあり方について考え、日本におけるリーダーシップの問題を提示していく。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末レポートによって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

静かなリーダーシップ Harvard business school press ジョセフ・L. バダラッコ(著), Joseph L.Jr. Badaracco(原著), 夏里尚子(翻訳), 高木晴夫, 渡辺有貴
 ファシリテーター型リーダーの時代フランリース(著), Fran Rees(原著), 黒田由貴子(翻訳), P.Y. インターナショナル(翻訳)

その他

この授業は主に演習形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学理論研究Ⅱ(後期)	川 本 勝	社会3・4選	2

講義のねらい

社会学の研究領域の1つであるマス・コミュニケーション研究における社会学理論を扱う。マス・コミュニケーションの社会学的研究のなかで、もっとも精力的に行われてきた領域の1つが、マス・コミュニケーションの効果や影響に関する研究である。この講義では、過去の効果研究の概要を整理し、70年代以降に登場した新しい効果理論を中心に検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. マス・コミュニケーションの効果研究の推移
2. 初期の効果研究の代表的理論
3. 新しい効果理論
 - (1) 議題設定機能仮説
 - (2) 沈黙の螺旋理論
 - (3) 培養理論
 - (4) メディアシステム依存理論
 - (5) エンコーディング/デコーディングモデル
4. まとめ-今後の課題-

成績評価の方法

授業時間内のレジュメの提出報告、レポート、出席による平常点。

参考書等

田崎・児島編著『マス・コミュニケーション効果研究の展開 [新版]』北樹出版。

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学特殊講義 I (後期)	まつ のぶ 松 信 ひろみ	社会 3・4 選	2

講義のねらい

本講義では、出産と子育て、および仕事と子育ての調和政策についての比較社会学を試みる。まず、リプロダクティブ・ヘルス&ライツの観点から、日本における出産と生殖医療について、さらに「仕事と家庭生活の調和」という観点から、就労と出産・育児の調和政策について概観する。その上で、欧米先進諸外国における出産・育児の現状、諸政策を検討し、日本との比較検討を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、リプロダクティブ・ヘルス&ライツ、および「仕事と家庭生活の調和」という概念について考察し、これらにかかわる実情、政策を把握する。具体的には以下のような項目にしたがって講義を進める。

- ①リプロダクティブ・ヘルス&ライツとは
- ②仕事と家庭生活の調和政策とは
- ③日本における出産と生殖医療の現状
- ④日本における就労と子育ての調和支援策
- ⑤欧米先進諸国における出産
- ⑥欧米先進諸国における就労と子育ての調和支援策

履修上の留意点

「仕事と家庭の調和」は、これから多くの皆さんが経験するであろう問題であると思われる。漫然と講義に出席するのではなく、自分自身にかかわる問題として問題意識をもって取り組んで欲しい。

成績評価の方法

不定期に講義時に課す小レポートおよび学期末の試験

教科書

特に指定しない

参考書等

開講時に指示する

その他

特にテキストは使用せず、必要に応じてプリントなどの資料を配布する。ビデオなどの視聴覚教材も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学特殊講義Ⅱ(後期)	李妍炎	社会3・4選	2

講義のねらい

この授業では、「中国の社会変動の最前線：経済改革から社会改革へ」というテーマで行う。中国では改革開放政策を進め、市場経済を行うようになって20年以上経過した。経済改革によって多くの社会問題が発生し、山積するようになった。この授業ではこれらの社会問題の一部を取り上げ、それらに対処すべくまさに現在中国社会で推し進められている社会改革の取り組みについて学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

主に中国都市部で顕著になりつつある社会問題を取り上げ、その対処に乗り出す政府の取り組みと民間の取り組みそれぞれをみていく。具体的には、貧富の格差の問題、都市部における地域間格差の問題、コミュニティづくりの問題、社会保障と福祉の問題、教育の問題、新中間階層の形成の問題などを取り上げる。これらの問題がなぜ発生し、またどのように発生しており、どのような影響を及ぼしているのか。中国では誰がどのような背景から、どのような経緯と手法でこれらの問題に対処しようとしているのか、毎回様々な資料を使いながら受講生と一緒に学んでいく。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

期末レポートによって評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

王名・李妍炎・岡室美恵子著、2002、『中国のNPO：今、社会改革の扉が開く』第一書林。

その他

なし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	鷄徳啓登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣)4,000円 その他、教場にて説明。

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 (福祉)	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理 2) 基本的人権 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則 2) 物権 3) 契約 4) 不法行為 5) 親族 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為 2) 行政不服審査 3) 行政訴訟 4) 行政手続き 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』(創成社)

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会保険論	ふなみず ひろゆき 船水 浩行	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気がケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、(1)現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、(2)「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	東 條 光 雅 <small>とう じょう みつ まさ</small>	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。授業態度に問題がある場合には退室してもらうことがあるので、気を引き締めて履修してもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。また、出席点は考慮しない。

教 科 書

教科書は初回講義時に指示する。

参 考 書 等

出版社は問わないが、最新の「社会福祉小六法」は購入しておくこと。また、その他の参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

そ の 他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	むら た かず あき 村 田 一 昭	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

1989年に国連子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉制度や実践の変革に向けた努力が行われてきています。そこで本講座では、子どもと家庭のウェルビーイング（well-being）をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組や各領域のサービス体系の現状と課題およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：①子ども家庭福祉の理念、②子ども家庭福祉の歩み、③子ども家庭福祉の最近の動向、
④子ども家庭福祉の担い手、⑤子ども家庭福祉の法体系と実施体制
後期：①子ども家庭福祉施策の現状と課題、②子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践

履修上の留意点

「考える」授業となるよう、質問・意見等授業中の積極的な発言を望みます。

成績評価の方法

半期ごとに、出席（50点）、小レポート（40点）、読書・ビデオ感想文（10点）の累積点で評価します。なお、質問・意見等授業中の積極的な発言にはボーナス点を加算します。

教 科 書

高橋重宏・山縣文治・才村 純編『子ども家庭福祉とソーシャルワーク』（社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論）（有斐閣）2,000円

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

講義を中心に、適宜、グループ討議等を交えて、授業を展開します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 豊 田 宗 裕	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

(1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）

- ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
④現在の地域福祉施策の特徴

(2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）

- ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み

③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法

(3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望

- ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度

③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール（番号は授業回数ではない）

：講義テーマ：講義内容

1：地域福祉と生活問題：地域福祉の考え方と現代の生活問題

2：地域福祉とコミュニティ：地域社会の変遷とコミュニティの形成◆住民の社会参加の状況とコミュニティ 他

3：地域福祉理念の変遷：地域福祉理念の歴史的変遷

4：地域福祉の概念とその範囲：地域福祉の代表的な考え方とその類型

5：地域福祉のサービス体系：地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念◆地域福祉活動の体系とその内容 他

11：地域福祉の推進方法：地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他

16：福祉教育の推進：福祉教育の考え方とその推進

17：地域福祉の財源：地域福祉の財源と共同募金の理解 等

21：地域福祉の推進組織：社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他

24：地域福祉のマンパワー：ボランティア活動とその動き◆地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書

初回の授業時に指示する。

参考書等

授業時間内に指示する。

その他

講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童心理学	よこやま つよし 横山 剛	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する)。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点(小レポート) + 夏季レポート + 年度末定期試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』(北樹出版)

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業心理学	おの こういち 小野 公一	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人々が、企業やその他の組織に所属し働く時遭遇するさまざまな問題について、心理学的にアプローチする。具体的には、組織が目的達成のために仕事の仕組みやシステムを考えたり、そのメンバーを募集・選抜し、配置し、仕事の結果やそれに対する態度を評価し、育成するというような制度的な面(ハード)や、日常、上司が部下に仕事を割り振り、仕事をさせ、同時に、集団としての職場をまとめ、部下を育成したりするという運用面(ソフト)について、心理学がどのようににかかわり貢献したかをみる。後者については、動機づけやリーダーシップ、コミュニケーションなど、日常よく使う言葉が講義の対象になる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、産業心理学の歴史を見た後、人事心理学といわれる制度面について講義する。具体的には、職務分析と職務設計(2回)、募集・採用、配置・異動、キャリア発達と教育訓練(2回)、メンター、人事評価・ヒューマンアセスメントとコンピテンシー(2回)などが中心となる。

後期は、実際の日常の仕事の中における上司-部下関係を中心に見ていく。具体的には、動機づけ(3回)、職務満足感、コミットメントの関係、リーダーシップ(4回):特性論・行動論・状況論、メンタルヘルス(2回):仕事ストレスとコーピング・企業の対応、コミュニケーションなどが中心になり、最後にまとめを行う。

なお、受講者数が多くないときは、討議形式のケース・スタディも実施したい。

成績評価の方法

最終試験5割、中間試験4割、4・5回の出席確認と任意のレポート提出1割の合計で評価する。試験は、客観テストで、ノートとテキストの参照は可である。

教科書

小野公一『“ひと”の視点からみた人事管理』(白桃書房)1997

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	大野隆造	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）1996

科目名	担当者名	配当学科	単位
老年心理学	中里克治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

成績評価の方法

定期試験

教科書

下仲順子編『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光岡 ぼく 博美	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学の中なかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義の中なかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	おおみや たかし 大 宮 隆	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 親族
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子
親子の種類、実子、養子
4. 親権
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐
機関、事務、終了
6. 相続
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言
方式、効力、執行

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教 科 書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あさの かつみ 浅野 克巳	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 - 2. 所得はどのようにして決まるのか
 - 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 - 4. IS-LM分析と財政金融政策
 - 5. 経済の変動と成長
 - 6. 賃金・物価・インフレーション
 - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 - 1. 市場と価格メカニズム
 - 2. 消費者行動の理論
 - 3. 企業行動の理論
 - 4. 不完全市場とは何か
 - 5. 市場の失敗
 - 6. 不完全情報の経済学
 - 7. リスクと不確実性
 - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもつてのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の類出問題』（実務教育出版）

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

6 社 会 学 科
社 会 福 祉 学 專 攻

社(社会福祉学)
会

II. 専門教育科目

(6) 社会学科 (社会福祉学専攻)

社会福祉原論	〈伊藤秀一〉	605
法学 (福祉)	〈小林弘人〉	606
情報処理論	〈軽部幸浩〉	607
社会福祉援助技術総論	〈桐原宏行〉	608
社会福祉基礎演習	〈小畑和〉	608
社会福祉基礎演習	〈小林弘人〉	609
社会福祉基礎演習	〈佐藤光正〉	609
社会福祉基礎演習	〈東條光雅〉	610
社会福祉専門演習Ⅰ	〈伊藤秀一〉	610
社会福祉専門演習Ⅰ	〈小畑和〉	611
社会福祉専門演習Ⅰ	〈桐原宏行〉	611
社会福祉専門演習Ⅰ	〈小林弘人〉	611
社会福祉専門演習Ⅰ	〈佐藤光正〉	612
社会福祉専門演習Ⅰ	〈東條光雅〉	612
社会福祉専門演習Ⅰ	〈長尾讓治〉	613
社会福祉専門演習Ⅱ	〈伊藤秀一〉	613
社会福祉専門演習Ⅱ	〈小畑和〉	614
社会福祉専門演習Ⅱ	〈佐藤光正〉	614
社会福祉専門演習Ⅱ	〈東條光雅〉	614
社会福祉専門演習Ⅱ	〈桐原宏行〉	615
社会福祉専門演習Ⅱ	〈小林弘人〉	615
社会福祉専門演習Ⅱ	〈長尾讓治〉	615
ソーシャルワーク・リサーチ論	〈石川久展〉	616
家庭福祉論	〈武山梅乗〉	617
児童福祉論	〈村田一昭〉	617
障害者福祉論	〈桐原宏行〉	618
老人福祉論	〈東條光雅〉	619
女性福祉論	〈林千代〉	620
医療福祉論	〈坂野憲司〉	620
公的扶助論	〈伊藤秀一〉	621
保健福祉論	〈山本哲也〉	621
地域福祉論	〈豊田宗裕〉	622
外書講読	〈東條光雅〉	623
社会保障論	〈船水浩行〉	623
社会福祉援助技術各論ⅠA	〈北島英治〉	624
社会福祉援助技術各論ⅠB	〈北島英治〉	624
社会福祉援助技術各論ⅡA	〈川廷宗之〉	625
社会福祉援助技術各論ⅡB	〈川廷宗之〉	626
社会学 (福祉)	〈武山梅乗〉	627
心理学 (福祉)	〈高橋良博〉	627
医学一般	〈小林臻〉	628
介護概論	〈鈴木知佐子〉	628
介護技術	〈鈴木知佐子〉	629
精神医学	〈黄ミンシユク〉	629

精神保健学	〈坂村 雄〉	630
精神保健福祉論 I	〈佐藤 光正〉	630
精神保健福祉論 II	〈佐藤 光正〉	631
精神保健福祉援助技術各論	〈上野 容子〉	631
社会福祉発達史	〈林 千代〉	632
国際社会福祉論	〈休 講〉	
社会福祉計画論	〈川廷 宗之〉	633
リハビリテーション論	〈向後 礼子〉	634
家族療法	〈治田 哲之〉	634
社会福祉学特講 I	〔児童〕 〈山本 哲也〉	635
社会福祉学特講 II	〔老人〕 〈橘内 真里子〉	635
社会福祉学特講 III	〔障害児・者〕 〈向後 礼子〉	636
社会福祉学特講 IV	〔相談・援護〕 〈大須賀 力〉	637
社会福祉学特講 V	〔福祉士〕 〈長尾 讓治〉	638
社会福祉学特講 VI	〔家族〕 〈小畑 和〉	639
家族社会学	〈休 講〉	
法社会学	〈小林 弘人〉	640
社会病理学	〈山本 功〉	641
心理検査法	〈稲富 正治〉	642
環境心理学	〈大野 隆造〉	642
社会政策	〈光岡 博美〉	643
行政法	〈鶏 德啓登〉	644
労働法	〈藤本 茂〉	645
民法	〈大宮 隆〉	646
経済原論	〈浅野 克巳〉	647
社会福祉援助技術現場実習 I	〈佐藤 光正〉	648
社会福祉調査実習	〈東條 光雅〉	649
社会福祉援助技術現場実習 II	〈伊藤秀一・小畑 和・桐原宏行・長尾讓治〉	650
社会福祉援助技術演習 I	〈北島 英治〉	650
社会福祉援助技術演習 I	〈讃岐 真佐子〉	651
社会福祉援助技術演習 I	〈長尾 讓治〉	652
社会福祉援助技術演習 I	〈村田 一昭〉	653
社会福祉援助技術演習 II	〈北島 英治〉	653
社会福祉援助技術演習 II	〈讃岐 真佐子〉	654
社会福祉援助技術演習 II	〈長尾 讓治〉	654
社会福祉援助技術演習 II	〈村田 一昭〉	655
精神科リハビリテーション学	〈城田 晴夫〉	655
精神保健福祉援助演習	〈佐藤 光正〉	656
精神保健福祉援助実習	〈佐藤 光正〉	656

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉1必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- ①社会福祉の理念
- ②社会福祉の概念
- ③社会福祉の歴史 (イギリス・日本)

(後期)

- ④社会福祉の制度
- ⑤社会福祉の分野
- ⑥社会福祉の方法

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法

評価は、年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』(誠信書房)

参考書等

随時紹介する。

その他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 (福祉)	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1必	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理 2) 基本的人権 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則 2) 物権 3) 契約 4) 不法行為 5) 親族 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為 2) 行政不服審査 3) 行政訴訟 4) 行政手続き 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理論	かるべ ゆきひろ 軽部 幸浩	福祉1必	4

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したのも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会福祉のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了すること。

参考書等

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に用意しておくこと。その他、年間約5枚程度の3.5インチ高密度フロッピディスクが必要となる。

その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センター1F自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術総論	桐原 宏行	14以降入学生/福祉1必 13以前入学生/福祉2必	4

講義のねらい

- ・人権尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえた社会福祉サービスと援助活動の関係について理解する。
- ・福祉専門職と専門援助技術の関係について理解する。
- ・社会福祉援助技術に由来する倫理について理解する。
- ・ソーシャルワーカーに必要とされる対人援助関係の形成を図るための基本的コミュニケーション方法等を理解する。
- ・社会福祉援助活動の展開過程を重視しつつ、その目的・価値・原則及び体系とそこにおける共通課題について理解する。
- ・社会福祉援助活動における専門援助技術体系を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

<前期内容>

- ・社会福祉における援助活動の意義（第1回～第2回）
- ・社会福祉、社会福祉サービスと援助活動の関係（第3回～第5回）
- ・専門性と専門援助技術の関係（第6回～第8回）
- ・専門援助技術と倫理（第9回～第10回）
- ・社会福祉援助技術の歴史的展開（第11回～第13回）

<後期内容>

- ・直接援助技術（ケースワーク・グループワークの意義、展開過程、関連技術等の理解）（第1回～第8回）
- ・間接援助技術（コミュニティーワークを中心とした間接援助技術の意義、展開過程、関連技術等の理解）（第9回～第12回）
- ・ケーススタディのまとめ（授業で継続して取り扱ってきた事例に関する検討）（第13回）

履修上の留意点

この授業では、継続的にさまざまな事例に接し、自ら思考、判断していく主体的取り組み行っていく、その成果を成績にも加味していく。

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポート（ケーススタディ）の提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論Ⅰ』（中央法規）2,500円

参考書等

講義のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	小畑 和	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は『厚生労働白書』に準拠して行う。
内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済的実像、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。

履修上の留意点

講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。

成績評価の方法

出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。

教科書

『厚生労働白書』

その他

日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教 科 書

授業開始の初日に指示する。

参 考 書 等

授業開始の初日に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	さ とう こう せい 佐 藤 光 正	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が、今後、専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識について幅広く学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は幅広い知識とプレゼンテーションの基礎を身につけ、後期はそれらを深めさらに自分の意見を述べる演習を行う。

履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

教 科 書

必要に応じて指示する。

参 考 書 等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	福祉2必	4

講義のねらい

本演習は、専門演習へ入る前の導入的位置付けであり、資料収集の仕方、資料のまとめ方、分析の仕方、発表の仕方等を実際に体験しながら体得してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。

こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。

履修上の留意点

出席は勿論、演習であるから自主的・主体的・積極的な参加を重視する。

研究報告会では、エクセルやパワーポイントを使うことになるので、1年次の「情報処理論」の授業でしっかりと会得しておくこと。

成績評価の方法

評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、年2回の研究報告会の発表内容等により、総合的に行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習 I	いとうしゅういち 伊 藤 秀 一	福祉3必	4

講義のねらい

卒業論文で扱いたいテーマを選定する際の留意事項を学習するとともに、報告・討議をおとして各自の問題意識の深化を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究を進めることとしたい。当初は、討議のための共通基盤をつくっていくために適当なテキスト・文献を使用し、これを共同で解読する。その後、3年次において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。

履修上の留意点

ゼミを「出る杭を育てる」という方針で考えたいので、学生には主体的・積極的な学習への取り組みが要求される。

成績評価の方法

出席状況をはじめ、報告、討議への参加等、クラスワークのあり方をもとに総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	お ぼた かず 小 畑 和	福祉3必	4

講義のねらい

少子・高齢化の構造を持つ社会は本源的に永続的な効果を持たなくなり、経済の停滞により社会は閉塞化し、社会保障制度を維持することが困難になる。
少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深めていく。年度末には小論文の提出を義務付ける。

履修上の留意点

出席状況及び積極的学習態度、レポートなどを総合的に勘案して評価する。

成績評価の方法

出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	きり はら ひろ ゆき 桐 原 宏 行	福祉3必	4

講義のねらい

研究を行っていく上で必要とされる基礎的事項（文献研究、調査研究、事例研究、実験研究等の研究方法）の習得を目指す。演習では各自が年間研究スケジュールを設定して、それに沿って成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、障害者及び特別なニーズのある子どもの福祉（子どもの発達保障の問題も含む）を主なテーマとして展開していく。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「障害者雇用」「障害児・者のQOL」「家族支援」「地域支援」「障害理解（福祉教育）」「バリアフリー」などの問題の中から、各自の研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

『社会福祉研究の課題と方法』（田研出版）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉3必	4

講義のねらい

この演習は、社会福祉学専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両専攻に関連する文献を講読する。後半は各自の興味(どんな事柄でもよい)を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

社
会
福
祉
学

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	佐藤光正	福祉3必	4

講義のねらい

この演習では、各自の研究関心テーマを深め、次年度の卒論へとつながるゼミを展開する。素朴に“どうしてだろう”という問題意識から、各学生が関心を持つテーマについて調べた事柄等のディスカッションをとおして考察を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自が自分の関心領域から、テーマを絞り込むための演習。後期は、そのテーマを深めるために必要な演習を行う。ゼミ合宿(9月と3月を予定)では各自の成果のプレゼンテーションを行う。

履修上の留意点

グループでのディスカッションを中心にゼミを展開するため、主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点(出席状況、授業態度、課題提出状況)を中心に総合的に評価する。

参 考 書 等

特に指定しない。必要に応じて随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	東條光雅	福祉3必	4

講義のねらい

本演習では、福祉関連雑誌、新聞記事、インターネット等を活用しながら、高齢者福祉の制度・サービス・処遇に関する基礎的な知識の修得を目指す一方、研究報告会や集団討議等を通して、自己表現能力を磨いてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方等を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。

なお、年末までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

出席ならびに積極的なコミットメントを重視する。なお、年2回(9月と3月頃)の合宿研修を実施している。

12月上旬までに、12,000字以上のゼミ論文を作成することを義務づける。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

教 科 書

特には指定しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	ながおしょうじ 長尾 譲治	福祉3必	4

講義のねらい

この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題を通じて客観的な思考方法とコミュニケーション能力、またわかりやすい文章の書き方を身につけることを目指している。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマと一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を随時間きながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と主体的参加が何より求められる。従って、ゼミ選択時及び成績評価等には出席点が重視されることに留意して頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール

(今年度の例)

- 1 保健・福祉に関連するテーマのディベート授業（出生前診断、代理母、脳死、安楽死、死刑、遺伝子組換え、少年法改正、介護保険、身体拘束、措置制度 等）
- 2 グループ発表・ディスカッション（夫婦別姓、痛告知、喫煙、ドナーカード、温室効果ガスに関する京都議定書、精神障害者と犯罪・措置入院 等）
- 3 週間福祉ニュース（福祉時事問題に関するグループ発表とディスカッション）
- 4 ゼミ論に向けての個別指導

履修上の留意点

本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	いとうしゅういち 伊藤 秀一	福祉4必	4

講義のねらい

3年次の専門演習Ⅰの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、報告と討論をとおして卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自のテーマにそった報告をもとに、ゼミメンバー間での討議をとおして考察を深めていく。なお、全員参加を前提とする年2回のゼミ合宿においても卒業論文作成のための集団討議および個別指導を行う。

成績評価の方法

出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方とともに、卒業論文の内容を含めて総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	小畑 和	福祉4必	4

講義のねらい

専門演習Ⅰの継続授業として、少子・高齢化の構造を持つ社会について学ぶ。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深め、卒業論文の作成に結びつけていく。

講義の内容・授業スケジュール

少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深めていく。

履修上の留意点

出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

成績評価の方法

出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	佐藤 光正	福祉4必	4

講義のねらい

必修科目である卒業論文の指導が中心となる。社会福祉専門演習Ⅰでの各自の成果をもとに必要となる事項に関して行う。

履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	東 條 光 雅	福祉4必	4

講義のねらい

本演習は、3年次の社会福祉専門演習Ⅰの持ち上がりであり、“講義のねらい”に関しては、Ⅰの内容の延長上にある。

講義の内容・授業スケジュール

必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらおう。

履修上の留意点

原則的に、出席状況と積極性を重視する。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	桐原宏行	福祉4必	4

講義のねらい

この演習では、前年度の「社会福祉専門演習Ⅰ」での各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。

具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。

成績評価の方法

出席状況、研究進行過程での数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	小林弘人	福祉4必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	長尾譲治	福祉4必	4

講義のねらい

この演習は、専門演習Ⅰに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が決定した卒業論文のテーマにそって、個別指導を行うとともに、そのテーマに関するディスカッション等のグループ作業を行う。

4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力（発言力）をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

(今年度の例)

- 1 卒業論文指導（個別面談授業）
- 2 各自のテーマに関するグループ・ディスカッションの設定とその実施
- 3 就職その他、進路に関する個別相談

履修上の留意点

本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで開講される。仲間関係を有効に活かし、積極的・協力的に履修してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、必要なものは授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ソーシャルワーク・リサーチ論	いし かわ ひさ のり 石 川 久 展	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉1必	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査(ソーシャルワークリサーチ)の基礎的な知識を養うことを目的とする。

具体的な内容としては、まず、社会福祉分野においてなぜリサーチが必要なのか、その目的や意義といった理念からスタートし、社会福祉調査の発展経緯、調査の目的や方法、プロセスなど、基本的な調査の枠組みを中心として学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

具体的な講義内容とスケジュールは以下の通りである。

- ①オリエンテーション(授業概要と評価方法)、調査の目的と意義
- ②社会調査及び社会福祉調査の歴史的経緯
- ③仮説や理論モデル及び概念化・操作化について
- ④尺度と変数、尺度の水準について
- ⑤尺度の妥当性、信頼性について
- ⑥量的調査の意義と内容
- ⑦質的調査の意義と内容
- ⑧ソーシャルワークリサーチの実際

履修上の留意点

授業全体としては、講義形式が中心となるが、学生同士のディスカッションによる演習形式も若干取り入れるので、学生の主体的な参加が望まれる。

成績評価の方法

成績の評価方法については、まず、出席についてであるが、出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席日数が出席すべき日数の3分の1に満たない者は、評価の対象としないので注意されたい。その他の評価は、中間レポート(30%)、定期試験(50%)によって行う予定である。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

教 科 書

特に指定無し。

参 考 書 等

- (1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論II』(中央法規出版)1999年
- (2) 野村哲也『社会福祉調査論』(新評論)1980年
- (3) 古谷野亘・長田久雄『実証研究の手引き』(ワールドプランニング)1992年

科目名	担当者名	配当学科	単位
家庭福祉論	たけやまのり 武山梅乗	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい 家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、家族という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) I. 家庭福祉の視点：(1) 家庭福祉の視点、(2) 世帯構造と核家族化、(3・4) 家族制度とは、(5) 核家族の機能と構造、(6) 家族周期とライフコース、(7) イエ制度と〈近代家族〉
 II. 女性と家庭福祉：(8・9) フェミニズムからみた家族—母性、専業主婦、中絶、(10) 女性労働と育児、(11) 母子家庭の諸問題、(12・13) 夫婦別姓と婚姻の意義
 (後期) III. 子どもと家庭福祉：(14) 児童福祉の体系にみる〈こども〉観、(15) 消費としての子育てと〈地域〉における子育て、(16) 児童虐待
 IV. 高齢者と家庭福祉：(17) ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題、(18・19) 家族と高齢者介護、(20) 高齢者にとっての居住福祉
 V. 国家・地域と家庭福祉：(21) 日本における家族政策と福祉国家論、(22) 在宅福祉と〈地域〉、(23) 家庭—地域福祉という枠組み
 VI. 民間社会福祉と家庭福祉：(24) 家庭福祉の市場性、(25・26) 非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法 出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書 教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等 参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	むらたかずあき 村田一昭	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい 1989年に国連子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉制度や実践の変革に向けた努力が行われてきています。そこで本講座では、子どもと家庭のウェルビーイング(well-being)をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組や各領域のサービス体系の現状と課題およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

前期：①子ども家庭福祉の理念、②子ども家庭福祉の歩み、③子ども家庭福祉の最近の動向、④子ども家庭福祉の担い手、⑤子ども家庭福祉の法体系と実施体制
 後期：①子ども家庭福祉施策の現状と課題、②子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践

履修上の留意点 「考える」授業となるよう、質問・意見等授業中の積極的な発言を望みます。

成績評価の方法 半期ごとに、出席(50点)、小レポート(40点)、読書・ビデオ感想文(10点)の累積点で評価します。なお、質問・意見等授業中の積極的な発言にはボーナス点を加算します。

教科書 高橋重宏・山縣文治・才村 純編『子ども家庭福祉とソーシャルワーク』(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論)(有斐閣)2,000円

参考書等 随時、紹介します。

その他 講義を中心に、適宜、グループ討議等を交えて、授業を展開します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	まき はら ひろ ゆき 桐 原 宏 行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくことが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

<前期内容>

- ・障害特性の理解（視覚障害、聴覚言語障害、運動障害、内部障害、知的障害）（第1回～第7回）
- ・障害者福祉の理念（ノーマライゼーション、リハビリテーション等）（第8回～第9回）
- ・障害の概念（障害の構造的理解）（第10回）
- ・障害者の実態（第11回）
- ・障害者福祉の歴史（第12回～第13回）

<後期内容>

- ・障害者福祉の施策（障害者福祉に関連する法律の理解、障害者福祉における行政の役割、障害者プラン、支援費制度等）（第1回～第5回）
- ・障害者福祉サービス（身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の各領域別福祉サービスの理解）（第6回～第9回）
- ・障害者福祉の分野別課題（保健・医療、教育、雇用、権利擁護、所得保障、バリアフリー等）（第10回～第13回）

成績評価の方法

前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験を総合して評価する。

教 科 書

- ・『障害者福祉論』（建帛社）2,600円
- ・授業内容により補足資料を配布する。

参 考 書 等

授業のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。授業態度に問題がある場合には退室してもらうことがあるので、気を引き締めて履修してもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。また、出席点は考慮しない。

教科書

教科書は初回講義時に指示する。

参考書等

出版社は問わないが、最新の「社会福祉小六法」は購入しておくこと。また、その他の参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性福祉論	林千代 <small>はやし ちよ</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に社会的、経済的、精神的なしわよせを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活上の困難や矛盾に対して、社会福祉のかかわる部分はきわめて大きい。社会福祉の分野で唯一女性に対応してきた婦人保護事業を基底に、社会構造の変動と共に複雑に多様化し、かつ重複して現れる女性の生活上の諸問題とその対応策について学ぶことを目的とする。それは、男性と共に考えるべき課題であり、社会福祉の分野において男と女の地平を求めるところにほかならない。

講義の内容・授業スケジュール

1. 女性福祉に関する先行理論の検証と概念規定
2. 社会福祉事業としての婦人保護事業
3. 売春防止法の成立について
4. 婦人保護事業の現状と女性の生活問題
5. その他の女性生活問題
母子世帯の暮らし、女と老い、福祉労働と女性などなど
6. 男性と女性のあり方を考える

履修上の留意点

熱心に考えようとする学生の参加を希望する。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

林千代編著『女性福祉とは何か』（ミネルヴァ書房）2,500円＋税

参考書等

林千代・慈愛会編『慈愛寮に生きた女性たち』（東京創文社）
林千代編『母子福祉を拓く』（ドメス出版）

その他

視聴覚機材を用いる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医療福祉論	坂野憲司 <small>さかの けんじ</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

医療福祉の現場での担い手は「医療ソーシャルワーカー」（MSW）である。本講義では、医療福祉の歴史をたどりながら医療ソーシャルワークの業務の発展とソーシャルワークの理論、技術の発展とを確認していきたい。その上で、現場のソーシャルワーカーがどのような価値理念に基づいてどのような理論、技術を用い、どのような業務を遂行しているのかについて検討し、今後の課題について考察していくことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 医療ソーシャルワークの歴史と課題
- (1) 医療ソーシャルワークとは何か
 - (2) 医療ソーシャルワークの歴史
 - (3) ソーシャルワーク理論の発展
 - (4) ソーシャルワークの流派
 - (5) 医療ソーシャルワークの課題
- 後期 医療ソーシャルワークの技術と事例
- (1) ケースワークとその事例
 - (2) グループワークとその事例
 - (3) コミュニティワークとその事例
 - (4) ケアマネジメントとその事例
 - (5) 社会福祉制度と医療福祉の課題

履修上の留意点

講義への主体的参加（質問や意見交換）を望みます。

成績評価の方法

レポート提出を持って試験の代わりとします。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公 的 扶 助 論	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈恵的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史を始め、現行法の目的、原理、原則、現行制度の組織機構、行政運営等を、総合的に検討する。また、近年、注目されている権利擁護、ソーシャル・インクルージョン等にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- ①開講にあたって
- ②公的扶助とは何か(社会保障制度体系における位置を中心として)
- ③公的扶助の歴史的発展過程(イギリス・日本)

(後期)

- ④公的扶助の法制度(目的・原理・原則・扶助の種類・動向・最低生活保障水準)
- ⑤福祉事務所の制度運営と相談援助
- ⑥低所得対策の概要
- ⑦イギリスにおける福祉権活動・運動の動向

履修上の留意点

指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、『学生参加』型の授業を心掛けたと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。

成績評価の方法

評価は、レポート課題及び年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 6 公的扶助論』(中央法規)

参考書等

随時紹介する。

そ の 他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保 健 福 祉 論	山 本 哲 也 <small>やまもと てつや</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保健福祉の動向について、関連する諸制度も含めて概説する(講義)。後期前半は、保健福祉計画を参考に、保健・福祉の連携システムの実際について研究する(演習)。後期後半は保健福祉の連携システムにおける福祉従事者の活動内容を概説し(講義)、福祉従事者がどのような役割を果すべきかについて考えてもらう(演習)。

履修上の留意点

講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、演習形式も取り入れた授業を行うので、そのつもりで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。

教科書

必要に応じ、授業時に指定する。

参考書等

必要に応じ、その都度指示する。

そ の 他

授業は、講義に演習を加えた形式とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 豊 田 宗 裕	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

(1) 総論としての地域福祉の枠組み(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)

①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
④現在の地域福祉施策の特徴

(2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法(地域福祉施策の内容と提供方法)

①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法

(3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望

①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール(番号は授業回数ではない)

：講義テーマ：講義内容

1：地域福祉と生活問題：地域福祉の考え方と現代の生活問題

2：地域福祉とコミュニティ：地域社会の変遷とコミュニティの形成◆住民の社会参加の状況とコミュニティ 他

3：地域福祉理念の変遷：地域福祉理念の歴史的変遷

4：地域福祉の概念とその範囲：地域福祉の代表的な考え方とその類型

5：地域福祉のサービス体系：地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念◆地域福祉活動の体系とその内容 他

11：地域福祉の推進方法：地域援助技術の必要性和社会福祉計画 他

16：福祉教育の推進：福祉教育の考え方とその推進

17：地域福祉の財源：地域福祉の財源と共同募金の理解 等

21：地域福祉の推進組織：社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他

24：地域福祉のマンパワー：ボランティア活動とその動き◆地域における地域福祉のマンパワー(民生委員を中心に)

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。

教科書

初回の授業時に指示する。

参考書等

授業時間内に指示する。

その他

講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	東 條 光 雅 <small>とう じょう みつ まさ</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

英語文献に慣れると共に、訳すのではなく何が書かれているのかを理解できるように努力したい。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文読解能力は必要であろう。積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教科書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

その他

英語に強い関心があったり、大学院への進学を考えているような学生の履修を望む。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保障論	船 水 浩 行 <small>ふな みず ひろ ゆき</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、(1)現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、(2)「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論 I A (前期)	きた しま えい じ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に焦点が置かれる。ソーシャルワークの視点から、人を理解するとは、また、人へのかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論 I A」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教 科 書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論 I B (後期)	きた しま えい じ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助とともに集団援助を加えて、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術の総体を概観する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団のかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論 I B」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教 科 書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡA(前期)	かわ 川 廷 宗 之 <small>か かわ てい もと かつら</small>	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- (1) 社会福祉援助技術の中で、小集団援助技術を修得する事が、この科目の学習目的である。
- (2) 小集団援助技術は、個人を援助する場合に小集団を活用する技術と、小集団そのものの援助技術を含む。
- (3) 小集団の背景となる理論として、特にグループ・ダイナミクスの理論などを学ぶ。
- (4) 実際の小集団援助場面での、活動テーマとしての様々な素材やその活用方法を修得する。
- (5) 専門職としての所属機関の概要とともに小集団援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、個人を援助する場合の小集団活用の技法(特に、様々な状況での援助技術)を、後期は小集団そのものの援助技法(特に、援助計画立案等の援助技術)を中心に学習を進める。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、a 集団援助技術の意義・沿革・定義、b 集団援助技術の構造、c 集団援助技術の実践原則、d 集団援助技術の展開過程、e 集団援助技術の実際とその応用展開などが中心になる。
- ③技術面からは、a 小集団観察技術、b 小集団援助の概要計画作成技術、c メンバー決定技術、d 地域資源の活用技術、e グループワークの全体プログラム作成技術、f 毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、g ソシオメトリー作成技術、等が中心となる。

履修上の留意点

- (1) この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術ⅠAおよびⅠBの単位を取得しておくことが望ましい。
- (2) 特に社会福祉援助技術各論ⅠBの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- (3) 社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- (4) この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- (1) 成績は、授業中(および宿題)に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- (2) 授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- (3) 学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- (4) 授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- (5) 全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論Ⅱ』(中央法規出版)

参考書等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』(ミネルヴァ書房)
その他、授業中に適宜指示する。

その他

授業中の演習のため、1～2回の授業は(実習で指定される程度に)服装等を指定する事があるので、あらかじめ了解されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術各論ⅡB(後期)	かわてい もとゆき 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- (1) 社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術（コミュニティワーク）および社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、目的である。
- (2) コミュニティの背景となる理論として、特に地域社会学の業績にその理論を学ぶ。
- (3) 実際のコミュニティ援助場面での、援助技術や、援助計画の策定について学ぶ。
- (4) 専門職としての所属機関の概要とともにコミュニティ援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①最初に、個人を援助する場合の資源としてのコミュニティ活用技法を学び、次に、社会福祉運営管理と社会福祉計画の技術を学び、最後にそれを統合して、実践的なコミュニティ援助計画をまとめる。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、aコミュニティ援助技術の意義・沿革・定義、bコミュニティ援助技術の構造、cコミュニティ援助技術の実践原則、dコミュニティ援助技術の展開過程、eコミュニティ援助技術の実際とその応用展開などが中心となる。
- ③技術面からは、aコミュニティ課題の発見方法としてのインタビュー技術、b数値化されないデータの集約技術、c統計からの問題発見（予測）技術、dコミュニティ診断技術、e問題の構造分析と解決効果予測技術、f資源確認発見技術、g計画技術、hコミュニティ集団運営のための技術、i広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学ぶ。

履修上の留意点

- (1) この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術各論ⅠAおよびⅠBの単位を取得しておくことが望ましい。
- (2) 特に社会福祉援助技術各論ⅠBの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- (3) 社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなくなりがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- (4) この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- (1) 成績は、授業中（および宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- (2) 授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- (3) 学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- (4) 授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- (5) 全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教科書

佐藤豊道他編著『社会福祉援助技術論（下）』（川島書店）

参考書等

高田真治・著『地域福祉計画論』（誠信書房）
その他、授業中に適宜指示する。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（福祉）	たけやま うめのり 武山梅乗	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

主として社会福祉士及び社会福祉主事を目指す学生を対象に社会学の基礎的な知識を提示し、現代社会における今日的な諸問題について理解することを通じて、より広い視点から〈社会福祉〉を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 社会学の基礎概念：(1) 行為論 (2) 役割論、(3) 自我とアイデンティティ、(4・5) 組織と官僚制、(6) ネットワークとボランティア、(7) 社会階層と社会移動
 II. 現代社会論：(8・9) 逸脱とラベリング、(10・11) ジェンダーとフェミニズム、(12・13) 医療化と差別論
 (後期) III. 現代家族論：(14) 家族制度と核家族化、(15) ライフサイクルとライフコース、(16) 未婚化と結婚の意義
 IV. 地域社会論：(17) アーバンイズムとコミュニティ、(18) 国土計画と過疎・過密、(19) まちづくりとQOL
 V. 国家とエスニシティ：(20) 国民国家としての〈日本〉、(21) エスニシティとしての〈沖縄〉
 VI. 社会変動論：(22) 近代化と資本主義、(23) 大衆社会論と社会的性格、(24) 産業社会論、(25) 消費社会と企業文化・福祉文化、(26) 公害と環境問題

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等

参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学（福祉）	たか 橋 よし ひろ 高橋良博	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学一般	小林 稔 <small>こばやし いたる</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい	健康者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。
講義の内容・授業スケジュール	人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。
履修上の留意点	出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。
成績評価の方法	筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。
教科書	『医学一般』（中央法規）2,500円
参考書等	講義開始時に連絡する。
その他	一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
介護概論（前期）	鈴木 知佐子 <small>すずき ちさこ</small>	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい	本講義のねらいは将来社会福祉従事者を目指す学生の皆さんにとって必要な介護の基礎的知識と職業的倫理、他の専門職者との連携と役割について学ぶことにあります。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> (1) 介護制度の流れ、介護の原則 (2) 介護専門職者の職業倫理 (3) 自立支援と介護 (4. 5. 6.) 介護に必要な観察技術と介護の実際（食事、排泄、身体の清潔、衣服の着脱、移動） (7) 他職種との連携 (8. 9) 在宅サービスにおける介護とチームケア (10) 施設における介護の実際（高齢者、障害者） (11) 介護従事者の健康管理 (12. 13) 介護場面におけるリスクマネジメント
履修上の留意点	講義内容はいずれも運動しています。将来社会福祉士国家試験を受験する人にとってはテキスト以外に国家試験対策用参考書で学習することを勧めます。
成績評価の方法	講義出席状況および定期試験にて評価します。
教科書	『介護概論』社会福祉士養成講座（中央法規）2,200円
参考書等	『介護福祉学』介護福祉学研究会（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単位
介護技術(後期)	鈴木 知佐子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

高齢や障害によって阻害されている生活上のニーズや課題に対して個別性に配慮し、利用者の自立支援の視点にたった的確な援助を展開するための具体的方法について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 介護技術の原則、介護に必要な要素
- (2) 援助に必要な技術、コミュニケーション技術、観察技術、アセスメント技術
- (3) 生活環境との整備—住環境整備、社会的環境と生活の質
- (4) 自立移動を阻害する要因と障害
- (5) 安楽姿勢と移動の援助技術
- (6) 日常生活における介護技法(食事、排泄) 食事体験、排泄体験
- (7) 日常生活における介護技法(清潔、衣生活の援助)
- (8) 在宅施設における安全確保とリスクマネジメント
- (9) 福祉機器と活用法
- (10) 終末期の介護
- (11) 緊急時の対応、他職種との連携
- (12) 医療行為

履修上の留意点

講義演習で述べる内容はすべての課題に関連するため出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、レポート提出状況、授業姿勢、筆記試験を総合判断して評価する。

教科書

高崎絹子編集『介護技術』(メジカルフレンド社)

参考書等

講義の中で別途紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神医学	黄 ミンシュク	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は機能性(内因性)精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論(総論)を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。

成績評価の方法

筆記試験(本試験)により成績評価をする。

教科書

特に定めない。

参考書等

特に定めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精 神 保 健 学	さかむらゆう 坂村雄	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健とは精神の健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、精神保健福祉士の実践にも役立つ様、臨床的内容とし、単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。

成績評価の方法

出席、レポート、試験などを総合的に評価したい。

教 科 書

『精神保健入門』（八千代出版）

参 考 書 等

授業の中で随時伝えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精 神 保 健 福 祉 論 I	さとうこうせい 佐藤光正	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉の理念と施策の理解を踏まえた上で、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇の歴史を学ぶ。特に偏見や差別の対象とされている現状認識を深める。また精神障害者の社会生活、社会参加を援助、支援する精神保健福祉士の役割と実践について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 障害概念 精神障害者とは？
- (2) 障害者福祉における精神障害者福祉
- (3) 精神障害者福祉の歴史と現状～関係法との関係～
- (4) 精神保健福祉士とは？
・活動の歴史的経過とその意義
- (5) 精神障害者の地域生活支援と社会参加の促進をめざす活動

履修上の留意点

問題意識と関心をもち「精神保健福祉論Ⅱ」と併せて履修すること。主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

教 科 書

『精神保健福祉論』（へるす出版）

参 考 書 等

『精神保健福祉法詳解』（中央法規出版）6,000円（税別）
その他必要に応じて随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉論Ⅱ	佐 藤 光 正 さとうこうせい	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

地域において、精神保健福祉活動がどのように行われているか、また精神障害者の地域生活の実態を学び地域生活支援システムの重要性を認識する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 新聞、マスコミで報道される精神障害者
- (2) 精神障害者の生活実態～当事者の声～
- (3) 精神障害をもつ子どもの家族の思い～家族の声～
- (4) 地域における精神保健福祉活動～実践家の話～
・保健所、社会復帰施設、ボランティア活動、ホームヘルプなど

履修上の留意点

問題意識と関心をもち「精神保健福祉論Ⅰ」と併せて履修すること。主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助技術各論	上 野 容 子 うえのようこ	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉援助技術の具体的な方法やそのあり方、倫理感について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①～②・精神障害者の生活状況
- ③～⑤・ケースワークの定義、原理と原則
・ケースワークのプロセス
・具体的な事例
- ⑥～⑧・グループワークの定義、原理と原則
・グループワークの展開
・具体的な事例
- ⑨～⑩・当事者活動とその支援
- ⑪～⑫・家族に対する支援
- ⑬～⑰・コミュニティワークの定義と原則
・コミュニティワークの展開プロセス
・コミュニティワークの課題
・ボランティア活動
- ⑱～㉑・ケアマネジメントの歴史的背景
・ケアマネジメントの定義と構成要素
・精神障害者に対する福祉サービスとしてのケアマネジメントの特徴
・ケアマネジメントのプロセス
・具体的な事例
- ㉒～㉓・チームアプローチと連携
・チームアプローチにおける精神保健福祉士の役割
- ㉔～㉕・スーパービジョンの意義と構造

履修上の留意点

- ・精神保健福祉論、精神医学を履修済みの前提で授業を進めます。
- ・グループでの演習をとり入れるので、話し合い、発表、レポートがあります。

成績評価の方法

- ・演習毎のレポート、平常点（出席状況）

教科書

- 『精神保健福祉援助技術各論』（中央法規）2,500円
- 『精神保健福祉援助技術演習』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	ほやし 林 千 代	14以降入学生/福祉1・2・3・4選	4
		13以前入学生/福祉2・3・4選必	

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉計画論	川 廷 宗 之 <small>かわ てい もと ゆき</small>	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

- (1) この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- (2) 社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- (3) 社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- (4) 問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- (5) 『社会福祉計画』は、市民個々人の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個々人の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

履修上の留意点

- (1) この講義では、開講第1回日に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- (2) 講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的主体的な参加を期待します。
- (3) 学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

成績評価の方法

- (1) 前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- (2) 前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- (3) 後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- (4) 前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

教科書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編集『社会福祉計画』（有斐閣）定価2,200円

参考書等

- (1) 高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- (2) R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳 『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- (3) 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

科目名	担当者名	配当学科	単位
リハビリテーション論	こうご 後礼子	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、職業リハビリテーションを中心に障害者が社会の中で働くということの意味を考える。併せて、障害者の就労を支える仕組みについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、自分なりの考えを深めていく。

履修上の留意点

履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもらう。また、ビデオ等の視聴を含む。

科目名	担当者名	配当学科	単位
家族療法	ほろたてつ ゆき 治田 哲之	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・心理臨床と治療構造
- ・家族療法の、心理臨床における位置づけ
- ・心理臨床の基礎理論
(その1～その5)
- ・家族療法の諸理論
(その1～その3)
- ・心理臨床の技法論
(その1～その3)
- ・家族療法の技法論
(その1～その3)
- ・心理臨床の実践(家族療法的視点から)
(その1～その3)

成績評価の方法

レポート、試験に、出席等の状況を加味する。

教科書

履修者の実態(予備知識等)に合わせて決定し、授業において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅰ 〔児童〕	やまもとてつや 山本哲也	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

近年、子どもを取り巻く諸問題は、複雑化、多様化し、深刻化してきている。本講では、まず、児童虐待をはじめとする、子どもを取り巻く諸問題を整理、理解することをねらいとする。次に、これら諸問題に対する取り組みの実態を調べ、今後の課題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、子どもを取り巻く諸問題についてのレポートをもとに、ディスカッションを織り交ぜながら、問題の理解を深めていく。
後期は、各自、出身市町村から取り寄せたエンゼルプランをもとに、行政の取り組みの実態を調べるとともに、今後の課題を比較検討する。

履修上の留意点

受講生によるレポートをもとに、受講生とともに、「考えること」を重視した授業とするので、受講生は主体的・積極的に参加することを望む。

成績評価の方法

出席状況と課題レポートに加えて、ディスカッションへの参加状況など受講姿勢・意欲によって、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅱ 〔老人〕	きつないまりこ 橋内真里子	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

- ・高齢者福祉の現場で求められる知識・技術を習得する。
- ・社会福祉専門職（対人援助職）としての資質を自ら育て、確かなものとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回目 前期の予定、目標など
- 2・3回目 高齢者の身体的・心理的特性
- 4・5回目 高齢者のライフサイクルからみる特性
- 6・7回目 高齢者ケアの視点、目的
- 8～11回目 高齢者ケアの現場を理解する
- 12回目 前期のまとめ
- 13回目 前期の確認、後期の予定について
- 14～17回目 高齢者ケアの現場を理解する
- 18～22回目 いろいろな専門職について考える
- 23・24回目 社会福祉専門職としての技術について考える
- 25・26回目 社会福祉専門職としての資質について考える

履修上の留意点

新聞や本を読んで下さい。気にかかるものや興味を持ったもの、必要と思ったものはメモしたり、スクラップしておいて下さい。講演会や研修会にも積極的に参加して下さい。それらをもとにグループワークなども予定しています。「考える」、「発言する」、「見る」、「聞く」、「書く」、「提案する」などに慣れましょう。

成績評価の方法

出席状況、グループワークへの参加状況、レポートなどを総合的に評価します。

教科書

未定ですが、毎回の講義の始まりか終わりに、読んで欲しい本や聞いて欲しい講演会なども紹介したいと思います。随時資料を配付し、ビデオの視聴も予定しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅲ 〔障害児・者〕	こうごらいこ 向後礼子	14以降入学生/福祉1・2・3・4選	4
		13以前入学生/福祉2・3・4選必	

講義のねらい

障害の特性について学ぶと共に、健常者と障害者の双方の立場から「障害理解とは何か」について考える。また、障害の特性について理解するために心理検査等についても学習する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、障害についての基本的な理解を目指す。対象障害は、主として知的発達障害ならびに精神障害である（1～4）。また、いくつかの心理検査の実施方法とその解釈について学ぶ（4～7）。併せて、「障害理解」と「障害受容」とは何かについて事例を基に検討する（8～13）。

後期は、受講生毎に興味のある障害を定め、その障害についてより深く理解できるよう、個別もしくはグループ毎に課題を設定する。経過については、随時、講義の中で発表し、全体で討論する。

履修上の留意点

履修者には、障害に関わる問題を自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義中に随時指定する。

そ の 他

履修者には発表などの活動を行ってもらおう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅳ 〔相談・援護〕	おおすか 大須賀	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

今日の相談・援助のシステムは多面多様化しており、それだけ国民の生活全般に対する不安・課題が拡大されてきているように思えます。

児童相談所をはじめ各所で行われている相談援助（電話相談など含め）の実態は、虐待をはじめ、いじめ・不登校など児童の周辺に起きている深刻な問題に対して、また国民の生活問題に対してどのように応えてきているのであろうか。

この講義では、まず相談内容の実態を明らかにし、その問題性と課題について追究していきたい。

つぎに、そのことに従事しているケースワーカーの専門性について、児童相談所で実際相談援助に従事している児童福祉司の活動及び事例等を検討する過程で明らかにしていきたい。

専門性の第一に必要とされることは、相談者（利用者）とどのように向き合えるかにあると考える。そのことは「自分とどのように向き合うか」ということに他ありません。

「自分を知る」「相手を知る」ことです。

相談を受けた時に適格にニーズを把握するために、また援助の方法を具体化するための援助技術を習得する必要が欠かせない要件となっています。

ワーカーにとって、複雑重層化した諸問題に対しどのような向き合いをしていったら良いかが問われています。

専門性の第二に必要とされることは、権利擁護の立場で相談者（利用者）に向き合えるかどうかということなのです。

権利侵害の実態把握、発達障害としての視点、最善の利益の尊重、意見表明の保障等権利の回復及びそのための実践活動が問われています。

その他、専門性と資格問題、支援と自立の問題、地域支援の実態、ネットワークの意義、フィールドワークの位置付など共に学ぶなかで考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）

1. 相談・援護の実際
2. 児童相談所の役割・機能・援助活動
3. 職員の専門性について

（後期）

1. ケース事例から学ぶ相談援助
2. 処遇困難ケースへの対応
3. 児童の自立・家族の自立・家族再統合へのとりくみ
4. チーム処遇のあり方
関係機関との連携

履修上の留意点

職員の専門性に関して

- （1）フィールドワークの必要性
 - （2）権利擁護への視点
- をもって学習に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート・討論・発表などの総合評価

教科書

『最新・社会福祉援助技術』（株みらい）2,000円

参考書等

柏女霊峰編『新しいこども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）
尾崎新『対人援助の技法』（誠信書房）

その他

授業の方法
講義・演習・討論を中心に

（社会福祉学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講 V 〔福祉士〕	なが 長 尾 じょう 治	14以降入学生/福祉1・2・3・4履	4
		13以前入学生/福祉2・3・4選必	

講義のねらい

本講義は、社会福祉学専攻4年次生を対象として開講する。福祉士をめざして3年間学習をしてきた諸君の集大成の科目である。

授業では、福祉士の資格制度の現状、福祉士の職務や職場の実際、さらには就職活動のしかた（就職情報の提供も含む）などについて、外部講師の特別講義も交えながら具体的に解説していく。また、老人・障害・児童・公的扶助など、各分野において福祉士に必要とされる知識について、国家試験問題等を用いながら整理していく。これらの知識は、福祉士の本試験においても必須の知識である。

駒澤大学では、大学として福祉の専門職養成に力を入れている。本講義は、本学における福祉士国家試験対策講座の柱の1つであり、皆さんの資格取得を視野に入れて開講される。したがって、4年次生で福祉士国家試験を受験希望の学生は必ず受講するようにしてほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 ソーシャルワークと資格制度：歴史的経緯と現状、及び今後の展望
- 2 福祉士の職場と職務内容
- 3 福祉専門職の就職活動方法の実際
 - ①福祉分野の就職動向
 - ②卒業生アンケート調査結果の紹介
 - ③就職活動・資格取得体験談：外部講師（OB・OG）による特別講義
- 4 福祉士とソーシャルワーク（国家試験形式による必須知識の再確認）
 - ①生活保護分野
 - ②老人分野
 - ③身体障害者分野
 - ④知的障害者分野
 - ⑤児童分野
 - ⑥精神保健分野
 - ⑦その他の分野
- 5 資格取得をめざして：福祉士受験対策指導
試験科目（指定科目）ごとの知識の整理・受験指導

履修上の留意点

授業では、福祉分野の職場に就職し、業務を実践するために必要不可欠の知識を解説する。同時に、国家試験受験対策として、必須となる知識を各科目ごとに整理しながら、授業を進める。このような性質上、毎回の出席こそが学習効果の上で極めて重要になる。そのため、履修者は毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、受講姿勢、意欲などを総合的に判断する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅵ 〔家族〕	お ぼた かず 小 畑 和	14以降入学生/福祉1・2・3・4履 13以前入学生/福祉2・3・4履必	4

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶 (abortion) の容認の傾向は、言い換えれば、Prolife か Prochoice かの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊に繋がる。また社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路 (blind alley) に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や小さな核家族を促し、他方では三世代家族減少や老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段の關係になりシビアーでドライになる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife (胎児の生まれる権利) か Prochoice (産む、産まないは女性の権利) か
- ③ 資本蓄積と出生減退の關係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌 (血縁、結婚・離婚問題、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化)
- ⑤ 家族に関する福祉制度 (年金、生活保護、保育・育児の制度、エンゼルプラン、児童手当、児童扶養手当…)
- ⑥ 家庭裁判所制度 (調停制度、特別養子縁組制度…)
- ⑦ 教育制度 (学校教育、家庭教育、社会教育…)
- ⑧ 就業問題 (雇用制度、ホームレス問題、雇用保険制度、労働災害保険制度…)

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

5段階2乗方式によるが、その内容は初回講義で説明する。

教科書

講義の中で必要に応じて紹介する。

その他

授業形態は講義形式であるが、ビデオや OHP が使用可能ならば利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『法社会学講義』（法律文化社）2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 病 理 学	やまもと いさお 山 本 功	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】第1回 イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回 「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回 「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回 「社会問題」論と社会構築主義
- 【後期】第14～16回 「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか：犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回 ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価。

教科書

矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』（学陽書房）1,995円 ISBN4-313-34008-4

参考書等

澤登俊雄『少年法』（中公新書）2000年
 鮎川潤『少年犯罪』（平凡社新書）2001年
 中河伸俊『社会問題の社会学』（世界思想社）1999年
 平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学』（世界思想社）2000年
 矢島正見『少年非行文化論』（学文社）1996年
 法務省編『犯罪白書』
 警察庁編『警察白書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法	稲富正治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人の身体の状態を示すものに「健康診断」というものがあるように、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などを知る方法には「心理検査」があります。検査の種類によってそのやり方も理論背景も違いますが、人の心を安易に扱う場面も少なくない現代社会の中で、授業では心理検査の技術の習得と理論背景の理解と同時に、人と真剣に向き合う「臨床」を学んで欲しいと思っています。

心理検査の中には、質問紙法（Y-G、TEGなど）、投影法（ロールシャッハ、P-Fスタディなど）、作業検査法（知能検査など）と大きく分けると3つの分野があります。この講義では、その中の代表的なものを扱いながらも、心理検査全体を網羅した授業を行いたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ論、心理検査の存在性などから入り、質問紙法、作業検査法、投影法という流れで進めていきます。

履修上の留意点

福祉という立場から、直接心理検査に携わる人は少ないかもしれませんが、この講義を通して、心理検査という角度からの人間観察を行う目を養ってもらいたいと思っています。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理検査の結果を数字で見るだけではなく、自分の感性を大事にして欲しいので、自分の言葉を使っていかに自己分析するかを大事な評価にしたいと思っています。

教科書

今のところ特に考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

その他

心理検査を体験してもらう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行う予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	大野隆造	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・変更し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）1996

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参 考 書 等

塩野宏著『行政法 I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	藤本 茂 <small>みじもと しげる</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No。そして無断で席を立つことも No。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	おおみや たかし 大 宮 隆	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 親族
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子
親子の種類、実子、養子
4. 親権
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐
機関、事務、終了
6. 相続
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言
方式、効力、執行

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教 科 書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの 浅野 かつみ 克巳	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミクス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	佐藤光正	14以降入学生/福祉2選	2
		13以前入学生/福祉2必	

講義のねらい

社会福祉の現場で展開される専門職の実践活動は、当事者とともにその抱える問題を解決していくことを目指して行われる。なかでも援助活動は、利用者の人権を擁護しつつ、専門職としての対人関係を形成することをおして、利用者が身体的・精神的に健康な生活を送れるように支援していかねばならない。

この授業では、福祉の専門的マンパワーの養成を念頭において、1年次配当科目や2年次に平行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋として重要な位置を占める。また、授業内容は3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱの準備学習となるものである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解すること、社会福祉実践の実態を把握すること、自己の配属実習分野を検討することなどについての学習が中心となる。福祉現場における実践内容のビデオなどの視聴をもとにした議論、グループ討議、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換などを行う。

履修上の留意点

毎回の授業で課題を与え、レポートの提出が義務付けられる。現場への配属実習のスクリーニングも行うため、特別な事由のある場合を除き、無断欠席は認められない。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、レポート提出状況）を中心に総合的に評価する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

そ の 他

「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位未修得者は、原則として「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」および「精神保健福祉援助実習」の履修を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉調査実習	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉2・3・4選	2

講義のねらい

研究方法論としての調査法を実際に会得してもらうことが目的である。特に、調査法の中でも量的データの収集・分析に関する手続きを理解し習得してもらう。また、学生の要望があれば、質的データについても扱う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニーズの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。

現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

教科書

特に定めない。

参考書等

古谷野亘著『多変量解析ガイド－調査データのまとめかた－』（川島書店）
柳井晴夫・岩坪秀一著「複雑さに挑む科学－多変量解析入門－」（講談社）

その他

必修科目である卒業論文で調査をしようと思う学生は、是非履修してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	伊藤 秀一・小畑 和 桐原 宏行・長尾 譲治	福祉3選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参考書等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	北 島 英 治	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人を理解するとは、また、個人へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅰ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習（上）』（有斐閣）
社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	讃岐真佐子	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人をどう理解して関わるか、そしてどのように対応していくかというその質が問われてくると思われる。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主にまず「いかに人の話を聴くか」という観点から、いくつかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたいと思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により気づくためのワーク・プログラムを経て、受講者がベアラーを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ(役割演技法)を実施していく。後期もさらにそれを深めていくと同時に、社会福祉に役立つ臨床心理的知見(心の健康に関する諸知識や様々な症状、問題行動など)を折にふれて伝えていきたい。

履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事(万一発表の出来ない場合は評価対象外となる)。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、レポート提出に基づいて評価する。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・尾崎新著『対人援助の技法』(誠信書房)
- ・尾崎新編著『「現場」のちから』(誠信書房)
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』(誠信書房)
- ・鑑幹八郎著『試行カウンセリング』(誠信書房)

その他

なお、本科日は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習 I	ながお じょう 長 尾 譲 治	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、IとIIを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習II」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	むら た がず あき 村 田 一 昭	福祉3選	2

講義のねらい

本演習では、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術に関して、その基盤となるスキルや援助実践の展開過程について、実技や実践事例（主に児童福祉分野の援助実践事例）の検討を通じた個別的、集団的な体験学習によって、その理解を深めるとともに、習得することを目的としています。なお、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期）ソーシャルワーク実践の基礎となる技術
- ①自己理解と他者理解
 - ②コミュニケーションの技法
 - ③面接の技法
 - ④マッピングの技法
 - ⑤価値と倫理
- （後期）ソーシャルワーク実践事例から学ぶ援助技術
- ①援助実践事例（援助プロセス）の検討
 - ②援助実践事例（インシデントプロセス）の検討
 - ③実習事例による援助実践の検討
 - ④その他

履修上の留意点

実技やディスカッションが中心となるため、学生個々人の主体的、積極的な参加を期待しません。

成績評価の方法

出席状況と課題レポートに加えて、実技参加やディスカッションへの参加状況などによって総合的に評価します。

参考書等

社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）2,500円（税別）
 福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』（新版社会福祉士養成講座（15））（中央法規）2,500円（税別）
 北島英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習（上）』（社会福祉基礎シリーズ（4）社会福祉援助技術演習）（有斐閣）1,900円（税別）
 ※その他、随時紹介します。

その他

授業は、ロールプレイやグループディスカッションによる実技が中心となります。
 本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に提示されるので、注意しておいてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きた じま えい じ 北 島 英 治	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に加え集団援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅱ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレイを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習（下）』（有斐閣）
 社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	讃 岐 真 佐 子	福祉3選	2

講義のねらい	本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。
講義の内容・授業スケジュール	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照
履修上の留意点	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照
成績評価の方法	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照
教科書	必要な資料は随時配布する。
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎新著『対人援助の技法』（誠信書房） ・尾崎新編著『「現場」のちから』（誠信書房） ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房） ・鎌幹八郎著『試行カウンセリング』（誠信書房）
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	長 尾 譲 治	福祉3選	2

講義のねらい	本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、ⅠとⅡを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 対人コミュニケーション技術 社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング 2 ケースワーク技術の習得 事例研究／ロールプレイ 3 グループワーク技術の習得 グループワークの計画と実践 4 間接援助技術の習得 コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践
履修上の留意点	技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。
成績評価の方法	毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	むら た かず あき 村 田 一 昭	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉援助技術演習Ⅰと同じく、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術に関する理解とその習得を目的としており、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。

参考書等

社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）2,500円（税別）

福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』（新版社会福祉士養成講座（15））（中央法規）2,500円（税別）

北高英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習（上）』（社会福祉基礎シリーズ（4）社会福祉援助技術演習）（有斐閣）1,900円（税別）

※その他、随時紹介します。

そ の 他

授業は、ロールプレイやグループディスカッションによる実技が中心となります。本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録できます。クラス分けは事前に提示されるので、注意しておいてください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神科リハビリテーション学	しろ た はる お 城 田 晴 夫	福祉3・4選	4

講義のねらい

この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害のない人々と共に働き、暮らしていける力、市民社会を共に築いていける力を最大限に持てるように援助する精神科リハビリテーションを学ぶ。近年国家資格となった精神科ソーシャルワーカー（PSW）に関心のある学生を主に対象とする。学問としてはまだまだ新しく耳慣れないが、一部アメリカで行なわれているリハビリテーションの実状並びにその技法を紹介しつつ、より良いリハビリテーションを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域、の順に教科書に沿って進めていく。

履修上の留意点

履修する学生は、積極性、活動性のあると思うもの・人の世話をすることに関心のあるものが期待される。

成績評価の方法

成績評価については、出席、試験、レポートなどの総合評価とする。

教科書

『精神科リハビリテーション学（第3巻：精神保健福祉士養成セミナー）』（へるす出版）3,200円

参考書等

『こころの科学、精神保健福祉士、88巻』（日本評論社）1,143円

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神保健福祉援助演習	佐藤光正	福祉3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉士は、精神障害者の保健福祉に関する専門的な知識及び技術をもって、精神障害者の社会復帰、社会参加や自立を促進する相談業務を担う。そのための具体的な援助技術を習得するための演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

援助に必要な(1)利用者の理解(2)コミュニケーション技術(3)ケースワーク援助(4)グループワーク援助(5)コミュニティワーク援助(6)ケアマネジメント援助(7)自己点検と自己覚知などを演習する

履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点(出席状況、授業態度、課題提出状況)を中心に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神保健福祉援助実習	佐藤光正	福祉3・4選	6

講義のねらい

実習は、精神保健福祉士をめざす者にとって大事な体験学習となる。ここでは、まず第一に現場の状況を知りそこで展開される現場での援助とこれまで学習してきた知識としての援助を結びつけて体験的に習得する必要がある。そして自己覚知を行った上で、今後自分が精神保健福祉領域のソーシャルワーカーとしてやっていく“何か”を自分で探しだすことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 精神障害者と精神医療の理解 a 精神疾患の理解 b 医療機関・社会復帰施設の理解 c 精神保健福祉法の理解
- 2 PSW 業務の理解 a PSW が配置されている意味の理解 b PSW が行う業務の理解 c 活用する社会資源の把握
- 3 援助関係のあり方についての洞察 a ケースワーク技術 b グループワーク技術 c リハビリテーション技術 d コミュニティワーク技術 e ケアマネジメント技術
- 4 実習目標の設定～まとめ a 実習目標の明確化 b 実習記録作成 c 実習レポート作成 d 実習報告

履修上の留意点

すでに精神保健福祉に関してある程度の知識があることを前提とする。授業および実習への主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点(出席状況、授業態度、課題提出状況)、および実習報告の評価、配属実習先の評価等総合的に評価する。

参考書等

『精神保健福祉法詳解』(中央法規出版)6,000円(税別)
その他必要に応じて随時紹介する。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

7 心 理 學 科

心

理

Ⅱ. 専門教育科目

(7) 心理学科

心理学概論	〈間島英俊〉	661
心理学統計学	〈杉澤武俊〉	662
コンピュータ実習	〈大塚秀治・軽部幸浩・牧野晋〉	663
人格心理学	〈谷口泰富〉	664
学習心理学	〈小野浩一〉	665
社会心理学	〈萩原滋〉	666
臨床心理学	〈佐々木雄二〉	666
生理心理学	〈谷口泰富〉	667
認知心理学	〈永田陽子〉	668
発達心理学	〈間島英俊〉	668
心理学基礎実験	〈茅原正・谷口泰富・間島英俊・ 佐藤理晴・名取志保・仲渡江美〉	669
心理学研究法	〈小野浩一〉	670
禅心理学	〈茅原正〉	671
心理学実験演習Ⅰ	〈茨木博子〉	672
心理学実験演習Ⅱ	〈休講〉	
心理学実験演習Ⅲ	〈佐々木雄二〉	672
心理学実験演習Ⅳ	〈佐藤理晴〉	673
心理学実験演習Ⅴ	〈小野浩一〉	673
心理学実験演習Ⅵ	〈軽部幸浩〉	674
心理学実験演習Ⅶ	〈間島英俊〉	674
心理学実験演習Ⅷ	〈勝俣映史〉	675
演習	〈茨木博子〉	675
演習	〈勝俣映史〉	675
演習	〈佐々木雄二〉	676
演習	〈谷口泰富〉	676
演習	〈茅原正〉	676
演習	〈永田陽子〉	677
演習	〈小野浩一〉	677
演習	〈間島英俊〉	677
環境心理学	〈大野隆造〉	678
児童心理学	〈横山剛〉	678
産業心理学	〈小野公一〉	679
老年心理学	〈中里克治〉	679
宗教心理学	〈葛西賢太〉	680
健康心理学	〈稲松信雄〉	681
比較行動学	〈幸島和子〉	681
精神医学	〈黄ミンシユク〉	682
心理学特講Ⅰ	〈休講〉	
心理学特講Ⅱ	〈安東末廣〉	682
心理学特講Ⅲ	〈鈴木順一〉	683
心理学検査法Ⅰ	〈前期：西脇淳 後期：佐藤尚代〉	684
心理学検査法Ⅱ	〈稲富正治・加藤博己〉	685
カウンセリング	〈讚岐真佐子〉	685

情報処	理	I	〈中丸	茂	686			
情報処	理	II	〈牧野	晋	687			
宗	教	類	〈佐藤	憲昭	688			
心	理	特殊	〈茨木	博子	688			
心	理	特殊	〈小野	浩一	689			
心	理	特殊	〈勝俣	映史	689			
心	理	特殊	〈佐々木	雄二	689			
心	理	特殊	〈谷口	泰富	690			
心	理	特殊	〈茅原	正	690			
心	理	特殊	〈間島	英俊	691			
マ	ス・コ	ミュニ	ケーション	論	〈川本	勝	691	
産	業・職	業	社会	学	〈休	講		
社	会	病	理	学	〈山本	功	692	
社	家	族	社	会	学	〈休	講	
宗	教	社	会	学	〈芳賀	学	693	
行	政	法	論	法	〈鶏德	啓登	693	
障	害	者	福	祉	論	〈桐原	宏行	694
老	人	福	祉	論	〈東條	光雅	695	
児	童	福	祉	論	〈村田	一昭	696	
労	働	法	論	法	〈藤本	茂	697	
民	経	濟	原	論	法	〈大宮	隆	698
			論	法	〈浅野	克巳	699	

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学概論	間島英俊	心理1必	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われま。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には12月最終講義にて行う試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

教科書

根本・小島編著『理解とふれあいの心理学』（ミネルヴァ書房）2,300円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理統計学	すぎ 杉 さわ 澤 たけ 武 とし 俊	心理1必	4

講義のねらい

心理学研究を行う上で統計学の知識は不可欠です。統計学的手法を理解していなければ2年生以降、実験レポートや卒業論文で苦勞するだけでなく、心理学の論文を読んでも理解することができません。本講義では、統計学の基礎的な知識の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 心理学における統計学
 (2~4) 1変数に関する記述的指標 (代表値・散布度)
 (5・6) 2変数に関する記述的指標 (共分散・相関係数・連関係数)
 (7~10) 推測統計の基礎 (母集団・標本)
 (11~13) 統計的仮説検定の考え方
 (後期) (14・15) 相関係数の検定・カイ2乗検定
 (16~18) 平均値に関するt検定
 (19~23) 分散分析 (1要因・2要因)
 (24~26) 統計手法適用時の注意点

履修上の留意点

数学が苦手という人も先入観を持たずに取り組んでください。必要な数学的知識は中学レベルです。ただし、講義で扱う内容は決して易しくはないので、確実に理解して身に付けるためにはそれなりの努力が必要なことを覚悟してください。中途半端な理解のままでは、その後の講義についていけなくなるので毎回必ず出席し、復習を欠かさず行ってください。

成績評価の方法

前期に中間試験、後期に期末試験を行います。

教科書

山田剛史・村井潤一郎『やわらかアカデミズムわかるシリーズ・よくわかる心理統計』(ミネルヴァ書房)

参考書等

南風原朝和『心理統計学の基礎－総合的理解のために－』(有斐閣アルマ)
 吉田寿夫『本当にわかりやすいごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』(北大路書房)
 その他、講義中に適宜紹介します。

その他

原則として講義形式で進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ実習	大塚 秀治・軽部 幸浩 牧野 晋	心理1必	2

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・MS-Windows の習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、Type Quick については学内紀伊国屋書店で安価 (約2,500円) に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度の3.5インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

参考書等

授業中に最新のものを指示する。

その他

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使われていなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人格心理学	谷口泰富	心理1・2選必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴的行動や態度がいかんして学習されるかを理解し予測すること、そして最後が、人間の行動をいかんに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。
また、パーソナリティの測定と診断についても一部実施し解説する。

履修上の留意点

遅刻や欠席をしないようにすること。

成績評価の方法

出席・年度末定期試験の成績・調査への参加（被調査者）による総合評価とする。

教科書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』（八千代出版）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習心理学	小野浩一 <small>おのこういち</small>	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学でいう「学習」は単にものを覚えたり技術を習得することではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数ヶ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は異なっている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲を聴くようになった」、「朝早く起きるようになった」、「最近友達に会うのがつらい」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学の目的は人間の行動の成り立ちや行動変化の原因を科学的に明らかにすることである。さらに望ましい行動を増加させたり問題行動を減少させたり、あるいは快適な社会関係を築く方法を探究する。従って、人間そのものに興味がある人はもちろんだが、将来ヒューマンサービスの仕事をめざす人にとっても学習心理学の知識は必須である。本講義は行動変化の2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけを中心に、基礎的な知識から興味深い最新の研究までAV機器やビデオを併用して分かりやすく説明するつもりである。しかし、もともとテクニカルターム（専門用語）が多く内容も多岐にわたる領域なので、少しばかりの覚悟は必要である。

講義の内容・授業スケジュール

- 人間と行動：行動とは何か
 - ①人間は機械ではない——「元気が出たり」「へこたれる」生体である
 - ②行動は身体の変化である、そして、身体変化の原因は環境にある
- 学習についての基礎知識
 - ①3種類の環境変化がある
 - ②2種類の行動に注目しよう：レスポナント行動とオペラント行動
- レスポナント行動（刺激に誘発される行動）の学習
 - ①レスポナント条件づけの仕組み
 - ②レスポナント条件づけの基本現象：般化、弁別、消去
 - ③レスポナント条件づけはパブロフの条件反射だけではない：
評価条件づけ、免疫機構の条件づけ、意識、感情の条件づけ
 - ④レスポナント条件づけについての新しい発見と考え方：
味覚嫌悪学習、関係性の学習、複合刺激の学習
- オペラント行動（結果によって変化する行動）の学習
 - ①結果の重要性——通行禁止！「忠告」「貼り紙」はなぜ効かない？
 - ②オペラント条件づけの基本：行動随伴性（強化と弱体化）
 - ③新しい行動の獲得：動物実験に学ぶ
 - ④行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き
 - ⑤行動は時と場合そして環境によって変化する：刺激統制
 - ⑥嫌悪刺激による行動の変化
- ことばと行動——言語はオペラント行動である
 - ①ことばの基本：聞き手としての行動、名前づけ、刺激等価性
 - ②ことばの働き——どんなときに何を言うのだろう
 - ③ことばによる行動の制御：ルール支配行動と言行一致訓練
- オペラント条件づけ研究の展開
 - ①不確実場面における行動：確率学習、迷信行動
 - ②選択行動——今の10万円と3年後の15万円では？
 - ③なぜ行動はマンネリ化するのか：獲得と遂行、行動変動性
 - ④性格は行動パターン：遺伝と過去経験
 - ⑤あわてるな、行動は急には変わらない：行動変化のプロセス
- 社会的行動
競争や協力関係は環境によって作られる
- 応用行動分析
オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

心
理

成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

教科書

小野浩一著『行動の基礎—豊かな人間理解のために』（培風館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会心理学	はぎわら しげる 萩原 滋	心理1・2選必	4

講義のねらい

主として心理学の立場から社会心理学の諸領域を概観し、人間の社会行動の基礎となる心理的過程についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題、すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。後期においては、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程を取り上げるが、前者に関しては「説得的コミュニケーションと態度変容」、後者に関して「テレビの社会的機能、对人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期と後期に、それぞれ筆記試験を行い、その総合点によって成績評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

参考書は、講義を進める中で、適宜、指示する。

その他

授業の方法は講義とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床心理学	きさきき ゆうじ 佐々木 雄二	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学に関する基礎知識を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

「臨床心理学」は、「心理臨床」を実践する際の基盤となる心理学である。本講では、臨床心理学の概念について述べた後、臨床心理学の歴史、臨床心理士の資格に必要な条件、クライアントの心理、クライアントを理解し援助するための基礎となる面接法、心理診断法（心理アセスメント）、心理療法（サイコセラピー）、ストレスとストレス対処法などについて述べる。また具体的な事例を通して心理臨床活動の一端に触れる。

履修上の留意点

一般心理学の知識を必要とする。

成績評価の方法

試験と出席

教科書

使用しない。

参考書等

必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生理心理学	谷口泰富 <small>たに ぐち やす とみ</small>	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は生理学と心理学とにまたがる領域で、行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を研究する科学である。古くは、この問題は心と体の関係として、あるいは心身問題として多くの哲学者によって論じられてきたのであるが、今日の生理心理学は心理学的事象の生理学的解釈あるいは心理学的事象の生理学的研究を目的としている。本講は、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 精神身体観とその歴史
2. 行動の生理学的基礎（神経系の構造と機能）
 - ① 中枢神経系と末梢神経系
 - ② 大脳皮質の構造と機能
 - ③ 大脳辺縁系の機能
 - ④ 下位脳幹の主たる機能
 - ⑤ 自律神経系と体性神経系
3. 感情・情動と生体反応
 - ① 情動理論
 - ② 感情・情動と生体反応
4. 慣れ
5. 人間や動物の行動と脳活動
6. 生理心理学的測定（実習を含む）
 - ① 脳波測定とその心理学的活用
 - ② 呼吸測定とその心理学的活用
 - ③ 心拍測定とその心理学的活用
 - ④ 脈波測定とその心理学的活用
 - ⑤ 皮膚電気活動測定とその心理学的活用

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養（物理・化学・生物）が欲しい。視聴覚教材を使用した授業や、実習形式の授業があるので欠席をしない。

成績評価の方法

出席、レポートおよび定期試験による総合評価とする。ただし、レポートの未提出者および本講での実習（模擬実験）に出席していない学生は成績評価をしないので注意すること。

教科書

参考資料（プリント）を配布するので教科書は使用しない。

参考書等

参考書は随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
認知心理学	なが た よう こ 永田陽子	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学においては心理学的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知論の視点に立脚して心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理学に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

講義の内容・授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年目から4年目までの学生にいわばひろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

成績評価の方法

筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価する。

教科書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達心理学	ま しま ひで とし 間島英俊	心理1・2選必	4

講義のねらい

本講義はエリクソン、E.H.の発達理論を中心に展開する。エリクソンの中心的概念である自己同一性（Self-identity）理論は、青年後期における自己確立を発達課題となす。彼は人間の一生を誕生から死に至るライフサイクル理論ならびにそれに対応する心理・社会的危機論にて説明している。それらライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去—現在—未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では各ライフサイクル上にて起こるライフイベントを紹介しながら発達理論を展開する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発達理論（認知発達理論、社会的学習理論、精神分析理論）
2. 胎児期
3. 乳児期（信頼 VS 不信）
4. 歩行期（自律 VS 恥・疑惑）
5. 学童前期（積極性 VS 罪悪感）
6. 学童中期（勤勉性 VS 劣等感）
7. 青年前期（集団同一性 VS 疎外）
8. 青年後期（個人的同一性 VS 役割拡散）
9. 成人前期（親密性 VS 孤立）
10. 成人中期（生殖性 VS 停滞）
11. 成人後期（統合 VS 絶望）
12. エピローグ（今日の問題に対する心理学的知識の応用として）

以上のスケジュールにそって講義を進めていく。

成績評価の方法

成績は12月最終講義にて行う試験にて基本的に評価しますが、年に1～2回課せられるレポート・出席も補助的評価として参考にします。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は資料としてプリントされたもののなかで紹介します。なお配布されるプリントについては後日再配布はされませんので、各自で補うこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学基礎実験	<small>ちほら</small> 茅原 <small>ただし</small> 正・ <small>たにくち</small> 谷口 <small>やすとみ</small> 泰富 <small>まじま</small> 間島 <small>ひでとし</small> 英俊・ <small>さとう</small> 佐藤 <small>まさはる</small> 理晴 <small>なとり</small> 名取 <small>しほ</small> 志保・ <small>なかと</small> 仲渡 <small>えいみ</small> 江美	心理2必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から5つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 暗記学習 重量弁別
鏡映描写 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、5単元分の実験レポート、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。なお、成績評価についてはオリエンテーションの時間に詳しく説明する。なお、欠席が7回以上の場合には単位の認定をしない。

教科書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学研究法	おののこ 野 浩 一	心理2必	4

講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（目的）の設定—特定の研究デザインによるデータの収集—データの分析—結論づけ—結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅷ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 心理学研究法総論
 - ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
 - ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
 - ③ 科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
 - ④ データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として
2. 文献検索法
 - ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法—学会発表と論文 学術論文と紀要・ジャーナル（国内および海外）のいろいろ
 - ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用法 データベースの利用・図書館の利用方法
 - ③ 引用文献のはたらき：引用法
 - ④ 文献検索の実際（実習）
3. 観察法
 - ① 観察法の種類
 - ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義 反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
 - ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング
 - ④ 信頼性と妥当性
 - ⑤ 観察法の実際（実習）
4. 実験法
 - ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
 - ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
 - ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数 実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制 独立変数と従属変数
 - ④ 実験デザイン
 - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実験デザイン・多重処理デザイン
 - 2) 単一被験体法：ABAデザイン・多重ベースラインデザイン・条件交替デザイン
5. テスト理論
 - ① 項目反応理論と内的整合性
 - ② 心理テスト作成の方法
6. 質問紙調査

成績評価の方法

出席と定期試験とレポート（授業期間中に1回提出）による総合評価

教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 心 理 学	茅 原 正 <small>もはらただし</small>	心理3必	4

講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

講義の内容・ 授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禅と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勧坐禅儀」考
- ・禅とコトバ
- ・禅の心理論理
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版局）
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

そ の 他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅰ	いばら ぎ ひろ こ 茨木博子	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学においては、人格理解、心理療法と共に、「心理学的アセスメント」は重要な部分を占めている。とりわけ、病院臨床では心理テストの依頼が多く、将来、心理臨床の仕事をを目指す者は、必要不可欠な課題である。従って本講では、心理学的アセスメントの習得を目的とした演習を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

心理学的アセスメントを習得するということは、諸心理テストの理論の理解にはじまり、施行法、結果の整理、解釈、報告までを含んでいる。従って本演習では、受講者が検査者、被検査者になり、実際に心理テストを実施することによって、より具体的、体験的にアセスメントを学習できるよう進める。取り上げる心理テストとしては、質問紙から投影法（描画テスト、ロールシャッハ・テスト）まで、よく使われているテストをあつかう。

履修上の留意点

実際にテストを取ることによって、いろいろ重要な点に気づくので、出席を重視する。なお、心理学的アセスメントは、被検査者の人格理解のために行なうものであって、単に自分を知りたいというような興味本位での受講はしないでほしい。

成績評価の方法

実習態度、実施した心理テストのレポート、出席で評価する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅲ	ささき ゆう じ 佐々木雄二	心理3選必	2

講義のねらい

心理学領域における調査や実験を行い、心理学的研究をすすめる上で必要な研究法を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

研究テーマを選び、先行研究の文献を探し、テーマに適した調査法、観察法、実験法などを検討し、被験者を選び、実際に調査、実験などを行い、その結果を分析して、それら一連の研究過程を報告し、報告書にまとめて提出する。

成績評価の方法

出席、実験、報告、報告書の内容に基づいて総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅳ	佐藤 まさ はる 理 晴	心理3選必	2

講義のねらい

知覚研究においては、刺激の提示から、被験者の反応の記録、データの分析にいたるまでコンピュータが広く用いられている。本講では知覚研究に必要な技術の習得を目的とし、刺激のプログラミング、結果の分析、研究発表の資料作成など実習形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期はプログラミング言語（C++）、および実験に必要なハードウェア関連の知識について説明する。後期はいくつかの例題から研究テーマを選択し、実験計画から結果の分析、発表資料の作成までを実習形式で進め、年度末に期末試験として研究発表を行う。

履修上の留意点

コンピュータに関する予備知識は特に要求しないが、プログラミング、実験などの実習が中心となるため、課題として時間外に行う作業は多くなる。また本講は研究方法のみにテーマを絞っているため、他の感覚、知覚、認知心理学関連科目を併せて履修することを強く推奨する。

成績評価の方法

課題の提出状況、年度末の研究発表により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅴ	小野 こう いち 浩 一	心理3選必	2

講義のねらい

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインの組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）における人間の心理」、「フィールドにおける行動観察」、「性格テストの作り方」などを予定している。その他、試験的な試みとして、ゲーム形式を取り入れたグループワークを随時実施し、心理学を体験的に楽しく学ぶ方法について受講生と一緒に考えてみたい（現在考案中の例：懇親会での名刺交換をゲームにした「よろしくゲーム」、モバイル時代のコミュニケーションスキル向上ゲーム「ディレクション」、劇場型オペラント行動形成ゲーム「ザ・シェイピングショー」、集団意志決定ゲーム「戦争と平和」など）。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅵ	かるべゆきひろ 軽部幸浩	心理3選必	2

講義のねらい

本講義は、生理心理学的測定の技法、機器の操作方法および資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講生の数によっては、内容を一部変更することがあり得る。したがって、受講者が決定した後に、年間実習計画予定表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験をおこなうこと。受講生をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験をおこなう。したがって、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、2年次までに生理心理学を受講した学生の履修が望ましい。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参考書等

随時紹介する。

その他

実験データの分析・統計処理は、「MS-Excel」と「Excel統計」または、「SAS」、「SPSS」等の統計パッケージを使用しておこなう。そのため、数回程度は、実験室を離れコンピュータ教場で授業をおこなうことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅶ	ましまひでとし 間島英俊	心理3選必	2

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実験テーマは発達に関することを予定していますが、受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度、並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。

参考書等

教材についてはその都度コピー等にて配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅷ	かつ 勝 侯 暎 史	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学の主な課題は、種々の心理臨床の領域で適用できる「心理査定法」と「心理療法」を習得することにある。しかし、多様な理論的背景をもつ「心理査定法」や「心理療法」を理解することは至難の技である。本講では、コンピタンス心理学の視点から、わが国において紹介されている主要な「心理査定法」や「心理療法」を取り上げ、それらに共通する原理があることを体得することをめざした実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、コンピタンス心理学の視点からみた「心理査定法」と「心理療法」について論究する。後期においては、受講者の興味に応じた「心理査定法」（ロールシャッハ・テスト、コンピタンス尺度、ストレス尺度、インタビュー面接など）と心理療法（記憶療法＝記憶術の諸技法を媒介にした心理療法など）について実習を行う。

履修上の留意点

実習を主として行うので、出席及びレポートの提出に心がけてください。

成績評価の方法

出席、レポートの提出、課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度、資料を配布する。

参考書等

その都度、資料に記載して紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	いばら 茨 木 博 子	心理4必	4

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は、①受講者自らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手続きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	かつ 勝 侯 暎 史	心理4必	4

講義のねらい

卒業論文作成に必要な具体的な研究実施計画を立て、各自の生活時間を考慮に入れながら、実施可能なタイム・テーブルを作成し、できるだけ早期の実施に努める。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の研究テーマに即して計画的に指導を行う。
①研究テーマの確認、②文献研究状況の確認、③研究方法の確認、④得られた資料の分析の観点・方法の確認、⑤考察の視点の確認などのそれぞれのステップの確認をしながら、卒業論文の完成をめざす。それぞれのステップ毎に中間報告の機会を設ける。

履修上の留意点

正規の演習時間外にも、必要に応じて、面接及びe-mailでの相談に応じるので積極的に取り組まれない。

成績評価の方法

各ステップでの中間報告（レポート）、出席状況、取り組みの姿勢などにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	佐々木 雄 二	心理 4 必	4

講義のねらい

受講生各自のテーマに合わせた卒業研究・卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

最初に受講生各自が、関心の強い研究テーマを発表し、そのテーマに適した研究方法(調査・実験)や具体的な実践手続きなどについて指導する。研究の「構想発表」「中間発表」の時間を設ける。

成績評価の方法

出席と発表内容、発言などによって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	谷 口 泰 富	心理 4 必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけでの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告(毎週)の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	茅 原 正	心理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理4必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導を受けると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくことになる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接を随時行う。

成績評価の方法

演習時における年間を通じた研究姿勢によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	お の こう いち 小 野 浩 一	心理4必	4

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。

演習形式による行動分析学の学習と卒業論文の指導を平行して行う。

講義の内容・授業スケジュール

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

教科書

本年は、次の文献をテキストに使う予定である。

Skinner,B.F. 1987. "Whatever happened to psychology as the science of behavior?" *American Psychologist*, 42, 780-786.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理4必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題(卒論テーマの決定)、問題(文献研究)、目的・方法(研究計画とその実施)、結果・考察(研究結果の分析、議論)のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究方法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すことになります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなれます。

心
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
環境心理学	おのりゅう そう 大野 隆造	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参 考 書 等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）1996

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童心理学	よこやま つよし 横山 剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

（詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する）。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点（小レポート）＋夏季レポート＋年度末定期試験

教 科 書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』（北樹出版）

そ の 他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 心 理 学	おののこういち 小野公一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人々が、企業やその他の組織に所属し働く時遭遇するさまざまな問題について、心理学的にアプローチする。具体的には、組織が目的達成のために仕事の仕組みやシステムを考えたり、そのメンバーを募集・選抜し、配置し、仕事の結果やそれに対する態度を評価し、育成するというような制度的な面（ハード）や、日常、上司が部下に仕事を割り振り、仕事をさせ、同時に、集団としての職場をまとめ、部下を育成したりするという運用面（ソフト）について、心理学がどのようにかかわり貢献したかをみる。後者については、動機づけやリーダーシップ、コミュニケーションなど、日常よく使う言葉が講義の対象になる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、産業心理学の歴史を見た後、人事心理学といわれる制度面について講義する。具体的には、職務分析と職務設計（2回）、募集・採用、配置・異動、キャリア発達と教育訓練（2回）、メンター、人事評価・ヒューマンアセスメントとコンピテンシー（2回）などが中心となる。

後期は、実際の日常の仕事の中における上司-部下関係を中心に見ていく。具体的には、動機づけ（3回）、職務満足感、コミットメントの関係、リーダーシップ（4回）：特性論・行動論・状況論、メンタルヘルス（2回）：仕事ストレスとコーピング・企業の対応、コミュニケーションなどが中心になり、最後にまとめを行う。

なお、受講者数が多くないときは、討議形式のケース・スタディも実施したい。

成績評価の方法

最終試験5割、中間試験4割、4・5回の出席確認と任意のレポート提出1割の合計で評価する。試験は、客観テストで、ノートとテキストの参照は可である。

教科書

小野公一『“ひと”の視点からみた人事管理』（白桃書房）1997

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 年 心 理 学	なかざとかつはる 中里克治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病氣）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

成績評価の方法

定期試験

教科書

下仲順子編『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 心 理 学	葛 西 賢 太 <small>かま い けん た</small>	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義がめざすのは、特定宗教の教義や心理について学ぶことではなく、現代人の心性の理解である。私たちの日常からちょっと外側に出て、当たり前と思っている価値観がどうできあがっているのかを考えてみる。講義では、科学的な心理学ではとりあつかわれない明らかな迷信や、科学的な装いをまとっているが怪しい知識、また実際に有用あるいは有意義な宗教的理念など、さまざまな宗教的信念についても、事例として取り上げる。宗教がどのように私たちの日常的な領域に関わるかを知ることは、心理学的知識の応用にもつながるはずである。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期テーマ：私たちの日常とその外側：衣食住】

衣：衣服という記号
ものを所有することの意味
食：食べるのは生きるためだけではない
依存症を考える
住：住居の意味
ニュータウンに住む人間の心理
フィールドワーク

【後期テーマ：さまざまな社会運動】
「まじめに生きる」とはどういうことか：儒教的社会倫理の伝統
エコロジーの歴史と理念
ターミナルケアとホスピス
映像文化の影響
個人通信端末とコミュニティ理念
スポーツの喜びとランナース・ハイ
フィールドワーク

履修上の留意点

多くの資料の読み込みを課すので、登録をする場合はそのつもりで是非がんばってもらいたい。前期後期に一回ずつフィールドワークを行う予定。

成績評価の方法

平常点。出席は考慮するが、科目運営への発言の貢献度・質を特に評価する。

教 科 書

田邊・島菌編『つながりの中の癒し——セラピー文化の展開』専修大学出版局、2,400円。

参 考 書 等

島菌・西平編『宗教心理の探究』東京大学出版会。樫尾直樹編『スピリチュアルに生きる』せりか書房。伊藤他『スピリチュアリティの社会学』世界思想社、2004年。

そ の 他

教科書をゼミ形式で読みながら討論する。毎回講義形式の解説がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康心理学	いな まつ のぶ お 稲 松 信 雄	心理2・3・4選	4

講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W.B.Cannon & H.Selyeの学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stressを中心にStressor Agentsの認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学(Psychoneuroimmunology)を関係づけて、最後にpsychoの部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動(Asthenic Emotion)の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は認知の変容、動機の階層、積極的思考・感情の養成や、V. E. FranklやNorman KousinsのPositive Thinkingの考え方、最後に長寿高齢者の良き適応例を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下のような項目となる
 ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性 ②精神活動と身体反応との関係
 ③心理学的ストレスと生理学的ストレス ④ストレスと情緒反応 ⑤情緒の生理学的機構
 ⑥情緒の分類と感情の統御 ⑦情緒と精神神経免疫学 ⑧情緒と欲求との関係
 ⑨感情&ストレスと健康の総括 ⑩積極思考の涵養
 ⑪健康問題を扱っている著名な精神科医、ジャーナリストの思考を学ぶ
 ⑫長寿高齢者の良き適応を学習

履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。

成績評価の方法

成績は年二回のレポートと出席を加味する。
 (但：履修者が50名を超えた場合には授業時間の前期・後期の最終日に試験を実施する。)

教科書

教科書として『健康心理学：資料集』（東邦大学医学部心理学研究室編）を使用する（授業開始時に配布：実費徴収）、その他随時補助プリントを用いる。

参考書等

参考書はRober J. Gatchel et al *An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY—Second Edition* McGraw-Hill, Inc.)

その他

講義を中心とするが、ビデオとPower Pointを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較行動学	こう しま かず こ 幸 島 和 子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くのだろうか。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろうか。どうして雄と雌がいるのだろうか。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろうか。私達はなぜ日本語が話せるのだろうか。赤ちゃんはなぜかわいいのだろうか。
 比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。
 後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。
 行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをとおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。
 講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料（ビデオ、スライド、OHP）を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。また、講義に加えてマン・ウォッチング（人間の行動観察）実習を行う予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神医学	黄 ミンシュク	心理2・3・4選	4

講義のねらい	精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。
成績評価の方法	筆記試験（本試験）により成績評価をする。
教科書	特に定めない。
参考書等	特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特講Ⅱ（集中）	安 東 末 廣	心理2・3・4選	4

講義のねらい	子どもの発達支援の技法であるプレイセラピーについて、子ども中心プレイセラピーと認知行動プレイセラピーの理論と技法について講義を行なう。
講義の内容・授業スケジュール	下記教科書により、次のような順序で進める。 ①プレイの対象物とプレイの空間（第4章） ②子ども中心プレイセラピー（第6章） ③入院型治療センターでのプレイセラピー（第8章） ④怒りマネジメントのための認知行動プレイセラピー（第13章） ⑤注意欠陥多動性障害（ADHD）児のグループトレーニングプログラム（第14章）
履修上の留意点	復習をして欲しい。
成績評価の方法	出席および論述試験
教科書	A. A. ドゥルーズ, L. J. キャリイ, C. E. シェイファー（編）安東末廣監訳『学校ベースのプレイセラピー』（北大路書房）3,800円 ISBN4-7628-2385-6 なお、講師の方で2割引にて、当日用意します。
その他	講義および技法体験 授業日程

前半						後半				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月			
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火			
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水			
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木			
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金			
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月			

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特講Ⅲ	鈴木 順一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

心理臨床の分野で、集団の持っている相互の啓発・成長・治療効果などを活用したグループ・アプローチがある。第1の潮流を精神分析、第2の潮流を行動主義として、第3の潮流と言われている人間性心理学や、第4の潮流とも言われているトランス・パーソナル心理学などを背景にするワークショップで、特に盛んに実施されています。本講座では、エンカウンター・グループ、サイコ・ドラマ、交流分析、ゲシュタルト療法などの成長志向の強い集団心理療法を、ワークショップ（体験学習）形式で学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

構成的エンカウターのリレーション（人間関係）づくりから始め、メンバー相互の人間関係を深めながら、自己内及び自他のコミュニケーションと気づきを促進する技法を体験的に学んでいきます。

履修上の留意点

体験的学習という性格上、出席して参加体験することが必要です。皆の同意が得られるならば、長時間の集中的ワークショップを実施するかも知れません。

成績評価の方法

出席点とレポートなどの平常点で評価します。

教科書

特にありません。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

講義形式の概念学習ばかりに慣らされてしまっている人にとっては、体験学習の全体参加性にとまどいと面白さを実感できるでしょうし、その重要性にも気づかれるでしょう。欠席しがちな人は、履修しないで下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法 I	前期：西脇 淳 後期：佐藤 尚代	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈知能検査とその関連領域〉を、後期には〈投影法心理検査〉を学ぶ。

前期の〈知能検査とその関連領域〉では、これらの検査を理解するために検査の基礎となる知能や発達観について理解を深め、検査の基礎的な流れに触れることを目的とする。その上で、検査の有用性と限界、利用の注意点など各検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶ機会とする。

後期は、〈投影法心理検査〉の基本的な心構えと基礎知識を身につけることが第1の目標である。投影法検査につきものの煩雑な施行手続きや、難解ともいわれる解釈プロセスには、それぞれに意味がある。それらの基礎を身に付けながら、被検査者に利益をもたらす検査施行の心構えを学ぶ。

前後期共に、授業は、講師による講義に加えて、体験学習（施行実習）やグループ討論・与えられた課題に自分なりのコメントをまとめる、などの形式で進むので主体的な参画が求められる。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

1. 心理アセスメントについて、発達・知能検査の概要
2. 発達・知能検査の自己学習（グループ討議と発表）
3. 知能検査の施行について ～ 施行に際しての注意事項や手続きの実際、演習
4. 発達・知能検査の実際 ～ 検査の目的と検査バッテリー、検査の見方・まとめ方

(後期)

1. 心理アセスメントとは（投影法の位置付け）
2. 各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、適用、施行実習）
3. 心理アセスメントにおいて大切なこと

履修上の留意点

履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。用具の準備は勿論のこと、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行う事も多く、時間を遵守し休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、教員に相談の上個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。また、検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法2」の授業も併せて履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可。）

成績評価の方法

出席を重視する。前期・後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学年末に定期試験を行なう。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法Ⅱ	稲富 正治・加藤 博己	心理2・3・4選	4

講義のねらい

臨床心理学の中にあり、重要な位置を占める「心理検査」は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などがその対象で、検査の種類によってそのやり方も理論背景も違います。人を知るための技法であり、心理検査の技術の習得と理論背景の理解はもちろんのことですが、心理検査を通して真剣に人と向き合うという「臨床」を学んで欲しいと思っています。ここで扱う心理検査は、もっとも多く使われている質問紙法（Y-G、TEG、CMIなど）と神経心理学的な検査（ベンダーゲシュタルトテストなど）です。「心理検査法Ⅰ」と合わせて心理検査全体を網羅したいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

1年を通して代表的な心理テストの理論と技法を学びながら、人の理解を深めるような授業を行ないます。臨床現場での心構えにも随時触れていきます。

履修上の留意点

人間を理解するということがどういうことなのかを真剣に考えてもらいたいと思っています。人への観察の前に自己観察をするつもりで履修してください。

成績評価の方法

「臨床」は真剣な世界です。出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理検査の結果を数字で見ただけではなく、自分の言葉を使っているか自己分析するかを大事な評価にしたいと思います。

教科書

今のところ考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

その他

心理検査を体験してもらう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行なう予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カウンセリング	讃岐 真佐子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カウンセリングとは、何らかの状態において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう心理的な働きかけをする面接活動のことであり、学問的には臨床心理学をその基盤としている。カウンセリングというどうしても実践中心のように思われるが、その前に多くの知識や長期にわたる訓練が必要とされることは言うまでもない。ここではその第一歩として前期は主に知識面、後期はグループ・ワークを通して様々な角度から「カウンセリング」について広く学んでいきたいと思う。カウンセラーを目指す人のみならず、自分自身の在り様、他者との関わり等考えてみたい学生諸君の参加を望む。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. カウンセリングとは何か — カウンセラーとクライアントの関係性をめぐって
 II. カウンセリングの主要理論
 (後期) III. グループ・ワーク (主にロール・プレイを中心として)
 IV. 事例研究

履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。またその日の授業への質問や感想を毎回書いて提出してもらう。

成績評価の方法

出席状況、グループ・ワークへの参加度、定期試験

教科書

必要な資料は適宜配布する

参考書等

伊東博著『カウンセリング』（誠信書房）
 河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
 河合隼雄監修『臨床心理学』第1～5巻（創元社）
 佐治守夫・岡村達也・保坂亨著『カウンセリングを学ぶ』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理 I	なかまる しげる 中丸 茂	心理2・3・4選	4

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や心理学の実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能」となっている。本コンピュータ実習では、VB (Visual Basic) を使って実験制御に必要な技術を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：VBA・VBの基本的なプログラミングの技術習得を目的とする。
 1. MS-WORD：MS-EXCEL VBA
 2. VBの基本プログラミング
 3. 心理統計のプログラミングを作ってみよう
 後期：VBを使って心理学の実験プログラミングの技術習得を目的とする。
 1. グラフィックデータの取り扱い
 2. 時間制御
 3. アプリケーションソフトの利用方法
 4. 心理学実験のプログラムを作ってみよう

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

下記2つの課題により評価する
 前期：オリジナルの心理統計プログラムの作成
 後期：オリジナル心理学実験のプログラムの作成
 (マニュアルの作成を含む)

教科書

1. 『30時間でマスター Visual Basic』 (実務出版)
2. 『はじめての Visual Basic 6. 0 グラフィックス&ゲームプログラミング』 (技術評論社)

参考書等

『Visual Basic 6. 0 パーフェクトマスター』 (秀和システム)
 池谷ら『2001 Visual Basic 逆引き大全 500の極意』 (秀和システム)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理Ⅱ	まきの すすむ 牧野 晋	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理Ⅰなどを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。計算機を使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。
1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。
今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・主にPC-SASを利用しての統計処理および分析方法の理解
データ解析と統計的手法の基礎
PS-SASの操作方法の習得
SASプログラムの書き方
データ取得から分析までの総合演習
- ・成果の発表や公開に関すること（可能なら）
コンピュータを使ったプレゼンテーション
Webによる情報公開手法（HTML入門、ファイル転送など）

履修上の留意点

コンピュータ実習の単位を習得していること、又は、同等の知識を持っていることが履修条件。
本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。
授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著
『SASによるデータ解析入門【第2版】』（東京大学出版会）

参考書等

- ・参考書については、授業中に適宜紹介する
- ・コンピュータ実習で使用した教材
- ・心理統計学で使用した教科書や教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	心理2・3・4選	4

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「シャーマニズムと仏教」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにしたい。

シャーマニズムとは、神霊と直接交流をしながら、予言、託宣、祭儀、治病行為などの役割を果たす人物（＝シャーマン）を中心とする宗教現象である。この現象はあらゆる宗教と結びつく性格を具えているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教との諸関係に注目して考察するものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、1. 宗教人類学の学問的特徴、2. フィールドワーク、3. シャーマニズムの研究史、後期は、1. シャーマンの神人交流の諸相、2. シャーマンと仏僧、3. シャーマニズムと仏教の諸相、などのテーマのもとに考えてみたい。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のリポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	茨木博子	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることを目的にしている。

講義の内容・授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する他、文献講読も行なう。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。しかし、研究したいテーマが実際に研究できるとは限らないので、最初から無理と思われるテーマは避けてほしい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参考書等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	小野 浩一 <small>おの こういち</small>	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについての学習を行い、データ収集の準備（できれば予備実験や予備調査）を行う。

演習は、テーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べたり、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

参考書等

米国科学アカデミー編『科学者をめざす君たちへ』（化学同人）1996年
B.F. スキナー『罰なき社会 行動分析学研究第5巻第2号』1990年

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	勝 俣 暎 史 <small>かつ また てる ちか</small>	心理3選	4

講義のねらい

この演習は、4年次必修の「演習」とともに、卒業論文作成に係わる授業である。従って、卒業論文に結合できるテーマの選択、卒業論文研究に着手するために必要な手続きなどを視野に入れながら、受講者各自の関心を発展させるため必要な作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、①研究テーマの決め方、②研究課題の絞り方、③文献研究のあり方、などについてガイダンスを行った後、各自の研究テーマを決め、文献研究を行い、主要な研究論文について発表する機会を設定する。後期においては、卒業論文研究の実施計画を視野に入れながら、実施に必要な具体的な作業（事例研究に必要な準備、質問紙調査に必要な材料の準備など）を行う。

履修上の留意点

研究に取り組む楽しさを体験できるように、積極的な意欲をもって取り組んで欲しい。

成績評価の方法

年間を通じた取り組みの成果や姿勢を総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	佐々木 雄 二 <small>ささき ゆうじ</small>	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

①最近発刊された臨床心理学やカウンセリング心理学、健康心理学領域の専門誌（原則として英文誌）からゼミ生自身が関心のある論文を探し、2、3編選んでくる。②その中から講師が指定する1編を訳し、原文、全訳文、抄訳文、参考資料をつけて提出する。提出資料をゼミ生全員に配布し、その論文の要点を説明した後、論文の展開に従って研究課題、具体的な研究目的、対象、実験や調査などの方法、結果の分析、検討内容、今後の課題などについて発表する。③その発表に基づいて質疑応答を行う中で、ゼミ生自身の臨床心理学研究の課題を見つけ、方法論を学び、卒業研究の準備にあたる。

成績評価の方法

発表および質疑応答の内容に基づいて評価する。

参考書等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域英文誌の「一覧表」を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	谷口 泰富	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	茅原 正	心理3選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。
〔後期〕
各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教科書

R.E.Ornstein *The Psychology of Consciousness* の予定である。
プリント配布。

参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	間島英俊	心理3選	4

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思えます。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前の一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思えます。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思えます。

成績評価の方法

出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参考書等

参考書、文献等については随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	川本勝	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、効果、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教科書

特に使用しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会病理学	やまもと いさお 山本 功	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に引き上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回 イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回 「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回 「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回 「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回 「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか：犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回 ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価。

教科書

矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』（学陽書房）1,995円 ISBN4-313-34008-4

参考書等

澤登俊雄『少年法』（中公新書）2000年
 鮎川潤『少年犯罪』（平凡社新書）2001年
 中河伸俊『社会問題の社会学』（世界思想社）1999年
 平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学』（世界思想社）2000年
 矢島正見『少年非行文化論』（学文社）1996年
 法務省編『犯罪白書』
 警察庁編『警察白書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教社会学	芳賀 学	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

古今東西、人間社会には（形の違いこそあれ）何らかの宗教が存在し、それぞれの社会や時代の状況に対応してさまざまな役割を果たしてきました。この授業では、アイデンティティをキーワードとして、そもそも人間にとって宗教が必要である根本的な理由と、われわれの住むこの日本社会において宗教（及び宗教周辺現象）が果たしてきた（または果たしている）役割について概括的に理解することを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期）（1）オリエンテーション （2～5）アイデンティティと宗教
（6～8）新宗教とは何か（発達段階・思想・組織・活動）
（9～13）時代の中の新宗教（幕末から現在まで）
（後期）（14・15）宗教周辺現象の拡大 （16・17）心理療法的な活動
（18～20）ネットワークビジネスとエステ
（21・22）占いとヒーリング （23・24）オウム事件と危機管理
（25・26）自分探しのパラドックス

履修上の留意点

本講義を履修するにあたっては、以下の二点に留意してください。（1）有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。（2）多くの情報をどん欲に吸収すると同時に、それを鵜呑みにしないで、自分に引き付けてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績については、基本的に、夏期休暇に課すレポート（4000字程度）と年度末に行うペーパーテスト（筆記式）との総合評定で決定しますが、不定期に課すリアクションペーパーの提出状況によってはその結果に若干の加点措置を講じる予定です。

教科書

使用しない。

参考書等

授業開始後に適宜紹介する。

その他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	鷄 徳 啓 登	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』（学陽書房） 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	さき 桐 ほん 原 ひろ 宏 ひろ 行	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを日指す。

講義の内容・授業スケジュール

<前期内容>

- ・ 障害特性の理解（視覚障害、聴覚言語障害、運動障害、内部障害、知的障害）（第1回～第7回）
- ・ 障害者福祉の理念（ノーマライゼーション、リハビリテーション等）（第8回～第9回）
- ・ 障害の概念（障害の構造的理解）（第10回）
- ・ 障害者の実態（第11回）
- ・ 障害者福祉の歴史（第12回～第13回）

<後期内容>

- ・ 障害者福祉の施策（障害者福祉に関連する法律の理解、障害者福祉における行政の役割、障害者プラン、支援費制度等）（第1回～第5回）
- ・ 障害者福祉サービス（身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の各領域別福祉サービスの理解）（第6回～第9回）
- ・ 障害者福祉の分野別課題（保健・医療、教育、雇用、権利擁護、所得保障、バリアフリー等）（第10回～第13回）

成績評価の方法

前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験を総合して評価する。

教科書

- ・ 『障害者福祉論』（建帛社）2,600円
- ・ 授業内容により補足資料を配布する。

参考書等

授業のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。授業態度に問題がある場合には退室してもらうことがあるので、気を引き締めて履修してもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。また、出席点は考慮しない。

教科書

教科書は初回講義時に指示する。

参考書等

出版社は問わないが、最新の「社会福祉小六法」は購入しておくこと。また、その他の参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童福祉論	むら た かず あき 村 田 一 昭	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

1989年に国連子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉制度や実践の変革に向けた努力が行われてきています。そこで本講座では、子どもと家庭のウェルビーイング (well-being) をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組や各領域のサービス体系の現状と課題およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：①子ども家庭福祉の理念、②子ども家庭福祉の歩み、③子ども家庭福祉の最近の動向、
④子ども家庭福祉の担い手、⑤子ども家庭福祉の法体系と実施体制
後期：①子ども家庭福祉施策の現状と課題、②子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践

履修上の留意点

「考える」授業となるよう、質問・意見等授業中の積極的な発言を望みます。

成績評価の方法

半期ごとに、出席 (50点)、小レポート (40点)、読書・ビデオ感想文 (10点) の累積点で評価します。なお、質問・意見等授業中の積極的な発言にはボーナス点を加算します。

教科書

高橋重宏・山縣文治・才村 純編『子ども家庭福祉とソーシャルワーク』(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) (有斐閣) 2,000円

参考書等

随時、紹介します。

その他

講義を中心に、適宜、グループ討議等を交えて、授業を展開します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。

追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法	おわ みや たかし 大宮 隆	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講義上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 親族
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子
親子の種類、実子、養子
4. 親権
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐
機関、事務、終了
6. 相続
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言
方式、効力、執行

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教科書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I マクロ経済学
 - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 - 2. 所得はどのようにして決まるのか
 - 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 - 4. IS-LM分析と財政金融政策
 - 5. 経済の変動と成長
 - 6. 賃金・物価・インフレーション
 - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 - 1. 市場と価格メカニズム
 - 2. 消費者行動の理論
 - 3. 企業行動の理論
 - 4. 不完全市場とは何か
 - 5. 市場の失敗
 - 6. 不完全情報の経済学
 - 7. リスクと不確実性
 - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）

心

理

Ⅲ 他学部履修科目

他履
学修
部科目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈石井修道〉	707
中国禅宗史	〈石井修道〉	707
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	708
禅籍講読Ⅰ	〈佐藤秀孝〉	708
禅籍講読Ⅲ	〈岩永正晴〉	709
仏教概論	〈池田練太郎〉	709
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	710
中国仏教文化史	〈永井政之〉	710
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	711
中国古典語初級	〈吉村誠〉	712
中国哲学史	〈前川亨〉	713
上代文学研究Ⅰ	〈中嶋真也〉	713
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	713
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	713
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	713
近代文学研究Ⅰ	〈榎本正樹〉	714
比較文学	〈満谷マーガレット〉	714
西洋思想史	〈柴野博子〉	714
演劇概論	〈森井直子〉	714
日本民俗学	〈谷口貢〉	714
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	714
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	714
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	714
イギリス文学特講Ⅳ	〈休講〉	
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	715
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	715
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	715
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	715
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	715
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	715
地理思想史	〈休講〉	
地形学	〈小池一之〉	715
人口地理学	〈江崎雄治〉	715
文化地理学	〈小田匡保〉	716
応用地理学	〈高木正博〉	716
現代地理学特論	〈佐藤哲夫〉	716
日本仏教史	〈松本信道〉	716
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈熊本史雄〉	716
東洋史特講Ⅲ〔近代史〕	〈杉山清彦〉	716
考古学特講Ⅲ	〈休講〉	
西洋文化史	〈石田恵子〉	716
哲学史	〈山口祐弘〉	716
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	717
社会福祉発達史	〈林千代〉	717

他学部
履修科目

日本經濟史	渡邊 惠一	717
農業政策	溝手 芳計	718
教育經濟論	谷 敷 正 光	719
日本經濟論	小 林 正 人	720
中國經濟論	〈 休 講 〉	
アメリカ經濟論	瀬戸岡 絃	721
EU統合論	清 水 卓	722
現代西歐經濟論	清 水 卓	723
シヤ・東歐經濟論	山 縣 弘 志	724
財務會計論	小 栗 崇 資	725
會計監査論	森 田 佳 宏	726
管理會計論	石 川 祐 二	727
貿易論	古 沢 絃 造	728
行政法各論	金 子 昇 平	729
比較憲法	西 修	729
相統法	竹 中 智 香	730
西洋法制史	北 野 かほる	731
英米法	北 野 かほる	732
經濟法	若 林 亜里砂	733
ヨーロッパ政治論(1)	中 野 裕 二	733
ヨーロッパ政治論(2)	中 野 裕 二	734
國際政治学	小 堀 訓 男	734
ヨーロッパ政治史	浦 田 早 苗	735
地方自治法	富 井 幸 雄	735
比較政治学	三 竹 直 哉	736
現代國家論	大 塚 桂	737
比較憲法	〈 休 講 〉	
經營勞務論	鹿 嶋 秀 晃	738
國際經營論	茂 垣 広 志	739
商業經營史	〈 休 講 〉	
保險經營論	石 名 坂 邦 昭	740
財務會計論	渡 邊 惠 一 郎	741
經營分析論	片 桐 伸 夫	742
稅務會計論	高 木 克 己	743
經營情報論	〈 休 講 〉	
情報管理論	西 村 和 夫	744
經營統計	長 国 強	745
醫療宗教学	田 上 太 秀	746
醫療經濟学	永 山 く に 子	747
異文化コミュニケーション	〈 奥 原 淳 子 〉	748
國語学	片 山 晴 賢	749
國語史	萩 原 義 雄	750
女性史	高 嶋 め ぐ み	751
文化概論	〈 蘭 部 幹 生 ・ 井 上 優 ・ 佐 藤 憲 昭 ・ 内 藤 寿 子 ・ 藤 田 和 美 〉	751
文学特殊研究	〈 佐 原 作 美 ・ 石 割 透 ・ 小 林 治 ・ 坂 口 博 規 〉	752
古典戲曲演劇	佐 藤 知 乃	752
メデアと表現	松 田 直 行	753
時事英語	岡 本 誠	753

履修科目
他学部

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	754
社会思想史	〈休講〉	
国際経済論	〈徳永俊明〉	755
商業政策	〈休講〉	
アジア経済論	〈休講〉	
社会政策	〈休講〉	
銀行論	〈休講〉	
マーケティング	〈江上哲〉	756
経営管理論	〈百田義治〉	757
中小企業論	〈吉田敬一〉	758
人口論	〈森岡仁〉	759
労務管理論	〈堀龍二〉	760
法思想史	〈高橋洋城〉	761
日本法制史	〈休講〉	
西洋法制史	〈北野かほる〉	762
経済法	〈荒井登志夫〉	763
国際関係論	〈三船恵美〉	763
地方自治法	〈富井幸雄〉	764
国際紛争解決法	〈王志安〉	765
倒産処理法	〈木川裕一郎〉	766
アメリカ経営学	〈休講〉	
経営財務論	〈高田光明〉	767
経営組織論	〈休講〉	
公益企業論	〈菅谷実〉	768
公管理論	〈猿山義広〉	769
会計監査論	〈阿部一人〉	770
日本経済論	〈羽鳥茂〉	771

他履
学修
部科目

〔フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	石井修道	文学部全学科	4

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるかとなれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方折りにも触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円
 『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円
 『禅学大辞典』（大修館書店）
 入矢義高等『禪語辞典』（思文閣出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方折りにも触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文（400字詰め5枚程度）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禪語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	文学部全学科	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	佐藤秀孝	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものである。中国禅宗は南北朝期（梁・北魏）に渡来した菩提達磨（達摩とも）に始まり、唐・宋代に開花・隆盛しているが、本講義では唐末五代以前に成立した禅籍をその対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

対象となる禅籍は『二入四行論』『無心論』『絶観論』『六祖壇経』『証道歌』『参同契』『宝鏡三昧』などであり、さらに『祖堂集』からも特徴的な祖師の事跡を学んでいきたい。はじめは講義方式で行い、後半は禅籍の具体的講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の禅語録であるので、読解力を増すよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表の態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）
『禅語辞典』（思文閣書店）
筑摩書房『禅の語録』シリーズの『達磨の語録』『初期の禅史Ⅰ』『初期の禅史Ⅱ』『六祖壇経』『頓悟要門』『龐居士語録』『伝心法要・宛陵録』『禅源諸詮集都序』『臨済録』『趙州録』『寒山詩』など。

他履修
学科目
部目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	岩永正晴 <small>いわなが しょうせい</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、数回のレポート（または小テスト）によって成績評価を行う。出席点は採らない。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	池田練太郎 <small>いけだ れんたろう</small>	文学部(国文学科除く)	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。
a, 仏教とは何か b, ブッタの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱 f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	かな さわ あつし 金 沢 篤	文学部全学科	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教 科 書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参 考 書 等

教場で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	文学部全学科	4

講義のねらい

この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、その部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。

この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。六祖慧能のミイラへの信仰から入りましょう。

履修上の留意点

少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。

成績評価の方法

期末に出席を加味して評価します。

教 科 書

教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。

参 考 書 等

永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）
その他、適宜指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 文 化 史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	文学部全学科	4

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てて示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
 - 1 古代文化の解釈
 - 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
 - 1 呉音漢音と文化
 - 2 美術中の仏教観
 - 3 自利利他の問題
 - 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
 - 1 大仏建立の理念
 - 2 学問仏教の実際
 - 3 修験道と聖俗観
 - 4 勸進聖と浄穢観
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
 - 1 大乘戒壇の設立
 - 2 一乗三乗の論争
 - 3 祈禱仏教と密教
 - 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変様
 - 1 浄土信仰の諸相
 - 2 法華信仰の諸相
 - 3 禅宗と五山文学
 - 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
 - 1 鉄砲と吉利支丹
 - 2 幕府の宗教政策
 - 3 江戸文化と仏教
 - 4 維新と排仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
 - 1 戦前より戦後へ
 - 2 仏教と民主主義

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）

参考書等

渡辺照宏『日本の仏教』（岩波新書）
家永三郎『日本文化史』第2版（岩波新書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	よしむら まこと 吉村 誠	文学部全学科	4

講義のねらい

中国の神話や伝説を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。話の面白さにつられて読むうちに、自然と漢文が読めるようになる授業です。また、中国の歴史や文化、儒教・仏教・道教の思想など、適宜講義を加えます。

前期は、六朝時代の志怪小説から数篇を選んで講読します。志怪とは現世や異界の不思議を記録した怪異談です。後期は、唐代の伝奇小説である「杜子春伝」を講読します。伝奇とは作者が創作意図に基づいて作り上げたフィクションです。

講読を通じて、中国人の死生観や世界観が、仏教や道教の影響によって次第に変化してゆく過程を知ることになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 牽牛と織女 (漢文の読み方) (2) 孝行息子と天女 (3) 太陽を射た男 (助辞・再読文字) (4) 月世界に住む女 (5) 天地開闢 (否定形・比較形)
(6) 人類創生 (7) 生き返った恋人 (使役形・受身形) (8) 引き裂かれた夫婦
(9) 死人の名簿 (疑問形・反語形) (10) 中国の幽霊 (11) 仙界を訪ねた男
(12) もう一人の自分 (13) 男と女の騙しあい
- (後期) (1) 志怪小説から伝奇小説へ (2～5) 趙泰の地獄めぐり (6～7) 観音菩薩の靈験 (8～13) 杜子春伝

履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文の学習歴がなくても心配はいりません。ただし、語学の習得には学習の継続が不可欠です。毎回予習をして、休まず出席すること。

成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価します。

教科書

プリントを使用しますが、漢和辞典は必ず用意してください。『新字源』(角川書店)、『漢語林』(大修館書店)、『漢辞海』(三省堂)を推奨します。その他、文法書の購入も指示します。

参考書等

授業中に随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえかわ とおる 前川 亨	文学部全学科	4

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教の歴史について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、宋代から始めて、清末・民国に至るまでの思想史を扱う予定である。まず中国思想史の概要を解説したうえで、前期には、唐宋変革の意義、道学運動の展開、朱子学の思想を、後期には陽明学の出現、王学左派の思想、更に清朝考証学の成立と近代思想・中国革命の思想の登場をとり扱うことになるであろう。宋代を風靡した禅宗の思想や、民間信仰の問題にも言及することができる筈である。いずれについても、断代史的ではなく、問題史的に検討を加える所存である。その際、東アジア世界の中の中国思想という観点を忘れないようにしようと思う。

履修上の留意点

当然ながら、中国の思想・哲学・宗教・社会・文化などに関心のある学生の受講のみを歓迎する。継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲をもたない学生の受講は固く禁止する。中国語を履修していなくても構わないが、中国語（古典・現代）の履修も並行することが望ましい。

成績評価の方法

受講者数を見て最初の回に伝達する。原則として、受講者30人以下の場合にはレポート、それ以上の場合には試験を行なう予定である。出席が絶対に必要な要件であることはいうまでもない。レポートにせよ、試験にせよ、出席していない学生には提出／受験の資格がない。

教科書

特になし。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

受講者にできるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者諸君の意見を聞きながら、内容を深めていくようにしたいと思うので受講者諸君の主体的なとりくみに期待する。なお、遅刻、途中退出、授業時間における携帯電話の操作、私語、その他授業に非協力的な行為は断固排除するので、そのつもりで受講すること。教室内では、男女とも、当然、脱帽すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究 I	なかじま しんや 中嶋 真也	文学部(国文学科除く)	4

(P.322) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	まつおか ともゆき 松岡 智之	文学部(国文学科除く)	4

(P.323) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	さくら いようこ 櫻井 陽子	文学部(国文学科除く)	4

(P.324) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	このえ のりこ 近衛 典子	文学部(国文学科除く)	4

(P.325) 参照

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究 I	<small>えの</small> 榎 <small>もと</small> 本 <small>まさ</small> 正 <small>き</small> 樹	文学部(国文学科除く)	4

(P.326) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	<small>みつたに</small> 満谷 マーガレット	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.352) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	<small>しば</small> 柴 <small>の</small> 野 <small>ひろ</small> 博 <small>こ</small> 子	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.357) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	<small>もり</small> 森 <small>い</small> 井 <small>なお</small> 直 <small>こ</small> 子	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.358) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	<small>なに</small> 谷 <small>ぐち</small> 口 <small>みつぎ</small> 貢	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.354) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	<small>いし</small> 石 <small>はら</small> 原 <small>こう</small> 孝 <small>さい</small> 哉	文学部(英米文学科除く)	4

(P.385) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 II	<small>たか</small> 高 <small>の</small> 野 <small>まさ</small> 正 <small>お</small> 夫	文学部(英米文学科除く)	4

(P.385) 参照

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 III	<small>おか</small> 岡 <small>ざき</small> 崎 <small>としちろう</small> 寿一郎	文学部(英米文学科除く)	4

(P.386) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	富士川 義之 <small>ふじがわ よしゆき</small>	文学部(英米文学科除く)	4

(P.386) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small>	文学部(英米文学科除く)	4

(P.387) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	東 雄一郎 <small>あづま ゆういちろう</small>	文学部(英米文学科除く)	4

(P.389) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	足田 和人 <small>あしだ ひと</small>	文学部(英米文学科除く)	4

(P.390) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	落合 和昭 <small>おちあい かずあき</small>	文学部(英米文学科除く)	4

(P.388) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L.P.	文学部(英米文学科除く)	4

(P.395) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池 一之 <small>こいけ かずゆき</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.462) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	江崎 雄治 <small>えさき ゆうじ</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.466) 参照

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田匡保	文学部(地理学科除く)	4

(P.437) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木正博	文学部(地理学科除く)	4

(P.441) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	佐藤哲夫	文学部(地理学科除く)	4

(P.472) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	松本信道	文学部(歴史学科除く)	4

(P.546) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	熊本史雄	文学部(歴史学科除く)	4

(P.529) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ 〔近代史〕	杉山清彦	文学部(歴史学科除く)	4

(P.535) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	石田恵子	文学部(歴史学科除く)	4

(P.548) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口祐弘	文学部(歴史学科除く)	4

(P.552) 参照

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	川本 勝 <small>かわもと まさる</small>	文学部(社会・心理学科除く)	4

(P.579) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	林 千代 <small>はやし ちよ</small>	文学部(社会学科除く)	4

(P.632) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	渡邊 恵一 <small>わたなべ けいいち</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義の目的は、日本経済を歴史的な視点から理解することである。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりにも随時触れ、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済
 6. 戦時から戦後へ
- 終. まとめと展望

履修上の留意点

出席は取らないが、ストーリー性のある内容なので、欠席すればその分だけ話の前後がつかなくなる。

成績評価の方法

期末試験で評価するが、必要に応じて小テスト等の結果を加味する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会) 2002年

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問(挫折者歓迎)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みづ 溝 手 芳 計	文学部(心理学科除く)	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (2回)
2. 食料問題と食料政策 (5回程度)
3. 農産物価格問題と価格・所得政策 (5回程度)
4. 農業の特質と現代農業 (4回程度)
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－ (6回程度)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参 考 書 等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』(有斐閣)
F. マグドフ他編 (中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章 (大月書店)
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 経 済 論	谷 敷 正 光 <small>やしきただみつ</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「学校の水準と枠組み法」、フランスの「ジョスバン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質の充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー 1 「識字率と児童労働」
- (2) 日本の産業化とリテラシー 2 「江戸時代—工業化の準備機能」
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン政権の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン政権の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ政権の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ政権の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン政権の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー政権の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア政権の経済と教育 1 「福祉のニューディールとオプティングアウト」(一部ビデオ)
- (11) ブレア政権の経済と教育 2 「学校の水準と枠組み法」・ビーコンスクール

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場私下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と職工学校・機業地学校
- (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

他
学
部
目

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP 新書）
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリム、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』（新日本出版社）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
 岡崎哲二『工業化の軌跡』（読売新聞社）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	小林正人	文学部(社会・心理学科除く)	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」－とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高－をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
 景気の現状と雇用情勢
 戦後改革
 日本の高度経済成長：歴史とその原因
 産業政策の役割
 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の経済発展とイノベーション
 イノベーションと産業構造の変化
 主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
 日本の経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
 平成不況の意義
 IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんぱんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>）の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

そ の 他

講義についての質問や成績質疑応答への参加を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬戸岡 <small>せとがわ</small> 紘 <small>ひろし</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
E U 統合論 (前期)	しみず たかし 清水 卓	文学部全学科	2

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EUの目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。今年にはEU憲法制定が各国での国会審議や国民投票にかけられます。2001年に流通が始まった通貨ユーロは存在感を増しています。このようなEUを知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・
授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III.EUの制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU憲法 IV.EUの政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) e-EUROPE (4) 共通農業政策

履修上の留意点

EUは25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEUの骨格を解説するだけです。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2500円

その他

選択科目ですからEUに関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代西欧経済論 (後期)	しみず 清 たかし 卓	文学部全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク戦争という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸EU諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・ 授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換
- IV. EU統合の現段階と各国経済 (1) 福祉国家 vs グローバル化 (2) 「ポスト工業化段階」の経済・社会的課題

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点から位置付けることを学びますが、現状をどう見るといことが出発点です。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	文学部全学科	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが必要であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリентと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	小 栗 崇 資	文学部全学科	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	文学部全学科	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論・会計学基礎」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

山浦久司『会計監査論（第3版）』（中央経済社）
加藤恭彦、友杉芳正、津田秀雄編著『監査論講義（第5版）』（中央経済社）
石田三郎編著『監査論の基礎知識（4訂版）』（東京経済情報出版）
（財）財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	石 ^{いし} 川 ^{かわ} 祐 ^{ゆう} 二 ^じ	文学部全学科	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえで、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	文学部全学科	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------|------------------|
| I. 生産・消費と貿易 | II. 政治・経済・社会と貿易 |
| 1. 農産物と貿易 | 1. 開発援助と貿易 |
| 2. 水産物と貿易 | 2. 環境と貿易 |
| 3. 林産物と貿易 | 3. WTOと貿易 |
| 4. 鉱物資源と貿易 | 4. グローバリゼーションと貿易 |
| 5. 工業製品と貿易 | 5. 持続可能な発展と貿易 |

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	金子昇平 <small>かね こしやう へい</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	西修 <small>にし おさむ</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）(2) 主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、(4) 項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
- (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと (3) 私語は絶対に慎むこと
- (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- (1) 出席・レポート 30点 (2) 前期試験 30点 (3) 後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- (1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART 3「世界の憲法はこうなっている！」
- (2) アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- (3) 西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	たけなかちか 竹中智香	文学部全学科	4

講義のねらい

民法第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

〔後期〕

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補補訂版]』（有斐閣）1,600円
有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋法制史	きたの 北野かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 法	またの 北野 かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

そ の 他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	わか ばやし ありさ 若 林 亜理砂	文学部全学科	4

講義のねらい

経済法を中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教 科 書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参 考 書 等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

そ の 他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	なか の ゆう じ 中 野 裕 二	文学部全学科	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論（1）」「ヨーロッパ政治論（2）」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論（1）」では「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。国民の「外部者」たる移民・外国人の抱える問題、国や政治勢力の対応・施策を通して、「国民とは何か?」、「国とは何か?」を考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・外国人労働者から移民へ
- ・1990年代以降の新しい移民 ・移民・外国人の直面する諸問題
- ・移民・外国人排斥勢力とその論理 ・移民・外国人に対する施策

履修上の留意点

政治制度論を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教 科 書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

履 他
修 学
科 部
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	文学部全学科	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(2)」では「フランスにおける新しい共和制像の模索」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。文化的・宗教的・民族的に多様なフランスで、各個人が自らの多様性を享受しながら、フランス社会が一つの社会としてまとまる原理は何か?ということをも問題関心とします。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・伝統的「共和制モデル」
- ・移民問題の衝撃
- ・ヨーロッパ統合の衝撃
- ・フランス型多文化主義
- ・寛容の共和主義
- ・新しい共和制像の模索

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。なお、講義の内容上、「ヨーロッパ政治論(1)」の授業内容を前提とすることもありますので、連続して受講することが望ましいです。

フランスを直接の対象としますが、「多民族社会・多文化社会=日本」における社会統合の原理は何か?という問題関心をつねに持って受講してください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こほりのりお 小堀訓男	文学部全学科	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田 早苗	文学部全学科	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合——
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	富井 幸雄	文学部全学科	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきかめしながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	三 竹 直 哉	文学部全学科	4

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2004年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2004年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。
他にも指定する可能性はあります。

そ の 他

この文章は2004年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URL が変更になる可能性があります。その場合、Google などで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おおつか 大塚 かつら 桂	文学部全学科	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）ならびに、『明治国家と岩倉具視』（信山社）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志 <small>もがきひろし</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなごか くに あき 石名坂 邦 昭	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	文学部全学科	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたぎり のぶお 片桐伸夫	文学部全学科	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	文学部全学科	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	文学部全学科	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

[関連科目] → 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	なが こ きょう 長 国 強	文学部全学科	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データ的具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医療宗教学 (前期)	田 上 太 秀 <small>た がみ たい しゆう</small>	文学部(英米文学科除く)	2

講義のねらい

人の生涯は生・老・病・死の四つで見ることができるが、それらのいずれにも医療、あるいは医学が関わらないことはない。人間の歴史が始まって以来、医療は密接であった。一方、医療以上に宗教も関わっていることが知られた。それは、医療と結びついていたのである。今日、医学、あるいは医療は宗教とは無関係のように考えられているが、人間の歴史を見ると、二つの関係は車の両輪のようであった。本講義は医療と宗教との関わりについて、とくに古代インドを中心に解説することをねらいにしている。

講義の内容・
授業スケジュール

わずかに半期の講義であるので、ほとんど概要を述べることになるので、次のような内容となる。

1. 医学の歴史に関するもの (はじめに)
2. インド医学の思想的背景
3. アーユル・ヴェーダと歴史背景
4. アーユル・ヴェーダから終末期医療まで
(最初期の仏教との関連)
5. 仏教医学に関するもの

履修上の留意点

出席カードを配布し、自分で出欠を記入させる。過半数(授業時数の)以上の出欠が必須である。

成績評価の方法

期末のテストによって成績評価する。

教科書

作成したプリントを使用。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医療経済学 (前期)	ながやま 永山くに子	文学部(英米文学科除く)	2

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鍋田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川渕孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	おくはらじゆんこ 奥原淳子	文学部(国文学科除く)	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？
日本人というのは誰をさすのか。
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？
日本はどのようにメディアに映されているのか。
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるか？また、そのためにはどうしたらいいのか？

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従つて、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持つて授業に臨むことを期待します。

尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用。

参考書等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 語 学	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。なお、概要は次の通りです。

- ・ 音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
 どのように声を作っているのか
 音声をどのように表記するのか
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・ 文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
 仮名遣いの諸問題
- ・ 語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 史	はぎ 原 義 雄 萩 原 義 雄	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』(国宝真福寺本)&最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について(現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記)
- 第4回の講義内容 天女幻想『竹取物語』《32頁》
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』(書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』)について
- 第6回の講義内容 『土佐日記』(為家本と定家本との異なり)について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』(人物系譜・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察)
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について(源頼朝・頼家・実朝そして北条政子とその一族)
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書き込むことを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。[山水経]
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 『義経記』判官びいき。[192頁]
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎(浦島伝説・浦島太郎伝説の謎)・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。[260頁]
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』[362頁]
- 第24回の講義内容 勸善懲惡「南総里見八犬伝」
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』について

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、画像処理についても要確認(著作権問題)願います。

教 科 書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazqwa-u.ac.jp/~hagi>]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	高 嶋 めぐみ	文学部全学科	4

講義のねらい	日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。
講義の内容・授業スケジュール	時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。
履修上の留意点	講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。
成績評価の方法	総合評価（（1）出席、受講の状況（2）レポートまたは試験）
教科書	特に指定はしない。
参考書等	講義内容と関連して、適宜指示する予定。
その他	ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 概 論	<small>そのべ</small> 菌部 幹生・井上 優 <small>さとう</small> 佐藤 憲昭・内藤 寿子 <small>ふじた</small> 藤田 和美	文学部全学科	4

講義のねらい	「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。</p> <p>本年度の日程と内容は以下の通りである。</p> <p>◎4月13日(水) オリエンテーション</p> <p>①文学とタブー《4/20、4/27、5/11、5/18、5/25、6/1(6回)》</p> <p>②タブーと宗教《6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13(6回)》</p> <p>③メディアとタブー《9/21、9/28、10/5、10/12、10/19(5回)》</p> <p>④横習のタブー《10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/6(6回)》</p> <p>◎12月15日 まとめ</p> <p>◎1月8日 レポート提出(資料室)</p>
履修上の留意点	最初の授業時(4/13)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。
成績評価の方法	レポート及び出席状況等により評価する。
教科書	各担当者より指示する。
参考書等	各担当者より指示する。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 学 特 殊 研 究	佐原 作美・石割 透 小林 治・坂口 博規	文学部(英米文学科除く)	4

講義のねらい

「子ども」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者からその都度指示があるのでそれに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は以下の通りである。

- ① 古代文学と子ども
〈4/14, 4/21, 4/28, 5/12, 5/19, 5/26, 6/2〉 佐原作美
- ② 西行と娘
〈6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14〉 坂口博規
- ③ 近代の小説に見る子ども像
〈9/22, 9/29, 10/6, 10/13, 10/20, 10/27〉 石割 透
- ④ 近・現代文学の中の子ども
〈11/10, 11/17, 11/24, 12/1, 12/8, 12/15〉 小林 治

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教 科 書

担当者により指示する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古 典 戯 曲 演 劇	佐 藤 知 乃	文学部(英米文学科除く)	4

講義のねらい

現代の日本には、さまざまな古典演劇が共存しています。その戯曲のあり方もさまざまです。この講義では、能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃といった、日本の古典演劇といわれるパフォーマンスにおける、戯曲のあり方を考察します。履修者に対するいわゆる古典演劇へのガイダンスではありますが、古典演劇を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、現代演劇との比較等とあわせて、分析、批判的に考察することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

歌舞伎や能・狂言、文楽の「戯曲」を講読し、関連する舞台のビデオ鑑賞などを行います。具体的には、種々の古典演劇のなかから、同じ題材を用いた作品を選び、ビデオおよび戯曲を通して比較を行っていきます。理解を深めた上で、テーマを決め、討議も行います。

履修上の留意点

5月に渋谷のNHKホールにて開催されるNIKK古典芸能鑑賞会の見学を予定しています。昨年は、最終金曜日の午後5時開演、9時半終演、学生料金は500円でした。今年度の予定はわかり次第告知し、最初の授業において説明します。見学後、レポートの提出を求め、必ず参加すること。

成績評価の方法

前期および後期の最後の授業において、筆記試験(記述式)を行います。また、古典芸能鑑賞レポートを提出していただきます(履修上の留意点参照)。そのほか、授業中に小レポートを課し、これらを総合的に勘案します。

教 科 書

授業中にコピーを配布します。

参 考 書 等

教場において指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつだ なおゆき 松田直行	文学部全学科	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語 (前期)	おかもと まこと 岡本誠	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになるのか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalesse に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

[フレックスBで開講される他学部履修科目]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おおぶきかつお 大 吹 勝 男	文学部全学科	4

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論 (価値論) ・電子マネー
- (2) 生産過程論 (労働過程論)
- (3) 流通過程論 (資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送)
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論 (中抜き論)
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論 (サラリーマン論)
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備 (学習) をして試験に望んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試は実施する。

教 科 書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(梓出版社) 1,500円
大吹勝男著『商業資本の基礎理論』(梓出版社) 4月刊行予定

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成り立ち始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——〔援助〕と多国籍企業・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は、読書ノート(2~3回)および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	え がみ さとし 江 上 哲	文学部全学科	4

講義のねらい

前期ではマーケティングの基礎というべき4Pを中心に講義します。後期においては、①マーケティング管理 ②マーケティングと経営組織 ③マーケティングとブランドを講義します。本講義の目的は、マーケティングの諸活動を通じて社会を見る眼を培うことです。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 第1回目 寡占経済とマーケティングの生成
- 第2回目 マーケティング論研究の発展
- 第3回目 フォーディズムとマネージリアルマーケティング
- 第4回目 製品戦略—製品差別化論
- 第5回目 製品戦略—市場細分化論
- 第6回目 価格戦略—非価格競争論
- 第7回目 価格戦略—管理価格論
- 第8回目 流通経路戦略—商業排除論
- 第9回目 流通経路戦略—流通系列化論
- 第10回目 販売促進戦略—広告と情報
- 第11回目 販売促進戦略—人的販売と営業
- 第12回目 前期まとめ

後期

- 第1回目 市場創造とマーケティング
- 第2回目 マーケティング組織論
- 第3回目 マーケティング活動と経営組織
- 第4回目 製品ポートフォリオ論
- 第5回目 消費者行動論
- 第6回目 ブランドマーケティング①
- 第7回目 ブランドマーケティング②
- 第8回目 日本型消費者のマーケティング
- 第9回目 ウェブマーケティング①
- 第10回目 ウェブマーケティング②
- 第11回目 マーケティングと消費者問題
- 第12回目 後期まとめ

成績評価の方法

レポートを前期と後期に1回課します。基本的には定期試験を評価の対象の主たるものとします。

教 科 書

講義がはじまって指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	ひやく た よし はる 百 田 義 治	文学部全学科(歴史学科除く)	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、企業経営は大きく変貌しています。IT革命やグローバル化の進展を底流に、20世紀型の規模の経済性を追求したビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できた時代から、コア・コンピタンスを武器に競争優位を発揮するネットワーク型経営が現実化し、産業構造、経営組織、労働組織のあり方を大きく変容させています。グローバルな市場統合はメガ・コンペティション(大競争)を現出し、日本的経営の根本的変革を生みだしています。頻繁かつ大規模な企業再編(合併・提携)、持株会社化、猛烈なリストラ、能力主義・成果主義の台頭・普及など企業経営の変貌が日々マスメディアで報じられています。本講義では、このような激動の中にある企業の経営管理の問題について、その現状と今後の課題について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代企業と経営管理(経営管理とは何か)
- ②大量生産体制と経営管理(テイラー・システム、フォード・システム、トヨタ・システム)
- ③経営管理と人間性(人間関係論、行動科学、労働の人間化、モチベーション論)
- ④経営組織の基本問題(官僚制、民主制、など)
- ⑤IT革命とネットワーク型組織
- ⑥グローバル化と企業経営の課題
- ⑦市民社会の成熟と企業の社会性

履修上の留意点

新聞を毎日読んで授業に参加してください。
「ビジネス事例研究」と併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

夏季レポートと学年末試験で評価します。
再試験はありません。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』(ミネルヴァ書房)2005年。
小林俊治・百田義治編『社会から信頼される企業』(中央経済社)2004年。

参考書等

百田義治編著『経営学基礎』(中央経済社)2005年。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>〈前期の講義概要〉</p> <p>I 中小企業の基礎理論、</p> <p> I - 1 独占段階固有の中小企業問題、</p> <p> I - 2 中小企業の法的規定、</p> <p> I - 3 中小企業の経営類型、</p> <p> I - 4 中小企業の企業形態、</p> <p> I - 5 日本型下請構造の特質、</p> <p>II 日本型下請システムの形成過程、</p> <p> II - 1 日本経済復活期の生産分業構造、</p> <p> II - 2 高度経済成長期の下請管理の合理化、</p> <p> II - 3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、</p> | <p>〈後期の講義概要〉</p> <p> II - 4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟</p> <p> II - 5 グローバル化と下請構造の大転換</p> <p>III 戦後日本の中小企業政策、</p> <p> III - 1 復興期の中小企業政策、</p> <p> III - 2 高度成長と中小企業近代化政策、</p> <p> III - 3 中小企業政策の大転換、</p> <p>IV 中小企業の経営問題、</p> <p> IV - 1 不公正取引と下請問題、</p> <p> IV - 2 中小企業の金融問題</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	文学部全学科	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならないをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たった条件というものとはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	文学部全学科	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
 2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
 3. 採用・配置慣行と人事制度
 4. 職能資格制度と人事考課
 5. 賃金制度とその成果主義化
 6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
 7. 労働時間の現状と弾力化
 8. チーム作業方式の特徴
 9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
 10. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	たがはしひろき 高橋洋城	文学部全学科	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アキナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する。
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋法制史	きたの 北野かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	荒井登志夫	文学部全学科	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われあるいは行われようとしています。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③具体的な適用事例を挙げて説明して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1～3) 前史、全体像・基本的概念 (4～5) 私的独占 (6～10) 不当な取引制限等(価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金)
(11～14) 不正な取引方法・前半
〔後期〕(15～17) 不正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (18) 寡占問題(独占的状态・価格の同調的引上げ) (19～20) 第四章規定(株式所有・合併・持株会社)
(21～24) 適用除外・域外適用、公正取引委員会、手続規定・訴訟 (25) 国際的環境 (26) 事例研究 (27) まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題の作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説[第2版]』(有斐閣) 3,800円
なお、適宜プリントを配付し、理解の促進と新たな情報提供に役立つよう努めます。(六法全書をできる限り持参してください。)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	三船恵美	文学部全学科	4

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。

国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念(国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争)について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ極支配体制の世界政治的意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。

後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念(ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論)を講義します。

成績評価の方法

学期末試験(50%+50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』(南窓社) 2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井 幸 雄	文学部全学科	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	文学部全学科	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	木川裕一郎 <small>き がわ ゆういちろう</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債権債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上にも不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体法的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となる。

成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

教科書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤眞『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

参考書等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務Q&A』別冊NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一問一答 新しい破産法』（商事法務）。

その他

授業は講義形式で実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高田光明	文学部全学科	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	すが や みのる 菅 谷 実	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)
- 〈企業各論〉
6. エネルギー・水道 (3)
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)
- 〈規制課題〉
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPOの役割 (1)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教 科 書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年3月刊行予定

参 考 書 等

講義の必要に応じて紹介する。

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義の目的は現代における管理会計の考え方と計算問題の解き方を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学分野の演習を受講する学生はかならず履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学分野の演習を受講する学生もできるだけ履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算
- 第3回 利益計画の意義と体系
- 第4回 短期利益計画における CVP 分析 I
- 第5回 短期利益計画における CVP 分析 II
- 第6回 原価予測
- 第7回 最適セールス・ミックスの決定
- 第8回 経済的発注量 (EOQ) の決定
- 第9回 標準原価計算による原価管理
- 第10回 活動基準原価計算 (ABC)
- 第11回 予算管理
- 第12回 マーケティング管理会計
- 第13回 事業部制の管理会計
- 第14回 原価企画
- 第15回 インテグレートド・コストマネジメント
- 第16回 バランスド・スコアカード (BSC)
- 第17回 業務的意思決定 I
- 第18回 業務的意思決定 II
- 第19回 キャッシュ・フローの計算
- 第20回 設備投資の意思決定 I
- 第21回 設備投資の意思決定 II
- 第22回 資本コストの測定
- 第23回 不確実性下の意思決定
- 第24回 無形資産の管理会計

履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算および公認会計士第二次試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっている。学習上の効果を高めるためにも、まだ「原価計算論」を履修していない者は、できるだけ併せて履修してほしい。

成績評価の方法

全部で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

教科書

テキストは開講時に指示する。
例題および練習問題は授業中に配布する。

参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。
櫻井通晴「管理会計〔第三版〕」同文館出版。

その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。なお、この科目は再試験を実施しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	阿部一人	文学部全学科	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
 もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1) | 10. 監査人 |
| (1) 監査の必要 (2) 監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| (3) 監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的 (2) | 13. 内部統制 |
| (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷 | 14. 試査 |
| (3) 監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調書 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| (3) その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準 (1) | (1) 監査概念の拡大化 |
| (1) 必要性 (2) 生成と展開 | (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準 (2) | |
| (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準 | |
| (4) 実施基準 (5) 報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円
 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円
 山本忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	は どり 羽 鳥 茂	文学部全学科	4

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年
3,200円

参 考 書 等

講義の進み具合に応じて適時紹介します。

そ の 他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。
この科目は再試験を実施しません。

履修科目
他学部

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日本語入門 I a	〈吉田 蒨子〉	777
日本語入門 I b	〈吉田 蒨子〉	777
日本語入門 II a	〈吉田 蒨子〉	778
日本語入門 II b	〈吉田 蒨子〉	778
日本語 I a・I b	〈佐野 典子〉	778
日本語 I a	〈多田羅 哲子〉	779
日本語 I b	〈多田羅 哲子〉	779
日本語 II a・II b	〈佐野 典子〉	779
日本語 II a	〈多田羅 哲子〉	780
日本語 II b	〈多田羅 哲子〉	780
日本語 III a	〈多田羅 哲子〉	780
日本語 III a・III b	〈湯村 礼子〉	781
日本語 III b	〈多田羅 哲子〉	781
日本語 IV a	〈石川 守〉	781
日本語 IV a	〈湯村 礼子〉	782
日本語 IV b	〈石川 守〉	782
日本語 IV b	〈湯村 礼子〉	782
日本語 V a	〈石川 守〉	783
日本語 V a	〈多田羅 哲子〉	783
日本語 V b	〈石川 守〉	784
日本語 V b	〈多田羅 哲子〉	784
日本語 VI a	〈石川 守〉	784
日本語 VI a	〈多田羅 哲子〉	785
日本語 VI b	〈石川 守〉	785
日本語 VI b	〈多田羅 哲子〉	785

《日本事情科目》

日本事情 I [地理]	(後期) 高橋 健太郎	786
日本事情 II [自然]	(前期) 清水 善和	787
日本事情 III [歴史]	(後期) 浅倉 直美	788
日本事情 IV [思想]	(前期) 赤羽 由規子	788
日本事情 V [社会]	(前期) 坪井 健	789
日本事情 VI [政治・法律]	(後期) 中野 裕二	789
日本事情 VII [文学]	(後期) 相澤 貴之	790
日本事情 VIII [文化・芸術]	(後期) 赤羽 由規子	790
日本事情 IX [経済]	(前期) 吉田 敬一	791
日本事情 X [経営]	(前期) 宮城 徹	791

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語入門 I a (前期)	よし だ ふき こ 吉 田 露 子	文学部全学科	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語入門 I b (後期)	よし だ ふき こ 吉 田 露 子	文学部全学科	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱ a (前期)	よしだふさこ 吉田 露子	文学部全学科	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱ b (後期)	よしだふさこ 吉田 露子	文学部全学科	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方や、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰ a (前期)	さのりのこ 佐野 典子	文学部全学科	1
日本語Ⅰ b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I a (前期)	たたらあきこ 多田羅 哲 子	文学部全学科	1

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I b (後期)	たたらあきこ 多田羅 哲 子	文学部全学科	1

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II a (前期)	さのりこ 佐野 典 子	文学部全学科	1
日本語 II b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	文学部全学科	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
 テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ b (後期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	文学部全学科	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。
 テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	文学部全学科	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
 聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	湯村礼子	文学部全学科	1
日本語Ⅲ b (後期)			

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにすること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ b (後期)	多田羅哲子	文学部全学科	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ a (前期)	石川守	文学部全学科	1

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分です。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。同時にことわざを毎時間のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅴ・Ⅵを履修した上で取るのが理想的です。なお、基礎能力をしっかりつけるため、基礎をゆっくりやっていきます。はやくたくさんやりたい人は他の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度を厳しくチェックしていきます。私語など授業態度が悪いときは、授業中でも、欠席措置の上退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳa(前期)	湯村礼子	文学部全学科	1

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	要約文、報告文を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	課題作文(3回) 提出物 授業活動(授業での発言、授業態度など)
教科書	教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳb(後期)	石川守	文学部全学科	1

講義のねらい	日本語の中上級文法を中心にその使い方について考えていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。同時にことわざを毎時間授業のはじめにやっていくつもりです。
履修上の留意点	日本語Ⅳaの続きの内容を行います。
成績評価の方法	試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。評価は厳しいので、要注意。
教科書	特になし。授業中に自作のプリントを配ります。
参考書等	辞書を持参してください。
その他	授業中の私語など、授業態度の悪いものは欠席処置の上、退室を命ずることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳb(後期)	湯村礼子	文学部全学科	1

講義のねらい	読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。
成績評価の方法	作文(3回) 提出物 授業活動(授業での発言、授業態度など)
教科書	教科書は授業時に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	いし かわ まもる 石 川 守	文学部全学科	1

講義のねらい

日本語の文法の基礎を呼称や指示詞などはじめからやり、しっかりとした日本語の基礎を作ることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の基礎文法の前半部分からやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生向き。日本語の文法をもう一度振り返り、しっかりした基礎を作るため、より深くやっていきます。その関係で進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたい場合は、他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。

教 科 書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参 考 書 等

辞書を持ってきてください。

そ の 他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたらうえ、退室を命ずることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V a (前期)	た なた ら あ き こ 多田羅 哲 子	文学部全学科	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教 科 書

プリント配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	いし かわ まもる 石川 守	文学部全学科	1

講義のねらい	日本語の文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 Va の続きをやっていきます。
履修上の留意点	主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	たたら あき こ 多田羅 哲子	文学部全学科	1

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI a (前期)	いし かわ まもる 石川 守	文学部全学科	1

講義のねらい	日本語の基礎文法を日本語 V に引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作ることを目標としています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 V で行った日本語の後の部分をやっていきます。
履修上の留意点	この授業は日本語 V の続きの内容なので、日本語 V を履修してから取るのが理想的です。授業はじっくりやっていきますので、進度はあまり速くありません。速くやりたい人は他の先生の授業を取ることをお勧めします。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	今年から受講態度を重視していきます。受講態度が悪いときは、授業中でも欠席にした上で退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI a (前期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	文学部全学科	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI b (後期)	いしかわまもる 石川 守	文学部全学科	1

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。
授業のはじめに「ことわざ」をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分を行っていきます。じっくりやっていくため、進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたいときには他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を厳しくチェックしていきます。私語をするなど態度の悪いものは授業中でも欠席にした上で、退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI b (後期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	文学部全学科	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 I 〔地理〕(後期)	たか 高 橋 健太郎	文学部全学科	2

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 観光開発、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教 科 書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清水 善和	文学部全学科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせ、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した英語版教科書も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あさくら なおみ 浅倉直美	文学部全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陆と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の本店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかば ゆきこ 赤羽由規子	文学部全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

その他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V 〔社会〕(前期)	つばい 健	文学部全学科	2

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度(60%) + 課題レポート(40%)

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 VI 〔政治・法律〕(後期)	なかの ゆうじ	文学部全学科	2

講義のねらい

この講義の目標は次の二点にあります。第一は、日本の政治制度の概要を理解すること。第二は、日本の今の政治状況を自分なりに説明できること。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。
・国会 ・内閣 ・裁判制度 ・政党制 ・国際社会の中の日本

履修上の留意点

日本の政治制度に関する基礎知識を前提とはしません。しかし、毎日のニュースをチェックするなど、日本政治に興味を持っていることを前提とします。

成績評価の方法

毎回の出席、期末試験と授業中の発言などを総合的に判断し、成績評価とします。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(後期)	あいざわ たかゆき 相澤 貴之	文学部全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語・日本文学を通して、日本の文化や他の国の文化への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は、日本の小説・詩歌・演劇・食文化等について、その特徴を説明する。受講する学生は、その講義の内容に基づいて他の国の小説・詩歌・演劇・食文化等を日本の文化と比較し、毎月レポートを提出する。

履修上の留意点

講義をよく聞き、その後討議をするので、活発な発言を期待する。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、提出したレポートと授業態度等によって評価する。

教科書

必要に応じてプリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あかぼ ゆきこ 赤羽 由規子	文学部全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経済〕(前期)	よしだ けい いち 吉 田 敬 一	文学部全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廢墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

レポートと平常点・出席点で評価します。再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

その他

本講義は受講生の日本語能力向上を目的の一つとしていますので、講義はすべて日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	みやま てつ ち 宮 城 徹	文学部全学科	2

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参考書等

参考文献は随時指定する。

V 随 意 科 目

V. 随意科目

英語 (海外演習)	797
フランス語 (海外演習)	797
中国語 (海外演習)	797
宗 教 学 概 説 (洗 建)	798
宗 教 学 概 説 (池 上 良 正)	798
宗 教 学 概 説 (津 城 寛 文)	799
哲 学 概 説 (久保田 知 敏)	799
哲 学 概 説 (久 保 陽 一)	800
倫 理 学 概 説 (河 谷 淳)	800
歴 史 哲 学 (久 保 陽 一)	801
宗 教 人 類 学 (佐 藤 憲 昭)	801
民 間 信 仰 論 (谷 口 貢)	802
日 本 宗 教 文 化 史 (小 川 順 敬)	802
民 衆 宗 教 成 立 史 (津 城 寛 文)	803
美 術 史 概 説 (北 野 良 枝)	803
東 洋 思 想 史 (久保田 知 敏)	804
日 本 民 俗 学 (谷 口 貢)	805
日 本 仏 教 史 (松 本 信 道)	805

科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ンス 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	あらい けん 洗 建	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象を実証的に研究し、宗教を信じるのが、人間生活や社会にどのような意味を持ち、どのような働きをするものであるかを明らかにしようとする学問である。宗教学においてこれまでどのような研究が行なわれ、どのようなことが明らかにされたのかを概観し、宗教学的ものの見方を理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の立場、原始宗教、神と法、宗教的世界観、宗教儀礼、宗教と社会、宗教体験、宗教の機能などについて考察する。

履修上の留意点

事実を覚えることより、宗教学の考え方を理解してもらいたいので、できるだけ出席してもらいたい。私語のないように願う。

成績評価の方法

期末試験による評価を原則とするが、出席点、レポート提出なども配慮する。

教科書

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円＋消費税

参考書等

その都度、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

テーマは「生活の中の宗教」。現代人にも身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なトピックとしては、「儀礼と祭り」「弔いと供養」「イスラームとは何か」「憑依の諸相」などを考えている。各種のビデオを活用したい。

履修上の留意点

学生参加型の授業とする。受講者には最低1回は発表してもらう。

成績評価の方法

課題の発表、授業中の議論、出席状況から、総合的に評価する。

参考書等

講義のなかで適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	つ 津 城 寛 文 しろう ひろふみ	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

宗教のもつさまざまな側面のうち、ここでは、人間が他界を志向するという面と、信仰は社会的表現をとるという面と、この二面に注目し、「宗教と他界」「宗教と社会」という大きなテーマの中で、宗教の多面性を考える。

講義の内容・授業スケジュール

「宗教と他界」のテーマの中では、呪術、シャーマニズム、スピリチュアリズム、神秘主義、死後生命の信仰、などを論じる。「宗教と社会」のテーマの中では、政治と宗教、市民宗教、公共宗教、現代宗教、などを論じる。

履修上の留意点

宗教に関心のない者、知的向上心の弱い者は、履修を遠慮してもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学年末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらないので、自主的な参加と、自主的な学習意欲が求められる。

教科書

テキストは用いない。

参考書等

参考書は、適宜紹介する。

その他

とくになし。通常の講義スタイルである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲 学 概 説	く 久 保 田 知 敏 ほた とも とし	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

本年度は、特に中国古代に行われた知の営みに焦点をあて、そこにおける諸問題を探求する。

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ原典にあたりながら、そこに残された営みの諸問題を探求して行く。具体的には、

- 1 問題の所在
- 2 論理から存在論へ
- 3 道と易の形而上学
- 4 老荘思想とその変遷
六朝・明代の解釈と日本への影響
- 5 近代の知識人
日本留学とマルクス主義の受容
などの項目に沿って授業を進めて行く。

履修上の留意点

常にその場で感じ、考え、言語化して行くことを要求する。

成績評価の方法

年2回の試験又はレポート・平素の受講態度（出席・課題の予習・理解度調査・授業への参加）などを総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。講師の用意したプリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。指示された図書は必ず読むこと。

その他

受講者が少なかった場合はゼミ形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 概 説	くぼ 久 保 陽 一	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

哲学は世界や人間についてその原理や根拠を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義、道徳や価値（何が善いか、何が正しいか、何が美しいか等）を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶしで何がしかそのような人生論的あるいは倫理的な問題につきあたらざるをえない。今年度の講義は、哲学のそのような側面を取り上げることにはしたい。

講義の内容・授業スケジュール

古今東西の有名な人生論や倫理思想を取り上げる。
前期では、主に、①アジアの思想（仏教、儒教）、②古代ギリシア哲学、③キリスト教という、源流にさかのぼる。
後期では、主に、近代から現代にいたる、種々の人生論・倫理思想を取り上げ、その現代的意義を考えることにする。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。私語はつつしむこと。理解できなかったところは、遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席数、試験（前期と年度末）、レポートによって評価する。

教 科 書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

参 考 書 等

渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会）1,800円
渡辺二郎『人生の哲学』（放送大学教育振興会）2,800円

そ の 他

講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 概 説	かわ 河 谷 淳	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

新しい技術によってなにかが「できる」ようになったからといって、倫理的に「してもよい」ということにはならない。例えば、携帯電話という技術によっていつでもどこでも電話が使えるようになったからといって、いつでもどこでも電話を使ってもよいということにはならない。技術の進歩によって「できる」ことの幅が広がる一方で、既存の問題に加え、新たな倫理的問題も生じてこざるをえない。こうした問題を考えるにあたって本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では（a）古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で（b）現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
前期（a）西洋倫理思想史
徳倫理学（古代ギリシア）：プラトン、アリストテレス、徳と幸福
義務論：カント、定言命法としての道徳原則
功利主義：ベンサム、ミル、最大多数の最大幸福
後期（b）現代倫理学の諸問題
自由論（他者に迷惑をかけなければ何をしてもよいのか）
生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題（生老病死をめぐる倫理）
1）インフォームド・コンセントをめぐる問題
2）安楽死・尊厳死の是非をめぐる問題
3）クローン技術のヒトへの適用の是非をめぐる問題

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（論述タイプの試験でそれぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	久保陽一	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

教科書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）（岩波文庫）

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』（法政大学出版局）、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』（東大出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「シャーマニズムと仏教」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにした。

シャーマニズムとは、神霊と直接交流をしながら、予言、託宣、祭儀、治病行為などの役割を果たす人物（＝シャーマン）を中心とする宗教現象である。この現象はあらゆる宗教と結びつく性格を具えているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教との諸関係に注目して考察するものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、1. 宗教人類学の学問的特徴、2. フィールドワーク、3. シャーマニズムの研究史、後期は、1. シャーマンの神人交流の諸相、2. シャーマンと仏僧、3. シャーマニズムと仏教の諸相、などのテーマのもとに考えてみたい。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口 貢	文学部(国文学科除く)2年次~	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』(春秋社)、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』(東京堂出版)の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本宗教文化史	小川 順敬	文学部全学科2年次~	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は(われわれの文化ばかりではありません)自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。(現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。)

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事(祭礼や儀礼)、寺院行事、また物語、芸能などを題材(ビデオ等使用する予定)として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民衆宗教成立史	津 城 寛 文 つ しろ ひろ ふみ	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

この講義は、民衆宗教の前提となる、基層文化、民衆文化、深層文化などと呼ばれるテーマを、日本を領域として考察し、民衆宗教、民俗宗教の理解に役立つことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにそって、歴史的深層、文化・心理的深層、民族主義的な深層、宗教文化の深層について、解説を加えながら進める。

履修上の留意点

基本的に板書はしないので、テキストを必ず準備すること。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学期末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらない。

教科書

津城寛文『日本の深層文化序説』（玉川大学出版部）1990年

参考書等

参考書は、テキストに掲載してあるほか適宜紹介する。

その他

とくになし。通常の講義スタイル。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美術史概説	北 野 良 枝 きた の よし え	数・理・化・生・環・地	4

講義のねらい

奈良時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 奈良時代から室町時代の絵画

(1) ガイダンス

(3) ～ (4) 仏教絵画

(8) ～ (9) 肖像画

後期 室町時代から江戸時代の絵画

(14) ～ (15) 土佐派、狩野派

(18) 江戸時代の狩野派

(21) ～ (22) 浮世絵

(24) 文人画

(26) 江戸から明治へ

(2) 絵画に関する基礎知識、法隆寺金堂壁画

(5) ～ (7) 絵巻物

(10) ～ (13) 室町時代の水墨画

(16) ～ (17) 狩野永徳と桃山画壇

(19) ～ (20) 琳派

(23) 南蘋派

(25) 秋田蘭画と司馬江漢

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋思想史	くぼた とも とし 久保田 知 敏	文学部 (国文学科除く) 2年次~	4

講義のねらい

本年度は、東アジアの思想の源泉となった中国古代、特に先秦の思想の営みを理解することに焦点を絞って講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ原典にあたりながら、そこに残された営みを正確に理解し、中国古代の思想史を再構築して行く。具体的には

- 1 問題の所在
- 2 儒家集団と墨家集団
- 3 義・仁義・礼儀と利
- 4 論理的思考の展開
- 5 道の形而上学
- 6 学術史と学術分類
- 7 新出土資料の利用

などの項目に沿って授業を進めて行く。

履修上の留意点

ともかく何かを感じることがすべての出発点になる。古典の文章を読み、何でもよいが自分の感想を持ち言語化する。そこから対話が始まる。授業に出席するに当たり、細かな知識など要求しないが、最低限その場で感じ考えることは常に要求して行く。

成績評価の方法

年2回のレポート又は試験・平素の受講態度（出席・課題の予習・理解度の調査・授業への参加）などを総合的に評価する。

教科書

池田知久『諸子百家文選』（研文社）

参考書等

授業中に指示する。授業に関する図書はできるだけ多く読むこと。

その他

少人数の場合はゼミ形式にする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	英・文・社・国・理・数・科	4

講義のねらい

日本民俗学は世をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	松本信道	英・文・社・国・理・数・科	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

